

令和7年度中標津町行政評価結果

令和7年度の行政評価は、令和6年度に中標津町が実施した施策や事務事業に対して、担当職員による一次評価、中標津町行政改革推進本部による二次評価の実施後、中標津町外部評価委員会が外部評価を行い、施策に係る今後の更なる推進に向けての意見書が提出されました。そして、その結果を踏まえて、中標津町行政改革推進本部が、総合評価を実施しました。

令和7年度の行政評価の結果は、次のとおりです。

1 内部評価の状況

評価内容	評価調書	件数	備考
一次評価 (担当職員評価)	事務事業評価	—	実施計画に合わせ一体的に実施
	施策評価	145	
二次評価 (行政改革推進本部)	施策評価	133	議会事務局・農業委員会事務局・一部事務組合（消防）を除く

2 外部評価の状況

一次評価及び二次評価を実施した内部評価のうち、外部評価を独自に実施している「教育委員会」を除いた113施策の中から6施策を対象に実施。

(外部評価委員会意見書別紙)

部局名	件数	備考
総務部	1	
町民生活部	1	
経済部	2	
建設水道部	1	
町立中標津病院	1	
(合計)	6	

3 総合評価

中標津町行政改革推進本部は、二次評価及び外部評価の結果などから、次年度以降において取り組むべき方向性を、次のとおりとしました。

○ 次年度以降における取組

町民と行政の協働や官民連携の推進を図っていくためには、各種施策の効果を最大限発揮させる事が重要であり、申請者が使いやすい制度設計・運用や、わかりやすい情報発信の工夫に努めるとともに、施策の町民理解を促進させていく必要がある。

あわせて、町民・企業・団体・大学等との協働・連携の取り組みを積極的に推進し、各主体の強みやノウハウを活かした地域の活性化を図り、町の強みである「人を集める力」を一層加速させる必要がある。

今後も、効果的・効率的に事業を進めるため、効果検証や内部評価・外部評価を行い、意見交換や町民との対話を行いながら施策の展開を図るものとする。

令和7年度
中標津町外部評価委員会
外部評価意見書

令和8年2月
中標津町外部評価委員会

中標津町外部評価委員会による令和7年度外部評価意見書

中標津町が実施した行政評価内部評価に対し、客観性や透明性を確保するため、中標津町外部評価委員会において外部評価を実施しましたので、意見を添えて報告します。

令和8年2月26日

中標津町長 西 村 穰 様

中標津町外部評価委員会

委員長 酒 井 多加志

副委員長 本 間 玲 子

委 員 飯 野 哲 弥

委 員 大 熊 伸 佳

委 員 松 田 優 子

総 評

中標津町の行政評価は、平成 24 年 4 月に施行された「中標津町自治基本条例」第 33 条の規定に基づき、行政内部が点検・確認した内部評価に対し、客観性や透明性を確保するため有識者等で組織された中標津町外部評価委員会により外部評価を実施しています。

今年度の外部評価は、「第 7 期中標津町総合計画前期基本計画」に基づき、令和 6 年度に取り組みされた主要施策について、担当部長職・課長職が実施した一次評価及び中標津町行政改革推進本部による二次評価を実施した内部評価のうち、外部評価を独自に実施している「教育委員会」を除いた 113 施策の中から 6 施策を対象とし、4 回の協議を行いました。

各委員からは、外部評価対象の施策や事務事業に対して、専門分野からの視点、他の地域との比較や中標津町に暮らす生活者としての視点より意見等が提出され、施策や事務事業の内容、今後の方向性・進め方について担当職員との討議も行いました。

中標津町外部評価委員会において協議を行った結果から、令和 7 年度外部評価について、次のとおり報告します。

記

○ 全体意見

人口減少・少子高齢化が急速に進行する中で、限られた人員・資源で事業を推進するためには、町民と行政との対話による協働・相互理解、それによる町民のまちづくりへの参画が不可欠であると考えます。

また、事業の実施にあたっては、利用者にとって使いやすい運用に努めるなど、事業効果を最大限発揮できるよう創意工夫に努めていただくことを期待します。

○次年度以降における施策の更なる推進に向け意見を付帯する評価（別紙） 6 施策

付帯意見（ 6 施策 ）

①

基本項目	1	つながりが未来を築くまちづくり
大項目	1	協働のまちづくりの推進
主要施策	3	人材・団体の育成と連携の推進
担当課	総務部 政策推進課	
評価に伴う意見等	<p>フロンティア事業推進補助金については、申請団体の負担軽減につながる全額支援枠の創設の検討や、立ち上げ期における継続的な伴走支援の実施など、申請者が使いやすい制度設計を進める必要があると考えます。</p> <p>また、申請手続きの簡素化やターゲットを絞った広報活動の強化により、届けたい層に情報がしっかり届くよう、アプローチ方法を工夫する必要があると考えます。</p>	

②

基本項目	1	つながりが未来を築くまちづくり
大項目	2	国際化、地域間交流の促進
主要施策	1	国際交流、多文化共生社会の実現
担当課	経済部 経済振興課	
評価に伴う意見等	<p>現在、多くの外国人が様々な目的のために中標津町へ来町しており、町民も外国人との共生に対する理解が進んできていると感じます。一方で、まだ不安を感じている町民への理解促進に向けた取り組みを続けていく必要性も感じます。</p> <p>日本語学校では、町内企業に就職する留学生も現れており、今後さらにそうした人材が増えることを期待するとともに、就職後のフォローアップ体制の整備や、受け入れ側事業者向けの研修・セミナーの実施についても充実を図っていく必要があると考えます。</p>	

③

基本項目	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
大項目	1	子育て支援の充実
主要施策	1	地域全体で子育てを支援・応援する体制づくり
担当課	町民生活部 子育て支援課	
評価に伴う意見等	<p>子どもを安心して預けられる場所の確保が大切であると考えます。そのためには、保育士の確保が喫緊の課題であり、保育士確保に関する各種施策の充実を望みます。</p> <p>また、育児休業の取得促進に向け、理解促進を図るための取り組みとして、町内事業所向けの研修等の実施についても検討する必要があると考えます。</p>	

④

基本項目	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
大項目	6	地域医療の充実
主要施策	4	安定した病院経営の推進
担当課	町立病院 管理課	
評価に伴う意見等	<p>地域の中核を担う病院として、地域全体での連携を一層密にし、持続可能な医療提供体制を確立していくことが重要であると考えます。</p> <p>全国的に、公立病院は採算が取れず、赤字が続いており、中標津町も例外ではありません。安定した病院経営のために、利便性向上により利用者を増やすことや生産性を高める取り組みを強化することを期待します。</p>	

⑤

基本項目	3	産業の力みなぎるまちづくり
大項目	1	農業の振興
主要施策	1	農業の生産性・収益性・付加価値向上
担当課	経済部 農林課	
評価に伴う意見等	<p>牛乳消費拡大キャンペーンは、牛乳消費拡大の観点から、今後も継続的に実施していくことが重要であると考えます。今後は、飲用に限定せず、牛乳を用いたレシピ紹介などを通じて、食材としての活用を促すこと、SNS や広報紙に加え、牛乳売り場でポスターを掲示することなど、キャンペーンの認知度向上を図る手法の検討が必要であると考えます。</p>	

⑥

基本項目	4	住みやすいまちづくり
大項目	9	上下水道の充実
主要施策	3	サービスの向上
担当課	建設水道部 上下水道課	
評価に伴う意見等	<p>キャッシュレス決済の導入により、町民の利便性が向上したと思います。未納額が減少したことからも、成果が出ていると感じます。</p> <p>また、年金支給日や給与支給日等を勘案し、口座からの引き落とし日について再度検討することで、未納額のさらなる減少が期待できると考えます。</p>	

施策評価調書



施策順

令和7年度

(令和6年度事業)

中標津町

【 評価指標について 】

※各評価調書における評価指標は、以下の内容となります。

Ⅱ 施策の実施結果

3. 施策に係る事務事業一覧

令和7年度の方向性 についての評価（※複数選択可）

- A：現状のまま
- B：事業拡充
- C：事業縮小
- D：事業内容見直し
- E：他事業との統合
- F：事業終了・廃止

Ⅲ 一次評価

1. 令和6年度の施策の達成状況

施策の進行 についての評価

- A：目標に向かって順調に進んでいる
- B：目標に向かって概ね順調に進んでいる
- C：目標に向かってあまり進んでいない
- D：目標に向かって進んでいない

Ⅲ 一次評価

3. 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 についての評価

- A：このまま進める
- B：若干の見直し・修正が必要
- C：大幅な見直し・修正が必要

Ⅲ 一次評価

4. 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

施策の進め方 についての評価

- A：このまま進める
- B：若干の見直し・修正が必要
- C：大幅な見直し・修正が必要

基本目標	大項目	主要施策	評価担当部局	頁
第1章 つながりが未来を築くまちづくり	1-1 協働のまちづくりの推進	(1)中標津町自治基本条例の推進	総務部政策推進課	1
		(2)町民のまちづくりへの参画の推進	総務部政策推進課	3
		(3)人材・団体の育成と連携の推進	総務部政策推進課	5
		(4)わかりやすい情報発信の推進	総務部総務課	7
		(4)わかりやすい情報発信の推進	総務部町史編さん室	9
		(4)わかりやすい情報発信の推進	総務部政策推進課	11
		(4)わかりやすい情報発信の推進	議会事務局	13
		(5)自治・コミュニティ活動の推進	総務部政策推進課	15
		(5)自治・コミュニティ活動の推進	町民生活部生活課	17
		(5)自治・コミュニティ活動の推進	町民生活部生活課	19
		(5)自治・コミュニティ活動の推進	町民生活部生活課	21
		1-2 国際化、地域間交流の促進	(1)国際交流、多文化共生社会の実現	経済部経済振興課
	(1)国際交流、多文化共生社会の実現		経済部経済振興課	25
	(2)関係人口・交流人口の拡大		総務部政策推進課	27
	(2)関係人口・交流人口の拡大		経済部経済振興課	29
	1-3 北方領土対策の推進	(1)北方領土対策の推進	総務部政策推進課	31
	1-4 人権の尊重と男女共同参画社会の形成	(1)人権教育、人権啓発の推進	町民生活部生活課	33
		(2)男女共同参画の推進	総務部政策推進課	35
	1-5 安定した行政経営の推進	(1)効率的・効果的な行政経営(行財政改革の推進)	総務部総務課	37
		(1)効率的・効果的な行政経営(行財政改革の推進)	総務部総務課	39
		(1)効率的・効果的な行政経営(行財政改革の推進)	総務部政策推進課	41
		(1)効率的・効果的な行政経営(行財政改革の推進)	総務部財政課	43
		(1)効率的・効果的な行政経営(行財政改革の推進)	総務部納税課	45
		(2)自治体間の広域連携強化	総務部政策推進課	47
	1-6 情報化の推進	(1)自治体の情報化の推進	総務部総務課	49

基本目標	大項目	主要施策	評価担当部局	頁	
第1章 つながりが未来を築くまちづくり	1-6 情報化の推進	(1)自治体の情報化の推進	町民生活部住民保険課	51	
第2章 安心と生きがいを感じるまちづくり	2-1 子育て支援の充実	(1)地域全体で子育てを支援・応援する体制づくり	町民生活部子育て支援課	53	
		(1)地域全体で子育てを支援・応援する体制づくり	町立保育園	55	
		(2)子どもの居場所づくり	町民生活部子育て支援課	57	
		(3)子どもを健やかに生み育てる環境づくり	町民生活部子育て支援課	59	
		(3)子どもを健やかに生み育てる環境づくり	町民生活部健康推進課	61	
	2-2 高齢者福祉の充実	(1)安心して暮らせる地域づくり	町民生活部福祉課	63	
		(1)安心して暮らせる地域づくり	町民生活部介護保険課	65	
		(1)安心して暮らせる地域づくり	町民生活部介護保険課	67	
		(1)安心して暮らせる地域づくり	町民生活部介護保険課	69	
		(1)安心して暮らせる地域づくり	町民生活部介護保険課	71	
		(1)安心して暮らせる地域づくり	町民生活部介護保険課	73	
		(2)高齢者の生きがいづくりと健康づくり	町民生活部福祉課	75	
		(2)高齢者の生きがいづくりと健康づくり	町民生活部介護保険課	77	
		(2)高齢者の生きがいづくりと健康づくり	町民生活部介護保険課	79	
		(2)高齢者の生きがいづくりと健康づくり	町民生活部介護保険課	81	
		(3)多様な暮らしを支え合うまちづくり	町民生活部福祉課	83	
		2-3 障がい者福祉の充実	(1)地域における生活支援	町民生活部福祉課	85
			(2)自立と社会参加の促進	町民生活部福祉課	87
	(2)自立と社会参加の促進		児童デイサービスセンター	89	
	(3)ともに支え合う福祉のまちづくり		町民生活部福祉課	91	
	2-4 地域福祉の充実	(1)地域福祉社会の形成	町民生活部福祉課	93	
		(2)支え合いの地域づくり	町民生活部福祉課	95	
		(3)地域福祉の拠点づくり	町民生活部福祉課	97	
2-5 健康づくりの推進	(1)健康づくりの推進	町民生活部健康推進課	99		

基本目標	大項目	主要施策	評価担当部局	頁	
第2章 安心と生きがいを感じるまちづくり	2-5 健康づくりの推進	(2)母子の健康の推進	町民生活部健康推進課	101	
		(3)疾病予防の充実	町民生活部健康推進課	103	
		(4)感染症対策の強化	町民生活部健康推進課	105	
	2-6 地域医療の充実	(1)地域医療体制の確立	町立病院医事課	107	
		(2)安全・安心な医療の提供	町立病院管理課	109	
		(3)救急医療・災害時医療体制の確立	町立病院医事課	111	
		(4)安定した病院経営の推進	町立病院管理課	113	
	2-7 社会保障の充実	(1)社会保障の充実	町民生活部住民保険課	115	
		(1)社会保障の充実	町民生活部住民保険課	117	
	第3章 産業の力みなぎるまちづくり	3-1 農業の振興	(1)農業の生産性・収益性・付加価値向上	経済部農林課	119
			(2)担い手の育成・確保と支援体制の強化	経済部農林課	123
(2)担い手の育成・確保と支援体制の強化			農業委員会	125	
(2)担い手の育成・確保と支援体制の強化			農業委員会	127	
(3)農地の保全と有効活用			農業委員会	129	
(3)農地の保全と有効活用			農業委員会	131	
(3)農地の保全と有効活用			農業委員会	133	
(3)農地の保全と有効活用			農業委員会	135	
(4)環境と調和した農業の推進			経済部農林課	137	
(5)多様でゆとりある農業経営の促進			経済部農林課	139	
3-2 林業の振興		(1)森林資源の育成・保全	経済部農林課	141	
		(2)林業・林産業の活性化・担い手確保	経済部農林課	143	
3-3 商工業の振興		(1)中小企業の活性化	経済部経済振興課	145	
		(2)まちなか賑わいの創出	経済部経済振興課	147	
		(3)地場製品のPR活動の展開	総務部政策推進課	149	
		(3)地場製品のPR活動の展開	経済部経済振興課	151	

基本目標	大項目	主要施策	評価担当部局	頁	
第3章 産業のかみなぎるまちづくり	3-4 観光の振興	(1)観光メニュー(コンテンツ)の充実	経済部経済振興課	153	
		(2)観光客の誘致	経済部経済振興課	155	
		(3)広域観光・交流の推進	経済部経済振興課	157	
	3-5 6次産業化の推進	(1)6次産業化の推進	経済部農林課	159	
	3-6 雇用対策の推進	(1)通年雇用化対策の推進	経済部経済振興課	161	
		(2)雇用の確保・働き手不足の解消	経済部経済振興課	163	
		(3)企業誘致の推進	経済部経済振興課	165	
	第4章 住みやすいまちづくり	4-1 計画的な土地利用の推進	(1)土地利用計画の推進	建設水道部都市住宅課	167
			(1)土地利用計画の推進	建設水道部都市住宅課	169
(2)未利用地の有効活用			建設水道部建設課	171	
4-2 景観形成の推進		(1)景観形成の推進	経済部農林課	173	
		(1)景観形成の推進	建設水道部都市住宅課	175	
4-3 道路・交通網の充実		(1)高規格道路などの整備促進	総務部政策推進課	177	
		(2)安全な道路環境づくり	建設水道部管理課	179	
		(2)安全な道路環境づくり	建設水道部建設課	181	
		(2)安全な道路環境づくり	建設水道部建設課	183	
		(3)効率的な地域交通の推進	町民生活部生活課	185	
		(4)安定した航空路線の維持・活用	経済部経済振興課	187	
4-4 住環境の充実		(2)安全・安心な住まいの充実	建設水道部都市住宅課	189	
		(2)安全・安心な住まいの充実	建設水道部都市住宅課	191	
		(3)空き家・空き地対策の推進	建設水道部都市住宅課	193	
		(4)公園・緑地の充実	建設水道部管理課	195	
4-5 消防・防災・減災の充実		(1)消防・救急体制の充実	消防署警防課	197	
		(1)消防・救急体制の充実	消防署警防課	199	
		(1)消防・救急体制の充実	消防署警防課	201	

基本目標	大項目	主要施策	評価担当部局	頁
第4章 住みやすいまちづくり	4-5 消防・防災・減災の充実	(1)消防・救急体制の充実	消防署予防課	203
		(1)消防・救急体制の充実	消防署管理課	205
		(2)防災・減災体制の強化	総務部総務課	207
		(3)地域防災力の向上	総務部総務課	209
		(4)治水対策の促進	建設水道部管理課	211
	4-6 安全な生活環境の確保	(1)防犯対策の充実	町民生活部生活課	213
		(1)防犯対策の充実	町民生活部生活課	215
		(2)交通安全対策の充実	町民生活部生活課	217
		(2)交通安全対策の充実	町民生活部生活課	219
		(3)消費者対策の推進	町民生活部生活課	221
		(3)消費者対策の推進	町民生活部生活課	223
	4-7 環境保全の推進	(1)環境保全推進体制の確立	町民生活部生活課	225
		(2)水と緑の保全	町民生活部生活課	227
		(2)水と緑の保全	町民生活部生活課	229
		(3)野生動植物の保全	町民生活部生活課	231
		(3)野生動植物の保全	経済部農林課	233
		(4)地球温暖化防止対策の推進	総務部総務課	235
		(4)地球温暖化防止対策の推進	町民生活部生活課	237
	4-8 衛生環境の充実	(1)循環型社会の形成	町民生活部生活課	239
		(1)循環型社会の形成	町民生活部生活課	241
		(2)斎場運営と墓地管理	町民生活部生活課	243
	4-9 上・下水道の充実	(1)安全・安心な水道水の供給	建設水道部上下水道課	245
		(2)下水の集合処理の推進	建設水道部上下水道課	247
		(3)サービスの向上	建設水道部上下水道課	251
		(4)経営基盤の強化と効率的な事業経営	建設水道部上下水道課	253

基本目標	大項目	主要施策	評価担当部局	頁
第5章 郷土愛あふれるまちづくり	5-1 学校教育の充実	(1) 幼児教育の充実	教育委員会学校教育課	255
		(2) 学力向上・健全育成の推進	教育委員会管理課	257
		(2) 学力向上・健全育成の推進	教育委員会学校教育課	259
		(3) 地域との連携強化	教育委員会管理課	261
		(3) 地域との連携強化	教育委員会学校教育課	263
		(3) 地域との連携強化	教育委員会社会教育課	265
		(4) 教育環境の充実	教育委員会社会管理課	267
		(4) 教育環境の充実	教育委員会社会管理課	269
		(4) 教育環境の充実	教育委員会学校教育課	271
		(4) 教育環境の充実	教育委員会給食センター	273
		(5) 町立中標津農業高校の充実	教育委員会農業高校	275
	5-2 生涯学習の推進	(1) 生涯学習活動の普及促進	教育委員会社会教育課	279
		(2) 生涯学習環境の充実	教育委員会社会教育課	281
	5-3 スポーツの振興	(1) スポーツ活動の普及促進	教育委員会社会教育課	283
		(2) スポーツ環境の充実	教育委員会社会教育課	285
		(3) スポーツによる交流促進	教育委員会社会教育課	287
	5-4 地域文化の振興	(1) 文化・芸術活動の普及促進	教育委員会社会教育課	289
		(2) 文化・芸術環境の充実	教育委員会社会教育課	291
		(3) 文化・芸術による交流促進	教育委員会社会教育課	293
		(4) 文化財の保護と活用	教育委員会社会教育課	295

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	谷口 和美	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1 つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1 協働のまちづくりの推進
	主要施策	1 中標津町自治基本条例の推進
その他関連計画等	中標津町自治基本条例第38条	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
町民が主体の自治を実現することを基本理念とし、まちづくりを進める上での共通のルールとなる重要な事項を定めた「自治基本条例」が、広く町民に浸透し、まちづくりが進行していくことを目的とする。	自治推進会議を開催し、自治基本条例の基本原則である「情報共有」、「町民参加」、「協働」の実施状況を検証し、条例の進行管理を行う。また、定期的に自治基本条例の見直し検討を行い、社会情勢の変化に対応した条例であることを目指す。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じる町民の割合	%	○ 単年 実績値 達成率(対R7)	56.8%	59.5%	59.1%	57.0%	55.7%	54.1%	60.0%	70.0%
指標2 町民と行政が協力してまちづくりを進められていると感じている町民の割合	%	○ 単年 実績値 達成率(対R7)	35.1%	32.2%	36.7%	33.9%	27.8%	33.7%	40.0%	50.0%
指標3		○ 単年 実績値 達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	254 千円	182 千円	181 千円	341 千円	千円
事業費	254 千円	182 千円	181 千円	341 千円	0 千円
対前年度比		71.65 %	99.45 %	188.40 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1111・1112	自治基本条例推進事業	341	○						協働推進係
合計 1 事業		341							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	1	中標津町自治基本条例の推進

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・令和8年度に条例の見直しに係る諮問・答申を控え、年3回の会議では思うような話し合いが進まないため、令和6年度は年6回会議を開催した。</p> <p>・委員については、令和5年度に引き続き欠員となっている団体推薦による委員の推薦が得られず、公募委員1名を含めた6名体制で会議を進行した。</p> <p>・令和4年度より自治推進会議で話し合われている検討事案、①自治基本条例について、広く町民に啓発・浸透することを目的に、解説書の漫画バージョンを作成することについては、ストーリーや構成を考えるのが素人では難しいため、別の方法で啓発することに考え直され、②学生(高校生)の参加については、中標津高校生生徒会リーダー研修会に参加させていただき、高校生の意見をきくことができた。③町民ファシリテーター登録制度については、町の考え方を整理し、相手方の団体と継続検討中である。</p> <p>・周知・啓発については、自治推進会議に関する会議録等や、自治基本条例のPRチラシを作成し、町HPIに掲載し町民に周知を図っている。</p>	

<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標1について、令和7年度の目標値に近い数値となっているが、年々低い数値となっている。指標2については、令和6年度が27.8%と過去10年間で一番低い数値となっていたが、令和7年度は33.7%と少し高い数値となっている。</p> <p>中標津町自治基本条例が制定されてから13年余りが経過しており、自治基本条例の必要性などを改めて町民に理解してもらうよう町HPや広報紙等で周知・啓発を継続していく必要がある。</p> <p>また、令和8年度に条例の見直しに係る諮問・答申を控え、令和7年度は自治推進会議で「自治の担い手との対話」を実施しており、その対話をもとに、自治基本条例の見直しや解説書の内容について検討している。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>
--	--

2 課題

<p>自治基本条例は、理念条例であり、この条例があるからといって目に見えてすぐに何かかわるわけでもなく、町民の生活に大きな変化をもたらすということもないので、町民に意識してもらうことはなかなか難しいと考える。そのため、町民の目にとまるような啓発や情報発信をしていくことが重要であり、より効果的な方法を検討する必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>自治推進会議では、令和8年度に条例の見直しに係る諮問・答申に向けて、令和7年度は「自治の担い手との対話」を実施しており、その対話をもとに、自治基本条例の見直しや解説書の内容について検討しているところである。あわせて、引き続き条例の運用状況の検討を行っていく。また、自治基本条例が広く町民に浸透するよう、自治推進会議で検討された内容や、条例のPRチラシを更新するなど、継続して情報を発信していく。</p>
--	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>条例の施行から14年目(R7)を迎え、民間委員による自治推進会議により、町民の中における条例・理念の浸透と協働のまちづくりの定着に向け活動を進めている。R6年度からは、若い世代への普及・啓発を目的とした中標津高校生生徒会との意見交換を、R7年度は外国人留学生の学生寮が所在する町内会との意見交換を実施するなど町民との対話を進めるとともに、5年ごとの条例見直しの年に当たるR8年度の諮問・答申に向け協議を進めているところ。引続き運用状況の検証とともに、あらゆる機会を通じて条例とその理念の浸透を図る。</p>
--	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	谷口 和美	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1 つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1 協働のまちづくりの推進
	主要施策	2 町民のまちづくりへの参画の推進
その他関連計画等		中標津町自治基本条例第7条、第9条
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために） 中標津町自治基本条例の基本原則の1つである「町民参加」を促し、町民との協働によるまちづくりを進めることを目的とする。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 町内会など町民活動団体が、町民と連携して地域の中で自主的活動を進めることができる。まちづくりを目的とする政策形成過程に町民参加の機会が確保される。
---	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じる町民の割合	%	○ 単年	実績値	56.8%	59.5%	59.1%	57.0%	55.7%	54.1%	60.0%	70.0%
		累計	達成率(対R7)	94.7%	99.2%	98.5%	95.0%	92.8%	90.2%		
指標2 町民と行政が協力してまちづくりを進められていると感じている町民の割合	%	○ 単年	実績値	35.1%	32.2%	36.7%	33.9%	27.8%	33.7%	40.0%	50.0%
		累計	達成率(対R7)	87.8%	80.5%	91.8%	84.8%	69.5%	84.3%		
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	38千円	57千円	57千円	千円
事業費	0千円	38千円	57千円	57千円	0千円
対前年度比		%	150.00%	100.00%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1121	協働推進事業	0							協働推進係
1121	まちづくり意見交換推進事業	57							協働推進係
合計		2事業							
			57						

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	2	町民のまちづくりへの参画の推進

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・令和6年度は7件の町民意見募集制度(パブリックコメント)による意見を募集し、意見提出は0件だった。令和6年度より、公共施設に意見募集中のチラシを掲示したり、webでの意見提出もできるように一部運用を見直したが、意見の提出はなかった。</p> <p>・各所管の協働推進事業の状況調査を行い、ホームページを活用し町民への公表を行っている。</p> <p>・対話による協働のまちづくりとして、「まちづくりを考える懇談会」、「まちづくりに関する意見や提案、地域の課題書」を実施。懇談会においては、ファシリテーターの進行のもと町民の意見に対し町長、副町長、教育長が発言することで、活発な意見交換の場となったが、特に町内の参加者が少なかった。地域の課題書については、地域からの提案も求めたが陳情的な意見が多い結果となった。</p> <p>・令和6年度より、若い世代をターゲットにSNSを活用し、月1回「協働」に関する投稿を開始したところ、若い世代でない方からも若干反響があった。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてののみ記載）</p> <p>指標1については、令和7年度の目標値に近い数値となっているが、年々低い数値となっている。指標2については、令和6年度が27.8%と過去10年間で一番低い数値となっていたが、令和7年度は33.7%と少し高い数値となっている。</p> <p>指標2については、特に10代・20代の52.4%が「わからない」と回答しており、若い世代に対するアプローチに力を入れる必要がある。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>令和6年度外部評価委員会の意見書にもあるように、指標2に関しては、町民同士のつながりが希薄になってきていること、時間的余裕のないこと、町は情報発信しているがそもそも町政に関心がないこと等、様々な理由が考えられるため、町政に関する情報を自ら取得することを心がけてもらうための働きかけも必要である。また、若い世代にも関心を持ってもらえるように情報発信の方法を検討する必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>現在の方法を継続しつつ、外部評価委員会の意見も踏まえ、町政に関する情報を自ら取得することを心がけてもらうための働きかけや、若い世代にも関心を持ってもらえるように情報発信について、より効果的な方法を検討していく。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>成果指標中「町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じる割合」の低下に一旦歯止めがかかったものの、低評価と認識すべき水準と考える。R6年6月から毎月1日にSNS(HP、LINE、X、Fasebook)による「協働のまちづくり」をテーマとした投稿を開始、また、R7年度は職員と町民が気軽に語り合う「しるべカフェ」を開催するなど新たな取り組みを進めているところだが、引き続き本アンケート結果を町政全体への評価と捉え、前提となる「情報の発信と共有」、「まちづくりへの参画機会の確保」に向け、全庁的な展開を図る必要がある。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	谷口 和美	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	3	人材・団体の育成と連携の推進
その他関連計画等		中標津町自治基本条例第19条	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
高度化・多様化する行政ニーズに対応するための自立したまちづくりを進めていくため、より積極的な町民参画を進め、協働のまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 各分野における人材の育成及び町民が取り組む事業など、自主的な活動を支援することにより、地域のリーダーを養成し地域おこし活動やコミュニティ活動を活性化。 町民活動団体にNPO・NPO法人に関する認証申請手続き等の情報の提供や必要な支援することで団体の自立、活性化。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じる町民の割合	%	単年	実績値	56.8%	59.5%	59.1%	57.0%	55.7%	54.1%	60.0%	70.0%
		累計	達成率(対R7)	94.7%	99.2%	98.5%	95.0%	92.8%	90.2%		
指標2 町民と行政が協力してまちづくりを進められていると感じている町民の割合	%	単年	実績値	35.1%	32.2%	36.7%	33.9%	27.8%	33.7%	40.0%	50.0%
		累計	達成率(対R7)	87.8%	80.5%	91.8%	84.8%	69.5%	84.3%		
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	80 千円	100 千円	580 千円	188 千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	80 千円	100 千円	580 千円	188 千円	0 千円
対前年度比		125.00 %	580.00 %	32.41 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1131	人材育成活動推進補助事業(フロンティア事業推進補助)	188	○						協働推進係
1132	NPO・NPO法人等支援事業	0	○						協働推進係
合計 2 事業		188							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	3	人材・団体の育成と連携の推進

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・フロンティア事業推進補助については、令和5年度より、従来主となっていたイベント開催の補助から人材育成事業の充実、また、町内会活性化に関する事業に対する補助を新設した内容で要綱の一部改正を行い運用。町HPや広報紙に掲載したほか、全町内会連合会の総会時に説明を行ったが、令和6年度は事前相談4件、うち2件の申請に留まった。</p> <p>・NPO・NPO法人への支援については、NPO・NPO法人認証に係る事務の申請手続きに関する情報など、政策推進課窓口の手引きを設置し閲覧可能としているほか、町HPIによりNPO法人に関する事項について継続して情報提供を行ったが、令和5年度に続き、令和6年度においても具体的相談等案件はなかった。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標1について、令和7年度の目標値に近い数値となっているが、年々低い数値となっている。指標2については、令和6年度が27.8%と過去10年間で一番低い数値となっていたが、令和7年度は33.7%と少し高い数値となっている。 町HPや広報紙等での情報提供を継続し、自主的な活動の支援を推進していく。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>・フロンティア事業推進補助については、令和5年度に要綱を一部改正し、町内会からの活用を見込んでいるが、全町内会連合会から会員の減少や役員のなり手不足等から、現状の事業を実施するのも大変な町内会が多いのではないかとのお話もあり、より活用しやすい内容に変更することもふまえた検討が必要である。</p> <p>・NPO・NPO法人認証申請手続きに関する情報提供を行っているが、相談等ないため具体的な支援には至っていない。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>・フロンティア事業推進補助については、令和5年度に要綱を一部改正してから3年が経過するが、申請数も少ないことから見直しを検討する必要がある。また、より多くの団体等に活用してもらえよう継続して周知活動を行っていく。</p> <p>・NPO・NPO法人の支援については、引き続き必要な情報提供を行い、相談等に対応していく。</p> <p>・道からのNPO・NPO法人認証に係る事務の権限移譲に関しては、すでに権限移譲している自治体の情報収集等を行い、必要に応じて対応していく。</p>
--	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>まちづくりの多様な担い手を育てる観点からも、幅広い人材・団体の育成は重要な施策である。様々な分野における個人・団体の自主的な活動を支援するフロンティア事業補助は貴重な制度であるが、活用が思うように進んでおらず、他の自治体の支援事例も参考に再構築を図る必要があると考える。</p> <p>合わせて、町内会はもとより、NPO・NPO法人や個人・団体の協働活動など、地域の多様な主体の掘り起こしと連携につながる枠組みの構築に向け検討を進めたい。</p>
--	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>自主的な活動の支援について、若者への支援や補助率・額も含めて有効な活用方法について検討していく。</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>フロンティア事業推進補助金については、申請団体の負担軽減につながる全額支援枠の創設の検討や、立ち上げ期における継続的な伴走支援の実施など、申請者が使いやすい制度設計を進める必要があると考えます。</p> <p>また、申請手続きの簡素化やターゲットを絞った広報活動の強化により、届けたい層に情報がしっかり届くよう、アプローチ方法を工夫する必要があると考えます。</p>
--

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部総務課	担当課長氏名	吉田 憲史	調書作成日	令和7年 8 月 7 日
-------	--------	--------	-------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	4	わかりやすい情報発信の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
広報紙や公式ホームページなど多様なメディアを活用した効果的な情報発信を行うとともに、時代のニーズに対応した情報発信ツールを増やし、情報取得手段の選択肢を広げる。	・誰もが、どこでも情報を入手できる環境を整えるため、広報紙、FMIはなを活用した情報発信に加え、デジタル社会に対応したツールによる情報発信を行う。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じる町民の割合	%	単年	実績値	56.8	59.5	59.1	57.0	55.7	54.1	60	70
		累計	達成率(対R7)	94.7%	99.2%	98.5%	95.0%	92.8%	90.2%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	218 千円	402 千円	377 千円	352 千円	千円
一般財源	15,945 千円	16,739 千円	18,509 千円	19,608 千円	千円
事業費	16,163 千円	17,141 千円	18,886 千円	19,960 千円	千円
対前年度比		106.05 %	110.18 %	105.69 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1142	情報発信推進事業	19,960	○						広報調査係
合計 1 事業		19,960							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	4	わかりやすい情報発信の推進

担当部・課	総務部総務課
-------	--------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>広報なかしべつに加え、町公式ホームページ、FMコミュニティ放送、フェイスブック、ツイッターにより、各種行政情報や緊急情報などをリアルタイムで入手することが可能な環境は随時整備されている。 公式LINEによる情報発信方法の工夫に努めた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>町民アンケートにおいては、R7の目標値に近い数値となっているが、下降傾向にある。 公式LINE運用開始後に上昇していたが、それが定着したことが要因と史料するが、より魅力アップを意識した作りや活用についての研究が必要と考える。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>日々進展している情報化社会の中で時代に即した情報サービスの提供が重要となっていることから、常に研究しなければならず、併せてセキュリティ対策の徹底が必要となっている。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>広報なかしべつと町公式ホームページをベースに、町公式LINEをはじめとしたSNSを有効に活用した情報発信により、町民が必要な時期に必要な情報を取得できる環境を拡充させることにより、効果的な情報伝達体制を町民へ浸透させたい。 町民との意見交換など、あらゆる場面で公式LINEの活用拡大に関する意見が見られる。 現状の仕組みを最大限活用したうえで、その先の展開を研究したいと考えていたが、他自治体の運用を参考に取組もうにも、現状システムでは限界も感じるどころ。 今後の展開に向けた具体的な検討・研究を進めたい。</p>
--	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>町民との情報共有は、自治・協働のまちづくりの基本原則であるとの認識のもと、行政からの積極的かつ多様なツールによる情報発信の必要性はもとより、進展する情報化社会においては、町民側からも自ら情報を求め活用する意識の醸成と一定のスキルも必要である。 町民アンケートにおける「町の知りたい情報が得られている」と感じる町民の割合を高めるため、引き続き広報なかしべつ及びHPをベースに、LINEサービスの拡充等情報発信に取り組むことと合わせ、情報の見え方・分かり易さといった「効果的な発信」の観点では、広報モニターなど外部の目線、評価も取り入れる必要があると考える。</p>
--	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部町史編さん室	担当課長氏名	本間 義昭	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	4	わかりやすい情報発信の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
開町80年を記念し、50年史発刊後30年の本町のあゆみを記録する資料として80年史を発刊する。併せて令和28年（2046年）開町100年時の100年史発刊の基礎とする。	30年間の本町のあゆみを記録し、開町80年の記念事業として令和7年度（2025年度）内の発刊を目指す。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	13千円	15千円	千円
一般財源	千円	千円	1,850千円	4,231千円	千円
事業費	0千円	0千円	1,863千円	4,246千円	0千円
対前年度比		%	%	227.91%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1142	中標津町80年史(仮称)発刊事業	15,992						○	町史編さん係
合計 1 事業		15,992							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	4	わかりやすい情報発信の推進

担当部・課 総務部町史編さん室

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
 令和6年度に予定していた編さん専門委員による原稿の執筆作業が終了し、会計年度任用職員による1回目の校正作業が終了した。当初予定では職員による2回目の校正作業まで終了しているはずだったが、人員と時間の確保ができず遅延となった。令和7年度に体制の見直しと作業の効率化を図る。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 <small>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</small>	施策の進行
	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">C</div>
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

令和7年度からの作業内容の見直し、人員体制の見直し、作業の効率化を検討し、年度内完成、発刊を目指す。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	令和7年度末の完成、発刊に向けて作業進行中である。頒布等の業務が残ると思うが、事務事業として令和7年度事業完了は予定通りと考える。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 板橋 豊

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	80年史については、予定通りR7年度末に納品、完了の予定。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	渡部 寛親	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1 つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1 協働のまちづくりの推進
	主要施策	4 わかりやすい情報発信の推進
その他関連計画等		中標津町自治基本条例第5条、第25条
その他関連施策		
担 当 課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
・（まちづくり出前講座）町民に町政に対する理解や関心を深めてもらい、町民と行政の協働によるまちづくりを推進する。 ・町の予算の使い道（主要施策）を説明した冊子「よくわかることしの中標津づくり」を作成し、町民に対して予算の内容を具体的に周知する。	・（まちづくり出前講座）より多くの町民に活用してもらい、町政に対する理解や関心を深めていただく。 ・より分かりやすい内容でより多くの町民に情報提供し、町政についての理解・関心を深めていただく。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じる町民の割合	%	単年	実績値 56.8%	59.5%	59.1%	57.0%	55.7%	54.1%	60.0%	70.0%
		累計	達成率(対R7) 94.7%	99.2%	98.5%	95.0%	92.8%	90.2%		
指標2 町民と行政が協力してまちづくりを進められていると感じている町民の割合	%	単年	実績値 35.1%	32.2%	36.7%	33.9%	27.8%	33.7%	40.0%	50.0%
		累計	達成率(対R7) 87.8%	80.5%	91.8%	84.8%	69.5%	84.3%		
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1141	まちづくり出前講座開催事業	0	○						企画調整係
1141	「よくわかることしの中標津づくり」発行事業	0	○						企画調整係
合計 2 事業		0							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	4	わかりやすい情報発信の推進

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか (まちづくり出前講座) 令和6年度開催実績は83件、参加人数3,570名と、前年実績(52件、2,219名)を上回る結果となり、コロナ以前含め、過去最高(H13年度以降)の実施数となった。 特に防災対策講座が増加傾向(R6年度:15件1,392人)であり、学校単位での申込が定着していることが要因となっている。 ・「よくわかることしの中標津づくり」については昨年同様、公共施設窓口への配架のほか、町広報紙(町HPへのQRコード含む)、ホームページや公式フェイスブック・ツイッターにより周知。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要(第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載) ・成果指標である町民アンケートの「町の情報について、知りたい情報が得られていると感じる町民」は令和6年度54.1%と減少が続いている。(R3年度59.5%、R4年度57.0%、R5年度55.7%) 年代別に見ると若い世代ほど情報が得られていると感じる割合が低いことから、目標値令和7年度60%、令和12年度70%を達成するためには、若い世代に伝わりやすい情報発信や情報不足と感じる項目ごとに、要因や方策を検討していく必要がある。	施策の進行 B A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

<p>・まちづくり出前講座は、まちの情報発信、情報共有において有効な手段であるが、実施テーマの偏りや実施件数の増加により職員の負担が増加している。 動画配信やWEBを活用した開催方法など、多様な開催方法についても検討が必要。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 A A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	理由 ・まちづくり出前講座は、現状の運営方法で実施しつつ、動画やwebを活用した講座の開催や、住民に伝えたい情報に関するメニューなど、引き続き検討していく。 ・よくわかる今年の中標津づくりについては、引き続き、町民が情報を取得しやすい手法の検討と、内容について分かりやすさ、魅力度が落ちないように工夫をしながら継続して作成していく。
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方 A A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	理由 町が進める施策を町民に知っていただくうえで、「まちづくり出前講座」、「よくわかることしの中標津づくり」は身近で重要な手法と考える。 「まちづくり出前講座」は、利用件数も増加し、町民の認知度も高まっていると思われるが、利用メニューに偏りもあり、メニュー内容の検討と合わせ、オンラインの活用等新たな展開も検討する。 「よくわかることしの中標津づくり」は、冊子のほか、R5.6月より町HPのトップページにバナーを掲載し閲覧可能としているが、引続き、町民の視点に立った分かりやすい発信方法と内容について工夫する。
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	議会事務局	担当課長氏名	舟橋 利明	調書作成日	令和7年 8 月 1 日
-------	-------	--------	-------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1 つながりが未来を築くまちづくり	
	施策項目	1 協働のまちづくりの推進	
	主要施策	4 わかりやすい情報発信の推進	
その他関連計画等		中標津町自治基本条例	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
協働のまちづくりの推進に向け、議会の役割、活動全般を周知する。	<ul style="list-style-type: none"> ・議会活動について町民に理解をもらう。 ・議会の運営等に町民の要望、意見を取り入れる。 ・議会の傍聴者、議会報告会の出席者が増える。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 議会報告会参加者数	人/年	○ 単年 累計	実績値 達成率(対R7)	中止 —	26 47.3%	中止 —	29 52.7%	中止 —	13 23.6%	55	80
指標2 定例会傍聴者数	人/年	○ 単年 累計	実績値 達成率(対R7)	27 67.5%	27 67.5%	19 47.5%	65 162.5%	77 192.5%	0.0%	40	50
指標3 町民懇談会参加者数	人/年	○ 単年 累計	実績値 達成率(対R7)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	30	60

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	2,750 千円	2,890 千円	3,233 千円	3,390 千円	千円
事業費	2,750 千円	2,890 千円	3,233 千円	3,390 千円	0 千円
対前年度比		105.09 %	111.87 %	104.86 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1141	議会情報発信推進事業	3,390	○						総務係
合計 1 事業		3,390							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	4	わかりやすい情報発信の推進

担当部・課	議会事務局
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりの掲載内容見直しと併せ、ホームページの内容を充実させることができ、広報の一定の役割を果たしている。 議会モニター制度により、定例会・委員会の傍聴機会が増加し、議会活動の一部ではあるが理解いただいている。 議会モニターは5期目に入り、議会の運営等に率直な意見を多数いただくことができている。 議会報告会は、令和6年度は改選期であったこと、また決算審査特別委員会を全議員が委員として対応したことから開催を見送った。 	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりは議会広報特別委員会で編集されているが、新たな編集課題などの議論は進んでいない。 議会モニターが9名で一定の意見は期待するが、モニターの役割については浸透が深まらない状況。 ホームページ内容も少しづつ改良しているが、まだまだ内容の充実が望まれる。 町民懇談会の開催ができていないが、各委員会では積極的に各種団体と懇談会を開催している。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	舟橋 利明
--------	-------

施策の進め方	理由
A A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	議会だよりは、ホームページとのすみわけにより効果的な情報発信につながっており、また議員個々の活動が分かるよう、これまで公表していなかった部分を見る化するなど工夫をしてくれているが、今後もさらに内容の充実を図っていく。議会報告会は、令和6年度は改選期でもあり未実施となったが、令和7年度の参加数が伸びなかったことから今後の実施方法について協議していく。町民懇談会は気軽に申し込んでいただけるよう、簡易なチラシを作成しホームページで引き続き周知をしていく。議会本会議の動画配信については、令和7年6月定例会より委員会代表質問及び一般質問のYouTube配信を開始することができ、今後も継続していく。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	谷口 和美	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	5	自治・コミュニティ活動の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
町民自ら取り組むまちづくり活動の推進、及び地域コミュニティの活性化	地域コミュニティの活性化を図ることで行政と町民、企業、団体の協働により地域の課題解決に繋げる

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じる町民の割合	%	○ 単年	実績値	56.8%	59.5%	59.1%	57.0%	55.7%	54.1%	60.0%	70.0%
		○ 累計	達成率(対R7)	94.7%	99.2%	98.5%	95.0%	92.8%	90.2%		
指標2 町民と行政が協力してまちづくりを進められていると感じている町民の割合	%	○ 単年	実績値	35.1%	32.2%	36.7%	33.9%	27.8%	33.7%	40.0%	50.0%
		○ 累計	達成率(対R7)	87.8%	80.5%	91.8%	84.8%	69.5%	84.3%		
指標3		○ 単年	実績値								
		○ 累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	2,500 千円	2,200 千円	2,400 千円	2,500 千円	千円
一般財源	147 千円	397 千円	1,570 千円	559 千円	千円
事業費	2,647 千円	2,597 千円	3,970 千円	3,059 千円	0 千円
対前年度比		98.11 %	152.87 %	77.05 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1153	計根別地域振興補助事業	559							協働推進係
1153	コミュニティ助成事業	2,500							協働推進係
1153	農村集落コミュニティ振興事業	0							協働推進係
合計 3 事業		3,059							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	5	自治・コミュニティ活動の推進

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・令和4年度から計根別地域の各団体における事業実施区分の見直しがあり、令和3年度までの2団体（計根別同志会、計根別地域総合振興対策協議会）に計根別町内連合会が加わり3団体となり、計根別地区におけるコミュニティの活性化に繋がっている。</p> <p>・コミュニティ助成事業については、1町内会（西竹町内会）へ助成した。また、複数の申請があった時は抽選により選定することになっており、毎年申請し抽選で外れてしまう団体があるため、選定方法の見直しを行い要綱の一部改正を行った。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標1について、令和7年度の目標値に近い数値となっているが、年々低い数値となっている。指標2については、令和6年度が27.8%と過去10年間で一番低い数値となっていたが、令和7年度は33.7%と少し高い数値となっている。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>・地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした継続事業であるが、計根別地域の補助金は活用用途が形骸化している側面がある。</p> <p>・コミュニティ助成事業について、複数の申請があった時は抽選により選定することとなっているが、近年は複数の団体から申請があり抽選となっており、毎年申請し抽選で外れてしまう団体があるため、選定方法の見直しを行った。また、令和7年度募集より、2団体の申請を行えることになり、優先順位をつけて申請したが、令和7年度においては2団体とも不採択となった。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>計根別地域における市街地から離れた地域コミュニティの活性化を図るため、事業の継続は必要だが、新たな取り組みを検討するなど、地域との話し合いも含め活性化に繋がるよう取組を推進していく。また、コミュニティ助成事業については、継続して申請に係る支援をしていく。</p>
--	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>本評価に係る施策中、計根別地域については、農業高校を核とした教育連携や、都市マスにおける地域構想、さらには祭りなどのイベントを通じた独自のコミュニティが築かれており、引き続き地域の自主的な活動を支援する施策として必要と考える。また、R7年5月に「(仮称)計根別まちづくり協議会」の設立に向けた関係者の集まりが開かれオブザーバとして参加したが、(株)明治の進出を踏まえた新たなコミュニティ・地域づくりを計根別地域としてどう考え推進していくか、そこに必要な町の施策は何かという視点で、部局横断的な協議も今後必要と考える。</p>
--	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>計根別地域振興のため、各部署が関連する施策を共有し、計根別地域住民との連携を進める。</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	5	自治・コミュニティ活動の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
全町内会連合会は、町内の単位町内会の取りまとめ役として、地域コミュニティ活動の中心的役割を担う。町民のコミュニティ活動の推進のため、全町内会連合会の活動強化を支援	地域コミュニティの活性化を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
		達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
		達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
		達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	5,722 千円	5,780 千円	6,300 千円	5,730 千円	千円
事業費	5,722 千円	5,780 千円	6,300 千円	5,730 千円	0 千円
対前年度比		101.01 %	109.00 %	90.95 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1151	全町内会連合会活動推進事業	5,730	○						交通町民相談係
合計 1 事業		5,730							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	5	自治・コミュニティ活動の推進

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>全町内会連合会との連携により、町ホームページを活用して、機関紙の掲載や加入促進のパンフレットの掲載を行い、それにより町民に各町内会の活動内容を知らせることができた。また全町連に対する補助により、事務局運営や事業の円滑な実施を支援できた。令和2～4年度はコロナ禍により、一部事業の中止に伴い補助金の返還となったが、令和6年度についてはWEB会議により旅費の減額等により事業費の減額となっている。</p> <p>町内会加入率向上のための取組みを進めており、令和4年度に全町連が実施導入した全国的にもめずらしい「町内会加入カード」事業の支援、令和5年度に全町連と連携し「町内会加入促進のぼり」について役場庁舎や支所、文化会館などに掲示し啓発事業を実施。令和6年度には本町で「町内会加入促進のぼり」を150枚作成し、各町内会へ配布を行い更なる啓発事業を実施。加入率の低下が続く中、V字回復は非常に難しく、大きな成果は得られていない。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>高齢化が進み、町内会組織の弱体化に加え、加入率の低下は近い将来、組織の維持ができなくなる。との危機感がある。</p> <p>また、町内会活動の衰退は地域コミュニティの弱体化や災害、環境保全などへの対応力の低下に繋がる懸念がある。</p> <p>町内会は任意団体であることから強制加入することはできないが、各町内会が考え、それぞれ魅力ある活動を展開していく必要がある。</p> <p>また、庁内各部署において、町内会組織に対して様々な（依頼、協力、補助支援、等）な関係性があるが、この行政協力業務について、加入率が低下する町内会にとって少なからず負担となっている可能性もあるが、地域コミュニティや防災の観点からも、必要性も含め検証が必要。</p> <p>本町として、これまでの支援に加え、一歩踏み込んだ形で全町連と連携することが重要。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>各町内会は全町内会連合会と連携して各種問題に積極的に取り組んでいく必要がある。行政も町内会活動に、災害時の対応や見守り活動などに大きな役割を期待している。また、任意団体であるため加入促進については強制されるものではなく、難しさがあるものの地域活性化のため、本町としてこれまでの連携や実績を評価しつつ、さらなる連携について何が出来るのか、全町連と十分協議を行っていく必要がある。</p> <p>加入率増加への対策については、R4に『町内会カード事業』を支援。R5に『町内会加入促進のぼり』を役場庁舎や公共施設に積極的に掲示するなど啓発事業を実施。R6に本町として『町内会加入促進のぼり』を150枚作成し各町内会へ配布。R8に向けては、これまでの支援に加え、行政協力業務について、町内会にとって負担や押し付けとなっていないか、関係性や連携について各部署において精査、検証を進めていく。また、全町連への活動強化支援事業を継続していく。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>町内会組織は、地域のコミュニティ形成に重要な役割を果たしており、最小単位の自治組織として、災害時の対応や高齢者の見守り、環境美化等に期待をしているところであり、今後も全町内会連合会との連携を強化し、魅力ある町内会の構築を支援し、組織強化を目指す。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>全町内会連合会の自主的、自律的な運営体制の構築に向けた研究を進めるとともに、加入率に対する課題については改めて拾いだしていく。</p>
--

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	5	自治・コミュニティ活動の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
町有会館の指定管理委託や、地域民有会館の活動補助を行い、町民の地域コミュニティ活動の推進を図る。	町有会館並びに地域民有会館が地域コミュニティ活動の拠点として適切に管理運営が行われる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	3,117 千円	3,141 千円	2,951 千円	2,957 千円	千円
事業費	3,117 千円	3,141 千円	2,951 千円	2,957 千円	0 千円
対前年度比		100.77 %	93.95 %	100.20 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1152	町有会館運営管理経費[指定管理委託]	1,112							交通町民相談係
1152	地域集会施設運営補助事業[民間会館]	1,845							交通町民相談係
合計 2 事業		2,957							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	5	自治・コミュニティ活動の推進

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>町有会館は指定管理者として、町内会所有の地域会館は運営助成金などの支出によって財政支援を行っており、地域のコミュニティ活動の場として有効活用されている。平成30年度においてはまこと町内会館の新築工事に対して補助を実施し、令和元年度においては若竹へき地保健福祉館(会館台帳から既に除外済。使用していなかった)の老朽化による解体を実施した。(会館数の変動なし) R2～3は解体なし。R4に協和会館の解体を実施。解体後は、町有会館ではなく、地域会館として民有会館が建設され、補助を行った。また、R2より南俣橋会館(民間会館)は、地域より町補助未申請の申出あり。当面存続するとの事で、会館数の変動なし。また、地域民有会館への活動支援も実施し、地域コミュニティ活動の場として有効活用されている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>町が整備した地域会館は老朽化が進んでおり、特に郡部における地域会館は耐用年数をすでに超えており、その対策が必要である。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>町の施設である町有会館は、指定管理者として管理を行っている。 また、町内会の所有する地域会館は、町内会館運営助成金などの支出によって財政支援を行っている。 町内会によっては、独自の町内会館を確保していないところがあるが、今後も町内会での町内会館建設に対し建設費の一部を補助する制度を活用しコミュニティ活動の拠点として充実を図る。 現在、町有会館を新築・新設する考えはない。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>町有会館は指定管理者として、町内会所有の地域会館は運営助成金などの支出によって財政支援を行っており、地域のコミュニティ活動の場として有効活用されている。 地域会館は、町が整備したもの、町内会所有のもの、道営住宅等を活用しているものなど形態は様々であるが、町が整備した地域会館は、耐用年数を超えている施設も多く、整備が進んでいない状況である。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	5	自治・コミュニティ活動の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
町民の余暇の充実を図り、自然とふれあいの場を提供する。	家庭菜園を通じて、農業への関心を高め、収穫の喜びを知り楽しむ等、明るい地域づくりの活動の一つとする。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 区画利用数	区/年	○ 単年	実績値	96	116	122	128	123		125	150
		累計	達成率(対R7)	76.8%	92.8%	97.6%	102.4%	98.4%	0.0%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	232 千円	244 千円	256 千円	246 千円	千円
一般財源	200 千円	184 千円	191 千円	245 千円	千円
事業費	432 千円	428 千円	447 千円	491 千円	0 千円
対前年度比		99.07 %	104.44 %	109.84 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1152	家庭菜園造成事業	491							交通町民相談係
合計 1 事業		491							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	1	協働のまちづくりの推進
	主要施策	5	自治・コミュニティ活動の推進

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>町民の交流の場として家庭菜園を貸し出しており、実績として平成30年度については、164区画のうち全体の50%にあたる82区画、令和元年度は、150区画のうち全体の58%にあたる88区画、令和2年度は、全体の64%にあたる96区画、令和3年度は、全体の77%に当たる116区画、令和4年度は、全体の81%にあたる122区画、令和5年度は、全体の85%にあたる128区画、令和6年度は、全体の82%にあたる123区画が利用されていることから、交流の場としての家庭菜園の目的は概ね達成されている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>平成30年度、令和元年度の区画利用数は低調であったが、コロナ禍以降、令和2年度から令和5年度まで、区画利用数が毎年増加傾向にあったが、コロナが5類となり、落ち着いて来ると、令和6年度は減少に転じた。今後も様子を注視する必要がある。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>ここ数年、コロナ過により、野菜作りや自然志向が見直され、人込みを避け、家庭菜園を利用される方が増えてきた。しかしながら、30区画弱が未利用の状態であるので、引き続き利用率向上の対策が必要。</p> <p>また、菜園は標津河川敷に隣接しているが、利用者ごとに区画の防除対策ネットを設置しているものの、小動物による作物の鳥獣被害が生じている。このことから、利用者からは、敷地全体を金属製フェンスで囲って欲しいとの要望もあるが、管理上や予算面で設置は難しい状況。</p> <p>一方、これまでの被害に加え、近年は本町でも市街地や河川敷に「ヒグマ」出没の通報も増えている状況もあり、検討が必要。野生鳥獣対策担当課とも情報共有したい。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>家庭菜園について広く住民に周知し、より使いやすいよう改善し利用者の拡大を図っていく。平成28年度から空き区画の有効利用のため複数区画の貸し出しを実施したが今後も継続する。未利用区画の対策として、新規利用団体に対してお試し利用制度を活用し、利用率向上を図る。仮にフェンスを設置した場合、入口ゲートの管理、逆に動物が入ってしまった場合の対応、数千万円の予算確保など十分に検討する必要がある。さらに、ヒグマによる影響が大きい場合、万が一の人身被害とならないよう、「菜園の閉鎖」も視野に入れる必要もある。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>家庭菜園については、広報等を通じて広く町民に周知し、利用者の拡大を図るとともに、需要に応じた施設整備を検討する。さらに利用者の拡大を図るため、新たに菜園に取り組みたい方へのアプローチが必要であり、初めて利用する方には、無料のチャレンジ枠の設定や、アドバイザーを発掘し指導する仕組みづくり等も取り入れるなど、利用率の向上を図るとともに、害獣による被害が及ばないよう安全対策を徹底する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1 つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	2 国際化、地域間交流の促進
	主要施策	1 国際交流、多文化共生社会の実現
その他関連計画等		
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために） 全国において在留外国人が増加する中で、本町においても、農業における外国人技能実習生をはじめ、日本語学校開設による外国人留学生の受入れなどにより、今後ますます国際化や多文化共生に向けた町民の意識醸成の必要性が高まっていく。同時に、本町を訪れる外国人が慣れない土地で安心・安全に生活・滞在するための支援が必要である。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 国籍を問わず、すべての町民が互いの文化や価値観を認め合う多文化共生の考えを持ち、多くの人に関り、訪れ、交流するまちを目指して、国際化に向けた環境整備を推進するとともに、多文化共生社会の実現に向けた外国住民の支援や交流活動等を推進する。
--	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
										R7	R12
指標1 国際交流、地域間交流が行われていると感じる町民の割合	%	○ 単年	実績値	-		21.8	21.5	29.3	33.0	15.0	20.0
		○ 累計	達成率(対R7)		0.0%	145.3%	143.3%	195.3%	220.0%		
指標2 在住外国人数の増加(留学生定員50人の在留資格交付率6割を1割程度押上)	人/年	○ 単年	実績値	-	-	166	204	275		232	282
		○ 累計	達成率(対R7)			71.6%	87.9%	118.5%	0.0%		
指標3		○ 単年	実績値								
		○ 累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	7千円	11千円	16千円	474千円	千円
一般財源	3,564千円	4,620千円	33,667千円	9,596千円	千円
事業費	3,571千円	4,631千円	33,683千円	10,070千円	0千円
対前年度比		129.68 %	727.34 %	29.90 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1212	多文化共生推進事業	10,070	○						地域振興係
合計 1 事業		10,070							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	2	国際化、地域間交流の促進
	主要施策	1	国際交流、多文化共生社会の実現

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
8月に国際交流員(CIR)が2名着任し、積極的に町内在住外国人と町民との交流会を企画、実施している。その結果、国際交流に興味のある町民と在住外国人とが関われる機会が創出され、多文化共生社会の構築が進められている。また町民の多文化共生に資する理解や意識の醸成が推進し、町民主導による交流会開催なども増え、留学生当の在住外国人が孤立しないようなコミュニティの構築が進んでいる。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載） 多文化共生推進事業が町民に徐々に認知されていると判断。	施策の進行 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

在住外国人が増加しており、災害時の対応含め所在の把握が急務。 将来的な人材不足に対し、町内外国人材活用事業者の意識醸成。 日本語学校が適正校になり、生徒確保は以前と比べ容易になり定員充足にむけ順調であるが、生徒増による就学支援金の増加に対する町民への理解が急務。日本人への他の支援とのバランスを考慮しながら、丁寧に進める必要がある。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	多文化共生推進事業については、CIRを軸に町民と在住外国人の交流を深めるための事業を引き続き実施する。 国際交流ボランティア制度を活用し、継続性のある交流イベントの実施の他、増加する在住外国人の把握するため受入れ企業を訪問し、相談対応など在住外国人が孤立しないような環境を整える。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	外国人技能実習生をはじめ、日本語学校留学生の受け入れにより、今後ますます国際化や多文化共生に向けた町民の意識醸成の必要性が高まっている。 同時に、本町に訪れる外国人が慣れない土地で安心、安全に生活、滞在するための支援も必要であることから、国際交流員(CIR)の活用を期待するとともに、CIR活動の情報発信を充実させ、多文化共生社会の実現に向けた外国人住民の支援や交流活動等を推進していく。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

現在、多くの外国人が様々な目的のために中標津町へ来町しており、町民も外国人との共生に対する理解が進んできていると感じます。一方で、まだ不安を感じている町民への理解促進に向けた取り組みを続けていく必要性も感じます。 日本語学校では、町内企業に就職する留学生も現れており、今後さらにそうした人材が増えることを期待するとともに、就職後のフォローアップ体制の整備や、受け入れ側事業者向けの研修・セミナーの実施についても充実を図っていく必要があると考えます。

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	2	国際化、地域間交流の促進
	主要施策	1	国際交流、多文化共生社会の実現
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
人口減少と少子高齢化が進行する我が国において、本町も人口減少が顕著となり、これに伴い様々な産業での人手不足が生じている。基幹産業である酪農・農業分野においても担い手・働き手の確保は大きな課題となっており、産業人材の不足は地域産業の衰退・将来の破綻も危惧される懸念材料となっている。	外国人材が人手不足を補完する社会構造にシフトしつつあることから、岩谷学園と連携し、海外プロモーションを積極的に行い、外国人材の誘致推進活動を推進し町内の労働人材を確保する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	16千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	33,667千円	72,631千円	千円
事業費	0千円	0千円	33,683千円	72,631千円	0千円
対前年度比		%	%	215.63%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1212	外国人材誘致推進事業	72,631				○			地域振興係
合計 1 事業		72,631							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	2	国際化、地域間交流の促進
	主要施策	1	国際交流、多文化共生社会の実現

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>キルギスとインドネシアの2カ国において、中標津町PRセミナーを開催。また、現地送出機関と教育機関を中標津町に招聘し事業者とのマッチングを実施した。留学生就学支援金は生徒並びに海外関係者の評価が高く、生徒の安定した留学生生活の一助となっている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>将来的な人材不足に対し、町内外国人材活用事業者の意識醸成。 岩谷学園生徒増による就学支援金の増加に対する町民への理解が急務。日本人への他の支援とのバランスを考慮しながら、丁寧に進める必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>R5から実施し3年経過し、一定の効果が見られたため、町独自で実施する海外へのプロモーションは縮小するが、他が主催する海外プロモーションに参加するなど検討したい。 人材不足が顕著な事業所は独自に推進しているところが見受けられ、他の業種についてもニーズを把握しながら、3年間で培った海外及び国内の関係機関を通じ、引き続き事業推進する。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>留学生確保については、学園との連携も図りながら一定の水準まで到達した。今後維持していくための取り組みも必要と考える。また、定員増の検討がなされた場合はさらなる連携事業も必要と考える。 海外プロモーションは理解ある企業、危機感のある企業にあっては既に取り組んでいることから、まだ取り組んでいない町内企業に対する相談業務に注力を注がなければならない。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>現在、多くの外国人が様々な目的のために中標津町へ来町しており、町民も外国人との共生に対する理解が進んできていると感じます。一方で、まだ不安を感じている町民への理解促進に向けた取り組みを続けていく必要性も感じます。 日本語学校では、町内企業に就職する留学生も現れており、今後さらにそうした人材が増えることを期待するとともに、就職後のフォローアップ体制の整備や、受け入れ側事業者向けの研修・セミナーの実施についても充実を図っていく必要があると考えます。</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	渡部 寛親	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	2	国際化、地域間交流の促進
	主要施策	2	関係人口・交流人口の拡大
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 関係人口・交流人口の拡大	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 様々な地域、分野、本町をふるさとにもつ人々との交流推進を図ることで、定住人口の確保だけでなく、人口減少社会における地域活性化に繋げる。
-----------------------------	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 国際交流、地域間交流が行われていると 感じる町民の割合	%	単年	実績値	-	21.8	25.6	21.5	29.3	33.0	15.0	20.0
		累計	達成率 (対R7)		145.3%	170.7%	143.3%	195.3%	220.0%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率 (対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率 (対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	300 千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	561 千円	790 千円	438 千円	千円
一般財源	490 千円	2,033 千円	2,687 千円	2,644 千円	千円
事業費	490 千円	2,894 千円	3,477 千円	3,082 千円	0 千円
対前年度比		590.61 %	120.15 %	88.64 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1222	大学交流推進事業	438				○			企画調整係
1222	地域活性化起業人派遣事業	933	○						企画調整係
1221・1222	関係人口創出事業	1,711	○						ふるさと応援係
合計 3 事業		3,082							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	2	国際化、地域間交流の促進
	主要施策	2	関係人口・交流人口の拡大

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>【大学交流推進事業】令和6年度は、旭川市立大学、神奈川工科大学のほか、北海道の「大学と地域との連携事業」として来町した法政大学を含め、3団体25名の学生が来町し、地域交流を実施。また、法政大学においては、地域課題の解決に向けたフィールドワーク、町内の若者を交えたフォーラムに参加し、地域の実情を踏まえた提案を行うなど、新たな大学とのつながりが生まれた。</p> <p>【地域活性化起業人派遣事業】官民連携による地域課題の解決や地域活性化に向けた取り組みのひとつとして、㈱ネオキャリア、㈱ふるさと開拓ラボと町との三者で包括連携協定を締結し、令和7年2月より㈱ネオキャリアから地域活性化起業人が派遣され、地域事業者や商工会等関係団体とのヒアリングによる地域課題やニーズの調査を開始した。</p> <p>【関係人口創出事業】川崎市が市政100周年を迎えるにあたり、記念式典へ町長が出席、また「かわさき市民祭り」では、中標津太鼓が伊藤多喜男氏とステージイベントへ共演し、本町のPRを実施。「川崎市ジュニア文化賞児童交流」は、14名の受賞者を受入れ、地元小学生との交流が図られた。「ふるさと会」においては、東京中標津会総会及び札幌中標津会総会が開催され、町長はじめ関係者との交流を深めることができた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>・町民全体では「交流が行われていると感じる」、「どちらかといえばそう感じる」と回答した割合は33.0%となり、既に目標値を超え令和5年から右肩上がり増加しているが、日本語学校、IT専門学校の学生たちが町内で活動していることから、主に国際交流の面で増加していると推察。 ・事由記載から、地域間、他の市町村との交流についてはわからない、知らないなどの記載が散見され、川崎市やふるさと会との交流については町民の認知度は低い可能性が高い。</p>	<p>施策の進行</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>・大学交流推進事業においては、フィールドワークを通じた学生から提案報告など大学との関わりが促進されているが、今後どういった関わりを深めていくか、次の展開に繋げていくための方策を検討する必要がある。</p> <p>・関係人口創出事業においては、「ふるさと会」の会員の高齢化、後継者不足が顕在化してきており、ふるさと会の活性化に向けた展開の検討が必要。また、川崎市との事業についても、マンネリ化しており関係人口創出に向けた効果的な事業を検討していく必要がある。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
B	<p>【大学交流推進事業】大学生が地域課題の発見、解決策の検討を行うプログラムから更なる関係人口の進展に向けて、関わりをもった学生が引き続き地域で活動ができる方策を検討していく。</p> <p>【まち・ひと・しごと創生推進事業】令和7年度より当該事業として新たに実施。令和8年度も引き続き、地域おこし協力隊制度、地域活性化起業人制度を活用した定住人口増加、地域活性化に向けた事業展開を進める。また、官民連携による地域活性化、地域課題解決を推進するとともに、企業派遣型地域おこし協力隊の制度運用について検討を進める。</p> <p>【若者定住促進事業】令和6年度までの実証事業の検証結果から、令和7年度より新規事業として、地域おこし協力隊が主体となった、若者の賑わい、交流イベントを実施し、その結果を検証のうえ、ブラッシュアップを図っていく。</p> <p>【関係人口創出事業】引き続き、ふるさと会、川崎市との交流を図り関係人口のすそ野を広げる事業を展開するとともに、ふるさと納税の促進や、実効性のある関係人口創出プロモーション展開について検討していく。</p>
<p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
B	<p>大学交流については、この間、補助金でつながる個別分野での連携と合わせ、近年は、CCS(ミチシロ力)、小樽商大、法政大学などまちづくり全般に係る連携・交流が生まれており、これらについては、継続した関係構築に向けた展開・戦略を大学側と協議する必要がある。大学交流予算については、最終的には大学との連携協定等、発展的な関係性への導入予算として、同一大学への長期的な交付については見直す必要もあると考える。</p> <p>まちひとしごと創生事業については、地域活性化企業人の採用をはじめ、新たに企業派遣型・フリーミッション型・若者定住の地域おこし協力隊採用など大きく前進した。R7年度は試行錯誤をしながらベースを作り、R8年度は活躍の場を広げられるよう連携を密に進める。</p> <p>都市間交流については、川崎市、札幌・東京ふるさと会がメインであるが、本町に縁のある個人・企業・団体との関係を構築する施策について、企業版を含むふるさと納税の推進と合わせ検討できないかと思慮。</p>
<p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	2	国際化、地域間交流の促進
	主要施策	2	関係人口・交流人口の拡大
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
人口減少社会における地域活性化のためには、定住人口の確保だけでなく、町外の人を呼び込み、関り、交流することや、様々な分野における他地域との交流が必要である。本町では、これまで「お試し暮らし」をはじめ、実移住を目的とした移住施策を展開してきましたが、今後は関係人口・交流人口拡大も含めた、幅広い事業展開が必要となっている。	地域資源を有効活用し、移住を視野に入れた関係人口・交流人口の創出に努めるとともに、様々な分野を通じた地域間交流により地域活性化を推進する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 移住促進事業による移住世帯	世帯	単年	実績値	12	12	13	13	13			
		累計	達成率(対R7)	85.7%	85.7%	92.9%	92.9%	92.9%	0.0%	14	16
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	1,003 千円	1,124 千円	1,015 千円	1,113 千円	千円
事業費	1,003 千円	1,124 千円	1,015 千円	1,113 千円	0 千円
対前年度比		112.06 %	90.30 %	109.66 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1222	関係人口創出事業	963	○						地域振興係
1223	インカレねむる事業推進協議会負担金	150						○	観光振興係
合計 2 事業		1,113							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	2	国際化、地域間交流の促進
	主要施策	2	関係人口・交流人口の拡大

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・東京で開催した「北海道移住・交流フェア2024」に出展し、18組の相談を受けた。お試し暮らしは11組31名、滞在日数478日の利用があった。</p> <p>・1市4町で協議会を設置し大学の研究に対し支援している大学ゼミ合宿の受入れは0件</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>移住・交流フェアに参加した方が実際に移住に繋がった方、また当該フェアの参加によらず移住した方もおり、実移住者はいるが追い切れていないため実績にカウントできていない。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>全国的な人口減少のなかでは、移住促進を推進は人口の奪い合いとなっている。関係人口・交流人口の促進を図り、2地域居住などにシフト。なかしべつ観光協会が事業に協力的ということもあり、連携推進していく。</p> <p>インカレ根室についても管内各自治体が個別で大学と連携しているなど、インカレ根室の枠組みを利用しない事例が多く、協議会のありかたを検討すべき時期である。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>移住については、観光協会が意欲的に事業推進しているため、引き続き町と連携しながら推進する。お試し暮らしと民泊制度についてお試し暮らし施設保有者と検討する。</p> <p>インカレ根室については事務局（別海町）主体により、管内で方向性を決定する。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>実際の移住につながったケースもあるが、ほとんどは移住を目指す失敗する例が散見されることから、緩やかな関係づくりが大切で、滞在日数が短くてもいいから繰り返し来てもらうことが重要となってくる。</p> <p>そのためには、印象深い体験や楽しい体験をする機会を創出し、地域への愛着度を高めてもらうことが重要である。</p> <p>国、北海道と連携して若者の地方移住に対する支援強化を拡充し、若者が地元に住み続けることができる環境を整える必要がある。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	谷口 和美	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	3	北方領土対策の推進
	主要施策	1	北方領土対策の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
北方領土早期返還の実現のため	北方領土隣接地域、関係団体が連携し、返還運動への意識喚起、後継者の育成、交流事業や医療支援など取り組みを推進し、ロシアとの平和条約締結交渉の促進に向けた環境整備

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 北方領土問題を身近な問題として感じている町民の割合	%	○ 単年	実績値	55.0%	52.9%	60.8%	55.7%	49.9%	50.5%	60.0%	70.0%
		累計	達成率(対R7)	91.7%	88.2%	101.3%	92.8%	83.2%	84.2%		
指標2 北方領土返還署名筆数	筆	○ 単年	実績値	1,208	1,059	1,698	2,954	2,730		2,500	3,000
		累計	達成率(対R7)	48.3%	42.4%	67.9%	118.2%	109.2%	0.0%		
指標3		○ 単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	170 千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	770 千円	695 千円	703 千円	千円
事業費	0 千円	940 千円	695 千円	703 千円	0 千円
対前年度比		%	73.94 %	101.15 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1311	北方領土返還要求運動団体支援事業	628	○						北方領土対策係
1312	北方領土問題啓発事業	75	○						北方領土対策係
1313	北方四島交流等事業	0	○						北方領土対策係
合計 3 事業		703							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	3	北方領土対策の推進
	主要施策	1	北方領土対策の推進

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>コロナ5類への移行により、千島連盟と連携した署名活動や、北隣協としてのイベントなど、対面での啓発活動が再開され、署名筆数も増加しているが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化により、交流事業については先が見通せない状況であり町民の関心が薄れてきている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>北方領土返還署名筆数は、対面イベントの再開などにより、2,730筆となりR7年度の目標値は達成したが、北方領土問題を身近な問題として感じている町民の割合は、50.5%と低迷しておりR7年度の目標値には達していない。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">C</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>ロシアによるウクライナ侵攻を発端とした日ロ関係の悪化により、これまで築き上げてきた、四島交流事業の再開は先が見通せない状況であり、町民の関心も薄れてきている。 不法占拠から80年が経過し、元島民の高齢化などにより返還要求運動の先頭に立っている世代も変化しており、特に若い世代に向けた領土問題の一層の理解促進を図っていくことが必要である。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>ロシアのウクライナ侵攻の長期化により、返還運動は先の見通せない状況であるが、収束後、運動再開を見据えた対応の検討及び、関係団体との連携した若者世代に向けた新たな啓発活動の検討も含めて、世論の喚起高揚を促進し、引き続き返還要求運動を推進していく。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>ウクライナ情勢に連動したロシアとの関係により、墓参をはじめ交流事業の再開が見通せないなど、返還運動をめぐる情勢は厳しい状況が長期化しているが、引き続き国の方針を踏まえ、隣接地域及び千島連盟との連携のもと、返還運動の機運を絶やさない継続した取り組みを行う。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	4	人権の尊重と男女共同参画社会の形成
	主要施策	1	人権教育、人権啓発の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 法務大臣から委嘱される本町の6名の人権擁護委員と連携し、人権尊重思想の普及高揚を図る。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 地域住民に人権問題に対する正しい認識を広める。
--	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	40 千円	61 千円	41 千円	61 千円	千円
事業費	40 千円	61 千円	41 千円	61 千円	0 千円
対前年度比		152.50 %	67.21 %	148.78 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1411	人権啓発活動活性化事業	61							交通町民相談係
合計 1 事業		61							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	4	人権の尊重と男女共同参画社会の形成
	主要施策	1	人権教育、人権啓発の推進

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか 本町の6名の人権擁護委員を中心に、人権教室の開催、人権の花運動、人権啓発活動や人権相談などを実施した。													
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">施策の進行</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>目標に向かって順調に進んでいる</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>目標に向かって概ね順調に進んでいる</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>目標に向かってあまり進んでいない</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>目標に向かって進んでいない</td> </tr> </table>	施策の進行		B		A	目標に向かって順調に進んでいる	B	目標に向かって概ね順調に進んでいる	C	目標に向かってあまり進んでいない	D	目標に向かって進んでいない
施策の進行													
B													
A	目標に向かって順調に進んでいる												
B	目標に向かって概ね順調に進んでいる												
C	目標に向かってあまり進んでいない												
D	目標に向かって進んでいない												

2 課題

<p>人権擁護委員は、人権啓発活動や人権相談を中心にその役割を果たしてきたが、人権問題が複雑化し、また、新たな人権課題が発生する中で、特定の人権課題や法律、心理等特定の領域に専門性を有する人権擁護委員の充実強化も必要である。</p> <p>人権擁護委員には、人権救済等に必要となる専門性や経験が求められているため、人権擁護委員の使命・職務に関する規律、各種人権課題の状況、関係機関に関する基礎的知識や、啓発、相談、人権侵害事案の把握に関する知識を修得する必要があり、現状では活動の実効性にも限界がある。また、人手不足、なり手不足も課題である。</p> <p>人権擁護活動や制度自体が町民に十分認識されておらず、人権擁護強化月間や、相談会を周知し開催しても来場者や相談者が少なく、十分利用されていない。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由								
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>このまま進める</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>若干の見直し・修正が必要</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>大幅な見直し・修正が必要</td> </tr> </table>	A		A	このまま進める	B	若干の見直し・修正が必要	C	大幅な見直し・修正が必要	<p>人権擁護活動の主体となっている人権擁護委員をはじめ関係機関や民間団体などと連携し、早期に子どもや高齢者への虐待、配偶者等への暴力などの被害の発見や助言に取り組むことが必要であり、継続して推進していくことが重要である。</p> <p>また、人権擁護委員制度は法務局が所管しているが、法務局と連携を図り、活動や制度の周知を図る。</p>
A									
A	このまま進める								
B	若干の見直し・修正が必要								
C	大幅な見直し・修正が必要								

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由								
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>このまま進める</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>若干の見直し・修正が必要</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>大幅な見直し・修正が必要</td> </tr> </table>	A		A	このまま進める	B	若干の見直し・修正が必要	C	大幅な見直し・修正が必要	<p>いじめ、子どもや高齢者、障がい者に対する虐待、配偶者等への暴力、LGBTへの偏見といった問題を解決するため、人権教育、人権啓発の推進は大変重要であることから、今後も人権擁護委員をはじめとする関係機関や民間団体などと連携しながら、人権教育、人権啓発を推進する。</p>
A									
A	このまま進める								
B	若干の見直し・修正が必要								
C	大幅な見直し・修正が必要								

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	谷口 和美	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	4	人権の尊重と男女共同参画社会の形成
	主要施策	2	男女共同参画の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
男女が平等に社会に参加できる社会の実現	女性の社会参加の促進に向けた仕組み、体制の整備、町民への男女平等参画に向けた意識の高揚、定着

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できると感じる町民の割合	%	単年 実績値 達成率(対R7)	-	-	44.2%	45.2%	40.4%	45.3%	40.0%	50.0%
指標2		単年 実績値 達成率(対R7)								
指標3		単年 実績値 達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	300 千円	100 千円	千円
一般財源	千円	千円	108 千円	339 千円	千円
事業費	0 千円	0 千円	408 千円	439 千円	0 千円
対前年度比		%	%	107.60 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1421	男女共同参画推進事業	439	○						協働推進係
合計 1 事業		439							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	4	人権の尊重と男女共同参画社会の形成
	主要施策	2	男女共同参画の推進

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・女性活躍推進に係るアンケート調査を18歳以上の町民男女各500人に対して実施し、回収率は35.0%。町民の女性活躍推進に係る認識や就業状況等についてある程度現状を把握することができた。また、このアンケート調査の結果や若い女性の人口が減少している現状をふまえ、「まちづくり町民会議 男女共同参画編」を開催。「まちから若い女性が消える?!」をテーマに講演とグループワークを実施した。参加者は32名（うち講演のみ15名）と少なかったが、講演については、とてもよかったという声が多く、グループワークでは「私たちにできること」について意見を出し合い共有した。</p> <p>・男女共同参画及び女性の社会参加に関するパンフレット、ポスター等の掲示等情報発信を継続して実施した。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標1について、R7年度はR6年度よりも高い数値となっており、R7年度の目標値より少し高くなっている。“そう感じる”と回答した男女別をみると、男性が54.7%、女性が41.7%と男性の方がそう感じている割合が高い。</p> <p>また、年代別にみると一般的に子育て世代といわれる30代40代が“そう感じる”と回答した割合が低く、主な理由では「出産・育児・介護をしながら仕事・活動するための支援が足りない」との回答が一番多く、令和6年度と同じ結果であった。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">C</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>女性活躍推進に係るアンケート調査の結果では、女性活躍推進に係る今後の取り組みについて、「保育施設や保育サービスなどの子育て環境の充実」「医療・介護の施設や介護サービスの充実」を望む声が多い結果となっている。</p> <p>また、まちづくり町民アンケート調査の結果では、男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じる町民の割合は45.3%とR7年度の目標値より少し高くなっている。そう感じないと回答した方の理由として、「出産・育児・介護をしながら仕事・活動するための支援が足りない」「男女の固定的な役割分担」との回答が多くなっていることから、仕事と家庭の両立支援のための環境づくりや性別による役割分担意識をかえていけるような取り組みが必要である。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>男女共同参画や女性活躍推進について、町民に意識づけするためにも継続してフォーラムを開催していく。内容は人口減少問題に関連付けて実施した方が、関心を持ってもらえると考え。あわせて、町民、企業、団体へ男女共同参画に関する理解が浸透するよう情報発信、啓発活動を行い女性の社会参加を促していく。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>成果指標全体では良好に向かい、年代別でも子育て真っ最中の背景がうかがえる30代女性のみが「そう感じない」と感じている方が多いという結果となった。男女共同参画の推進は、男女共同参画社会基本法第9条に基づく地方公共団体の責務であるとともに、若者・女性に選ばれるまちとして、若年層女性の流出に歯止めをかける人口減少対策に大きな意味を持つ施策であり、引き続き、町民・企業等への啓発を進めるとともに、雇用や子育てなど他の施策との連携を図り進める必要がある。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部総務課	担当課長氏名	吉田 憲史	調書作成日	令和7年 8 月 7 日
-------	--------	--------	-------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	1	効率的・効果的な行政経営（行財政改革の推進）
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
職員の資質・能力を高めるための階層別人材育成と、現職職員の年齢層と人数を考慮した適時適切な職員採用を通じて、質が高く、かつ持続性の高い行政サービスの提供に繋げる。	<p>【若手職員】 業務の基礎となる事項を身に付けるとともに、今現在の担当部署に必要な知識を習得することで、円滑な業務運営を担う一員としての能力を養う。</p> <p>【中堅職員】 未来を見据えた的確な判断と具体的な方策を講じることができる政策能力・法制執行能力等の向上を図る。</p> <p>【管理職員】 様々な資源（ヒト・モノ・カネ・時間）を適切にマネジメントする能力の向上を通じて、行政需要の変化を先取りし、柔軟に対応できる創造性豊かな人材育成を目指す。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	242 千円	390 千円	416 千円	524 千円	千円
一般財源	175 千円	102 千円	895 千円	1,734 千円	千円
事業費	417 千円	492 千円	1,311 千円	2,258 千円	0 千円
対前年度比		117.99 %	266.46 %	172.23 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1514	職員人材育成事業	1,941				○			職員係
1514	人材確保事業	966				○			職員係
合計 2 事業		2,907							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	1	効率的・効果的な行政経営（行財政改革の推進）

担当部・課	総務部総務課
-------	--------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>受講対象職員への連絡は行っているものの、業務の都合などにより受講できない職員も生じており、計画した受講者数は満たせなかった。</p> <p>従来の派遣型研修に加え、一部研修においてeラーニング(オンライン研修)を活用し、時間的、費用的コストの低減を試みた。オンライン研修は多忙な管理職などにも比較的手軽に活用できる受講手段として、今後も維持する必要がある。</p> <p>年度中に相当数の退職者が生じたことも要因であるが、年間を通じて採用活動を実施した結果、特定の職種を除き、退職者に対して概ね必要な人数を採用した。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>メンタルヘルス研修やハラスメント研修など、組織力向上に資する研修については、個人のオンライン研修に加え、複数人を対象とする集合型研修の実施検討を行う必要がある。</p> <p>近年は年間を通じて採用活動を実施することから、募集の発行、応募者への対応、選考ステータスの整理などについて、よりシステマチックに管理する手法を検討する必要がある。</p> <p>職員確保については、求人広告サイトへの出稿が経費の大部分を占めるが、サイトを經由した応募者・採用者の比率が低調であることから、求職者への訴求力を高めるため、選考時期の前倒し(3年次秋など)について検討を行う。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>職員研修の実施形態については、職員が受講しやすいよう柔軟に対応していく必要があると考える。研修は自学のきっかけ作りでもあり、まずは、多くの機会に触れられることが重要と史料。</p> <p>職員採用に当たっては、あらゆる手立てを複層的に実施していきたい。また、育成面においては、管理職員の意識改革がベースと考えることから、管理職向けの機会も検討したい。</p> <p>人事管理や給与制度への反映に向けた取り組みや改訂が遅れている各種方針・計画の見直し作業を進めたい。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>限られた人員の中で、行政サービスに対する多様な住民ニーズや業務の専門性等へ対応するには、職員個々のスキルアップと合わせ、組織全体のモチベーションやモラル(士気)の向上が一層重要であり、特に職員研修については多様なスタイル、メニューにより積極的に取り組む必要がある。</p> <p>また、人事評価については、組織内における目標達成と人材育成、コミュニケーションのツールとして定着化を図るとともに、人事管理や給与制度への反映を見据え取り組まなければならない。</p> <p>少子化はもとより、民間企業や他の公務員との競合が激しさを増す中、職員の採用・育成のあり方は大きく変わろうとしており、「中標津町人材育成基本方針」の早期見直し、メンタルヘルス対策等新たな課題への対応も急務である。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部総務課	担当課長氏名	吉田 憲史	調書作成日	令和7年 8 月 7 日
-------	--------	--------	-------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	1	効率的・効果的な行政経営（行財政改革の推進）
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>・人口減少社会の中で、行政に求められる業務の多様化に対応するため職員の負担は年々増加している。職員の増員が見込めない中、職員個々の能力、知識、技術等を最大限に発揮させる組織運営が求められている。</p> <p>・特にデジタル技術やAIの活用により業務のスリム化・効率化を推進することで、限りある人的資源の有効活用を図り、行政サービスの更なる向上に繋げる。なお、業務のスリム化等の推進にあたっては国のDX（デジタル・トランスフォーメーション）計画の動向を注視する。</p>	<p>・デジタル技術の活用（システム導入によるペーパーレス化、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション・機械による定型業務の自動化）など） ～労務管理、人事評価、文書管理、電子決裁など</p> <p>・組織機構の改革と人員の適切な配置</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
		達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
		達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
		達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	17,609 千円	946 千円	281 千円	1,232 千円	千円
事業費	17,609 千円	946 千円	281 千円	1,232 千円	0 千円
対前年度比		5.37 %	29.70 %	438.43 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1516	業務効率化推進事業	1,232							職員係
合計 1 事業		1,232							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	1	効率的・効果的な行政経営（行財政改革の推進）

担当部・課	総務部総務課
-------	--------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
デジタル技術による業務効率化に向けた、労務管理システム及び人事評価システムの本格運用が軌道に乗り、運用初期に求められる人的資源の投資が落ち着いてきている。今後は各システムの職員へのさらなる浸透を図り、より効果的な運用を行うことを目指す。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <ul style="list-style-type: none"> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

紙面で管理している各種手続きのデータ化やペーパーレス化について検討する必要がある。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	理由 各システム運用後においては、職員が各システムに精通する必要がある。そのための研修や活用事例の情報発信に努め、確実に成果を上げ、人的資源を行政サービスの向上につなげていきたい。それにより、ペーパーレス化に向けた次の取り組みを研究したい。
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	理由 業務効率化の方向性としてデジタル技術の活用はベースと考えるが、費用対効果、及び職員のスキル向上と合わせ検討する必要がある。特に、電子決裁、ペーパーレスの取組みは可能なものから先行して取り組む分野であるとする。
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	渡部 寛親	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	1	効率的・効果的な行政経営（行財政改革の推進）
その他関連計画等	中標津町自治基本条例第33条		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
限られた人員のなかで引き続き質の高い行政サービスを維持するため、効率的、効果的な行政改革を進め持続可能な行政運営を確立する。	人口減少、少子高齢化社会に対応した効率的、効果的な行政サービスの維持

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 実質公債費比率	%	単年	実績値	13.5	12.9	12.5	12.3			16.1	12.0
		累計	達成率(対R7)	83.9%	80.1%	77.6%	76.4%	0.0%	0.0%		
指標2 将来負担比率	%	単年	実績値	91.5	74.4	72.7	85.3			61.6	31.2
		累計	達成率(対R7)	148.5%	120.8%	118.0%	138.5%	0.0%	0.0%		
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	1,000 千円	900 千円	500 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	570 千円	1,164 千円	536 千円	千円
一般財源	2,942 千円	659 千円	327 千円	382 千円	千円
事業費	2,942 千円	2,229 千円	2,391 千円	1,418 千円	0 千円
対前年度比		75.76 %	107.27 %	59.31 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1511	第7期中標津町総合計画等推進事業	27	○						企画調整係・協働推進係
1511	行政改革推進事業								企画調整係
1511	人口減少対策調査研究事業	1,133						○	企画調整係
1513	総合計画行政評価推進事業	258							企画調整係
1514	職員提案推進事業								企画調整係・協働推進係
1515	事務・権限移譲推進事業								企画調整係
合計 6 事業		1,418							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	1	効率的・効果的な行政経営（行財政改革の推進）

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>行政評価から実施計画までのPDCAサイクルについての実施体制は毎年度見直し行い効率的な運用が図れつつある。また、評価対象事業を絞った提出により職員の負担軽減と選択と集中による政策協議が図られている。職員提案においては、R5年度にアイデア提案、実績提案との2種類の提案とし要綱を改正。令和6年度も継続し、提案に対する実施状況についても周知を図ることで、提案者の意欲向上や提案のブラッシュアップが図られた。人口減少対策調査研究事業は令和6年度を最終年として、これまでの実証により見えてきた方向性に基づく具体的な対策立案によって、令和7年度より施策体系1-2-2において事業実施。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>PDCAサイクルによる行政評価と実施計画の運用については効率化が図られてきたと考えるが、施策、事業の成果の把握や効果的な見直しに向けては職員個々の意識により差がある状況。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>令和8年度より、第7期総合計画後期基本計画がスタートすることから、現在の行政評価から実施計画までのPDCAサイクルの体制の効果的な実施手法について引き続き、見直しも含めた検討を進めつつ、主要施策に対する効率的・効果的な事業への改善・実施やスクラップ&ビルドをより着実に進め、後期基本計画における主要施策の推進を図っていく。</p>
--	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>R8年度より、第7期総合計画後期基本計画及び第9次行財政健全化計画がスタートする。人口減少時代における持続可能な行財政の運営と主要施策実行の両立に向けては、一層、簡素で効果的・効率的な執行を目指さなければならず、評価方法や効果測定のあり方など再検討する必要もあると考える。</p>
--	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部 財政課	担当課長氏名	續 隆	調書作成日	令和7年 7 月 18 日
-------	---------	--------	-----	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	1	効率的・効果的な行政経営（行財政改革の推進）
その他関連計画等	中標津町行財政健全化計画（第8次中標津町行財政改革大綱）		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
効率的・効果的な行政経営を推進するため、持続可能な財政基盤の確立と時代に即した行政サービスの提供を図る。	持続可能な財政基盤の確立を図るため、公債費の財政負担の抑制と将来世代に過度な負担を強いることがないよう、成果指標2指標の目標値を目指す。 また、時代に即した行政サービスの提供を図るため、スマート自治体の実現による入札・契約事務の電子化を進める。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 実質公債費比率	%	単年	実績値	13.5	12.9	12.5	12.3	12.8	16.1	12.0
		累計	達成率(対R7)	83.9%	80.1%	77.6%	76.4%	79.5%		
指標2 将来負担比率	%	単年	実績値	91.5	74.4	72.7	85.3	87.5	61.6	31.2
		累計	達成率(対R7)	148.5%	120.8%	118.0%	138.5%	142.0%		
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	2,188 千円	2,188 千円	2,277 千円	2,277 千円	千円
事業費	2,188 千円	2,188 千円	2,277 千円	2,277 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	104.07 %	100.00 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1511	財政状況公表推進事業	1,184							財政係
1516	入札・契約事務電子化推進事業	1,093							契約用度係
合計 2 事業		2,277							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	1	効率的・効果的な行政経営(行財政改革の推進)

担当部・課	総務部 財政課
-------	---------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>実質公債費比率※1(成果指標1)は、令和5年度実績値に対して、一部事務組合等の地方債に充当する負担金で減少したものの、地方債の元利償還金や、公営企業の地方債に充当する繰入金増加などにより当該比率が上昇した。</p> <p>将来負担比率※2(成果指標2)は、令和5年度実績値に対して、充当可能基金、充当可能特定収入、及び基準財政需要額算入見込額などの充当可能財源等の減少により当該比率が上昇した。</p> <p>この2指標とも令和6年度の実績値については、令和5年度実績値より上昇しているが、概ね順調に進行していると分析する。</p> <p>※1 町の借入金の返済額がどのくらいあるのかを示す指標 ※2 町が将来どのくらいの負担をする必要があるかを示す指標</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>実質公債費比率は、令和7年度の間目標値16.1%に対して、実績値12.8%で3.3ポイントの減となっているが、令和5年度の実績値より0.5ポイント上昇しており、長期的に見ると地方債の元利償還金において、第7期中標津町総合計画の期間中は高止まりとなることから、先々を見据えた収支構造の把握により、慎重に地方債の借り入れを行う必要がある。</p> <p>将来負担比率は、令和7年度の間目標値61.6%に対して、実績値87.5%で25.9ポイントの増となっており、比率の算定において地方債の借り入れに伴う地方債の現在高や、基金残高の影響を受けることから、地方債の借り入れ、及び過度に基金に頼らない持続可能な財政経営が必要である。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>少子高齢化の進行に伴う社会保障関係経費や、公共施設・道路などの社会インフラの修繕・更新に伴う地方債の元利償還金など、財政需要の増加が見込まれることから、常に先々を見据えた財政収支を把握する必要がある。</p> <p>このような状況の中、持続可能な財政運営の確立に向け、令和4年3月に策定した「中標津町行財政健全化計画(第8次中標津町行財政改革大綱)」が令和7年度までの計画期間となっていることから、次期計画と歩調を合わせた財政健全化の取組みを進める必要がある。</p> <p>入札・契約事務の電子化については、入札参加申請・指名通知等の一部電子化を取り入れたが、今後においても北海道市町村入札参加資格共同審査による資格審査申請業務や、電子契約への対応など着実に調査研究・導入を進める必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>令和4年3月に策定した「中標津町行財政健全化計画(第8次中標津町行財政改革大綱)」が令和7年度までの計画期間であることから、令和7年度中に次期計画を策定し、その取組み事項と歩調を合わせた、歳出・歳入改革により、持続可能な財政経営を推進する。</p> <p>財政健全化を進めるにあたり、財政状況及び分析に関する情報をできる限り、町民に分かりやすくお知らせするため、広報紙・ホームページへの掲載内容及びレイアウトについて、さらなる調整を図る。</p> <p>また、入札及び契約事務については、町と事業者の事務効率化と、コスト削減等の視点により、電子化を着実に進める。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>R7年度をもって第8次行財政改革大綱が終了し、現在、R8年度からR12年度までの新たな計画を策定中。物価高騰による経費増、人勤・最賃上昇による人件費・委託料の増等歳出圧力が強まる中、収支バランスの均衡には新たな視点や大胆な工夫を取り入れる必要があると考える。引続き、各種指標を用いた客観的な現状分析と財政見通しを立てるとともに、その内容を町民に正しく理解してもらうため、広報紙や町HP、出前講座などあらゆる機会を通じ積極的かつ分かりやすい財政状況の公表に努める。</p> <p>入札・契約事務の効率化に関しては、R5年度入札から入札参加申請方法・指名通知方法等の一部電子化、R7年9月から電子契約システムを取り入れたところ。引き続き事務効率化と事業者の利便性向上の観点から、電子化を着実に進める。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部納税課	担当課長氏名	田附 直子	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	--------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	1	効率的・効果的な行政経営（行財政改革の推進）
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
安定した行政経営の推進を目的として、町の財政運営上重要となる自主財源の安定的な確保のため、国民健康保険制度の運営上重要となる財源確保のため、町税・国民健康保険税の収納向上及び累積滞納額の圧縮に向けた取組は必要である。	町税・国民健康保険税の収納率向上、累積滞納額の圧縮。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	10,402 千円	10,427 千円	10,152 千円	8,497 千円	千円
事業費	10,402 千円	10,427 千円	10,152 千円	8,497 千円	0 千円
対前年度比		100.24 %	97.36 %	83.70 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1512	収納向上啓発推進事業(町税)	28							収納係
1512	収納向上啓発推進事業(国民健康保険税)	28							収納係
1512	釧路・根室広域地方税滞納整理機構参加事業(町税分)	1,914							収納係
1512	釧路・根室広域地方税滞納整理機構参加事業(国保分)	2,870							収納係
1512	町税保険税徴収対策事業(滞納管理・町税分)	1,416							収納係
1512	町税保険税徴収対策事業(滞納管理・国保分)	1,416							収納係
1512	地方税共通納税手数料負担金(QRコード利用)(町税分)	660							収納係
1512	地方税共通納税手数料負担金(QRコード利用)(国保税分)	165							収納係
合計 8 事業		8,497							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	1	効率的・効果的な行政経営（行財政改革の推進）

担当部・課	総務部納税課
-------	--------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>◆納入通知書への納期カレンダーの同封の他、町広報紙・HP、コミュニティFM等を活用して、納期内納付についての周知広報活動を実施。</p> <p>◆年間を通じ日時を決めて、夜間・休日納税相談窓口を開設。◆延滞金の徴収強化を実施。令和6年度実績（町税・国保合計）9,099,125円</p> <p>○滞納事案[30件]を抽出し、釧路・根室広域地方税滞納整理機構に徴収事務を引き継ぎ、滞納整理を推進。</p> <p>○成果：前年度と比較すると、現年・滞繰分合計収納率の向上、滞納繰越額の圧縮を図ることができた。</p> <p>現年度収納率 町税：99.52%（対前年度比 +0.03%[※]） 国民健康保険税：95.41%（対前年度比 ▲0.41%[※]）</p> <p>現年・滞繰分合計収納率 町税：98.07%（対前年度比 +0.45%[※]） 国民健康保険税：84.89%（対前年度比 +1.17%[※]）</p> <p>滞納繰越額の圧縮 町税（対前年度比 ▲15,195千円） 国民健康保険税（対前年度比 ▲9,418千円）</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>納期内納付の推進のため、口座振替やコンビニ納付に加え、スマートフォン決済の導入により、納税者にとって納付しやすい環境づくりに努めているが、納期限を過ぎて、督促状発付後や催告後に、ようやく納付となる納税者もいる。納期内納付を行う納税者との公平性の確保の点から、各納期限到来後における早期催告や滞納処分も見据えた滞納整理事務の早期着手、延滞金の徴収強化に取り組む必要がある。</p> <p>また、複雑な滞納整理を要する等の滞納事案については、釧路・根室地方税滞納整理機構に徴収事務を引き継いでいるが、それ以外の滞納事案に対応するため、職員の滞納整理等の税務実務や折衝に係る専門知識技能の取得向上は重要となる。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>滞納額の圧縮は、全体の収納率向上にもつながることから、新規の滞納発生抑制に向けた取組に重点を置き継続していく。納付の履行状況についての的確に把握し、督促状発付後、納付の履行がない滞納者に対しては、文書や電話等により速やかに催告を行い、滞納処分の執行も見据え、早期に滞納整理に着手する。滞納者に対しては、折衝や納税相談を通じて、負担能力に応じた計画的な納付を促す等、完納に向けた納税指導に努める。滞納者の資力を把握し滞納処分の執行に備えるため、実態調査や財産調査を実施し、滞納者に関する情報収集を行い、調査の結果判明した財産について、換価の優先を判断し、時期を逸することなく滞納処分を執行する。</p> <p>税負担の公平性の実現に向けて、組織全体で取り組んでいく。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>自主財源の根幹を成す町税の適正な課税と納期内納付の確保は、安定した行政運営を財源で支える上での最重要課題であるとの認識のもと、R6年度決算は現年、滞繰とも前年度を上回る収納率を確保した。</p> <p>引き続き中標津町町税等収納対策方針に基づき、納税者に対しては納期内納付の啓蒙を図るとともに、キャッシュレス決済等の多様な納税環境の整備を進め、滞納者に対しては状況に応じた滞納処分を行う。合わせて、職員の徴税及び滞納整理に関する知識と技術の向上に努めるとともに、引き続き滞納整理機構との連携により確実な収納確保を図る。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	渡部 寛親	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	2	自治体間の広域連携強化
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
人口減少、少子高齢化社会に対応した行政経営を維持するため、周辺自治体との連携、協力を進め広域的な地域活性化を図る。	人口減少、少子高齢化社会に対応した効率的、効果的な行政サービスの維持するための周辺自治体間の連携、協力できる分野の研究、広域連携強化を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年 累計	実績値								
		達成率(対R7)								
指標2	単年 累計	実績値								
		達成率(対R7)								
指標3	単年 累計	実績値								
		達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	1,200 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	941 千円	1,014 千円	1,006 千円	1,026 千円	千円
事業費	941 千円	1,014 千円	1,006 千円	2,226 千円	0 千円
対前年度比		107.76 %	99.21 %	221.27 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1521	根室地方総合開発期成会負担金	1,006							企画調整係
1521	広域連携加速化事業	1,220							企画調整係
合計 2 事業		2,226							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	5	安定した行政経営の推進
	主要施策	2	自治体間の広域連携強化

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・管内の市町・市町議会・関係産業経済団体(38団体)からなる根室地方総合開発期成会において、広域にわたる事業として釧路、札幌、東京への要請活動(毎年)、各種機会を通じて要請活動を実施。</p> <p>・1市4町と振興局を交え、人材確保、経常的業務(入札・契約)、防災の3分野において広域連携あり方について検討を進める中、今年度においては、人材確保事業として、都市圏在住の地域で働く事に関心がある方を対象とした、地域で働く行政職員の実態等の情報発信イベント「ひがし北海道ではたらく”ミーティング」を都内EZOHUB TOKYOで実施。当日は29名の参加者に対して道東の魅力を発信。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>令和6年度は広域的な人材確保対策事業として管内連携の上事業を実施することができたが、自治体間での財政状況や地域特性の差がある中で、他の分野においては深い議論に発展せず検討に留まっている。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>根室総合開発期成会については、引き続き根室管内連携のもと、要望活動を継続していく。広域連携加速化事業は、地域づくり総合交付金を活用した令和6年度までの道事業としていったん終了。令和7年度から新たな広域連携支援制度として、原則継続事業については対象外となるが、重点事業として「専門人材の確保・育成」が盛り込まれる予定であることから、内容を精査のうえ広域的な人材確保対策について管内連携した取り組みを進めていく。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>根室管内の共通課題解決のため、国への制度創設や改正、インフラ整備に対する要望等について引き続き総合開発期成会との連携により取り組む。人口減少さらには自治体における職員確保の状況が年々厳しくなる中、業務の効率化や地域課題解決に向けた自治体間の広域連携については避けて通れないものと考えられ、特に事務の共同処理については調査・研究が急がれる。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部総務課	担当課長氏名	吉田 憲史	調書作成日	令和7年 8 月 7 日
-------	--------	--------	-------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	6	情報化の推進
	主要施策	1	自治体の情報化の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
自治体が担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくため、自治体DXを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 自治体の情報システムの標準化・共通化 マイナンバーカードの普及促進 行政手続のオンライン化 AI・RPAの利用推進 テレワークの推進 セキュリティ対策の徹底

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名		指標単位(単年・累計)		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
											R7	R12
指標1	インターネット等で届出・申請ができる手続きの種類	○ 単年	実績値	1	1	28	28	29			15	31
		累計	達成率(対R7)	6.7%	6.7%	186.7%	186.7%	193.3%	0.0%			
指標2		単年	実績値									
		累計	達成率(対R7)									
指標3		単年	実績値									
		累計	達成率(対R7)									

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	12,700 千円	2,591 千円	24,718 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	12,370 千円	千円
一般財源	千円	12,700 千円	2,601 千円	13,252 千円	千円
事業費	0 千円	25,400 千円	5,192 千円	50,340 千円	0 千円
対前年度比		%	20.44 %	969.57 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1612	自治体DX推進事業	50,340	○						情報システム係
合計 1 事業		50,340							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	6	情報化の推進
	主要施策	1	自治体の情報化の推進

担当部・課	総務部総務課
-------	--------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>当初想定していた29手続きすべてについてオンライン化の対応を完了した。システムの標準化・共通化は、期限とされている令和7年度末までの移行に目途がたち、移行費用の補助上限額の拡充がなされるなど、課題は多いもののおおむね予定通りの進捗である。</p> <p>業務改革を含めたデジタル技術の活用では、ビジネスチャットツールに加えテキスト生成AIであるAIアシスタント(ChatGPT)を導入し、職員の活用を促している。また、町民生活部窓口へ「異動受付支援システム」を導入し、一部窓口では住民の利便性向上と職員の負担軽減につながるなど一定の成果を上げている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続きについては、予定通り対応を完了。そのため、現時点の状況としては、R7の数値目標を上回る結果となっている。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> 自治体DX推進に係る重点取組事項の一つであるAI・RPAについて、AIアシスタント(ChatGPT)を導入し職員への活用を促しているところだが、多くの職員で利用されているとは言い難い状況であることから、今後は情報発信や研修を行うなど利用を促す施策が必要。 異動受付支援システム導入の際に課題として浮き彫りになった受付時に住民が待つスペースがないという問題があり、町民ロビーの改善を実施する必要がある。 情報システムの標準化・共通化に関しては、運用費用が現行の数倍に上がるといった問題が顕在化している。今後は、町村会など地方六団体などと連携しながら、運用費用の財政支援について要望を行っていく。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>デジタル技術の活用によって町民の利便性と業務効率をバランスよく向上させる必要がある。窓口DXをはじめ、デジタル技術の活用により、職員が業務負担軽減を実感できる取り組みを見極めるため、積極的に関係職員との連携を図り、効果的に事業を展開したい。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>国が進める自治体DXの推進に基づき、費用対効果の測定のもと、行政事務の効率化・職員の事務負担軽減と住民の利便性向上の両立に向け、マイナンバーカードの普及を背景としたデジタル技術やAIを活用した施策を検討し、可能なものから導入を図る。</p> <p>生成AI(LoGoAIアシスタント)については、職員の業務効率化に寄与するツールと考え、適切な利用を前提に日常業務での活用を促す仕掛けが必要と考える。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課 町民生活部・住民保険課 担当課長氏名 戸村 のぞ美 調書作成日 令和7年 7 月 11 日

I 施策の概要

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	6	情報化の推進
	主要施策	1	自治体の情報化の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担 当 課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
マイナンバーカードの交付や電子証明書の発行、情報提供ネットワークの運用を行い、住民サービスの向上と行政事務の簡素化を図る。	情報環境の充実による、戸籍の誤記載、誤交付の防止、電子申請による行政手続きの簡素化、利便性の向上。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	11,014 千円	13,695 千円	9,484 千円	18,154 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	5 千円	14 千円	25 千円	28 千円	千円
一般財源	3,620 千円	-745 千円	2,987 千円	-190 千円	千円
事業費	14,639 千円	12,964 千円	12,496 千円	17,992 千円	0 千円
対前年度比		88.56 %	96.39 %	143.98 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1612	住民基本台帳ネットワークシステム運営	17,992							戸籍住民係
合計 1 事業		17,992							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	1	つながりが未来を築くまちづくり
	施策項目	6	情報化の推進
	主要施策	1	自治体の情報化の推進

担当部・課 町民生活部・住民保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
交付枚数の増加に伴う業務量増加に対応するため、補助金を活用しマイナンバーカード交付事務に会計年度任用職員を雇用し対応するとともに、夜間、休日窓口を開設し全国平均以上となった。
令和7年3月末 交付率 90.57%（全国平均 87.48%）

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
	B
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

マイナンバーカードの更新の時期を迎えており、今後も手続きの申請の増加が予想される。引き続き交付事務の体制整備が必要である。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A	引き続き、カード交付事務の増加に対応するため交付金を活用した人員の増強や各事業担当部署（マイナンバーカードの保険証利用なら保険年金係）との連携、応援体制を検討していく必要がある。又、庁内における証明書自動交付機の設置により、職員の業務効率化を図ると共に、コンビニでの証明書発行が可能であることの認識を浸透させる。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
A	マイナンバーカード事務の増加に対応する職員体制の整備、また、マイナンバーカードの保険証利用等、カードを活用した事業の推進により、各事業担当部署との業務連携体制の整備が必要となる。庁内に設置した自動交付機やコンビニでの各種証明書の自動発行について、更なる周知を図り、町民の利便性向上と、窓口業務の負担軽減を図る。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 子育て支援課	担当課長氏名	吉田 利彦	調書作成日	令和7年 7 月 18 日
-------	--------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	1	子育て支援の充実
	主要施策	1	地域全体で子育てを支援・応援する体制づくり
その他関連計画等	中標津町子ども・子育て支援事業計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
本町で安心して子どもを生み、育てることができるよう子育て環境整備並びに福祉の向上を図る。	官民一体となった子育て家庭を見守る事業の実施により、多様な就労形態など、子どもを取り巻く環境の変化による育児に対する不安感等の軽減を図り、安心して子育てができる環境を地域全体で推進する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じる町民の割合	%	○ 単年	実績値	64.8	66.7	66.6	60.7	59.3	62.1	70	80
		○ 累計	達成率(対R7)	92.6%	95.3%	95.1%	86.7%	84.7%	88.7%		
指標2 子ども子育て支援法に基づく保育所施設の3歳未満児枠の拡大	人	○ 単年	実績値	87	92	116	128	128		120	130
		○ 累計	達成率(対R7)	72.5%	76.7%	96.7%	106.7%	106.7%	0.0%		
指標3 ファミリー・サポート・センター会員登録数	人	○ 単年	実績値	511	436	465	468	523		550	600
		○ 累計	達成率(対R7)	92.9%	79.3%	84.5%	85.1%	95.1%	0.0%		

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	623,203 千円	668,366 千円	735,319 千円	765,825 千円	千円
地方債	0 千円	千円	千円	千円	千円
その他	46,414 千円	45,539 千円	43,163 千円	47,389 千円	千円
一般財源	194,483 千円	209,163 千円	177,838 千円	201,237 千円	千円
事業費	864,100 千円	923,068 千円	956,320 千円	1,014,451 千円	0 千円
対前年度比		106.82 %	103.60 %	106.08 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2112	子ども子育て支援事業	16,405	○						子育て支援係
2112	子どものための教育・保育事業	582,854	○						保育給付係
2112	泉保育園建設借入金償還補助事業	35,551							保育給付係
2112	認可外保育所児童健康管理支援事業	273							保育給付係
2112	保育士等養成修学資金貸付事業	3,000	○						保育給付係
2113	児童手当給付事業	337,295							保育給付係
2113	ひとり親家庭等医療給付事業	13,294							保育給付係
2113	乳幼児医療給付事業	16,512							保育給付係
2113	未熟児養育医療給付事業	913							保育給付係
2113	計根別地域保育事業	8,354	○						計根別家庭の保育所
合計 10 事業		1,014,451							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	1	子育て支援の充実
	主要施策	1	地域全体で子育てを支援・応援する体制づくり

担当部・課 町民生活部 子育て支援課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>第3期中標津町子ども・子育て支援事業計画策定に係る町民アンケートの調査結果により、保護者のニーズが高かった保育料の無償化について、関係機関や理事者との協議を行い、令和7年9月から保育料の負担軽減を実施することができた。また、保育料の負担軽減により、申込者の増加が見込まれることから、保育士確保対策として、令和7年度から保育士人材バンク登録制度を新たに開設した。</p> <p>また、令和6年10月から児童手当の支給対象者を中学生から高校生年代まで拡大等の制度改正があったが、補正予算措置や住民周知等を的確に行い、漏れなく対象者に支給することができた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>保育施設の3歳未満児枠の拡大については、令和2年度から順次、泉保育園の建替え、地域型保育施設の開設等を行い、待機児童の解消に努めている。今後も、認可保育所や認定こども園等の保育施設と連携し、町全体で受け入れ枠の確保に努めるとともに、受け皿となる保育施設の保育士確保対策を行う。</p> <p>また、ファミリーサポートセンター事業は、提供会員数は徐々に増加しており、引き続き周知や研修会を行い、会員数の増加に努める。</p> <p>これらの事業や子ども・子育て支援策を推進し、子どもを安心して産み・育てられる環境づくりを行う。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>令和7年9月から保育料の負担軽減を実施することにより、3歳未満児の入所申込増加が想定されるため、保育士の確保が急務である。そのため、保育士人材バンク登録制度や、保育士等養成修学資金貸付事業を実施しているが、保育士の確保が追いついていない状況である。</p> <p>また、保護者の就労要件を問わず、3歳未満児が柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」を令和8年度までに開設しなければならず、実施場所や内容等の構築をする必要がある。さらには、「こども誰でも通園制度」実施事業者として、3歳未満児を受け入れする家庭的保育所の開設も併せて検討する（家庭的保育所の新規開設により、保育料の負担軽減による申込増加による受け皿の一つとする）。</p> <p>また、子ども医療費の無償化は、子ども・子育て支援事業計画策定に係る町民アンケート結果や、第7期総合計画審議会、中標津町議会からも実施の要望が高いことから、実施に向け検討する必要がある。</p> <p>計根別家庭的保育所については、JA計根別から借り入れしている施設のため、今後、計根別地域の0～5歳を一体的に受け入れする施設として、幼保連携型認定こども園の開設を、教育委員会と協議する必要がある（えみふる保育所と計根別幼稚園の統合）。併せて計根別児童館の建設も検討する（認定こども園と同一場所に）。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>「こども誰でも通園制度」及び家庭的保育所の新規開設は、令和7年度中に実施体制の構築及び予算措置に向けた理事者協議を行う。</p> <p>また、こども医療費の無償化については、町民ニーズ等が高いことから支給対象等を再構築し、理事者協議を行う。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>著しく少子化が進んでいる状況において、保育料・医療費の無償化については、子育て家庭を対象としたアンケートでも特にニーズが高く、女性の活躍推進、子育て支援の充実の観点からも重要な施策ではあるが、財源や保育枠の問題もあることから慎重な制度設計が必要である。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>計根別地域振興のため、各部署が関連する施策を共有し、計根別地域住民との連携を進める。</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>子どもを安心して預けられる場所の確保が大切であると考えます。そのためには、保育士の確保が喫緊の課題であり、保育士確保に関する各種施策の充実を望みます。</p> <p>また、育児休業の取得促進に向け、理解促進を図るための取り組みとして、町内事業所向けの研修等の実施についても検討する必要があると考えます。</p>
--

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部町立中標津保育園	担当課長氏名	石垣 敏	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	---------------	--------	------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	1	子育て支援の充実
	主要施策	1	地域全体で子育てを支援・応援する体制づくり
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図る。 保育所保育指針に基づき、養護及び教育を一体的に行い、地域との連携を図り、子育て家庭を支援する。	安全、安心な保育サービスの提供。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	514 千円	357 千円	231 千円	443 千円	1,580 千円
地方債	千円	千円	千円	千円	9,000 千円
その他	41 千円	76 千円	114 千円	2,790 千円	11,323 千円
一般財源	37,876 千円	43,667 千円	44,394 千円	73,947 千円	74,264 千円
事業費	38,431 千円	44,100 千円	44,739 千円	77,180 千円	96,167 千円
対前年度比		114.75 %	101.45 %	172.51 %	124.60 %

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2112	町立中標津保育園管理運営費	57,026		○					町立中標津保育園
2112	低年齢児・障がい児保育充実のための臨時保育士配置	20,154		○					町立中標津保育園
合計 2 事業		77,180							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	1	子育て支援の充実
	主要施策	1	地域全体で子育てを支援・応援する体制づくり

担当部・課 町民生活部町立中標津保育園

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
安全・安心な保育サービスの提供について、概ね実施することができた。 ケア児2名についても、保育士、看護師お互いの協力のもと安全に保育することができ、園児の成長も図られた。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
	B
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

<p>発達支援を必要とする幼児の入所希望者が増加している。保育士の配置基準は満たしているが、手が回らない状況が見受けられ、子どもたちに安全で安心な保育を提供することが難しくなっている。 現園舎は平成2年度に建築され36年を経過しており、施設・設備の経年劣化に伴う老朽化が著しい。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A	<p>低年齢児及び障がい児保育に対応するとともに、保育料無償化による園児の増加に対応するため、保育士の増員と臨時保育士の配置を継続する。 また、保育システムの導入によるICT化を進め、業務の効率化や、保護者とのコミュニケーションの改善を図るとともに、施設・設備について計画的な改修・更新を実施する。</p>
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
A	<p>安全安心な保育サービスを継続して提供する。保育士の確保は全国的にも厳しい状況であり、潜在保育士も含めその確保に努めていく。 ICT化の推進による業務改善を図り、職員の負担軽減を進めるとともに、保護者とのコミュニケーションの改善を図る。</p>
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 子育て支援課	担当課長氏名	吉田 利彦	調書作成日	令和7年 7 月 18 日
-------	--------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	1	子育て支援の充実
	主要施策	2	子どもの居場所づくり
その他関連計画等	中標津町子ども・子育て支援事業計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
乳幼児・児童の健全な育成環境の確保を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に健全な遊びを提供し、健康増進を図るとともに、一人ひとりの個性を伸ばし情操を豊かに養い育てる。 ・共働き世帯の親子がともに安心できる居場所を整備。 ・中高校生の活動場所を提供し、次世代の担い手の育成を図る。 ・養育環境等の把握や助言を行い、子育て家庭の孤立・虐待等を防ぐ。 ・地域住民と連携し、地域全体で子どもを見守り、子育て家庭を応援する体制整備を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 児童センター・児童館利用者数	人	単年	実績値	68,784	67,934	67,561	69,275	79,958		100,000	100,000
		累計	達成率(対R7)	68.8%	67.9%	67.6%	69.3%	80.0%			
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	43,373 千円	34,386 千円	32,463 千円	49,654 千円	千円
地方債	0 千円	千円	千円	千円	千円
その他	3,599 千円	3,804 千円	690 千円	846 千円	千円
一般財源	13,321 千円	28,603 千円	27,217 千円	35,754 千円	千円
事業費	60,293 千円	66,793 千円	60,370 千円	86,254 千円	0 千円
対前年度比		110.78 %	90.38 %	142.88 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2121	児童館管理運営事業	85,875		○					児童会館管理係
2121	明生地区コミュニティセンター運営管理事業	379							児童会館管理係
合計 2 事業		86,254							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	1	子育て支援の充実
	主要施策	2	子どもの居場所づくり

担当部・課 町民生活部 子育て支援課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>0才～18才の児童を受入れする児童館において、子育て親子や、児童クラブ児童、小中高生の受入れを行うとともに、じどうかん祭りや地域と連携した活動を展開し、子どもの居場所づくりの確保に努めた。</p> <p>また、児童クラブの特別支援児童の増加等により、児童館指導員の負担が増加していたことから、特別支援担当2名、代替職員1名を増員し、受入体制を整備したとともに、児童館指導員の配置基準を作成し、児童クラブ、特別支援、子育て支援の配置基準を明確にした。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>児童館指導員の殆どが会計年度任用職員（R7年度～正職員1名、会計年度任用職員32名（指導員11名、補助17名、募集中4名）の合計33名）であり、給与額の低さ、業務の多忙さにより離職者が多いことから、令和6・7年度で職員の増員（5名）や、処遇改善を行ったところであるが、町内に4つある児童館に正職員は1名であり、児童の利用も増加しており、全ての児童館をまとめ上げるのに正職員の負担が増加している。児童館業務には保護者対応やクレーム対応の他、けがや事故等による緊急時の対応もあり、正職員が配置されていない児童館では会計年度任用職員が対応しているため、もう1名、正職員を増員し、業務内容の見直しや緊急時の対応等の体制を構築したい。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>上記課題に記載のとおり、児童館職員の正職員1名増員に向け、関係部局や理事者協議を進める。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>共働き家庭の増加に伴い、平日放課後や土曜日、長期休業日に子どもを預かる放課後児童クラブは、保育園、認定こども園と同様に、社会に欠かせないインフラとなっている。</p> <p>しかしながら、児童館職員は会計年度任用職員が大半であるため、給与水準が低く、人材が定着しない現状のままでは、受入人数を制限せざるを得ない状況となり、人員不足による待機児童の発生が懸念されることから、児童館職員の処遇改善を図り、給与水準を向上させ、優秀な人材を確保する必要がある。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 子育て支援課	担当課長氏名	吉田 利彦	調書作成日	令和7年 7 月 18 日
-------	--------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	1	子育て支援の充実
	主要施策	3	子どもを健やかに生み育てる環境づくり
その他関連計画等	中標津町子ども・子育て支援事業計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
本町の子育て家庭への支援及び児童虐待や配偶者暴力被害の未然防止・早期発見・早期解決を図る。	全ての情報が「子育て支援・虐待防止ネットワーク」の事務局を担う子育て支援課に集中する仕組みを構築し、コーディネート機能を担っている。ネットワーク個別ケース会議を通して関係機関との連携・調整、役割分担を図ることにより、家庭に寄り添った支援や見守りにつながる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じる町民の割合	%	単年	実績値	64.8	66.7	66.6	60.7	59.3	62.1	70	80
		累計	達成率(対R7)	92.6%	95.3%	95.1%	86.7%	84.7%	88.7%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	1,346 千円	1,680 千円	12,263 千円	12,205 千円	千円
地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
一般財源	-1,346 千円	-1,680 千円	437 千円	5,305 千円	千円
事業費	0 千円	0 千円	12,700 千円	17,510 千円	0 千円
対前年度比		%	%	137.87 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2131	妊婦等包括相談支援事業・妊婦のための支援給付事業	17,510	○						子育て支援係
2133	子どもを見守る地域ネットワーク機能強化事業(児童虐待防止)	0		○					子育て支援係
合計 2 事業		17,510							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	1	子育て支援の充実
	主要施策	3	子どもを健やかに生み育てる環境づくり

担当部・課 町民生活部 子育て支援課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>本町では、子育て世代包括支援センターを設置し、妊産婦の育児困難解消のため必要な情報提供等を行い、切れ目のない支援を行うとともに、虐待防止ネットワーク（要保護児童対策協議会）を設置し、関係部局が連携し、虐待の早期発見、早期解決を行っている。</p> <p>令和5年3月から伴走型相談支援・出産子育て応援給付金事業（令和7年度から妊婦等包括相談支援事業・妊婦のための支援給付事業）を実施し、保健センターとの連携により、妊娠期から出産・子育て期まで相談支援と経済支援を一体的に進めるとともに、令和5年4月から、子ども家庭総合支援拠点を設置し、子育て世代包括支援センターや要保護児童対策協議会と連携した組織として、包括的に支援体制の強化を図っている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>要保護児童対策協議会で構成される関係機関と連携し、児童虐待の早期発見や早期解決を行うことにより、不幸な子どもを無くすとともに、伴走型相談支援事業・出産子育て応援給付金事業（令和7年度から妊婦等包括相談支援事業・妊婦のための支援給付事業）を行い、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援を行い、保護者の育児困難の解消に努めることにより、安心して育てる町民の増加に向け、引き続き取り組んでいく。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

児童福祉法の改正により、令和9年度まで（令和8年度中）に「こども家庭センター」の設置が義務付けられた（努力義務）。「こども家庭センター」は、既に本町で設置している「子ども家庭総合支援拠点」と、「子育て世代包括支援センター」の機能を維持したまま、母子保健と児童福祉が連携した総合的な組織であり、子育て支援課と保健センターに設置を予定している。また、「こども家庭センター」設置に係る補助金が令和8年度で終了予定のため、令和7年度中に組織体制や業務内容を構築し、理事者や予算協議を行う必要がある。子育て支援係長が令和8年4月から復帰予定のため、人員体制は構築済みである。（令和5年に「こども家庭センター」設置に係る実施計画理事者協議を行い、Aランクになり、令和6年度から実施予定であったが、子育て支援係長が長期休暇（産前産後・育児休暇）となったため、復帰時まで保留となっている。）

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>令和7年度中に実施に向けた協議を行い、令和8年度にシステム改修後、年度途中（予定は令和8年10月頃）に「こども家庭センター」を開設するべく、関係機関等と協議を進める。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>子ども家庭センターの設置に向け、必要な人材を確保するとともに、体制の構築を推進する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部・健康推進課	担当課長氏名	坂井 一文	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	1	子育て支援の充実
	主要施策	3	子どもを健やかに生み育てる環境づくり
その他関連計画等			
その他関連施策			
担 当 課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目ない支援により一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につながるとともに、妊娠や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対し、出産育児関連用品の購入費や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る。	「伴走型相談支援」として、妊娠期（妊娠初期及び中期）と出生後（新生児訪問）に面談を行うことにより、妊婦の精神面や健康面、家庭状況の把握、妊娠期や出産後の過ごし方の確認、利用できるサービスの紹介などが可能となり、安心して出産・子育てができる環境づくりの一助となる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	1,483 千円	237 千円	320 千円	千円
地方債	千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
その他	千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
一般財源	千円	141 千円	52 千円	106 千円	千円
事業費	0 千円	1,624 千円	289 千円	426 千円	0 千円
対前年度比		%	17.80 %	147.40 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
	伴走型相談支援・出産子育て応援給付金事業	426	○						母子健康係
合計 1 事業		426							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	1	子育て支援の充実
	主要施策	3	子どもを健やかに生み育てる環境づくり

担当部・課 町民生活部・健康推進課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>長期里帰りの場合は里帰り先へ依頼するなど、ほぼ全ての対象妊婦が妊娠中に2回、産後に1回の面談を実施した。妊娠期から出産後にかけて継続した相談支援ができており、母子保健分野だけでなく、他機関との支援が必要な場合は関係機関とも連携のうえ対応ができています。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>令和7年度から「妊婦等包括相談支援事業」となったが、事業内容は令和6年度までの「伴走型相談支援・出産子育て応援給付金事業」と何ら変わらなく、問題なく対応できており、特に課題は無し。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>引き続き「妊婦等包括相談支援事業」を行うことにより、妊娠期から出産後にかけて継続的な相談支援を行うことにより、多様なニーズに即した必要な支援につなげ、全ての妊婦及び子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境を整備する。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>妊婦等包括相談支援事業により、妊娠期や出生後に面談を行い、妊婦の精神面や健康面、家庭状況の把握、妊娠期や出産後の過ごし方についての助言等により、安心して出産・子育てができる環境づくりを推進する。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部福祉課	担当課長氏名	榑田 真一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感ずるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	1	安心して暮らせる地域づくり
その他関連計画等		中標津町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>独居高齢者等の日常生活における不安解消を図るため、緊急時に対応できる通報装置の貸与、冬期間による避難経路確保となる除雪サービス支援、また歩行困難で普通乗用車による移送が困難な高齢者等に移送支援を提供し、高齢者が自立した生活を続けられる支援を行う。</p> <p>経済的又は居住環境などに問題を抱え、自立した生活を続けることが困難かつ、支援を行える近親者も居ない高齢者を老人福祉施設に入所措置を行い養護する。</p>	<p>ひとり暮らしなどの高齢者の緊急事態などに対し、迅速な対応を図るとともに、日常生活上における不安を解消することで、在宅による生活の環境が向上する。</p> <p>養護を必要とする高齢者が日常生活や健康面で、安全安心な生活が確保できる。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 「高齢者が生きがいをもち、安心して暮らしていると感じる」と回答した町民の割合【町民アンケート】	%	○単年 実績値 達成率(対R7)	51.2	48.5	46.9	41.8	40.5	38.9	55.0	60.0
指標2		○単年 実績値 達成率(対R7)								
指標3		○単年 実績値 達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	200 千円	310 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	2,789 千円	2,371 千円	1,719 千円	1,381 千円	千円
一般財源	13,400 千円	12,646 千円	11,743 千円	11,716 千円	千円
事業費	16,189 千円	15,017 千円	13,662 千円	13,407 千円	0 千円
対前年度比		92.76 %	90.98 %	98.13 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2211	高齢者支援事業	8,395	○						社会福祉係
2212	老人福祉居宅介護事業	5,012	○						社会福祉係
合計 2 事業		13,407							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	1	安心して暮らせる地域づくり

担当部・課	町民生活部福祉課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>高齢化が進む現状において、高齢者の在宅生活を支援する事業、見守り体制は重要な位置づけであり、高齢者支援事業の推進においては、民生委員や町内会、他支援機関との情報共有が図られている。</p> <p>採算面から民間事業所が実施することが困難な訪問入浴介護（介護保険・障害福祉制度）について、本町の地域福祉事業を推進する中標津町社会福祉協議会へ事業補助を行い、行政に代わってサービス提供する施策を継続実施している。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標1 町民アンケートにおいて、70代以上の方での「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じる」と回答された割合は49.5%と目標値に近い割合となっている。しかしながら、全体値でみれば低下の推移であり、高齢者福祉・介護予防等について、必要とする人に情報が届くよう普及啓発を推進していく。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>独居高齢者等のサービス対象者の増加に伴い、除雪体制（担い手・労力確保）の整備が課題である。</p> <p>高齢者が安心して生活を送るためには、健康の維持、医療の充実、住環境の整備等が必要となる。少子高齢化が及ぼす社会構造の変化において、収入が不足している、身寄りがない、被虐待、社会に適応・順応できない等、地域において生活が困難な高齢者の増加が予想される。</p> <p>居宅介護事業（訪問入浴等）を担う中標津町社会福祉協議会においては、不安定な職員体制・人材不足とした影響もあり、事業量に見合う収入に繋がっておらず、結果、収支不足分を補助している現状である。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>高齢者が安心して暮らせるよう、本人又は家族からの申出に基づくものだけでなく、地域の民生委員や関係機関と連携し、在宅福祉サービスを必要とする方、要措置者の状況・状態の発見に協力が得られるよう、制度について周知を図る。</p> <p>老人福祉居宅介護事業補助においては、事業内容を踏まえ収入目標を設定するなど、更なる経営努力を促しながら、安定・円滑な業務実施となるよう中標津町社会福祉協議会の体制整備を推進し、必要な支援を継続実施する。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>高齢者が生きがいをもって住みなれた地域で暮らし続けることが出来るよう事業を推進する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	1	安心して暮らせる地域づくり

担当部・課 町民生活部介護保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>地域密着型事業所の運営推進会議へ参加し、サービスの適正提供についての指導。介護人材確保育成支援事業を通し、介護従事者の定着の促進。保険料の個別徴収の実施。介護認定にかかる認定調査及び審査会の公正・公平な判定のための情報収集技術の向上と情報伝達。認定者以外の高齢者宅の訪問等の相談業務の強化。介護予防事業の取組み。老人クラブ等への介護予防、認知症予防等の訪問講座の開催。高齢化率が年々上昇し、高齢者人口が増加しているが、介護認定率は概ね横ばいの状況を維持している。介護給付費については、コロナ禍での利用控えにより減少傾向であったが、5類移行後は徐々に利用が増えており、コロナ禍前の水準に戻りつつある。介護人材確保や地域包括ケアシステム構築に向け、中標津町介護保険事業者協議会と連携を図り、介護保険課が運営委員会事務局を担当し、協議会事業を推進する。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じる町民の割合は年々減少しているが、自由記述に記載されている意見は、免許返納後の移動手段、公共交通機関など、高齢者福祉の充実の主要施策（介護サービスに関するもの）ではないものがほとんどであったが、一部意見に「集まる場所を増やしてほしい」「介護サービスが充実していない」とあったため、介護サービスについて新たな方策を検討する。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>本町は、高齢化率が全道で4番目に低く、管内の他市町よりも高齢者人口増のピークを遅く迎えるが、近年は介護現場の人材不足により介護サービスの需要と供給のバランスが取れていない。将来においても本町の介護サービスの安定的な供給を図るためには、高齢者が生きがいを感じ、ともに支え合う仕組みづくりを確立していかなければ、介護サービスの供給が不足し、高齢者が安心して暮らせるまちづくりが実現できない。高齢者支援等に対する活動を各機関・団体等が連携・協働し、効果的で安定し継続性のある新しい事業展開を図る必要がある。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>第9期介護保険事業計画の基本理念を実現するため、計画に掲げられた施策を展開する。各関係機関、団体、地域住民との協議を進め、本町の実態に応じた高齢者生活支援のためのニーズ把握と高齢者が生きがいを感じ、ともに支え合い、安心して暮らせるまちづくりのため、介護予防事業等の地域支援事業を推進する。介護人材確保・定着に関する事業においては、中標津町介護保険事業者協議会と協働し、介護福祉士実務者研修の開催等による職員の定着や介護職の資格取得支援による人材育成に力を入れるとともに、外国人材の雇用について引き続き支援するとともに、更なる支援策を検討する。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>増加する高齢者への対策に的確に対応することが求められているが、全国的な課題である人手不足は、当町も例外ではなく、介護サービスの安定的な供給のため、介護保険事業者が事業の継続及び拡大をする際に必要となる人材確保のため、中標津町介護保険事業者協議会と協働し、人材育成に力を入れるとともに、外国人材の雇用への支援を継続するとともに、更なる支援について検討する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部介護保険課	担当課長氏名	田中 達也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	1	安心して暮らせる地域づくり
その他関連計画等	中標津町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

高齢者福祉施策を総合的に展開し、介護保険制度の円滑な実施を図るため、老人福祉計画及び介護保険事業計画を一体的に策定する。地域包括ケアシステムの構築を進め、施策展開の考え方や方策、施策の目標及び介護サービス量の見込み等を定める。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

「高齢者が生きがいを感じ、ともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり」を基本理念とし、要介護状態になっても、自宅や住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようにする。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じる町民の割合	%	単年	実績値	51.2	48.8	46.9	41.8	40.5	38.9	55.0	60.0
		累計	達成率(対R7)	93.1%	88.7%	85.3%	76.0%	73.6%	70.7%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	140 千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	90 千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	2,089 千円	5,079 千円	千円	千円
事業費	0 千円	2,319 千円	5,079 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		%	219.02 %	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2212	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業	0		○					介護保険係
合計 1 事業		0							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	1	安心して暮らせる地域づくり

担当部・課 町民生活部介護保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の初年度であり、計画に対する進捗状況について、令和6年度の評価を行った。高齢化率は若干計画を上回ったが、要介護認定者数、介護給付費は計画の範囲内で推移した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率：計画28.3% 実績28.4% 比較0.1% ・要介護認定者数：計画1,008人 実績981人 比較△27人 ・介護給付費：計画1,512,870千円 実績1,364,928千円 比較△147,942千円 	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じる町民の割合は年々減少しているが、自由記述に記載されている意見は、免許返納後の移動手段、公共交通機関など、高齢者福祉の充実の主要施策（介護サービスに関するもの）ではないものがほとんどであったが、一部意見に「集まる場所を増やしてほしい」「介護サービスが充実していない」とあったため、介護サービスについて新たな方策を検討する。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>今後においても高齢化の進行や高齢者人口の増加に伴い介護サービスへのニーズが見込まれることから、高齢者のニーズ及び本町が取り組むべき施策を明らかにし、高齢者福祉・介護保険制度の適正かつ安定的な運営のための計画を策定する必要がある。</p> <p>介護サービスを提供するための介護人材の確保・育成が必要である。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>第10期介護保険事業計画の策定に向けて、地域ニーズとサービス供給量を把握するために行った各種調査を検証する。併せて、第9期介護保険事業計画の評価・進行管理を行い、第10期計画策定に反映させる。</p>
--	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>引き続き地域ニーズとサービス供給量の把握に努め、適正な介護保険料の設定に努める。</p>
--	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課 町民生活部介護保険課 担当課長氏名 田中 達也 調書作成日 令和7年 7 月 25 日

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2 安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2 高齢者福祉の充実
	主要施策	1 安心して暮らせる地域づくり
その他関連計画等		中標津町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
高齢化の進行や高齢者人口の増加とともに今後介護サービスへのニーズが見込まれる中、介護職員については離職率の高さに加え介護の職場を希望する人の減少により慢性的に不足している状況であることから、人材の定着を促進し、地域における介護人材の育成をすることにより、介護人材の量的確保と質の高い安定的な介護サービスの提供を図る。	若者、潜在介護福祉士、元気高齢者等の多様な人材の参入・活躍を促進するとともに、働きやすい環境の整備、介護の魅力向上・発信、外国人材の受入環境整備、介護ロボット・ICTの活用による業務改善など、介護現場革新の取り組みを推進する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	1,100 千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	910 千円	4,391 千円	280 千円	2,482 千円	千円
一般財源	1,844 千円	千円	3,444 千円	千円	千円
事業費	3,854 千円	4,391 千円	3,724 千円	2,482 千円	0 千円
対前年度比		113.93 %	84.81 %	66.65 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2212	介護人材確保育成支援事業(一般会計)	2,482		○					介護保険係
合計 1 事業		2,482							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	1	安心して暮らせる地域づくり

担当部・課 町民生活部介護保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>介護福祉士実務者研修については、定員20人に対し、7人が受講、全員修了した。介護職員初任者研修については、定員15人に対し、14人が受講、全員修了した。介護福祉士国家試験には、平成29年度から累計で66人が合格している。</p> <p>中標津町介護保険事業者協議会との連携により、事業所の就職合同説明会の開催や就職フェア企業説明会へ参加し、来場者と事業所のマッチングを実施した。令和6年度は合同説明会の来場者2人が、介護事業所との面談を行ったが就職には至らなかった。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>実務者研修修了者から介護福祉士国家資格取得者やケアマネ資格取得者の増加につなげるため、中長期的な事業の実施が求められる。</p> <p>介護従事者の高齢化が進んでいるため、今後の離職者分を補充するとともに、高齢者人口の増加に伴い不足するとされる介護職員を確保していく必要がある。特に介護ヘルパーの高齢化が進んでいるため、有資格者を確保する必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>町内に所在する介護保険事業所で働く介護職員の資格取得に要する費用の一部を補助し、資格取得支援による人材育成に力を入れる。</p> <p>介護職員初任者研修について、新たな人材の確保として、高校生や主婦層などを対象に受講しやすい環境整備に取り組む。</p> <p>中標津町介護保険事業者協議会と連携し、職場体験の受け入れや合同企業説明会の開催など、新規就労者の確保に努める。</p>
--	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>増加する高齢者への対策に的確に対応することが求められているが、全国的な課題である人手不足は、当町も例外ではなく、介護保険事業者が事業の継続及び拡大をする際に必要となる人材確保のため、職場体験受け入れや合同企業説明会を開催し、介護サービスの安定的供給に努める。</p>
--	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部介護保険課	担当課長氏名	田中 達也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	1	安心して暮らせる地域づくり
その他関連計画等	中標津町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
認知症になっても本人の意思が尊重され、みんなで認知症の人とその家族を支え、できる限り住み慣れた地域でより良い環境で暮らし続けるために、認知症を理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する人を一人でも増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。また、訪問支援対象者及びその家族に対する初期支援を包括的で集中的に行う認知症初期集中支援チームによる早期診断及び早期対応に向けた支援体制を構築する。	認知症の人やその家族が地域での生活を継続できる環境づくりとして、認知症サポーター養成講座を依頼があった団体や地域住民を対象として開催し、認知症に対する理解を深める。 認知症初期集中支援チームの介入により、必要な医療・介護サービスにつなげ、その後も安心した生活を送ることができるよう支援を行う。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 認知症サポーターの人数	人	単年	実績値	1,527	1,761	1,954	2,163	2,480		2,000	2,500
		〇 累計	達成率(対R7)	76.4%	88.1%	97.7%	108.2%	124.0%	0.0%		
指標2 認知症初期集中支援チームの対応件数	件	単年	実績値	3	0	2	2	4		5	7
		〇 累計	達成率(対R7)	60.0%	0.0%	40.0%	40.0%	80.0%	0.0%		
指標3		単年	実績値								
		〇 累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	1,263 千円	1,263 千円	1,392 千円	1,255 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	923 千円	923 千円	658 千円	921 千円	千円
事業費	2,186 千円	2,186 千円	2,050 千円	2,176 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	93.78 %	106.15 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係	
			A	B	C	D	E	F		
2211	認知症高齢者対策事業	2,176		○						介護支援係
合計 1 事業		2,176								

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	1	安心して暮らせる地域づくり

担当部・課 町民生活部介護保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>認知症サポーター養成講座について、令和3年度より町内全小学校高学年を対象に開催しており、令和6年度は一般受講者も含めて317人が受講した。</p> <p>認知症初期集中支援チームについて、月1回の定期会議を開催。支援チームに情報提供し、早期支援の必要性を検討している。定例会の中で対処法を判断し、対応時期を見極め、実状にあった事業実施ができた。介入事例については、生活状況の確認、家族への連絡、医療・介護サービスに結び付けることができている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>認知症サポーターの人数（累計）は、令和3年度より町内全小学校高学年を対象に認知症サポーター養成講座を開催しており、毎年約200人が受講するため、令和5年度に前期基本計画の成果指標の目標値を達成し、令和7年度中に後期基本計画の成果指標の目標値を達成することが確実。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>認知症サポーター養成講座について、活動できているキャラバンメイト（講師役）の人数が少ない。</p> <p>認知症初期集中支援チームについて、支援チームが訪問、介入するケースが少ないため、支援チームと地域包括職員が連携を図りながら、支援へとつなげる体制を構築する必要がある。また、委託先の支援チームが2名体制で通常業務も多忙であるため、介入（訪問）件数が増えていないので、支援チーム員の増員が必要である。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>認知症の人の家族や地域の人が認知症について正しい知識を持ち理解することが重要であるため、認知症サポーター養成講座を一般住民対象の講座、出前講座に加え、全小学校での開催を継続して実施する。また、活動できているキャラバンメイト（講師役）の人数が少ないため、今後も地域包括支援センターの職員が認知症キャラバンメイト養成講座を受講し、キャラバンメイトとして活動していく。認知症サポーター養成講座を受講済みの方を対象にステップアップ講座を開催し、チームオレンジとして活動できる人材を育成する。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>認知症の正しい理解のため、引き続き認知症サポーター養成講座や出前講座に加え、全小学校での開催を継続するとともに、認知症サポーター養成講座を受講済みの方を対象にステップアップ講座を開催する。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部介護保険課	担当課長氏名	田中 達也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2 安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2 高齢者福祉の充実
	主要施策	1 安心して暮らせる地域づくり
その他関連計画等	中標津町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
認知症高齢者の増加や単身世帯高齢者の増加が見込まれる中、成年後見制度の利用の必要性が高まっていくことが予想されており、成年後見制度における後見等の業務を適正に行うことができるよう後見実施機関を設置、運営し市民後見人の活用も含めた後見活動を支援することで障がい者及び認知症高齢者の権利擁護を図る。	権利擁護業務を平成29年に中標津町社会福祉協議会に委託し、「成年後見センター」を設置したが、高齢者の虐待対応や消費者被害など、相談内容はさらに複雑化し、相談件数も年々増加している状況にあることから、相談対応できる体制づくりを支援するとともに、住民が気軽に相談できるよう周知・啓発を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 相談件数	件	単年	実績値	35	46	146	211	65			
		累計	達成率(対R7)	77.8%	102.2%	324.4%	468.9%	144.4%	0.0%	45	55
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	3,372 千円	4,894 千円	4,120 千円	8,493 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	3,901 千円	3,902 千円	4,811 千円	2,338 千円	千円
事業費	7,273 千円	8,796 千円	8,931 千円	10,831 千円	0 千円
対前年度比		120.94 %	101.53 %	121.27 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2211	成年後見事業(一般会計)	10,831		○					介護支援係
合計 1 事業		10,831							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	1	安心して暮らせる地域づくり

担当部・課 町民生活部介護保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>成年後見制度の相談件数は令和4・5年度より減ったが、その要因は令和4・5年度は1人で何度も相談した人が複数人いたため、相談人数は減っていない。また、身寄りのない高齢者が増えており、成年後見制度に関する相談は多い。市民後見人養成研修(隔年実施)と市民後見人フォローアップ研修を実施した。中核機関を令和7年4月1日に設置するよう関係機関と協議を行った。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>今後も認知症や単身の高齢者の増加が見込まれる状況を踏まえ、成年後見制度の利用促進のための体制整備を図っていくことが喫緊の課題。 後見人の担い手の確保に向けて市民後見人養成研修を開催しているが、市民後見人候補者の登録人数が少なく、養成研修を修了した町民が後見人として十分に活用されていない状況である。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>成年後見制度の利用は増加しており、市民後見人の活躍が期待されるが、実際に活動している方は少ないため、市民後見人が安心して活動できるようにフォローアップ体制を構築する。 令和7年4月1日に設置した中核機関の機能を段階的に充実させる。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>成年後見制度の利用増加が見込まれることから、中核機関の設置及び市町村計画の策定に向けて、準備委員会の設置を検討する。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部福祉課	担当課長氏名	榑田 真一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	2	高齢者の生きがいづくりと健康づくり
その他関連計画等	中標津町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>公益社団法人中標津町シルバー人材センターに対し、国及び自治体が運営費を助成することで活動基盤の安定化を図り、高齢者の就労の機会を確保し、生きがいづくりや社会参加を促進する。また、高齢者の交流を促進する老人クラブ連合会の運営を安定的なものにする。</p>	<p>経験と知識を持った高齢者が「学ぶ・楽しむ」をモットーに働きながら生きがいを見出すことができ、高齢者の社会参加の促進と活力ある地域社会づくりに寄与する。また、高齢者の生活を健全で豊かなものにするため、老人クラブの健全な育成を図る。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じる」と回答した町民の割合【町民アンケート】	%	単年	実績値	51.2	48.5	46.9	41.8	40.5	38.9	55.0	60.0
		累計	達成率(対R7)	93.1%	88.2%	85.3%	76.0%	73.6%	70.7%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	519 千円	517 千円	494 千円	471 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	5,574 千円	5,717 千円	5,613 千円	4,753 千円	千円
事業費	6,093 千円	6,234 千円	6,107 千円	5,224 千円	0 千円
対前年度比		102.31 %	97.96 %	85.54 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2221	高齢者福祉推進事業	5,224	○						社会福祉係
合計 1 事業		5,224							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	2	高齢者の生きがいづくりと健康づくり

担当部・課	町民生活部福祉課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>シルバー人材センターの運営費を支援することで、活動基盤の安定化が図られ、高齢者の就労の機会が確保され、生きがいづくり、健康の維持となり、また社会参加による地域の活性化に繋がる。老人クラブ連合会の運営費についても支援を行い、安定的な運営により町内老人クラブの相互の連絡調整や普及活動等に寄与している。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標1 町民アンケートにおいて、70代以上の方での「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じる」と回答された割合は49.5%と目標値に近い割合となっている。しかしながら、全体値でみれば低下の推移であり、高齢者福祉・介護予防等について、必要とする人に情報が届くよう普及啓発を推進していく。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>シルバー人材センターの会員数は減少傾向にあり、シルバー人材センターの運営・活動に影響が出始めている。老人クラブは、地域に根ざした社会参加活動の促進や生きがいの創造に関する活動を展開しており、高齢者の地域の仲間づくりの場や会員相互の連携による要支援高齢者への援助活動の場として重要な役割であるが、ライフスタイル等の多様化に伴い、単位老人クラブ数・会員数ともに減少傾向にあり、魅力ある老人クラブ活動となるような施策展開が必要である。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>シルバー人材センターの規模は縮小傾向にあるが、高齢者の就業機会の確保、雇用という観点（生きがいの充実による認知症予防の促進、社会参加による地域の活性化）から、その役割は非常に大きいものである。高齢者が培った知識や経験を活かし、社会を支える側に立つことは重要であり、シルバー人材センターの活動基盤の安定化を図るため継続的に支援する。</p> <p>高齢者人口の増加が見込まれる社会構造においては、元気な高齢者が手助けを必要とする高齢者を支える仕組みづくり、地域と関係を持たずにいる高齢者の地域参加が重要となってくることから、高齢者の自主的な組織である中標津町老人クラブ連合会の活動基盤の安定化を図るための支援を継続し、高齢者が生きがいを感じ、ともに支えあい、安心して暮らせるまちづくりを目指す。</p>
--	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>高齢者は増加しているが、社会構造の変化により、シルバー人材センターや老人クラブに参加する高齢者は減少している。生きがい対策として、就労の場の確保やネットワークづくりを支援することは、高齢者の健康維持に繋がることから、今後も支援を継続する。</p>
--	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>高齢者が生きがいを持ち続けるための健康寿命の延伸を図る施策の展開とともに現状を把握の上、施策展開を望む。</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部介護保険課	担当課長氏名	田中 達也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	2	高齢者の生きがいづくりと健康づくり
その他関連計画等	中標津町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
平成27年4月の介護保険制度改正に伴い、予防給付の見直しと生活支援サービスの充実を図ることとなり、平成29年4月から現行の介護サービスに加え、多様なサービスを展開していくことが義務付けられている。通所型サービスC（短期集中予防サービス）は専門職による短期集中で行われる運動器機能向上のプログラムを実施し、高齢者が要介護状態となることを予防し、自立した日常生活を営むことを目的とし、平成30年から開始している。	サービス事業者への委託により通所型サービスCを実施し、利用者は、通所することで身体機能の維持が保たれる。生活機能が低下した高齢者に対して、早期に事業を実施しており、要支援・要介護状態の防止につなげる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 参加実人数	人	単年	実績値	15	13	29	32	38		
		累計	達成率(対R7)	75.0%	65.0%	145.0%	160.0%	190.0%	0.0%	20
指標2 参加実人数	人	単年	実績値	431	396	348	425	462		
		累計	達成率(対R7)	86.2%	79.2%	69.6%	85.0%	92.4%	0.0%	500
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	2,252 千円	2,252 千円	2,252 千円	2,252 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	1,622 千円	1,622 千円	1,622 千円	1,622 千円	千円
一般財源	2,135 千円	2,135 千円	2,135 千円	2,135 千円	千円
事業費	6,009 千円	6,009 千円	6,009 千円	6,009 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	100.00 %	100.00 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2222	介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービス)	6,009	○						介護支援係
合計 1 事業		6,009							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	2	高齢者の生きがいづくりと健康づくり

担当部・課 町民生活部介護保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
生活機能が低下した高齢者に対して早期に事業を実施しており、要支援・要介護状態の防止につなげている。利用者は通所することで身体機能の維持が保たれており、外出や交流の機会の確保、認知機能の低下予防にもなっている。事業内容の周知を行い、利用者は増加しているが、途中終了者も一定数いた。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

通所型サービスCは短期集中で行われる運動器機能向上のプログラムであるが、サービスの継続利用の希望が多く聞かれている半面、途中終了者も一定数いるため、事業内容について、委託先と協議し、途中終了者が少なくなるようにする必要がある。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	理由 相談者や団体へ利用に向けた積極的な周知を行い、利用者を増やす取組みを継続する。参加者の運動の習慣化や介護予防の意識づけを行い、要支援・要介護状態の防止につなげる。
--	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	理由 積極的な周知により利用者を増やす取組みを引き続き継続する。
--	-------------------------------------

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部介護保険課	担当課長氏名	田中 達也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	2	高齢者の生きがいづくりと健康づくり
その他関連計画等	中標津町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
高齢者人口が増加していく中で、要介護状態及び要支援状態になるおそれのある高齢者、また一般の高齢者に対し、要介護状態になることを予防し、その居宅においてできるだけ自立した日常生活を送ることができるように継続的かつ効果的な支援を行う。	老人クラブやサロン等、各地区で行なわれている集まりや出前講座の中で、住民主体で継続的にできる運動「いきいき百歳体操」について情報提供、啓発活動を行うとともに、継続して運動を実施していける団体に働きかけ、運動実施の際の助言指導、評価等の支援を行う。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 出前講座の実施団体	団体	単年	実績値	3	4	8	9	15			
		累計	達成率(対R7)	30.0%	40.0%	80.0%	90.0%	150.0%	0.0%	10	10
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	11千円	11千円	11千円	11千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	9千円	9千円	9千円	9千円	千円
一般財源	13千円	13千円	13千円	13千円	千円
事業費	33千円	33千円	33千円	33千円	0千円
対前年度比		100.00%	100.00%	100.00%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2222	地域介護予防活動支援事業(いきいき百歳体操普及啓発)	33	○						介護支援係
合計 1 事業		33							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	2	高齢者の生きがいづくりと健康づくり

担当部・課 町民生活部介護保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響も無くなり、目標値を上回った。 引き続き老人クラブやサロン等、各地区で行われている集会や出前講座の中で、住民主体で継続的に実施できる「いきいき百歳体操」の情報提供・啓発活動を行っており、その中から、運動を継続できる団体には器具の貸し出しを行い、運動実施の際の助言指導、評価等の支援を行っている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>いきいき百歳体操を継続的に実施する団体が少ない。 「いきいき百歳体操」の参加者からは好評を得ており、地域の高齢者が集い気軽にできる「いきいき百歳体操」を周知し、高齢者の健康づくりへの意識を高めることが必要である。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>介護予防は要介護状態の軽減や悪化防止に効果が期待できることから、「いきいき百歳体操」を自主的・継続的に実施できる団体を育成する必要があるため、各団体への啓発継続とともに介護予防教室等でも開催し、広く普及させる。また、町民がより親しみが持てる体操とするため中標津町歌など馴染みの歌と共に行う中標津版百歳体操「なかなか百歳体操」を介護保険課の理学療法士が制作し、普及啓発のために作成した動画なども活用していく。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>介護予防の観点から、「いきいき百歳体操」の啓発や、「なかなか百歳体操」の普及を図るとともに、介護予防教室を引き続き開催する。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部介護保険課	担当課長氏名	田中 達也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2 ; 安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2 ; 高齢者福祉の充実
	主要施策	2 ; 高齢者の生きがいづくりと健康づくり
その他関連計画等		中標津町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画
その他関連施策		
担 当 課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
本町の高齢化率は全道で4番目に低く、若い町であるが、高齢者人口は着実に増加しており、それに伴い介護認定者も増加している。団塊ジュニア世代が65歳を迎える2040年を見据え、自立支援・重度化防止や日常生活支援等の役割・機能を果たす。	元気な方も介護認定者も誰でも参加し、交流することで元気な方は自立した生活を送り、介護認定者等は重度化の防止につなげるとともに、介護予防・認知症予防の普及・啓発を発信できる通所事業とする。 2041年に高齢者人口がピークを迎える本町においては、介護予防事業に力を注ぎ、介護認定者の増加抑制を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
										R7	R12	
指標1 介護予防地域支援事業の参加人数	人	単年	実績値	50	167	169	273	335			350	650
		○ 累計	達成率 (対R7)	14.3%	47.7%	48.3%	78.0%	95.7%	0.0%			
指標2		単年	実績値									
		累計	達成率 (対R7)									
指標3		単年	実績値									
		累計	達成率 (対R7)									

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	6,485 千円	5,945 千円	7,770 千円	8,044 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	4,670 千円	3,803 千円	4,980 千円	5,147 千円	千円
一般財源	6,141 千円	5,116 千円	5,689 千円	5,870 千円	千円
事業費	17,296 千円	14,864 千円	18,439 千円	19,061 千円	0 千円
対前年度比		85.94 %	124.05 %	103.37 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2222	介護予防地域支援事業	19,061	○						介護支援係
合計 1 事業		19,061							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	2	高齢者の生きがいづくりと健康づくり

担当部・課 町民生活部介護保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>中標津町社会福祉協議会に委託し、「運動器機能維持向上を目的とした活動」、「認知症予防を目的とした活動」、「交流を目的としたレクリエーション等」を実施した。</p> <p>令和6年度は、延10,259人の利用があり、老人クラブや高齢者サロンなどの団体や自由参加する方々の交流を通してつながりをつくることで、介護予防の役割・機能を果たしている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>介護予防地域支援事業の参加人数（累計）は順調に増えているが、利用者が増えたことにより実施場所が手狭になっており、現在の実施場所のみではこれ以上参加人数を増やすことが難しく、成果指標の目標値を達成するのが厳しい状況となっているが、より多くの方に利用してもらえよう実施方法・実施場所について委託先と協議していく。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>令和3年4月より事業を本格開始し、延利用者は順調に増えているが、利用者の固定化により新規利用者が思うように増えていない。また、1日当たりの平均利用者数は40人以上となっており手狭になっているため、実施方法・実施場所について委託先と協議しなければならない。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>新規利用者を増やすため未利用団体への周知を行うとともに、個別相談者にも積極的に周知を行う。また、委託先である中標津町社会福祉協議会と改善点を協議しながら利用しやすい環境を整備する。利用者から随時、要望を収集し必要な支援策を検討する。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>中標津町社会福祉協議会の体制整備により円滑な業務・連携ができた。高齢者サロン等による集いの事業、新たな通所事業等、まちづくり出前講座や介護予防教室、認知症サポーター養成講座など介護予防や認知症予防に取り組む事業の推進を図る。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部福祉課	担当課長氏名	榑田 真一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	3	多様な暮らしを支え合うまちづくり
その他関連計画等		中標津町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 要援護者の実態を把握し、災害時要援護台帳の作成及び情報連携することで、地域における見守り活動・連絡体制に繋ぎ、共助の体制づくりを構築する。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 災害時などにおいて、家族等の支援が困難で何らかの助けを必要とするひとり暮らし高齢者等が、災害時における避難支援を地域の中で受けられ、安心・安全に暮らすことができる。また、地域とのつながりによって、緊急時に限らず、高齢者の日常生活における不安解消や見守り活動体制の構築に繋がるもの。
--	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	200 千円	310 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	56 千円	53 千円	360 千円	575 千円	千円
事業費	56 千円	53 千円	560 千円	885 千円	0 千円
対前年度比		94.64 %	1056.60 %	158.04 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2211	高齢者支援事業	885	○						社会福祉係
	(高齢者支援事業 8,395千円の内災害時要援護者台帳整備分計上)								
合計 2 事業		885							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	2	高齢者福祉の充実
	主要施策	3	多様な暮らしを支え合うまちづくり

担当部・課	町民生活部福祉課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>町は70歳以上の独居高齢者世帯等に対し、災害時要援護台帳の登録を促し、自ら災害時要援護者名簿への登録に同意を得られた方のリストを作成する。この情報を町内会や民生委員・児童委員、消防署、警察署へ情報提供し共有することで、地域における見守り活動・連絡体制の一助となる。</p> <p>高齢者等の孤独死を未然に防止するため、民間事業者と「高齢者見守り活動に関する協定（7事業者と協定締結）」を取り交わし、地域における見守り体制の強化に繋げている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>独居高齢者や要介護者などの要配慮者で、災害時に何らかの避難支援が必要な人々に対する地域での避難支援が進むよう災害時要援護者支援制度を推進し、共助の体制整備の理解を促すとともに、地域での防災・減災の仕組みづくりに努める必要がある。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>高齢者が住みなれた自宅や地域で安心して暮らし続けられるよう、幅広い住民の参画を得ながら、様々な地域資源の役割分担のもと、高齢者の状況変化に対する見守りサービスが行われるなど、支援を必要とする高齢者を地域社会全体で支える仕組みは重要な施策である。</p> <p>高齢化社会の課題のなかで、地域における見守り体制作りにおいて、町内会、民生委員、民間事業等との連携は除々に進展しつつあるが、高齢者等を見守るセーフティネットを一層に広めていく必要性はある。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>支援を必要とする高齢者を地域社会全体で支える仕組みを構築するため、引き続き町内会、民生委員、民間事業等との連携を推進する。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部福祉課	担当課長氏名	榑田 真一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2 安心と生きがいを感じるまちづくり		
	施策項目	3 障がい者福祉の充実		
	主要施策	1 地域における生活支援		
その他関連計画等		中標津町障がい者計画 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画		
その他関連施策				
担当課				

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
障がい者計画の基本理念「かけがえのない一人ひとりが ころ豊かに暮らすまち」の基、ノーマライゼーション社会の実現を目指す。	地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な形態による事業を障がい福祉計画の基に効率的かつ効果的に実施することで、住み慣れた家庭や地域において自立した日常生活・社会生活が営むことができ、安心して暮らすことができる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 「障がい者サービスが整っていると感じる」と回答した町民の割合【町民アンケート】	%	単年	実績値	43.2	41.3	40.5	33.3	35.2	32.4	50.0	60.0
		累計	達成率(対R7)	86.4%	82.6%	81.0%	66.6%	70.4%	64.8%		
指標2 支援が必要な方の障がい福祉サービス受給者数	人/年	単年	実績値	302	326	321	327	347		360	425
		累計	達成率(対R7)	83.9%	90.6%	89.2%	90.8%	96.4%	0.0%		
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	19,658 千円	19,187 千円	18,608 千円	20,009 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	3,973 千円	3,563 千円	3,155 千円	4,976 千円	千円
一般財源	27,767 千円	28,713 千円	30,937 千円	30,862 千円	千円
事業費	51,398 千円	51,463 千円	52,700 千円	55,847 千円	0 千円
対前年度比		100.13 %	102.40 %	105.97 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2311	根室圏域障がい者総合相談支援センター事業	6,483	○						障がい福祉係
2311	障がい者地域生活支援事業	19,311		○					障がい福祉係
2312	障がい福祉推進事業	4,106	○						障がい福祉係
2312	重度心身障害者医療給付事業	25,947	○						障がい福祉係
合計 4 事業		55,847							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	3	障がい者福祉の充実
	主要施策	1	地域における生活支援

担当部・課	町民生活部福祉課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>根室管内1市4町により障がいのある人が地域で安心して暮らせるように、年齢、障がい種別を超えて総合的な相談支援を行う根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」を共生型交流センター内に設置し、専門相談員を配置することにより相談受付件数は年々増加しており、内容も多岐に渡り幅広い領域で相談者のニーズに対応できている。平成23年4月に新設された町営の女性用グループホーム「ふれあい寮（定員7名）」を指定管理制度により運営委託する。以降、民営による開設を喚起し、現在町内には町営1棟・民営6棟の合計7棟のグループホームの開設（定員49名）となり、住み慣れた地域で自立に向けた生活環境が整っている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標2 福祉サービス受給者数は増加傾向にあるが、単に受給者数が伸びれば良いというものではなく、障がい特性や個々のニーズに対応できる相談支援体制の確保に繋げていくことが重要である。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>重度の障がいのある人の日中活動の場の提供（生活介護支援）や障がいのある人の高齢化・重度化や親亡き後を見据えた地域生活支援の提供基盤の確保。</p> <p>グループホームの需要は高く満室に近い状態であり、潜在的に利用希望者があることや、中標津支援学校の卒業生の進路選択拡大、現在町外の施設等に入居している方など対象となる方は多く、引き続き環境整備の推進を図る必要がある。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>これまで入所・入院を続けてきた人が地域へその生活の場を移そうとする場合も含め、障がいのある人ができる限り住み慣れた家庭や地域で生活できるようにするためには、障がいのある人の自立した生活を支援するとともに、その介助に当たる家族の介助負担を軽減することも重要である。</p> <p>相談支援体制や在宅サービスの充実を始め、住宅やグループホームなどの生活の場、雇用・就労の機会、日常的な居場所の確保など、地域の社会資源を最大限活用し必要とされるサービスを切れ目なく提供できるよう、基幹相談支援センターや関係機関との連携により、地域全体で支えるサービス提供体制の構築を図る必要がある。</p>
--	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>地域の特性や利用者の状況に応じた様々な事業を展開し、住み慣れた家庭や地域において自立した日常生活・社会生活を営み、心豊かに暮らすことが出来る町を目指して、障がい者計画に基づき施策を推進していく。</p>
--	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部福祉課	担当課長氏名	榑田 真一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	3	障がい者福祉の充実
	主要施策	2	自立と社会参加の促進
その他関連計画等	中標津町障がい者計画 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
障がい児・者の暮らしを支えるため、障がい者介護・訓練等給付・障がい者自立支援医療費・障がい者補装具・障がい児通所給付費等を実施する。 医療的ケア児、重症心身障がい児とその家族が身近な地域で必要な支援が受けられるように、障がい児支援等の充実を図る。	障がい者及び障がい児に必要な障害福祉サービスに係る給付、医療費助成、身心機能を補完する補装具給付などを行い、その者が有する能力及び適正に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るようにする。 医療的ケア児等支援において、各関連分野が共通の理解に基づき協働する総合的な支援体制を構築することで、学齢期から成人期に円滑に引き継がれる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位（単年・累計）	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 「障がい者サービスが整っていると感じる」と回答した町民の割合【町民アンケート】	%	単年	実績値	43.2	41.3	40.5	33.3	35.2	32.4	50.0	60.0
		累計	達成率(対R7)	86.4%	82.6%	81.0%	66.6%	70.4%	64.8%		
指標2 支援が必要な方の障がい福祉サービス受給者数	人/年	単年	実績値	302	326	321	327	347		360	425
		累計	達成率(対R7)	83.9%	90.6%	89.2%	90.8%	96.4%	0.0%		
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	523,933 千円	530,941 千円	545,845 千円	564,330 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	5 千円	20 千円	33 千円	42 千円	千円
一般財源	166,380 千円	171,092 千円	179,389 千円	204,539 千円	千円
事業費	690,318 千円	702,053 千円	725,267 千円	768,911 千円	0 千円
対前年度比		101.70 %	103.31 %	106.02 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2321	医療的ケア児支援事業	8,266							障がい福祉係
2322	障がい者自立支援給付事業	760,645	○						障がい福祉係
合計 2 事業		768,911							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	3	障がい者福祉の充実
	主要施策	2	自立と社会参加の促進

担当部・課	町民生活部福祉課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>障がい児・者等に必要障害福祉サービスに係る給付、医療費助成、身体機能を補完する補装具給付等を行い、その者が有する能力及び適正に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう寄与している。</p> <p>医療的ケア児支援の協議の場を設置（障害者地域自立支援協議会）し、令和4年度より町立中標津保育園において、医療的ケア児保育受け入れ体制を整え実施する。</p> <p>地域における障がい福祉サービス提供体制確保のため、事業所開設準備補助金交付制度を創設し、放課後等デイサービス事業所が新たに1ヶ所開設となった。</p> <p>根室管内の企業、関係機関において障がい者雇用の現状と課題、差別解消と合理的配慮について情報共有を行い、障がい者雇用の促進に繋げていくため「くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センター」と協力し連絡会議に参画する。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標2 福祉サービス受給者数は増加傾向にあるが、単に受給者数が伸びれば良いというものではなく、障がい特性や個々のニーズに応じた支援に繋がっていくことが重要である。</p>	<p>施策の進行</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px;">B</p> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>障害福祉サービス支給決定者数の推移は、年々増加傾向にあり、それに伴う給付費も増加し、町の財政負担に影響を与えることが予想されるものではあるが、地域共生社会の実現に向け応分の負担は必要である。</p> <p>障がいのある人やその保護者が住み慣れた地域で安心して生活を続けていくためには、地域におけるサービス提供体制の充実が求められる。事業運営の安定化、支援者不足の解消に向けた人材確保に繋がる施策が必要である。</p> <p>障がい者の一般就労、福祉的就労から一般就労への移行を支援する障がい者就業・生活支援センターや就労移行支援事業所が町内に存在しないため、管外の「くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センター」による協力・支援体制になっている。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<p style="font-size: 2em; text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>障がいのある子どもへの療育指導や特別支援教育の充実を図り、障がいのある人が地域で生活を続けていくためには、障がい特性や個々のニーズに応じた働く場、活動の場が身近なところにあることが条件となり、地域での就労・雇用の場をいかに確保していくか等について、事業者、障がい者就業・生活支援センター及び支援機関とともに検討し、多様な就労の場の確保に努め、障がいのある人の社会参加を促進していく。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<p style="font-size: 2em; text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>障がいのある人が地域で生活を続けていくために、事業者、障がい者就業・生活支援センターなどの支援機関と連携し、多様な就労の場の確保に努め、障がいのある人の社会参加を促進する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部児童デイサービスセンター	担当課長氏名	石垣 敏	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-------------------	--------	------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	3	障がい者福祉の充実
	主要施策	2	自立と社会参加の促進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担 当 課			

1 目的（何のために） 町内のすべての子どもが健やかに成長し、個々の発達の特徴に応じた支援を活用できるよう、乳幼児期から学齢期に至るまで、切れ目のない発達支援体制の構築を図る。また、発達に課題を抱える子どもとその保護者、保育・教育関係者を包括的に支援し、地域全体で子どもの育ちを見守る環境づくりを推進する。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 幼児の発達障がいの早期発見、早期療育。
--	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	901 千円	901 千円	946 千円	954 千円	954 千円
地方債	千円	千円	千円	千円	3,900 千円
その他	1,597 千円	1,427 千円	1,661 千円	1,854 千円	3,353 千円
一般財源	137 千円	404 千円	944 千円	436 千円	0 千円
事業費	2,635 千円	2,732 千円	3,551 千円	3,244 千円	8,207 千円
対前年度比		103.68 %	129.98 %	91.35 %	252.99 %

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2321	児童デイサービスセンター管理運営費	3,244	○	○		○			町立中標津保育園
合計 1 事業		3,244							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	3	障がい者福祉の充実
	主要施策	2	自立と社会参加の促進

担当部・課 町民生活部児童デイサービスセンター

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか 乳幼児健診後のフォローアップ体制や保育・教育機関との連携体制を通じて、発達上の課題や障がいの早期発見と支援につなげる役割を安定的に果たしてきた。就学後も学校訪問による相談や発達評価を継続的に行うことで、学齢期の子どもへの切れ目ない支援体制を維持している。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

現時点において、具体的な制度改正や体制変更の計画は定まっていないが、引き続き相談・療育機能の質的向上と人員体制の強化に向けた方策を検討していく必要がある。特に、公認心理師をはじめとする専門人材の確保については、募集方法や働きやすい環境づくり等の観点から、より実効性の高い対策を模索していく。今後も地域ニーズの変化を的確に捉えながら、柔軟かつ持続可能な発達支援体制の整備を目指す。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	相談ニーズの増加に対して人的体制が追いついていない現状が続いており、既存の職員にかかる業務負担も増加傾向にあり、支援の質と持続可能性を両立させるための体制強化が求められることから、職員の増員が必要である。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	引続き現在の体制を維持し、心や体、言葉の発達に心配のある幼児とその家族が地域で安心して過ごせるように支援をしていく。利用者の増加に伴い、現行の職員体制では不十分となっていることから、早急に必要な専門職の増員を目指す。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	3	障がい者福祉の充実
	主要施策	3	ともに支え合う福祉のまちづくり

担当部・課 **町民生活部福祉課**

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>共生型交流センターは、子どもから高齢者まで誰もが気軽に立ち寄ることができ、地域住民が集い交流できる場所である。また、基幹相談支援センターを施設内に設置しており、障がいのある方やその家族の抱える様々な問題に対応できる環境となっており、早期問題解決へつながっている。</p> <p>コロナ禍によって、平成6年から継続開催する障がいのある子もない子も一緒に参加する中標津町フレンドリーサマーキャンプを中止していたところであるが、令和5年度より規模を見直したなかで事業を継続し、コロナ禍以前の参加者数に回復しつつある。</p> <p>令和7年度中の手話言語条例及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関わる条例制定に向け、当事者及び関係団体との懇話会を開催し、更に障がい者地域自立支援協議会において検討協議を行っている。手話言語条例制定の必要性や障がいのある人の人権やノーマライゼーションについての啓発として、「福祉のつどい」において映画上映会を開催している。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>多世代交流が図られるサロン運営は、現状障がい者の利用に偏りつつあるが、高齢者についても気軽に立ち寄れる環境の整備が必要である。</p> <p>令和6年4月に改正障害者差別解消法が施行されたことにより、企業等に対する障がい者への合理的配慮の提供が努力義務から法定義務化され、町広報誌を通じた啓発を行ったところであるが、関係団体との連携を図り、障がいへの理解を深めてもらう取り組みを実施し、障がい者への差別解消等を図るための施策を展開していく必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>障がいのある人もない人も互いに理解し、尊重しあう社会の創造のために交流の機会を拡充し、障がいに対する意識改革や理解を深めてもらえるような事業の実施や広報活動を行う。</p> <p>フレンドリーサマーキャンプにおいては、小・中・高校の児童生徒が、多様な交流活動を経験することにより、社会性を養い、豊かな人間形成を図る中で、障がい児童生徒等に対する正しい理解と認識を深めることも目指しているものあり、引き続き実行委員組織と連携し事業を継続していく。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 **石垣 敏**

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>障がいに対する意識改革や理解を深めてもらえる機会として有益なフレンドリーサマーキャンプなどの事業内容を拡充するとともに、引き続き広報活動を推進する。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部福祉課	担当課長氏名	榎田 真一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	4	地域福祉の充実
	主要施策	1	地域福祉社会の形成
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
中標津町社会福祉協議会や民生委員・児童委員、各福祉団体、ボランティア活動などの活性化のために支援し、地域福祉の向上を図る。	地域住民が助け合い、誰もが住みなれた地域で安心して充実した幸せな生活ができるようにする。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 「地域活動・ボランティア活動に参加している」と回答した町民の割合【町民アンケート】	%	単年	実績値 22.3	25.5	22.6	19.8	17.3	24.3	25.0	30.0
		累計	達成率(対R7) 89.2%	102.0%	90.4%	79.2%	69.2%	97.2%		
指標2		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	20千円	27千円	2,347千円	千円
一般財源	24,996千円	29,025千円	34,977千円	38,501千円	千円
事業費	24,996千円	29,045千円	35,004千円	40,848千円	0千円
対前年度比		116.20%	120.52%	116.70%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2411	民生委員研修事業	1,211	○						社会福祉係
2411・2422	社会福祉協議会補助事業	37,290	○						社会福祉係
2411	地域福祉事業推進補助事業	28	○						社会福祉係
2411	中標津町地域福祉計画策定事業	2,319	○						社会福祉係
合計 4 事業		40,848							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	4	地域福祉の充実
	主要施策	1	地域福祉社会の形成

担当部・課 町民生活部福祉課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>民生委員・児童委員は、町及び道の推薦により、厚生労働大臣から委嘱されている。また、民生委員・児童委員は協議会を構成して活動することが規定されており、民生委員法第14条に規定する職務を円滑に実施するために必要となる知識習得のため研修事業への支援は必須である。中標津町地域福祉計画策定（令和6年度～令和7年度で策定）において、町民ワークショップの開催及び地域福祉計画策定委員会を設置し、地域の現状や課題について意見交換や課題解決に向けた取り組み等を検討するなど、「地域共生社会」の実現に向け地域福祉の観点を共に考えていただき、これら意見を踏まえて計画策定を進めている。</p> <p>中標津町社会福祉協議会は、自主財源だけの事業運営が不可能であることから、補助することにより安定的な運営が図られ、町民の福祉向上に寄与している。また、福祉団体が自主的に行う事業の経費を一部補助することで、地域福祉の推進が図られる。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標1及び指標2の実績値を高めていくためには、人材の登録を総合的に行い、仲介・調整を担うボランティアセンターは、地域福祉活動を促進する上で非常に重要であり、機能の強化を促進していくとともに、センターの利用等について周知を図る。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>住民関係の希薄化や個人情報配慮などから、家族や地域で支え合う機能は弱まってきており、加えて地域福祉の担い手不足など、これまで地域を支えてきた相互扶助の体制が崩れつつある。地域での支え合いや助け合いによる福祉に関する具体的な取り組みを示し、町民一人ひとりの役割や隣近所等の身近なつながりでの助け合い、地域組織や団体が取り組むこと、社会福祉協議会や行政機関が取り組むことなど、地域社会を構成するそれぞれの立場での役割、「自助」「互助」「共助」「公助」の視点で整理する必要がある。</p> <p>少子高齢化が及ぼす社会構造の変化において、地域福祉の向上を推進するためには、中標津町社会福祉協議会の協力は不可欠であり、安定的な組織体制を構築するうえで、引き続き必要な支援を行っていく必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A	<p>地域福祉の課題は日々変化し、かつ複雑化している中、地域住民のつなぎ役・聞き取り役となる民生委員・児童委員の担う役割は今後も重要である。民生委員・児童委員の活動を支援することで、委員の質の向上につながる。</p> <p>中標津町社会福祉協議会との連携を強化し、地域福祉の向上を推進するため、地域課題の共通認識のもと相互の役割分担を明確に行い、各福祉団体、ボランティア団体等の育成・支援を行う。</p>
<p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
A	<p>民生委員・児童委員は、地域において住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めるとともに、地域の子どもたちが安心して暮らせるように見守りや相談に応じるなど、町民福祉にとって非常に重要な役割を担っていることから、引き続き活動の支援を行う。</p> <p>社会福祉協議会については、安定・円滑な業務連携ができるよう、体制整備を推進し、必要な支援を継続して実施していく。</p>
<p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部福祉課	担当課長氏名	榎田 真一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	4	地域福祉の充実
	主要施策	2	支え合いの地域づくり
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
支え合い、助け合う地域づくりを推進するには隣同士での助け合いが最も重要であることから、町民一人ひとりの福祉に対する取り組み意識の向上を図る。	潜在的に活動団体や携わりたい人がいるものと考えられることから、ボランティアの掘り起しやボランティア団体の育成を図り、活動拠点が維持され活動が拡充され、町民が支え合うまちづくりの推進に寄与する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 「地域活動・ボランティア活動に参加している」と回答した町民の割合【町民アンケート】	%	○ 単年 累計	実績値 達成率(対R7)	22.3 89.2%	25.5 102.0%	22.6 90.4%	19.8 79.2%	17.3 69.2%	24.3 97.2%	25.0 30.0	30.0
指標2 福祉ボランティア団体数	団体	○ 単年 累計	実績値 達成率(対R7)	25 92.6%	25 92.6%	25 92.6%	22 81.5%	22 81.5%	0.0%	27	30
指標3		単年 累計	実績値 達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	175 千円	175 千円	175 千円	175 千円	千円
事業費	175 千円	175 千円	175 千円	175 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	100.00 %	100.00 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2411・2422	社会福祉協議会補助事業 <small>(補助事業37,290千円の内ボランティアセンター活動費分計上)</small>	175	○						社会福祉係
合計 2 事業		175							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	4	地域福祉の充実
	主要施策	2	支え合いの地域づくり

担当部・課	町民生活部福祉課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>中標津町社会福祉協議会が運営するボランティアセンターに支援を行い、ボランティア活動の意義、必要性等啓発はもとより、個人の趣味・特技を生かしたボランティア活動の講座等の開催及び新規登録、既存の個人・団体ボランティアの養成・育成踏まえ講座等にて個人・団体ボランティアの登録数の増加を目指している。</p> <p>中標津町社協ボランティアセンターのホームページにおいて、ガイドブックを掲載し、広報・啓発活動を推進する。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 <small>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</small></p> <p>指標1及び指標2の実績値を高めていくためには、人材の登録を総合的に行い、仲介・調整を担うボランティアセンターは、地域福祉活動を促進する上で非常に重要であり、機能の強化を促進していくとともに、センターの利用等について周知を図る。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>町民がボランティア活動への関心を高め、活動に参加する機会を増やす取り組みを検討する必要がある。</p> <p>5類移行によって本格的に活動を再開し始めるが、会員の高齢化・コロナ禍期間による利用者離れの影響もあって、コロナ禍以前の状況に回復するには時間が必要である。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>中標津町社会福祉協議会や町内会と連携し、ボランティアに関する広報・啓発活動や福祉教育の推進、福祉イベントの開催の場等にて広く周知を図り、ボランティアに関する町民理解を深めていく。また、ボランティア講座については参加者が魅力を感じる内容を盛り込み多くの参加者を募り、福祉意識の高揚に努める必要がある。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>社会福祉協議会などの関係機関と連携し、ボランティア活動に関する広報・啓発活動や福祉教育を推進するとともに、必要な支援を引き続き継続する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部福祉課	担当課長氏名	榑田 真一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	4	地域福祉の充実
	主要施策	3	地域福祉の拠点づくり
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
総合福祉センターは、町民のふれあいと交流の促進及び地域福祉の拠点施設として利用推進を図る。	高齢者や障がい者福祉の増進が図られると共に、ボランティア活動による高齢者の生きがいがいづくりにつながる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	2,960 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	364 千円	365 千円	320 千円	4,406 千円	千円
一般財源	40,640 千円	36,641 千円	39,852 千円	39,994 千円	千円
事業費	41,004 千円	37,006 千円	40,172 千円	47,360 千円	0 千円
対前年度比		90.25 %	108.56 %	117.89 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2431	総合福祉センター運営管理経費	47,360	○						社会福祉係
合計 1 事業		47,360							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	4	地域福祉の充実
	主要施策	3	地域福祉の拠点づくり

担当部・課	町民生活部福祉課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>指定管理者制度により総合福祉センター維持管理を中標津町社会福祉協議会に委託し、地域福祉の拠点として多様な担い手づくりや支え合いの地域づくりの場として利用されている。新型コロナウイルス感染症5類移行から、貸館利用及び介護予防事業利用状況は徐々に回復傾向にあるが、引き続き、定期的換気・手指消毒等による感染予防対策を講じてゆき利用促進を図って行く。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>施設の老朽化に伴い、修繕・交換等が増えており、特に温泉設備に係る箇所の不具合が多くなってきている。過度な財政負担を強いることがないように施設維持管理に努める必要がある。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>維持管理において適時、適切な修繕計画を立て、財政的に大きな負担とならないよう管理するとともに、オール電化の施設であることから電気料金の削減に努める。 総合福祉センターの活用については、社会福祉協議会との密接な連携を踏まえ、地域福祉の向上に関する発信を進めて行きたい。また、有事の際の災害ボランティアの活動拠点、福祉避難場所として役割等を含め地域福祉の充実を図って行く。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>総合福祉センター健康増進室の利用については、総合体育館との利用者の棲み分けによる現状の利用者数と考える。町内会や老人クラブ等の活動にも広く利用できる福祉施設として、広く各種団体に周知を促し、利用率の向上を図る。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部・健康推進課	担当課長氏名	坂井 一文	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	5	健康づくりの推進
	主要施策	1	健康づくりの推進
その他関連計画等	第2次中標津町健康づくり推進計画 第3次中標津町食育推進計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

・「健康」は、豊かな人生を送るための基本的な条件の一つであることから、町民一人ひとりの健康保持を目指して、町民や地域、関係機関や行政が協働して支援する環境を整備し、健康づくりを推進する。
 ・心身の健康の増進と豊かな人間形成、食に関する感謝の念を養うため、食育を推進する。
 ・熱中症や食中毒予防など、健康危機管理に対する正しい知識の普及により健康被害を防止する。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

・町民一人ひとりが健康で自分らしく豊かな人生を送ることができるとを指し、健康に対する正しい知識の普及を図るとともに、関係機関や町民と連携し、健康づくりと心の健康づくりを推進する。
 ・食や食生活に対する正しい知識の普及を図るとともに、関係機関と連携し、食育を推進する。
 ・熱中症や食中毒についての具体的な予防方法の周知、情報の提供、注意喚起を行うことで健康被害を防止する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 喫煙率 男 女	%	○ 単年 累計	実績値	29.4	-	-	-	-	-	25.0	20.0
			達成率 (対R7)	13.0	117.6%	113.0%					11.5
指標2 朝食を食べている人の割合 成人男性 成人女性	%	○ 単年 累計	実績値	71.4	69.4	71.2	69.7	66.5		73.9	76.4
			達成率 (対R7)	87.0	78.9	84.4	81.4	85.4		89.5	92.0
指標3		○ 単年 累計	実績値	97.2%	88.2%	94.3%	90.9%	95.4%			
			達成率 (対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	124 千円	263 千円	203 千円	178 千円	千円
地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
その他	392 千円	323 千円	321 千円	380 千円	千円
一般財源	462 千円	53 千円	554 千円	398 千円	千円
事業費	978 千円	639 千円	1,078 千円	956 千円	0 千円
対前年度比		65.34 %	168.70 %	88.68 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2511	地域保健指導推進事業(健康づくり推進事業)	418	○						健康推進係
2513	地域自殺対策強化事業(こころの健康づくり支援事業)	335	○						健康推進係
2512	食育推進事業	203							健康指導係
2511	熱中症・食中毒予防対策事業	0							健康指導係
合計 4 事業		956							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	5	健康づくりの推進
	主要施策	1	健康づくりの推進

担当部・課 町民生活部・健康推進課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・健康づくり推進連絡会議を1回開催し、計画の進捗状況を把握するとともに、今後の事業実施、取り組み方法等についての検討を行い、目標達成に向け計画の確認を図った。</p> <p>・なかなか健康なかしべつポイント事業を実施し、応募者数は549名と、令和5年度532名より増加し、町民の健康づくりに対する意識の定着が図られてきている。</p> <p>・第2次中標津町生きるを支える自殺対策行動計画に基づき、地域連絡会議の開催や自殺予防講演会、ゲートキーパー養成講座を開催し、当初予定通りの事業を実施できた。</p> <p>・食育については、推進連絡会議を書面会議で開催するとともに、食育通信を1回発行し、各推進連絡委員が所属している団体において、食育の推進に向けた取り組みを行った。</p> <p>・熱中症予防及び食中毒予防の対策として、広報記事掲載や健康教育・健康相談時における注意喚起のほか、警報発令時等にあつては、町公式SNS、緊急情報メール、FMはな放送、災害対応型自動販売機電光掲示板の表示、看板設置、公用車用マグネットシートなどにより迅速に対応している。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>・朝食の欠食については、目標年まで1年ごとに0.5ポイントずつの上昇を目標としている。R6年度はR5年度に対して男性は下がっているが女性は上がっており、引き続き健診時の栄養相談や乳幼児相談の場を利用して保護者世代の食生活についても啓発を続ける。</p>	<p>施策の進行</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>・体力測定会については体育館とのタイアップにより実施したが、参加者確保に向けた更なる検討が必要。また、一人でも多くの町民になかなか健康なかしべつポイント事業に参加してもらい、健康づくりへの動機づけとなるようにしていく必要がある。</p> <p>・5年度に健康増進に関する連携協定を結んだ明治安田生命保険相互会社と連携して健康づくりの取り組みを行っていくための協議が必要。</p> <p>・自殺対策は様々な関係機関とのネットワークづくりが重要であり、地域で見守り支える仕組みづくりが課題であり、第2次計画に基づいた自殺対策の取り組みを、より具体的に進めていく必要がある。</p> <p>・令和5年度から実施している「地産地消レシピコンテスト」の継続実施にあたり、多数応募してもらうための検討が必要。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>・コロナ禍による健康事業の停滞など、悪影響を及ぼしていた状況から脱却できるよう各種健康づくり事業を展開していく。</p> <p>・なかなか健康なかしべつポイント事業を引き続き実施し、町民の健康づくりへの取り組みのきっかけづくりとなるよう、広報紙、チラシ等による周知の強化、多くの人に参加してもらえるよう事業を継続していく。</p> <p>・自殺対策については、北海道医療大学との包括的連携を締結予定であることから、締結後は大学の協力により具体的な対策を進めていく。</p> <p>・幼児から高齢期まで切れ目のない食育を推進するにあたり、各種食育教室を実施するとともに、令和5年度から実施している「地産地消レシピコンテスト」を継続実施する。</p> <p>・熱中症予防及び食中毒予防については、情報提供、注意喚起のほか、警報発令時等にあつては迅速に対応し健康被害を防止する。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>なかなか健康なかしべつポイント事業のように特典があるものについては参加者が増加するが、自分の健康に無関心な層をいかに呼び込むかが今後の事業展開の課題である。</p> <p>食生活等、予防も含めた健康づくりの推進については、十分な感染対策を実施しながら、事業展開を検討する。</p> <p>自殺予防対策については、地域包括連携協定の締結予定である北海道医療大学の協力を得ながら、各種事業を展開する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部・健康推進課	担当課長氏名	坂井 一文	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	5	健康づくりの推進
	主要施策	2	母子の健康の推進
その他関連計画等	第5次中標津町母子保健計画 第2期中標津町子ども・子育て支援事業計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

・母子保健法に基づき、母性及び乳幼児の健康の保持増進を図り、また心身の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、妊産婦から切れ目のない支援を推進する。
・規則正しい生活習慣、健全な食習慣、適切な口腔保健行動の確立へに向けた支援を推進する。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

・妊産婦から切れ目のない支援を行い、心身の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、妊婦が心身ともに健康的に過ごし、安全な妊娠、出産、育児ができる。
・乳幼児及び養育者の健康の保持増進を図り、訪問指導等で病気や障がいの早期発見、早期養育に結び付ける。
・規則正しい食習慣を確立し、健康の保持と肥満を予防、改善する。
・歯科疾患予防のため知識の普及と口腔衛生の推進を図り、むし菌の減少につなげる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
										R7	R12	
指標1 乳幼児健診受診率 1.6ヶ月健診 3歳児健診	%	単年	実績値	95.0	97.7	100.0	99.3	97.6				
		累計	達成率	96.9	94.9	99.1	97.3	99.4			99.0	100.0
			(対R7)	96.0%	98.7%	101.0%	100.3%	98.6%			98.0	99.0
指標2 朝食を食べている人の割合 成人男性 成人女性	%	単年	実績値	71.4	69.4	71.2	69.7	66.5				
		累計	達成率	87.0	78.9	84.4	81.4	85.4			73.9	76.4
			(対R7)	96.6%	93.9%	96.3%	94.3%	90.0%			89.5	92.0
指標3 むし菌のない3歳児の割合	%	単年	実績値	85.1	83.0	89.3	88.8	90.4				
		累計	達成率	94.6%	92.2%	99.2%	98.7%	100.4%	0.0%			
			(対R7)	94.6%	92.2%	99.2%	98.7%	100.4%	0.0%		90.0	92.0

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	6,591 千円	7,185 千円	7,981 千円	9,058 千円	千円
地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
その他	2,226 千円	2,004 千円	2,004 千円	3,007 千円	千円
一般財源	13,701 千円	8,831 千円	6,804 千円	7,484 千円	千円
事業費	22,518 千円	18,020 千円	16,789 千円	19,549 千円	0 千円
対前年度比		80.02 %	93.17 %	116.44 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2521	母子保健事業(乳幼児健診相談訪問事業)	2,784							母子健康係
2522	母子保健事業(妊婦健康診査助成事業他)	14,596	○						母子健康係
2521	母子保健事業(栄養事業)《一般・国保》	391							健康指導係
2521	母子保健事業(歯科)《一般・国保》	1,778							健康指導係
合計 4 事業		19,549							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	5	健康づくりの推進
	主要施策	2	母子の健康の推進

担当部・課 町民生活部・健康推進課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診の交付者は、全員受診して出産を迎えることができ、妊婦の健康保持、安全な出産につながっている。 ・不妊治療が保険適用となったことにより、町として不妊治療助成事業として交通費・宿泊費の一部助成を実施しており、補助事業で不妊治療の先進医療についても治療費・交通費の助成が開始されたことにより、支援体制の拡充が図られている。 ・令和6年度より「1か月児健康診査」の費用助成を開始し、関係機関と連携しながら支援をしている。 ・産後ケア事業の利用料減免支援をしたことで利用者が増加している。 ・健診後においても、個々に発達相談、育児相談、栄養相談を行い、育児不安の軽減につなげている。 ・園児、学童に対する歯みがき実技指導が未実施のため、令和7年度から実施再開に向けて検討する。 	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診受診率について、1歳6か月児健診では97.6%、3歳児健診では99.4%と、高い受診率となり、1歳6か月児健診では目標にあとわずか届かなかったが、3歳児健診では目標値を達成した。今後も高い受診率を維持できるよう努めていく。 ・朝食の欠食については、目標年まで1年ごとに0.5ポイントずつの上昇を目標としているが、男性は下がっているが女性は上がっており、引き続き健診時の栄養相談や乳幼児相談の場を利用して保護者世代の食生活についての啓発を続ける。 ・虫歯のない3歳児は、前年度と変わらないが、虫歯のない児が9割を超えた一方でむし歯のある児は重症となっているなど二極化傾向であった。 	B A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診費用の助成や産後ケア事業、不妊治療及び先進医療についての助成事業等について、国の動向や利用者の要望等を確認しながら事業内容の拡充検討を図っていく必要がある。 ・歯科教育において、実技指導ができなかったため、園児から学童期のむし歯の増大が懸念される。保護者への、むし歯予防の必要性の指導、継続が必要であるとともに、質疑指導再開に向けての検討を行う。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦が、心身ともに健康的に安全な妊娠、出産、育児ができるよう、妊娠期からの支援を継続する。 ・産後ケア事業、産婦健診事業については、実施状況とニーズを把握しつつ、実施方法や内容の拡充などの検討を行う。 ・健康かるてシステムの導入を十分活用し、効率的に利用する。 ・乳幼児、園児、学童期のむし歯の減少を目指す。保護者へのむし歯予防の必要性について継続的に指導をする。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
A A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	妊産婦の健康管理の充実や経済的負担の軽減、乳幼児の健康保持増進を図るため、各種事業を実施するとともに、子育て世代包括支援センターの設置により、妊産婦からの支援や虐待予防などの支援等を行うことにより安心して出産・子育てが出来る環境を整えていく。 町立中標津病院と連携し、産後ケア事業を推進する。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部・健康推進課	担当課長氏名	坂井 一文	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	5	健康づくりの推進
	主要施策	3	疾病予防の充実
その他関連計画等	中標津町国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第3期中標津町特定健康診査・特定保健指導実施計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率及び保健指導実施率の向上を目指し、生活習慣病(脳卒中、心筋梗塞、糖尿病等)の発症、重症化の予防を図る。 健康増進法、がん対策基本法による事業実施により、成人期の健康増進を図る。 適切な食習慣を身につけ、健康的な栄養、食生活を図る。 歯科疾患予防の知識の普及と口腔衛生の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率30%を目指し、国民健康保険加入者の生活習慣病の発症・重症化を予防する。 各種がん検診の受診率向上を目指し、疾病の早期発見、早期治療に結びつける。 食生活に関する知識を深め、生活習慣病の予防、改善に心がける。 歯科疾患予防、正しい口腔ケアの実践により、生活習慣病の予防、改善に心がける。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 特定健康診査受診率	%	単年 実績値 達成率(対R7)	24.1	29.9	30.5	34.5	31.3			全道平均以上	全道平均以上
指標2		単年 実績値 達成率(対R7)									
指標3		単年 実績値 達成率(対R7)									

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	9,854 千円	14,621 千円	11,263 千円	11,087 千円	千円
地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
その他	512 千円	0 千円	13 千円	337 千円	千円
一般財源	27,055 千円	24,918 千円	26,683 千円	27,214 千円	千円
事業費	37,421 千円	39,539 千円	37,959 千円	38,638 千円	0 千円
対前年度比		105.66 %	96.00 %	101.79 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2531	がん検診等事業	9,442							健康推進係
2531	後期高齢者医療・健康診査実施事業	3,016							健康推進係
2531	国保特定健診・保健指導実施事業《国保》	22,669	○						健康推進係
2531	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	326	○						健康推進係
2531	国保健康づくり推進事業《国保》	2,898							健康推進係
2532	食生活改善事業(成人保健事業)《一般・国保》	64							健康指導係
2533	成人歯科疾患予防対策事業(成人保健事業)《国保》	223							健康指導係
合計 7 事業		38,638							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	5	健康づくりの推進
	主要施策	3	疾病予防の充実

担当部・課 町民生活部・健康推進課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査は、令和5年度までは新型コロナウイルス感染症対策のため1日あたりの受け入れ人数を制限して実施していたが、令和6年度からは、コロナ禍前の水準に戻し、概ね計画どおり実施することができた。 ・後期高齢者の健康維持、フレイル予防を目的に「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を令和6年度より開始し、概ね当初の計画通り達成できた。 ・健康かるてシステムの活用により、健診予約や検診券の発行、結果入力などシステム化され、事務の効率化が図られた。 ・栄養教室、相談は、新型コロナウイルスの5類への移行により調理実習を伴う教室を少しずつ再開した。 ・歯科相談、教育は、新型コロナウイルスの感染症対策により実技指導が実施できず、個別での相談や講話のみの教室、紙面教育で実施した。 	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>特定健康診査受診率については、コロナ禍前に戻ってきているが、今後も自動予約の周知、促進を行い継続受診者を増加していく必要がある。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査、がん検診、人間ドックは、引き続き健診機関や医療機関に感染対策を強化するなど、町民が安心して検診を受けられる体制を作っていくとともに周知していく必要がある。 ・生活習慣病の発症・重症化予防のため受診しやすい体制づくりや個別勧奨、健診事後の特定保健指導の定着化など、受診率向上に向けた対策が必要である。 ・健診や栄養教室、歯科相談などほとんどの事業において、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高いが、感染防止対策を強化しながらコロナ禍前の水準での事業実施を進める必要がある。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診については、次年度健診の自動予約、インターネットからの予約受付、健診の無料化、未受診者や要精密検査者への受診勧奨、なかなか健康なかしべつポイント事業などを継続して実施する。 ・令和5年度に策定したデータヘルス計画及び特定健診・特定保健指導実施計画に基づき事業を実施していく。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施については、事業の課題や効果を整理しながら関係機関と連携して取り組んでいく。 ・健康かるてシステムの活用により、事務作業の効率化を図り、受診率向上に向け、保健指導を充実させていく。 ・歯科疾患予防対策を継続して実施、歯周病予防、口腔の健康保持などの知識の普及を継続して行っていくとともに、実技指導の実施を再開する。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>町民の健康保持増進、疾病の早期発見・早期治療、医療費削減等を目指し、各種健診への受診勧奨、健康思想の啓発等実施していく。</p> <p>受診しやすい環境づくりを検討していくと共に町立中標津病院等関係機関との連携を強め、受診率の向上を図っていく。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部・健康推進課	担当課長氏名	坂井 一文	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	5	健康づくりの推進
	主要施策	4	感染症対策の強化
その他関連計画等			
その他関連施策			
担 当 課			

1 目的（何のために） ・感染症や伝染病の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、疾病にかかるリスクを下げる。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） ・予防接種率の向上を図る。 ・新型コロナウイルスや感染症の情報収集を行い、感染拡大防止に努める。
---	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 予防接種率	%	単年	実績値	95.3	93.9	100.0	77.2	100.0			
		累計	達成率 (対R7)	98.2%	96.8%	103.1%	79.6%	103.1%	0.0%	97.0	97.0
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率 (対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率 (対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	194,415 千円	184,221 千円	90,459 千円	253 千円	千円
地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
その他	2,233 千円	2,042 千円	2,341 千円	10,864 千円	千円
一般財源	43,222 千円	51,719 千円	39,249 千円	83,637 千円	千円
事業費	239,870 千円	237,982 千円	132,049 千円	94,754 千円	0 千円
対前年度比		99.21 %	55.49 %	71.76 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2541	感染症予防対策事業	94,754	○						管理係
合計 1 事業		94,754							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	5	健康づくりの推進
	主要施策	4	感染症対策の強化

担当部・課 町民生活部・健康推進課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・国の方針により定期接種化が進められ、接種率が高い水準を維持し、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延防止につながっている。</p> <p>・新型コロナワクチン接種については、高齢者のみ定期接種化されたことから、国からの助成のほか、町としても費用の一部助成を実施し、1,129名が接種した。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>予防接種については、国の方針により公的に接種する定期接種化が進められており、高い接種率となっていることから伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延防止につながっている。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>・新型コロナワクチンの接種費用について、国からの助成が令和6年度で終了となっており、町としても一部を助成していることから、国からの助成分を上乗せした自己負担となることから、今後においても自己負担と町負担について検討が必要。</p> <p>・带状疱疹ワクチンの接種費用について、令和7年度から65歳を対象（経過措置あり）に定期接種化となり費用の一部助成を行うこととなったが、任意接種であった令和5年度から50歳以上を対象に一部助成を行っている経過があるため、今後の継続及び自己負担と町負担について検討が必要。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>・予防接種の必要性を各健診や相談時で説明し、適切な時期に受けられるよう支援する。また、予防接種における制度の変遷に応じ適切な情報を提供するとともに、接種により重篤な健康被害が発生しうる事実を正確に伝え、予防接種の有効性とリスクについての理解が得られるよう支援するとともに、感染予防の必要性の周知や予防接種の勧奨を行う。</p> <p>・带状疱疹ワクチンについて、令和7年度から65歳を対象（経過措置あり）として定期接種化となったことから費用の一部助成を行ったところだが、既に任意接種であった令和5年度から50歳以上を対象に一部助成を行っている経過があるため、今後も継続する必要がある。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>各種予防接種の実施、食中毒予防や熱中症予防に対する啓発、周知を徹底して行い、健康被害防止を推進する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町立中標津病院医事課	担当課長氏名	長谷川 博之	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	--------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	6	地域医療の充実
	主要施策	1	地域医療体制の確立
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けて、必要なサービス提供体制の確保を図るため、平成26年6月に公布された「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」に基づき、策定された北海道地域医療構想を踏まえ、町内の医療機関やその他関係機関との連携を強化し、地域医療体制の確立を果たす。</p> <p>根室管内は、医療資源の少ない地域であることから、常勤医師の不足や高度医療機器の購入などが非常に厳しい医療現場となっている。このことから以前より釧路市の高次医療機関を含む、釧路根室地域医療情報ネットワーク協議会に加盟しており、医療情報ネットワークを活用し、釧路・根室地域の患者の医療情報を共有することで、転院や救急搬送等に際し、迅速かつ適正で円滑な医療提供が行える環境の充実を図る。</p> <p>今後も人口減少や少子高齢化が続く中、これまで以上に社会保障制度が複雑となり、医療、介護、福祉等の相談が多岐にわたることが想定されることから、専門的知識を有する相談員は地域住民にとって必要不可欠である。</p>	<p>急性期、回復期、慢性期のそれぞれを担う医療機関との連携強化を図ることで、よりきめ細かい医療提供を実施する。</p> <p>また、医療情報ネットワークを利用し、関係する医療機関と患者情報の共有が可能となることで医療提供の利便性の向上を図り、関係機関（保健、介護、福祉等）と連携を密に行うことで、地域住民が安心して入院や在宅療養生活を送れる環境を構築し、まちづくりに寄与する。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	1,643 千円	千円	千円
地方債	千円	千円	4,737 千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	28,502 千円	28,596 千円	29,339 千円	31,024 千円	千円
事業費	28,502 千円	28,596 千円	35,719 千円	31,024 千円	0 千円
対前年度比		100.33 %	124.91 %	86.86 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2611	地域医療体制強化事業	0	○						医事係
2612	地域センター病院機能充実事業(釧路・根室地域病院間ネットワーク)	385							地域医療相談係
2613	医療相談・地域連携活動推進事業	30,639							地域医療相談係
合計 3 事業		31,024							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	6	地域医療の充実
	主要施策	1	地域医療体制の確立

担当部・課 町立中標津病院医事課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>地域住民の皆様が安心して入院や在宅療養生活を送れるよう、医療相談室、地域医療連携室を設置し、各医療機関、介護関連施設などの連携体制の強化を進めている。終末期の訪問診療や訪問看護など継続して療養が必要な状態にある患者については、計画的に訪問診療が行える体制を整えている。</p> <p>厚生労働省の目指す地域包括ケアシステムの視点に立ち、スムーズな連携体制を取っている。医療相談室の実績としては、入院・外来患者からの医療・介護保険制度等について5,031人から医療相談を受けており、転院や救急搬送時の他医療機関との医療連携調整については、1,740人の実績がある。その中で患者情報を共有できる医療情報ネットワーク新規利用者は184人となっており、これまでの登録者数は1,234人となっている。また、地域医療構想を踏まえ二次医療圏の根室管内各医療機関において、今後必要とされる病棟の種類や病床数について根室圏域地域医療構想調整会議にて病棟の確保や取組状況を含めて協議、検討を行っている。引き続き2025年に向けた地域の医療・介護情勢を踏まえ、必要とされる入院病床について院内での協議及び計画が必要である。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>町内における医療機関は、令和4年11月に内科クリニック1軒が閉院、令和5年12月に小児科クリニック1軒が閉院し、令和6年2月に内科クリニック1軒が開院したことにより、当院を除いて1病院、2診療所となっているが、身近な医療を提供するかかりつけ医を促進するには、医療機関数は不足している状況にある。医師・看護師等の確保が最重要課題であり、町内に診療所等を新たに開設する開業医に対し、診療所等の開設に要する経費の一部を助成する「中標津町開業医誘致制度」や「修学資金貸付制度」を活用して医療従事者確保対策を講じる必要がある。地域医療構想を踏まえ、二次医療圏の根室管内各医療機関では病棟の種類とその病床数について協議、検討が行われているが、医療資源の少ない地域である根室二次医療圏の各医療機関だけの議論ではなく、三次医療圏の釧路管内医療機関を含めた議論が必要である。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>地域医療構想を踏まえ、根室二次医療圏に必要とされる病棟の種類やその病床数についての議論は、引き続き根室圏域地域医療構想調整会議にて行われる。今後は三次医療圏の医療機関等においても議論を行い、釧路市内の医療機関が担う役割、根室管内の医療機関が担う役割を明確にし、三次医療圏全体として検討することも重要である。また、当院としても必要とされる役割、目標等を精査する必要がある。今後も地域センター病院としての役割を維持し、三次医療圏釧路市の医療機関との連携を密に図りつつ、経営改善の議論、その計画、実行が求められる。</p> <p>令和2年6月より病院経営改革プロジェクトチームが発足し、病棟再編の実施、コスト削減、地域住民との関わり方等を議論してきた。令和4年9月より110床プロジェクトがスタートし、令和5年度110床プラスプロジェクト、令和6年度110床プラスプロジェクトⅡ、令和7年度は110床プラスプロジェクトⅢとして、病院全体での改善目標の達成に向けて継続した取り組みを進めており、収益増加につながり経営改善効果が現れている。引き続き職員の理解・協力を得ながら、職員一丸となって課題や問題点の改善に取り組む。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 走出利政

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>施策の進め方は、課長評価のとおり「A:このままですめてよい」と評価します。</p> <p>地域医療構想による地域医療のあり方については、各医療機関間での「連携強化」、「機能分化」など、北海道を中心に各自治体を巻き込み、今後の根室地域の医療体制のあり方について協議を発展させる必要がある。</p> <p>令和2年度から当院独自の経営改革に取り組み、国の地域包括ケアシステムに習い、地域包括ケア病床を設置し、入院患者の利便性を向上させた。令和4年度から入院患者を安定的に確保する「110床プロジェクト」を推進するなどの取組を実施し、成果が上げていることから、地域のセンター病院としての機能・役割を継続をさせ、持続可能な地域医療体制の構築を目指して行く。また、医療相談室・地域医療連携室の機能を強化し、紹介・受入件数の増加を目指す。</p> <p>更には不足する医療スタッフ、特に看護師の確保・定着を目指すべく、新たな取り組みを模索し、公共性、経済性の観点をもち、地域医療体制の確立を図っていく。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町立中標津病院管理課	担当課長氏名	富樫 隆弘	調書作成日	令和7年 7 月 15 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	6	地域医療の充実
	主要施策	2	安全・安心な医療の提供
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
地域住民の命を守り、安全で安心な暮らしのためには、救急医療体制をはじめとする地域医療の充実が不可欠であることから、根管内の中核病院としての機能の充実、整備と、地域に根ざした病院として地域医療の充実を図る。	医療機器を計画的に整備・更新することにより、医療機能の維持・充実を図る。また、医療スタッフの研修により、医療技術・サービスの向上・充実を図るとともに、地域の住民に愛される（信頼される）医療機関となる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 病床利用率(稼働病床)	%	単年	実績値	75.6	81.3	89.9	94.1	89.2		85	90
		累計	達成率(対R7)	88.9%	95.6%	105.8%	110.7%	104.9%	0.0%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	236,850 千円	87,982 千円	36,479 千円	57,226 千円	千円
地方債	51,900 千円	135,600 千円	88,430 千円	333,100 千円	千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
一般財源	101,256 千円	72,491 千円	38,044 千円	33,801 千円	千円
事業費	390,006 千円	296,073 千円	162,953 千円	424,127 千円	0 千円
対前年度比		75.91 %	55.04 %	260.28 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2621	看護職員等確保対策事業(医療技術職員養成修学資金貸付金)	15,600	○						総務係
2621	看護職員等確保対策事業(看護職員等確保対策貸付金)	900	○						総務係
2621	看護職員等確保対策事業(看護職員確保対策旅費)	85	○						総務係
2622	研究・研修事業	8,561	○						総務係
2622	地域センター病院機能強化事業(研修会開催事業)	1,519	○						総務係
2621	医師確保対策事業	0	○						総務係
2621	初任給調整手当経費	6,317	○						総務係
2622	認定看護師育成事業	0		○					総務係
2623	施設老朽化改修事業	325,111	○						管理係
2623	医療機械器具等整備事業	66,034	○						管理係
合計 事業		424,127							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	6	地域医療の充実
	主要施策	2	安全・安心な医療の提供

担当部・課 町立中標津病院管理課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>医療人材確保対策として、学校訪問や学生の実習受入等を行っているが、職員採用に即座につながるものではないが、長期的な視点で学校と良好な関係性を築くことができることから、将来的な職員採用に寄与するものであると考える。また、町内のイベント(夏祭り/冬まつり)へ参加してのPR活動や、東京中標津会総会へ出席、北海道エアシステム機内誌への広告掲載など、新たな取り組みも進めている。</p> <p>施設の維持管理については、建物や医療機器の老朽化が進んでおり、限られた予算の中で修繕・更新を行わなければならないが、院長をはじめとする医療機器選定委員会で十分検討したうえで、順次改修を行っている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>令和6年度の稼働病床の病床利用率は89.2%となり、高い利用率を維持することができ、令和7年度の目標値である85%を超えることができた。</p> <p>令和2年度から経営改革を進め様々な取り組みを行ってきたところであるが、令和6年度についても入院患者を1日110人を目標とする「110床プロジェクト」を持続可能なものとするため、業務改善等を検討する「110床プロジェクトプラス」として、業務のタスクシフト（業務移管～例：看護師が行っていた業務を看護師以外の職員が行う）などの検討を、副院長をプロジェクトリーダーとして職員一丸となって取り組んできた結果だと思われる。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>看護師の採用については、一定数確保できているものの、退職や転職をする職員も一定数おり、退職者を増やさない取り組み（働き方や福利厚生の見直しなど）も必要となっている。また、手に職を持つ技術職員は、一般事務職に比べて転職しやすい時代となっており、看護師の確保も引き続き喫緊の課題となっている。</p> <p>施設面については、開院から25年が経過し、施設の修繕や医療機器の更新を進めているところであるが、病院運営が厳しい状況にあり、整備に係る財源の確保が必須となっている。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>地域住民の命を守り、安全で安心して暮らせるまちづくりのためには、持続可能で安定的な医療提供が不可欠である。そのために、医師、看護師及び医療技術者の確保は重要な課題であることから、医療関係者が働きやすい環境の形成に加え、業務過多になっている医師や看護師の業務を、他職種にシフト、シェアすることができないか、引き続き経営コンサルの助言を受けながら、継続的に取り組んでいく。</p> <p>また、病院施設を継続して使用するためには、施設の大規模改修や、現病院新築時に合わせて導入している医療機器が耐用年数を超えているため、更新を計画的に行っていく、病院が無くなれば地域が衰退する「最後の砦」という意識を持ち、持続可能な経営運営を目指していく。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 走出利政

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>施策の進め方は、課長評価のとおり「A:このまま進める」と評価します。</p> <p>看護職員や医療技術者の研修や資格取得については、医療提供体制向上や接遇マナーの向上により、患者満足度及び病院運営の発展に寄与することから、今後も計画的に院内での研修会開催や外部講習への参加、資格取得を支援する体制を継続し、職員の資質向上を図っていく。</p> <p>今後は各職種のタスクシェア・タスクシフトを模索し、より効率的な医療提供体制の構築を目指す。</p> <p>新築移転より26年目を迎える施設については、新築依頼修繕を実施していない機器などがあり、間違いなく修繕が必須になってくる。医療機器の購入とともに、限られた予算内での有効活用を目的に、経営改革の観点から優先順位など適切な見極めを院内で実施し購入を進めていく。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町立中標津病院医事課	担当課長氏名	長谷川 博之	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	--------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	6	地域医療の充実
	主要施策	3	救急医療・災害時医療体制の確立
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>町民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して生活を送るためには、救急医療体制は必要不可欠であり、救急患者に応じた適切な医療の提供を維持する必要がある。地方公共団体が地域の实情に応じて病院群輪番制方式、共同利用型病院方式等による入院を要する救急医療機関を整備し、大規模自然災害等による負傷者の発生に備え、応急収容するために転用できる場所や応急用資器材等の確保により自己完結できる体制整備が必要であり、災害派遣チーム(DMAT)の隊員確保、育成が今後も必要とされる。</p>	<p>町民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、適切な救急医療体制の確保。 大規模自然災害等による負傷者の発生に備え、地域内で完結できる医療体制の整備や災害派遣チーム(DMAT)の維持。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 町外(釧路市等)医療機関への搬送件数	件	単年	実績値	144	150	165	152	203		150	150
		累計	達成率(対R7)	96.0%	100.0%	110.0%	101.3%	135.3%	0.0%		
指標2 時間外受診者数	人	単年	実績値	2,848	3,409	3,944	4,213	3,713		4,000	4,000
		累計	達成率(対R7)	71.2%	85.2%	98.6%	105.3%	92.8%	0.0%		
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	2,243 千円	2,225 千円	2,225 千円	2,171 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	1,123 千円	1,114 千円	1,114 千円	1,086 千円	千円
一般財源	269,010 千円	267,997 千円	273,104 千円	276,635 千円	千円
事業費	272,376 千円	271,336 千円	276,443 千円	279,892 千円	0 千円
対前年度比		99.62 %	101.88 %	101.25 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2631	救急医療体制充実事業	272,103							医事課医事係
2631	広域救急医療対策事業(小児救急医療支援)一般会計	1,086							管理課総務係
2631	広域救急医療対策事業(小児救急医療支援)病院事業会計	6,401							管理課総務係
2632	災害医療体制整備事業	302							管理課管理係
※広域救急医療対策事業は一般会計と病院事業会計で事業費が重複									
合計 4 事業		279,892							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	6	地域医療の充実
	主要施策	3	救急医療・災害時医療体制の確立

担当部・課 町立中標津病院医事課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>地域の救急医療体制の充実を図るため、24時間、365日の救急医療体制を実施している。時間外受診患者は3,713人となっており、前年度より500人減少している。土日祝祭日については、小児科時間外診療を午前10時から午前11時の時間で実施しており、小児科時間外患者全体の9割（小児科時間外患者数1,059人中、943人が受診）の子どもが受診している。また、消防救急隊との連携を図り、専門的な高度医療、特殊医療を提供できる三次医療圏の釧路市内医療機関へ救急車やドクターヘリにより203件の搬送を行っている。令和7年1月より救急隊から当直医師のスマートフォンへの直接連絡手段として救急Hotlineを導入したことで、救急現場の質の向上や業務効率化、現場スタッフ間の連携強化といった効果が期待される。</p> <p>当院は災害拠点病院の指定を受けており、災害時における受入体制構築や被災地への災害時医療援助隊(DMAT)の派遣など医療体制整備を行っている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>令和6年度の町外（釧路市等）医療機関への搬送件数は203件で、令和7年度の目標値150件を上回り、時間外受診者数は3,713人で、前年度より561人減少し、令和7年度の目標値4,000人以内に収まっている。</p> <p>高齢者人口の増加に伴い、75歳以上人口の割合が増えており、今後、高齢者救急の需要は年々増大するものと思われる。2025年にはすべての団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、他の世代と比較してその人口規模が大きいことから地域の医療体制に影響が出るものと予想される。</p>	<p>施策の進行</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>24時間、365日の救急医療体制を維持するためには、常勤医師の当直業務の負担軽減が必要であり、引続き大学医局等を通じて出張医師確保に努める。また、コンビニ受診の抑制は必要であるが、救急医療が発生した際の患者若しくは家族の初期対応が重要であることから、救急時の初期対応、病院への連絡・確認や家庭での対処方法など医療情報の発信が必要である。</p> <p>災害時の医療体制については、災害時を想定した防災危機管理マニュアルの見直し及び、トリアージ訓練等の実施が必要である。また、被災地への医師等派遣については災害時医療援助隊(DMAT)の複数編成等が理想である。</p> <p>今後も救急医療需要の増大が見込まれるため、さらなる高齢化の進展、継続して増加する救急搬送件数、医師の働き方改革への対応が課題である。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>令和6年度時間外に受診された患者は3,713人で、前年度より500人の減となっている。また、その際に入院した患者は425人で、前年度より15人の増となっている。なお、平日時間内を含む救急車の受入実績は689人で、前年度より79人減少している。時間外診療は、限られた人員の中で適切な医療行為を提供しなければならないため、引続き、適正かつ迅速な医療行為の提供が行える環境整備を構築し、三次医療圏の釧路市内医療機関との連携を密に行い、地域センター病院として、二次医療圏域の医療機関としての役割を果たしていく必要がある。</p> <p>また、災害時の対応として、定期的な防災危機管理マニュアルの見直しが必要であり、DMAT隊の派遣については、令和6年1月に初の被災地派遣を経験し、今後は複数隊編成等にも対応できる人材の育成が求められる。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 走出利政

<p>施策の進め方</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>施策の進め方は課長評価のとおり「A:このまま進めてよい」と評価します。</p> <p>地域における救急医療体制の確保は地域住民の生命を守る礎として最も重要であります。</p> <p>当院の医療提供体制の確保は、道内育大学や関係医療機関から協力を得ながら、継続して進めていかなければならない。今後、国が進める医師の地域偏在格差対策へも注目し、医師の確保が必須であれば要請活動も検討して行く。災害は、いつ何時、発生するか解らない状況であり、昨今の各種自然災害の発生により、日頃からの備えの大切を痛切に感じている。日頃から有事に備え、院内はもとより、関係機関とも連携した災害対策の構築の検討が必須である。当院もDMAT隊を1隊編成しているが、通常業務の合間を縫って活動するには、些か限界があるように感じることから、余裕のある人員整備を進める検討を行う。</p> <p>また、管内救急隊との連携を強化し、受入態勢の精査や手順の効率化を進めることが重要である。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課 町立中標津病院管理課 担当課長氏名 富樫 隆弘 調書作成日 令和7年 7 月 16 日

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	6	地域医療の充実
	主要施策	4	安定した病院経営の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 持続可能な病院経営を確保するため。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 令和5年度に策定した「町立中標津病院経営強化プラン」を基に、適切な医療提供体制の構築を図る。
----------------------------------	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	1,281 千円	千円	千円
事業費	0 千円	1,692 千円	1,281 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		%	75.71 %	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2641	町立中標津病院経営強化プラン策定事業	0		○					経理係
合計 1 事業		0							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	6	地域医療の充実
	主要施策	4	安定した病院経営の推進

担当部・課 町立中標津病院管理課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>令和4年3月に、国から「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」が示され、更なる経営強化に向けて、現状の把握と現在進行形の経営改革の評価もしつつ、新たなプランの策定を令和5年度に行った。</p> <p>令和6年度は、作成したプランを踏まえ、安定した病院経営の推進が図られたところであるが、内容によってはプランの変更を検討しなければならない箇所もあり、引き続き調査研究を行う。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>プランの内容には、地域医療構想等を踏まえた当院の果たすべき役割や機能を記載しているところであるが、近隣の病院がそれぞれ独自に策定していることから、地域医療連携がどこまでできるのか検討する必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>病院の運営状況は大変厳しい状況であるが、経営改革の実践と評価を繰り返し、新たな経営強化プランの点検/評価を病院運営委員会のご意見も伺いながら策定を進める。</p> <p>昨年に引き続き病院経営コンサルタントと委託契約し、健全経営を行うための経営改革を行っていく。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 走出利政

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>施策の進め方は、課長評価のとおり「A:このまま進める」と評価します。</p> <p>令和2年度から経営改革プロジェクトを進めており、収益の改善、コスト削減、接遇、医療提供体制の向上に努めており、取り組みの成果が「公共性」として、患者からの「病院への手紙」によるスタッフへの肯定的な意見、「経済性」としての収益増に繋がっている。</p> <p>令和4年度から安定的な入院患者の確保を目的とした110床プロジェクトをスタートし、概ね目標を達成している、令和8年度もプロジェクトを継続し、入院患者への対応の充実、質の高い医療提供体制の構築を進める。また、安定的な医療提供体制の構築には医療スタッフの確保も必要であることから、特に看護師の確保・定着に主眼を置き、新たなプロジェクトを検討する。引き続き「公共性」と「経済性」の2本柱を基に安定した経営の推進を進める。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>地域の中核を担う病院として、地域全体での連携を一層密にし、持続可能な医療提供体制を確立していくことが重要であると考えます。</p> <p>全国的に、公立病院は採算が取れず、赤字が続いており、中標津町も例外ではありません。安定した病院経営のために、利便性向上により利用者を増やすことや生産性を高める取り組みを強化することを期待します。</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部・住民保険課	担当課長氏名	戸村 のぞ美	調書作成日	令和7年 7 月 11 日
-------	-------------	--------	--------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	7	社会保障の充実
	主要施策	1	社会保障の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
国民健康保険事業の健全な事業運営を確保し、町民の健康保持、増進に寄与することを目的とする。	保険税の収納率向上、医療費の抑制に努め、道の運営方針に沿った、持続可能な事業運営を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 町民アンケート：健康保険や年金制度に関して知りたい情報が得られていると感じる割合	%	○ 単年	実績値	51.8	42.2	42.7	39.0	37.8	32.7	55.0	60.0
		○ 累計	達成率(対R7)	94.2%	76.7%	77.6%	70.9%	68.7%	59.5%		
指標2 特定健康診査受診率	%	○ 単年	実績値	24.1	29.9	30.5	34.5	35.7		全国平均以上	全国平均以上
		○ 累計	達成率(対R7)								
指標3		○ 単年	実績値								
		○ 累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	1,491,717 千円	1,490,469 千円	1,425,759 千円	1,508,985 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	77 千円	67 千円	67 千円	124 千円	千円
一般財源	890,070 千円	874,891 千円	895,183 千円	898,889 千円	千円
事業費	2,381,864 千円	2,365,427 千円	2,321,009 千円	2,407,998 千円	0 千円
対前年度比		99.31 %	98.12 %	103.75 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2711	国民健康保険事業	2,407,998				○			国保・高齢者医療係
合計 1 事業		2,407,998							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	7	社会保障の充実
	主要施策	1	社会保障の充実

担当部・課 町民生活部・住民保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
道の運営方針に基づき、統一保険料に向けた納付金算定の見直しに向け協議を進めるため連携会議等で、北海道・振興局管内市町と情報共有を図るとともに、国の税制改正に合わせ賦課限度額を改正した。 なお、収納率については、現年度収納率で0.41ポイント減となったが、滞納繰越分を含む全体では1.17ポイント上昇した。また、特定健診の受診率については、新型コロナウイルス感染症の影響により低下していたが、回復傾向が見込まれる。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
健康保険の制度に関して、広報・ホームページ等を活用し引き続き町民への周知を推進する。	B
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

令和12年度を目標年度とした、北海道統一保険料率に向けて、令和3年度に本町保険税率の改定を実施したが、今後、保険税を財源として支払う国保事業費納付金が段階的に見直される中、基金残高などを注視し適正な保険税率への改定スケジュールや収納向上、保健事業等における財源の確保が課題となってくる。 令和8年度より予定されている子ども・子育て支援金制度の円滑な導入に向け、制度周知の徹底が必要となる。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A	道内統一保険料率が令和12年度を目標年度として目指すこととなり、当町においては納付金配分の見直しによる金額の上昇や医療費水準の格差に伴う道費による個別補填も段階的に減額されるため、適正な保険税率により激変が生じないよう基金の活用も含めた税率改正を実施し、円滑な統一保険料率への移行を目指す。 また、保険税収納率においては保険税率改定に影響することから、引き続き収納部門と連携した収納率向上対策を推進、保健事業においても、健康推進課と連携し特定健診受診率向上等、医療費適正化を進めていく。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

施策の進め方	理由
A	令和12年度から開始される北海道統一保険料については、その議論に参加し、情報収集した上で、本町の適正な保険税の改正に繋げていく必要がある。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部・住民保険課	担当課長氏名	戸村 のぞ美	調書作成日	令和7年 7 月 11 日
-------	-------------	--------	--------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	7	社会保障の充実
	主要施策	1	社会保障の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

都道府県ごとに全ての市町村が加入する広域連合が制度の運営主体となって実施する医療制度として、75歳以上（一定の障がいがあると認められた方は65歳以上）の方が将来にわたり安心して医療を受けられるよう持続可能な医療制度を構築するため。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

被保険者の増加や、医療の高度化により上昇している医療費に対し、医療費の抑制、財源の確保による安定した事業運営。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 町民アンケート:健康保険や年金制度に関して知りたい情報が得られていると感じる割合	%	○ 単年	実績値	51.8	42.2	42.7	39.0	37.8	32.7	55.0	60.0
		累計	達成率(対R7)	94.2%	76.7%	77.6%	70.9%	68.7%	59.5%		
指標2 保険料(普通徴収)収納率	%	○ 単年	実績値	99.19	99.20	98.85	98.98	98.77		広域連合 目標値以上	広域連合 目標値以上
		累計	達成率(対R7)	/	/	/	/	/	/		
指標3		○ 単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	294,491 千円	304,460 千円	323,393 千円	359,676 千円	千円
事業費	294,491 千円	304,460 千円	323,393 千円	359,676 千円	0 千円
対前年度比	/	103.39 %	106.22 %	111.22 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
2712	後期高齢者医療事業	359,676		○					国保・高齢者医療係
合計 1 事業		359,676							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	2	安心と生きがいを感じるまちづくり
	施策項目	7	社会保障の充実
	主要施策	1	社会保障の充実

担当部・課 町民生活部・住民保険課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

<p>何を実施し、どのような成果があったか</p> <p>被保険者の増加に伴い、通知書、保険者証の発送件数も増加しているが、広域連合と連携し効率的に業務を遂行できた。又、R5年度より保険料のコンビニ納付を開始し収納率上昇に貢献した。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>後期高齢者医療制度に関して、広報・ホームページ等を活用し引き続き町民への周知を推進する。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>普通徴収の収納率は前年度より0.21ポイント減少し、広域連合が定めた目標値には達していない。 普通徴収収納率 98.77%（目標収納率 99.25%）</p> <p>令和8年度は2年に1度の税率改正の年であり、子ども・子育て支援金制度も導入されることから、制度周知の徹底が必要となる。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>引き続き加入者数の増加が見込まれるため、新規加入者への制度周知の徹底、納付環境拡充についての普及促進に努め、被保険者間の公平性の確保を図る。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 石垣 敏

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>高齢化により加入者数の増加が見込まれるが、引き続き収納率の向上に取り組む。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済部 農林課	担当課長氏名	有賀 勇治	調書作成日	令和7年 7 月 15 日
-------	---------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	1	農業の生産性・収益性・付加価値向上
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>飼料自給率向上を目指し、各種事業を導入し、牧草、デントコーン等の収量増を図ってきた。近年ではTMRセンター方式による、安定した給餌飼料の実現で、センター組合員の生乳生産量は増産傾向にあり、継続的な牛乳の消費拡大の推進を図ることで酪農の持続的な発展につながる。また、クラスター事業により、規模拡大を進める酪農家も増えている。大型酪農に対応し、機械も大型化しており、過去整備した道路は傷みが激しく、再整備を含めた道路整備も必要である。</p> <p>酪農以外にも、馬鈴しょ、てん菜、大根、ブロッコリーの畑作物も展開されており、優れた地場食材の地産地消にも取り組んでいる。日本は人口減少時代、本町が将来町として存続するためには、基幹産業としての農業の振興は重要な施策であり、農畜産物のブランド化、高付加価値化は農業所得向上とともに、基幹農業を守り、担い手の確保にもつながっていく。</p>	<p>計画的な草地整備により、栄養価の高い飼料作物の増収を進め、自給飼料率の向上で、所得向上を目指す。TMRセンターを代表とする農作業の分業化により、実労働時間の短縮、労働環境の改善を図り、魅力ある産業を目指す。防雪柵の整備等道路整備は、冬期間の安全な交通網の構築が可能となる。</p> <p>安全・安心で良質な地域の農畜産物をPRし、農業所得の向上を図り、優れた農畜産物のブランド化、高付加価値産物の生産を目指す。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 生産農業所得(1戸当たり)	千円	単年	実績値	26,933	25,114	22,496	23,195	25,616		28,533	30,133
		累計	達成率(対R7)	94.4%	88.0%	78.8%	81.3%	89.8%	0.0%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	202,723 千円	199,542 千円	198,344 千円	199,003 千円	千円
地方債	26,300 千円	42,000 千円	11,900 千円	56,200 千円	千円
その他	50,991 千円	89,075 千円	423,405 千円	116,825 千円	千円
一般財源	113,962 千円	102,405 千円	101,965 千円	112,471 千円	千円
事業費	393,976 千円	433,022 千円	735,614 千円	484,499 千円	0 千円
対前年度比		109.91 %	169.88 %	65.86 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3111	北方四島周辺海域操業対策協議会負担金	137							農務係
3111	道営草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業	27,186	○						農務係
3111	公社営草地畜産基盤整備事業[畜産担い手総合整備型]	54,674	○						農務係
3111	中山間地域等直接支払事業	259,247							農務係
3111	道営農地整備事業一般農道整備[保全対策型]	48,663	○						農務係
3111	多面的機能支払事業	42,549							農務係
3111	農地保有合理化利子補給事業	4							農務係
3111	酪農学園大学連携協定推進事業	878	○						農務係
3111	農業経営基盤強化資金利子補給事業	682							農務係
3111	畜産特別資金利子補給事業	1,321							農務係
3111	農業農村活性化資金貸付事業	39,500							農務係
合計 11 事業		474,841							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	1	農業の生産性・収益性・付加価値向上

担当部・課	経済部 農林課
-------	---------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>中山間、多面的については、地域協議会において協議決定された事業が実施されており、草地整備、環境整備等着実に実施されている。大根、ジャガイモ等は地域ブランドを確立し取引されているが、猛暑の影響によりジャガイモの出荷量は前年を7.4%下回る結果となったが、大根・プロッコリーについては、順調に生育し、出荷量はともに前年を上回った。（大根11.0%増、プロッコリー33.2%増）</p> <p>基盤整備事業は、草地を中心に整備が進められ生産性の向上が図られている。道路整備についても、順次進められており、農作業の効率化が図られ、農業者の冬場の安心安全な交通網の確保に貢献している。</p> <p>また、地産地消や牛乳消費拡大については、「牛乳で乾杯条例10周年記念事業」の実施により消費喚起を図った。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻の影響により、肥料や資材の高止まりにより生産コストが増大。加えて円安により生産コストがかさんでいるものの2023年度からの複数回（R5 3回・R6 2回）の乳価引き上げで、生産農業所得（1戸当たり）は増加傾向にある。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>国際貿易関連施策の変化により、農業の先行きが不透明な状況であり、設備投資や後継者等への足かせとなっている。農業へ関心のある若者は少数であり、初期投資が大きな酪農は敬遠されがちである。多くの産業で人手不足が顕著であり酪農現場でも同様である。規模拡大には最新技術等、ロボット化が主流であり、これまで酪農の基本形態であった家族経営体の維持が今後、大きな課題である。規模の大きな農場への新規就農は就農者への負担も大きく敬遠されがちなことから新規就農を目指す者とのマッチングが難しくなる可能性がある。飲用牛乳等が消費低迷する中において、官民が一体となった牛乳・乳製品の消費拡大に向けた活動を継続する必要である。</p> <p>また、6次産業化への取組意欲のある農業者は、農業経営維持に注力していることから非常に少ない。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>生乳生産を維持するためには、経営規模の拡大は時代の流れであるが、一方では家族経営の営農が継続できなければ地域農業は崩壊する危険がある。TMRセンターに代表される協同の仕組みは、安定した自給飼料の確保と業務の分業化による過重労働の軽減につながることから、今後も町として可能な支援を推進する。大型農業機械が安全に通行でき、冬場の生乳集荷も滞ることなく通行可能な道路整備は今後も計画的に継続実施する。</p> <p>牛乳及び乳製品の消費が低迷していることから、本町の基幹産業である酪農の持続的発展のためには継続的な消費拡大活動が必要である。</p> <p>また、例年、馬鈴薯、大根をはじめとする農産物も高い品質を活かした高取引が行われていることから、引き続き安全安心な農畜産物の生産を支えるため、防疫体制の強化と生産基盤の整備を進め、生産者の所得向上に努める。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>冷涼な気候と豊富な草資源を活かした草地形酪農は根創酪農の特徴、強みである。乳牛の増頭や規模拡大に対応する牧草などの自給飼料基盤及び道路等のインフラ整備は農業振興上重要な施策であり、各種補助制度等を導入し進める必要がある。</p> <p>国内トップクラスの生乳生産量を誇る本町にとって、消費者の期待に応えた良質な生乳生産とその生乳で作られた地元乳業メーカーによる安全安心な牛乳乳製品の提供は、本町の地域経済を支える根幹であることから、消費拡大運動を継続する。</p> <p>また、馬鈴しょ、大根をはじめとする農産物も高い品質を活かした高取引が行われており、地域の優良な農畜産物を地域で消費する地産地消は大切な取り組みとして推進する。</p> <p>引き続き安全安心な農畜産物の生産を支えるため、防疫体制の強化と生産基盤の整備を進め、生産者の所得向上に努める。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>牛乳消費拡大キャンペーンは、牛乳消費拡大の観点から、今後も継続的に実施していくことが重要であると考えます。今後は、飲用に限定せず、牛乳を用いたレシピ紹介などを通じて、食材としての活用を促すこと、SNSや広報紙に加え、牛乳売り場でポスターを掲示することなど、キャンペーンの認知度向上を図る手法の検討が必要であると考えます。</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済部 農林課	担当課長氏名	有賀 勇治	調書作成日	令和7年 7 月 15 日
-------	---------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	1	農業の生産性・収益性・付加価値向上
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3112	ジャガイモシストセンチュウ対策事業	108							農務係
3112	馬鈴しょ原種農場運営費補助事業	7,200							農務係
3112	地産地消推進事業	350	○						農務係
3112	牛乳消費拡大推進事業	2,000	○						畜産係
合計 4 事業		9,658							
合計 15 事業		484,499							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	1	農業の生産性・収益性・付加価値向上

担当部・課	経済部 農林課
-------	---------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に進んでいる <input type="checkbox"/> B 目標に向かって概ね順調に進んでいる <input type="checkbox"/> C 目標に向かってあまり進んでいない <input type="checkbox"/> D 目標に向かって進んでいない

2 課題

--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<input type="checkbox"/> A このまま進める <input type="checkbox"/> B 若干の見直し・修正が必要 <input type="checkbox"/> C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由
<input type="checkbox"/> A このまま進める <input type="checkbox"/> B 若干の見直し・修正が必要 <input type="checkbox"/> C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

--

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

--

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済部 農林課	担当課長氏名	有賀 勇治	調書作成日	令和7年 7 月 15 日
-------	---------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	2	担い手の育成・確保と支援体制の強化
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>全国的に農家戸数は減少傾向にあり、本町においても農業者の高齢化、後継者不足を要因とする離農者は増えつつある。これまで離農による農地の集積に関しては近隣農家の規模拡大により取り込めているが、それもいつまで続くか解らない。農家戸数の減少は、地域コミュニティの崩壊につながり、基幹産業を酪農として関連産業と発展してきた本町のとり、今後とも町として存続していくためには、基幹産業酪農が永続的に経営が維持できる施策が必要である。</p>	<p>酪農の労働環境を改善し、酪農が魅力ある産業であることや、各種就農補助制度があることを広く周知し、新規就農を目指す若者を1人でも多く確保する。新規就農者は意欲ある優良農家となる場合が多く、今後とも関連団体と連携し、経営能力、育成管理能力の優れた人材を輩出できるよう支援対策を講じる。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 新規就農者数(累計)	単年	実績値	0	2	2	2	2				
	累計	達成率(対R7)	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	7	14	
指標2	単年	実績値									
	累計	達成率(対R7)									
指標3	単年	実績値									
	累計	達成率(対R7)									

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	6,090 千円	4,869 千円	1,720 千円	300 千円	千円
地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
一般財源	8,092 千円	178 千円	406 千円	176 千円	千円
事業費	14,182 千円	5,047 千円	2,126 千円	476 千円	0 千円
対前年度比		35.59 %	42.12 %	22.39 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3121	農業担い手対策補助事業	0							農務係
3121	新規就業・就農PR事業	476		○					農務係
3122	新規就農者対策補助事業	0	○						農務係
3122	農業次世代人材投資補助事業	0							農務係
合計 4 事業		476							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	2	担い手の育成・確保と支援体制の強化

担当部・課	経済部 農林課
-------	---------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>ファム・エイとの新規就業・就農PR事業では、酪農ヘルパーとして職業体験に来るケースもあり、一定の成果が出ている。新規就農者や次世代を担う農業者への補助を行うことにより就農直後の負担の軽減や安定した農業経営に寄与している。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>新規就農PR活動を8回（うち新・農業人フェア4回・就農フェア3回・大学訪問2回）行った。総計79名のブース来場があったものの、新規に就農する人はいなかった。 なお、インターンについては6名を受け入れた。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>現在、各産業での人材不足が深刻であり、農業回帰の時代と言われるが初期投資に莫大な資金が必要な酪農は就農PRでも畑作から比べると人気薄である。 また、近年の飼料等の高止まりや円安の影響により、より一層資金が必要となっている。農業は、一年中休みが無く働くことが職業としてマイナスイメージが定着しており、新規就農対策としても労働環境の改善や生活環境の充実が喫緊の課題である。 今後も就農希望者に対して親身になって相談できる窓口と人材確保が必要であり、町も関係団体と連携したサポート体制の構築が必要である。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>農業へ関心のある若者の掘り起こしのため、農業人フェア等へ積極的に参加し、関連学校への学校訪問によるPR活動も合わせて取り組んでいく。 新規就農者の初期投資の軽減対策も大切だが、地域の環境にどう馴染めるか人的サポートが就農場所を決定する際、重要となるため町も農協と連携した窓口体制の強化に取り組む。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>少子高齢化に伴う労働力人口の減少によりあらゆる産業が人手不足の中、新規就農者や後継者、その他農業従事者など、担い手確保のためには、地域や産業としての農業に魅力があることが今後一層求められる。 農業に関心のある若者の掘り起こしを目的とした様々な事業の推進はもちろん、新規就農者の確保に実績を上げている計根別農協の支援・相談体制や、中標津町農協の出資法人(株)RARAFARMの実習生受け入れなどと連携し、担い手の確保・育成に取り組む必要がある。 特に飼養頭数の増加と省力化の両立、情報通信技術の推進、農福連携や外国人技能実習生など、多様な人材・労働力の活用も新たな対策として進める必要がある。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	農業委員会	担当課長氏名	杉山 隆	調書作成日	令和7年 8 月 8 日
-------	-------	--------	------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	2	担い手の育成・確保の支援体制の強化
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
町の基幹産業である農業においては、後継者不在による離農件数の増加など、年々深刻さは増しており、若者の未婚、晩婚化が進んでいる現状から、家族経営が主体である本地域農業の発展・存続にとって重大な問題となっており、後継者のパートナーの確保が最重要課題である。	独身後継者のパートナーの確保。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	R7	R12									
指標1 農業後継者の成婚者数	件	○ 単年	実績値	3	8	2	3	5		5	5
		累計	達成率(対R7)	60.0%	160.0%	40.0%	60.0%	100.0%	0.0%		
指標2 上記の内協議会関与成婚件数	件	○ 単年	実績値	0	0	0	0	0		2	2
		累計	達成率(対R7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
指標3		○ 単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	480 千円	400 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	1,500 千円	1,500 千円	1,020 千円	1,100 千円	千円
事業費	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	100.00 %	100.00 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3121	農業後継者対策事業	1,500	○						庶務係
合計 1 事業		1,500							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり	担当部・課	農業委員会
	施策項目	1	農業の振興		
	主要施策	2	担い手の育成・確保の支援体制の強化		

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>主力事業である男女の出会い活動のメインとなる「対面交流会」については、2回開催することができた。前年度と同様に女性が当町の農業後継者のもとに嫁ぐことを具体的に意識してもらうために、農業の現場と当町が生活しやすい町であることを知ってもらうため、町内での交流と宿泊がメインの交流会とした。結果としては、2回の交流会とも高い確率でマッチングしたが、交際の継続には至っていない。後継者男性の参加者もそれぞれ3人ずつとなり、開催するにはぎりぎりの人数であった。また、同じく男女の出会い活動における事業である「結婚相談所システム登録助成事業」についても、チラシの配布回数を増やし、FMはなでの周知も継続したが、1名からの申請であった。「農業見学・体験と農業青年との交流事業」では、個別に農業に興味のある独身女性の受け入れを行い、1名の申し込みがあり、農業後継者宅にて牧場見学、搾乳等農業体験、その後農業後継者と観光や食事にて交流を深めていただいた。また、「女性交流会(結婚後10年までの農業後継者の妻、新規就農者の妻を対象)」は、7名の方に参加いただき、レストランにて食事とミニゲームを行いまして、今回も参加された全員から「次回も参加したい」との声をいただいた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>主力事業である、対面交流会の最大成果であるパートナー確保の実績はないが、マッチングの確率については、高い数値で推移している。また、農業後継者は日常の農作業において、休日や休める時間を確保することが難しいことから、より多くの農業後継者が参加できるような事業の見直しを図りながら、後期計画についても、引き続き対面交流会を行って行きたい。なお、グループ形式では自己アピールが難しい後継者、婚活自体を他の人に知られたくない後継者など、グループによるイベントが不得手な後継者については、結婚相談所システム登録助成事業を実施しているので周知強化を図り、後期計画も実施していきたい。</p>	<p>施策の進行</p> <p>B</p> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>対面交流会参加の農業後継者に関しては拘束時間を減らし部分的な参加もできるなど、酪農ヘルパーを確保しなくても参加しやすい交流会を開催したが、積極的な参加意思は伝わらなかった。また、結婚相談所システム登録助成事業については、事業の詳細等理解していただくため、両農協の広報誌への折込回数を増やし、FMはなでの周知も行ったが実績として1名の利用となったことから、周知方法を模索する必要がある。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <p>B</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>近年、各種交流会の参加者が減少傾向にあることから、令和3年度より交流会事業の一部を民間婚活事業者に委託して、民間婚活事業者の企画、運営はもとより、情報やノウハウ等を活用し後継者の出会いの場の推進を図ってきているが、後継者等参加者の推移又、効果の検証を行い、中標津町農業後継者対策協議会構成団体である両農協と協議を行い事業の見直し等考えていきたい。</p>
--	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

<p>施策の進め方</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p>	<p>担当部長氏名</p>
--	-----------	---------------

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>二次評価対象外</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	農業委員会	担当課長氏名	杉山 隆	調書作成日	令和7年 8 月 8 日
-------	-------	--------	------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	2	担い手の育成・確保の支援体制の強化
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
農業者の老後の生活安定と福祉の向上を図り、農業の担い手（後継者）の確保や農業の円滑な世代交代（経営移譲）を進めることを目的に実施する。	農業者年金制度について十分な理解が得られることで、新規加入者の増加につながり、農業者の老後の生活安定と福祉の向上が図られ、農業の担い手（後継者）確保や農家の円滑な世代交代につながっていく。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 農業者年金加入者数	人/件	○ 単年	実績値 14	12	1	3	6		10	10
		累計	達成率(対R7) 140.0%	120.0%	10.0%	30.0%	60.0%	0.0%		
指標2 うち女性の新規加入者数	人/件	○ 単年	実績値 9	6	0	1	3		8	8
		累計	達成率(対R7) 112.5%	75.0%	0.0%	12.5%	37.5%	0.0%		
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	1,163 千円	1,322 千円	1,461 千円	1,143 千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	1,163 千円	1,322 千円	1,461 千円	1,143 千円	0 千円
対前年度比		113.67 %	110.51 %	78.23 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3123	農業者年金受託事業	1,143	○						庶務係
合計 1 事業		1,143							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり	担当部・課	農業委員会
	施策項目	1	農業の振興		
	主要施策	2	担い手の育成・確保の支援体制の強化		

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>農業者年金制度について、農業委員会だよりや公式HP、SNSによる周知活動又、経営移譲等の説明会の際には制度説明を行った。両農協と未加入者の情報等を共有・連携し加入推進活動も実施した結果、6名の新規加入を確保できた。</p>	

<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>近年の農業現場では、飼料・肥料等の農業生産資材の高騰等により、農業経営は悪化し、それに伴う離農の影響により被保険者（現役）の減少また、受給者への移行からより、被保険者が減少する傾向にある。ただ、後期計画においても、農業者年金基金からの受託事業を適正に行い、制度説明等、的確、迅速、幅広く農業者に周知していきたい。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>
--	--

2 課題

<p>農業者年金について十分な理解を得られることで新規加入者の増加につながり、農業者の老後の生活安定と福祉の向上が図られ、農業の担い手（後継者）の確保につながるが、近年、農業経営の収支構造の悪化等による新規加入者数の減少又、離農による被保険者の減少が発生している。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>新規加入者数は劇的に増加していないことから、農業者年金制度の普及啓蒙を今まで以上に回り加入者数を維持していく。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p>	担当部長氏名
---	-----------	--------

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	農業委員会	担当課長氏名	杉山 隆	調書作成日	令和7年 8 月 8 日
-------	-------	--------	------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	3	農地の保全と有効活用
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
平成26年4月に改正農地法が施行され、農業委員会が管理している農地台帳の法定化に伴い、農地情報の公開が義務化された。 農地台帳データと地番図は常に最新の状態を保ち、管理する必要がある。	農業者や関係団体から求められていた詳細な情報提供が可能となる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3131	農地台帳整備事業		○						庶務係
合計 1 事業		0							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	3	農地の保全と有効活用

担当部・課	農業委員会
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
農地に関する権利移動等の発生に伴いデータの更新を行う。また、年に1回義務付けられている、住民基本台帳と固定資産課税台帳との照合等データ更新を適時実施することにより、常に適正な農地台帳を維持することができる。	

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>
A	

2 課題

毎月の権利移動等の入力や年1回の住民基本台帳及び固定資産課税台帳の照合作業など、膨大な作業が必要となっている。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由	
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	A	毎月の権利移動等の入力や年1回の住民基本台帳及び固定資産課税台帳の照合作業を適正に行い、引き続き農地台帳の適確維持に努める。
A		

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	
--------	--

施策の進め方	理由	
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	A	
A		

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	農業委員会	担当課長氏名	杉山 隆	調書作成日	令和7年 8 月 8 日
-------	-------	--------	------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	3	農地の保全と有効活用
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
農地等の利用の最適化の推進に係る、事務活動の円滑な執行に必要な支援。 農地法に基づく事務の適正実施、農地の有効利用のための支援である。	農地の有効利用及び最適化の推進と耕作放棄地発生 of 未然防止。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	単年	累計								R7	R12
指標1	件	単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標2	件	単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	65 千円	178 千円	388 千円	451 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	1 千円	1 千円	1 千円	0 千円	千円
事業費	66 千円	179 千円	389 千円	451 千円	0 千円
対前年度比		271.21 %	217.32 %	115.94 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3131	機構集積支援事業	451	○						農地係
合計 1 事業		451							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	3	農地の保全と有効活用

担当部・課	農業委員会
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
利用状況調査による耕作放棄地の把握・解消の指導実施により、対象地の適正な事務処理はもとより、農業委員全体の共通認識の再確認が図られた。また、各視察・研修会等については、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震において、甚大な被害に見舞われた厚真町の農地、農業用施設及び、特に被害の大きかった地域を巡り、復旧と復興について、農業委員会の役割・取組等について意見交換を行った。	

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> <p> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない </p>
A	

2 課題

農地の有効利用及び最適化の推進には、耕作放棄地発生未然防止が必要である。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由	
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> <p> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 </p>	A	農地の有効利用を推進するため、利用状況調査・農業委員研修は今後も継続が必要である。
A		

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	
--------	--

施策の進め方	理由	
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> <p> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 </p>	A	
A		

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	農業委員会	担当課長氏名	杉山 隆	調書作成日	令和7年 8 月 8 日
-------	-------	--------	------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	3	農地の保全と有効活用
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
農地中間管理機構事業により、規模拡大・農地の集団化を図る。	離農農家の農地流動化、担い手の規模拡大及び集団化。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	63 千円	96 千円	104 千円	50 千円	千円
一般財源	1 千円	千円	1 千円	千円	千円
事業費	64 千円	96 千円	105 千円	50 千円	0 千円
対前年度比		150.00 %	109.38 %	47.62 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3131	農地中間管理機構事業受託事業	50	○						農地係
合計 1 事業		50							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	3	農地の保全と有効活用

担当部・課	農業委員会
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
北海道農業公社が買入した農地の管理及び売渡時の書類作成、買入時の利用調整を行い、担い手への農地の集積が図られた。令和6年度は管理50件、売渡10件、買入9件の実績となっている。	

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

2 課題

近年、農業経営の収支構造の悪化により、離農する農家は増加し、処分が困難となる農地も増加、遊休農地が発生することも予想される。 農地の権利移動は農業委員会のあっせんと農地中間管理事業による集積を併用し、出し手、受け手、両者に負担がかからない方策を図る必要がある。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	引き続き、農地の権利移動を適正に行い、離農農家の農地の流動化を図るとともに、担い手への農地の集積を図っていく。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	
--------	--

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	農業委員会	担当課長氏名	杉山 隆	調書作成日	令和7年 8 月 8 日
-------	-------	--------	------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	3	農地の保全と有効活用
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

農業委員の主たる使命である農地利用の最適化の推進のため、担い手への農地等の利用の集積、集約化、遊休農地発生防止・新規参入の促進など、地域における積極的な取り組みが求められている。これらを先進的に取り組んでいる地域を視察・研修することにより、地域農業が直面する課題解決の一助とする。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

近年、農業を取り巻く環境は大きく変化しており、他地域の関係機関の活動内容等を研修することにより、知識習得や視野拡大等、時代に対応した農業委員の資質向上を図る。
また、多様化する地域課題に対処し、農業行政の一層の向上が図られる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3131	農業委員研修		○						庶務係
合計 1 事業		0							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	3	農地の保全と有効活用

担当部・課	農業委員会
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>農業委員は、農地利用の最適化活動はもとより、農村現場における担い手の育成・農業振興・地域経済の維持を図る重要な役割を担っている。ただ、令和5年11月理事者より、「次回(令和7年度)からは道外視察研修の公費負担を行わない方向で調整」との指示がありましたので、農業委員の全体の協議の場において、視察研修の在り方、方向性、目的についてまた、具体的な目標や進め方、研修成果の活用等について協議を行い、新しい形での農業委員視察研修を決定しました。内容としましては、今までの農業委員視察研修は、委員個人の資質を高め、見分を深める委員個々の人材育成・自己成長の要素が強かったが、見直しを行い、新しい形として「地域農業の諸問題解決に向けたテーマを定め、解決等結果については、最大限、迅速に地域との共有を図り、地域への還元も含めた研修内容とした。また、視察研修については、農業委員1任期中に1回の参加として委員定数の半数である9名を限度に年1回の視察研修を行う。任期中2回の視察研修を実施することで、委員の参加率の向上(18人中16人が現役農業者)又、2ヶ所分の先進地事例を委員が共有することで、今後の農地等の最適化活動の向上を見込まれる。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>新しい形での農業委員視察研修事業としたため。現時点では課題はない。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>新しい形での農業委員視察研修事業としたため。基本、今年度同様に実施したい。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	
--------	--

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済部 農林課	担当課長氏名	有賀 勇治	調書作成日	令和7年 7 月 15 日
-------	---------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	4	環境と調和した農業の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

本町は道内でも有数の酪農地帯であり、主たる酪農形態は、家畜ふん尿を堆肥化し、自己の圃場へ還元する循環型酪農であるが、一方で、道東の空の玄関口として空港を有する本町にとり、観光資源としての牧場の魅力は大きく、そのイメージを損なう家畜ふん尿臭気対策は喫緊の課題である。バイオガス発電は、臭気対策として、また、副産物の利用販売、熱利用等新たな産業興しとしても有望な事業である。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

バイオガス発電事業は、臭気対策だけでなく、液肥を活用した草地の雑草対策、再生敷き料による、牛の病気対策等は既に実証済みであり、廃熱を利用した新たな産業興しの実現も期待できる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
										R7	R12
指標1	単年	実績値									
	累計	達成率(対R7)									
指標2	単年	実績値									
	累計	達成率(対R7)									
指標3	単年	実績値									
	累計	達成率(対R7)									

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	0千円	0千円	0千円	0千円	千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	千円
その他	0千円	0千円	1,026千円	0千円	千円
一般財源	30千円	30千円	30千円	59千円	千円
事業費	30千円	30千円	1,056千円	59千円	0千円
対前年度比		100.00%	3520.00%	5.59%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3142	バイオガス導入推進事業(家畜ふん尿臭気対策事業)	59	○						畜産係
合計 1 事業		59							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	4	環境と調和した農業の推進

担当部・課	経済部 農林課
-------	---------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>計根別地域バイオガスプラント建設実現に向けた検証を行うため、令和5年度に実施した基礎調査を基に、「計根別地域バイオガスプラント建設検討部会」を設置し、協議検討を行った。 建設候補地や運営収支（補助金含む）、プラント運営企業の打診等を行ったが、運営企業が見つかっていない状況。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>計根別地域バイオガスプラント建設に向けた検討の中で、①建設予定地を2か所に絞りこんだが決定ではない。②建設に係る各団体の負担割合が未確定、③参加する酪農家が未確定、④バイオガスプラントを運営する企業が見つからない。など、多くの未確定事項が存在する中で、運営する企業が見つからないという大きなハードルがある。 （令和6年度に設立した「計根別地域バイオガスプラント建設検討部会」にて協議中。）</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>令和7年度中に、計根別地域バイオガスプラント建設を前提に、「計根別地域バイオガスプラント建設検討部会」にて、上記2課題に記した内容について、一つ一つ課題を解決する検討を行う。 全てをクリアできなければ、建設を断念することもありえる。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>酪農経営の大規模化、多頭化により家畜排せつ物も増大しており、循環型酪農の基本である「土・草・牛」のバランス維持、さらには管内水産業からの信頼に応えるためにも、家畜排せつ物の適正処理と農地還元・臭気対策は重要な施策である。 2050年のカーボンニュートラルに向け、家畜糞尿の適正処理と畑への還元を基本とし、エネルギー化と臭気低減対策について引き続き検討を進める。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済部 農林課	担当課長氏名	有賀 勇治	調書作成日	令和7年 7 月 15 日
-------	---------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	5	多様でゆとりある農業経営の促進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
本町は一部で畑作も行われているものの、基幹産業を酪農とし、周辺産業と共に発展してきた町であり、農業を守るための支援策は、今後も中標津町が町として存続していくためには重要な施策である。町営牧場の運営は、大型化する酪農経営の中で育成部門の分業化が進んでいることや各種農業資材費の高騰による預託へのシフトから、今後も安定的な管理運営体制が重要である。	農業経営の安定化及び農業所得の増は、離農者らを減らし、就農者確保へもつながる施策である。町営牧場は道営事業を導入し、草地更新、パドックの整備、衛生舎等を順次進め、牧養力を高めており、受入育成牛の増が可能となる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	1,340,172 千円	1,332,872 千円	447,303 千円	1 千円	千円
地方債	5,900 千円	0 千円	0 千円	2,100 千円	千円
その他	21 千円	28 千円	374 千円	247 千円	千円
一般財源	84,636 千円	74,005 千円	82,247 千円	81,924 千円	千円
事業費	1,430,729 千円	1,406,905 千円	529,924 千円	84,272 千円	0 千円
対前年度比		98.33 %	37.67 %	15.90 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3151	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業	0	○						農務係
3151	高品牛等確保奨励事業	533							畜産係
3151	町営牧場会計操出金	14,287							畜産係
3151	町営牧場事業	69,224							畜産係
3152	家畜自衛防疫対策事業	228							畜産係
合計 5 事業		84,272							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	1	農業の振興
	主要施策	5	多様でゆとりある農業経営の促進

担当部・課	経済部 農林課
-------	---------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか

町営牧場の運営は、農業者の生活及び経営の安定に寄与しているが、令和6年度事業分より新たな料金価格により増収が図られ、一般会計からの繰入金も縮小することができた。
また、牧場運営の効率化を図るため、開陽台牧場（預託）と俵橋牧場（採草地）の役割を整理し運営を行ったことから、職場環境改善も図られた。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>
A	

2 課題

規模拡大には最新技術等、ロボット化が主流であり、これまで酪農の基本形態であった家族経営体の維持が今後、大きな課題である。
また、飼料・肥料・燃料等の高止まりにより、町営牧場への預託の需要が高まることが予想されるが、町営牧場への可能入牧頭数（800頭/日）を考慮しながら管理しなければならない。
開陽台牧場の木柵等の老朽化が進んでいることから、計画的に更新する必要がある。
更に、牧場運営を行うにあたり毎年4月から11月までの雇用形態となるため、適当な人員確保が行えず人手不足が懸念される。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由	
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	A	農村部における光ファイバーの整備に伴い、スマート農業の推進を図り、省力化と効率化による農業の生産性と農業従事者の所得向上へつなげ、魅力ある農業を構築していく。 町営牧場については、令和6年度事業分より新たな料金価格により増収が図られ、開陽台牧場（預託）と俵橋牧場（採草地）の役割を整理し効率的な運営を図ったことから、令和6年度の実績を基に検証を行いながらより良い牧場運営を目指す。 また、スマート農業の一環として、町営牧場の肥料散布（急斜面）に伴いドローンの導入を検討していく。
A		

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由	
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	A	多くを占める家族経営や大規模法人、放牧主体の経営など、多様な経営体が地域の担い手としてそれぞれの目指す経営規模の中、健康でやりがいがある経営を支援する施策が必要である。また、今後の担い手確保のためにも、酪農が夢のある職業として選択されるよう、労働環境・子育て支援・所得向上に向けた施策を複合的に進める必要がある。
A		

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済部 農林課	担当課長氏名	有賀 勇治	調書作成日	令和7年 7 月 15 日
-------	---------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	2	林業の振興
	主要施策	1	森林資源の育成・保全
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
地球規模で進行する地球温暖化を防ぐ森林環境保全が求められている中、日本の林業業界は、担い手不足、従事労働者の減少・高齢化問題を抱えている。北海道遺産に指定されている「根釧台地の格子状防風林」は、次代へ引き継がなければならない貴重な財産である。本町は海を持たないが、さけます遡上河川である標津川の8割が行政界にあり、河畔林等の整備、環境保全は川上の町の責務である。森林は、木材の供給だけでなく、保水としてのダム効果による土砂災害防止機能、野生動物のすみかとして、多様な機能を有しており、今後も適切な森林環境保全は重要な施策である。	適切な森林管理は、森林の二酸化炭素吸収量を増加させ、地球温暖化防止効果機能を高め、天然のダムとして土砂災害から地域を守る働きをしている。伐採期の到来した立木は、これらの機能が低下し、適時伐採し、植樹することで、森林の持つ機能を効果的に維持することができる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 森林づくり活動に参加している町民の人数	人	単年	実績値	297	289	508	481	485		350	400
		累計	達成率(対R7)	84.9%	82.6%	145.1%	137.4%	138.6%	0.0%		
指標2 Jクレジット販売量	CO2t	単年	実績値	85	106	339	367	347		150	200
		累計	達成率(対R7)	56.7%	70.7%	226.0%	244.7%	231.3%	0.0%		
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	30,761 千円	31,334 千円	102,741 千円	79,141 千円	千円
地方債	13,200 千円	13,500 千円	17,700 千円	11,900 千円	千円
その他	17,092 千円	19,136 千円	17,182 千円	18,285 千円	千円
一般財源	8,074 千円	5,345 千円	7,476 千円	8,378 千円	千円
事業費	69,127 千円	69,315 千円	145,099 千円	117,704 千円	0 千円
対前年度比		100.27 %	209.33 %	81.12 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3211	豊かな森づくり推進補助事業	6,722							林務係
3211	水源林整備事業	68							林務係
3211	森林環境保全直接支援事業	37,683							林務係
3211	町有林間伐促進型CO2排出削減対策事業	72		○					林務係
3211	林業・木材産業成長産業化促進対策交付金事業	49,808	○						林務係
3211	地域林政アドバイザー活用事業	4,828							林務係
3212	森林環境譲与税活用事業	18,145	○						林務係
3212	森林整備地域活動支援交付金事業	378							林務係
合計 8 事業		117,704							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	2	林業の振興
	主要施策	1	森林資源の育成・保全

担当部・課	経済部 農林課
-------	---------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>森林環境譲与税を活用した私有林の森林整備や実施体制の強化を図るとともに、補助事業により、継続的に間伐事業を実施し、また、森林所有者の森林経営計画策定により、森林の持つ多面的機能維持を計画的に推進している。 Jクレジット販売では、持続可能な開発目標(SDGs)の関心の高まりにより、企業からの照会が増えており、令和6年度では347tの販売実績となった。 森林組合への継続した支援は、組合存続に大きな影響を持っており、組合員の森林財産を守る機能維持に貢献している。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p>
<p>森づくり活動の参加者数は、町植樹祭214名、秋の植樹19名、木育木工教室200名、林業体験33名、サミットの森草刈19名と多くの参加者があり目標値を超える参加者となった。 今後、職員や業者の事前準備(財源・人員)を考慮すると現在の参加人数がベストと考えるため、既存事業を継続して行っていく。 (後期計画の令和12年度目標位置は500人で設定予定。)</p>	<p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>私有林においては、森林所有者の高齢化により、伐採跡地の再生林が思うように進んでいない。また、不在地主の私有林も増えており、今後の森林整備に影響が出ないか心配な状況である。一方、町有林においては、町内の林業業者の担い手不足や作業員の高齢化から労務の確保が困難になっており、造林・下刈の整備量を維持するのが厳しい状況にある。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p>	<p>理由</p>
<p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>補助事業を有効に活用し、計画的な造林を進め、森林の維持更新に努める。私有林の再生林を推進するためには、今後も手厚い補助が必要であり、個人負担が少ないことを、森林所有者へPRすることも必要である。 また、近年の町内林業業者における担い手不足の課題を考慮して、工事の実施方法(植樹本数の減、下刈り回数)などを改善し、労務負担の軽減を図る。 森林所有者の大半が林業の専門知識を有しておらず、私有林の森林整備を推進していくために森林組合は、私有林を守り育てる担い手としてなくてはならない組織であり、今後も組織存続のために支援を行う。 Jクレジット販売については、クレジット再取得に向けた全体計画の再登録を予定し、今後も積極的に販売促進に取り組んでいく。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

<p>施策の進め方</p>	<p>理由</p>
<p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>森林資源は木材資源としてのみならず、国土保全や水源かん養、地球温暖化防止等の多面的機能を持っており、森林管理署及び道森林室等とともに、広域的な森林資源の育成・保全を引き続き計画的に進めていく必要がある。 森林環境税の課税が始まり、森林整備に向けた国内の関心も一層高まることが予想され、本町の課題と実態に合った森林整備と担い手確保の両立に向けた効果的な活用方策を森林組合や林業業界とともに意識しながら進める必要がある。また、Jクレジット販売についても積極的に取り組んでいく。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済部 農林課	担当課長氏名	有賀 勇治	調書作成日	令和7年 7 月 15 日
-------	---------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	2	林業の振興
	主要施策	2	林業・林産業の活性化・担い手確保
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

<p>1 目的（何のために）</p> <p>本町の森林の中でのカラマツの伐期齢が、カラマツ全体の60%を占めており、適切に枝打ちされた10齢級のカラマツはほとんど無節であると予想され、木材本来の美しさと強度を保ち、冷涼な気候で育つため成長が遅く、目の詰まった質の高い材として一般建築材への利用促進とブランド化に向けた取組を進める必要がある。また、林業従事者の労働力不足等を解消するため、労働条件の改善を図る。</p>	<p>2 求める成果（どのような成果を期待するか）</p> <p>地域材の利活用が進み、除間伐材が有効活用されることで、地域材の価値が見直され、業界の経済の好循環を期待する。 また、林業従事者の労働条件の改善を図り、労働力不足や高齢化による林業の衰退を防ぐ。</p>
--	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 森林づくり活動に参加している町民の人数	人	単年 実績値	297	289	508	481	485			350	400
		累計 達成率(対R7)	84.9%	82.6%	145.1%	137.4%	138.6%	0.0%			
指標2		単年 実績値									
		累計 達成率(対R7)									
指標3		単年 実績値									
		累計 達成率(対R7)									

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
その他	150 千円	167 千円	40 千円	75 千円	千円
一般財源	286 千円	229 千円	253 千円	223 千円	千円
事業費	436 千円	396 千円	293 千円	298 千円	0 千円
対前年度比		90.83 %	73.99 %	101.71 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3221	木材利用推進事業	75		○					林務係
3222	森林整備担い手対策推進事業	223							林務係
合計 2 事業		298							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	2	林業の振興
	主要施策	2	林業・林産業の活性化・担い手確保

担当部・課	経済部 農林課
-------	---------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>「格子状防風林」の伐採時期を迎えたカラマツについて、伐採後の利活用を考えるため木育木工教室を開催。主に、子供達を中心に木育の普及促進を行った。(200名参加)</p> <p>また、林業従事者については、労働条件改善ののために補助を行い、従事者の減少や高齢化等による森林整備に支障を来さないよう努めた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>森づくり活動の参加者数は、町植樹祭214名、秋の植樹19名、木育木工教室200名、林業体験33名、サミットの森草刈19名と多くの参加者があり目標値を超える参加者となった。 今後、職員や業者の事前準備(財源・人員)を考慮すると現在の参加人数がベストと考えるため、既存事業を継続して行っていく。 (後期計画の令和12年度目標位置は500人で設定予定。)</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>労働環境や条件が悪いことによる林業従事者の減少や高齢化による担い手不足が深刻となってきている。 木を切る人は増加しているが、苗木を作る人・植える人が減少している。(北海道造林協会談) これは、北森カレッジ 令和7年度の定員40名のところ18名の入学数から見て取れるよう林業に対するPR不足からくるものと考ええる。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>林業従事者の労働力不足に対して、森林組合と連携し引き続き必要な支援を行っていくほか、林業従事者不足解消に向けスマート林業について、情報収集を行う。 また、林業就業に係る支援について検討する。(就農フェアの林業版を検討)</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>道産材の魅力を広く消費者に発信するなど、業界を挙げて活用の機運を高めていく必要がある。 また、森林整備を担う林業従事者は減少かつ高齢化が進み、担い手の育成が急務であることから、森林組合と連携してスマート林業の推進や担い手確保に努めていく必要がある。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	3	商工業の振興
	主要施策	1	中小企業の活性化
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>本町の事業所の多数を占める中小企業は、経済活動や町民生活の向上のために重要な役割を果たしているが、大型店舗の郊外進出等に伴う中心市街地空洞化や、近年は事業承継の問題が顕在化しつつある。本町では、平成22年に「中標津町中小企業振興基本条例」を制定し、既存事業の体質強化や創業者支援を行ってきたが、今後も関係団体と連携のもと、中小企業の経済状況に応じた効果的な振興施策を検討し、活性化を図っていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業振興基本条例に基づく、中小企業に対する支援の検討・実施 ・中小企業の経営基盤安定を図るため、国や道の融資制度の周知や関係機関と連携した町の融資制度の充実 ・中小企業の体質強化と新規創業の創出

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 新規創業者数	件	単年	実績値	81	83	85	91	95		95	100
		○ 累計	達成率(対R7)	85.3%	87.4%	89.5%	95.8%	100.0%	0.0%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	9,971 千円	4,741 千円	9,450 千円	11,315 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	750 千円	750 千円	5,769 千円	4,572 千円	千円
一般財源	17,564 千円	16,517 千円	6,029 千円	6,341 千円	千円
事業費	28,285 千円	22,008 千円	21,248 千円	22,228 千円	0 千円
対前年度比		77.81 %	96.55 %	104.61 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3312	中小企業融資保証料補助事業	1,680	○						商工労働係
3313	空き地空き店舗等活用事業	773				○			商工労働係
3313	中小企業応援事業	1,200	○						商工労働係
3313	商工会活動補助事業	12,232	○						商工労働係
3311	中小企業振興基本条例推進事業	115	○						商工労働係
3313	技能士会研修補助事業	90	○						商工労働係
3313	新商品開発等チャレンジ支援事業	3,799					○		商工労働係
合計 7 事業		19,889							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	3	商工業の振興
	主要施策	1	中小企業の活性化

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>商工会との連携のもと、中小企業経営相談、各種説明会を開催するとともに、中小企業等に対する各種支援策の実施により、事業者の経営基盤安定化や体質強化に繋がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資保証料補助額は予算額に達していないが、他の有利な融資制度を活用した結果、制度活用する事業者の活性化・経営基盤強化に寄与した。 ・空地空き店舗活用事業及び中小企業応援事業は申請希望に全て応えることができた。 ・商工会活動補助事業は、中小企業の指導業務にあたる商工会費の一部を支援することで小規模事業者の振興と安定に寄与した。 ・中小企業振興審議会を1回開催した 	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>空き地空き店舗等活用事業は順調で、新規創業につながる町内の起業支援の機能している。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>新商品開発チャレンジ支援事業は、3年目を迎え利用実績が低下し、特定の事業者による同様な活用となっており、事業展開が乏しくなっている。空き地空き店舗事業補助について目的を明確化し時代にマッチした事業に転換が必要。コロナ禍の融資返済が始まり、融資を受けた事業者の経営が厳しくなっている。一方で金利の上昇により金融機関からの借り入れも厳しくなり、人材不足と物価高により中小企業の経営は益々困難となっている。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>商工会や金融機関と連携しながら、社会情勢を見据えた事業展開が必須。どのような事業が効果的かを研究し、関係団体と相談しながら施策の推進を図る。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>中小企業の活性化の推進を図るためには、商工会をはじめとする経済団体との連携は不可欠であり、中小企業振興審議会・部会を中心に議論を重ね、中小企業にとって真に必要な施策の構築、推進を図っていく必要がある。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>既存補助事業の効果検証を進めて、見直しを含めた検討を進める。</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	3	商工業の振興
	主要施策	2	まちなか賑わいの創出
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
本町では、大型店舗の郊外進出等により中心市街地空洞化や衰退が進んでおり、まちなかに賑わいを呼び戻し活性化することが必要であることから、中心市街地の環境整備をはじめ、イベントの開催などを通じて、町民が気軽にまちなかに来る機会を作り出し、中心市街地に賑わいを創出する必要がある。	・商店街に設置している街路灯の維持管理を行い、夜間に商店街を訪れる歩行者の安全を確保する。 ・中心市街の活性化を目的として商工会が実施する「まちなか賑わい推進事業」に対して支援を行い、中心市街地の賑わい創出とともに地域経済の活性化を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	530 千円	1,070 千円	780 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	299 千円	千円
一般財源	2,281 千円	3,195 千円	4,670 千円	3,840 千円	千円
事業費	2,281 千円	3,725 千円	5,740 千円	4,919 千円	0 千円
対前年度比		163.31 %	154.09 %	85.70 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3321	商店街街路灯維持経費	2,480	○						商工労働係
3321	まちなか賑わい推進事業	2,439	○						商工労働係
合計 2 事業		4,919							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	3	商工業の振興
	主要施策	2	まちなか賑わいの創出

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
 経済活動が回復を見せる中、客足が遠のいたスナック等事業者支援のため、昨年に引き続き「はしご酒」を商工会主催で実施。一時的ではあるが町の賑わいに貢献した。またまちなか賑わい秋の陣は、昨年から会場をしるべっと広場に移し規模拡大して実施。どちらも町民に好評で賑わいを見せた。
 街路灯は順次LED化工事を実施、R7は全灯LED化完了予定。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 <small>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</small>	施策の進行
	<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div>
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

最近、町外資本の飲食店等が多数進出し、町内外から人が集まる要素が増えていることから、この状況を利用しまちなか賑わいにどのように繋げていくか、関係各所と連携し知恵を出しながら推進することが重要である。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div>	商工会が開催する「まちなか賑わいイベント」は、本町で歴史のある夏祭りや冬まつりに並んで、地域に根差した秋のイベントであり、中心市街地活性化に繋がる事業であることから、引き続き支援する。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div>	町中心部の再開発、集客力のあるイベントの開催、地域資源の活用とPR、まちなか賑わい振興策に対するインセンティブの提供、ショップローカリゼーション、道路や交通インフラの改善、都市の美化・緑化、若者の定住支援などが総合的に政策展開されるよう進めていく。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部 政策推進課	担当課長氏名	佐藤 和博	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	3	商工業の振興
	主要施策	3	地場製品のPR活動の展開
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
ふるさと納税制度を活用し、寄附金の用途に応じた施策の実現に向け、寄附金の用途を設定し、賛同者からの寄附金を活用する。また、寄附者へ町特産品を贈呈し、全国へ『中標津町』をPRするとともに、地域経済の活性化を図る。	町の施策や魅力などの情報発信及び交流人口の増加。特産品の送付を通じた地元企業の活性化。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 ふるさと納税返礼品の取扱い額	千円	単年	実績値	37,183	34,342	31,109	27,269	45,880	94,000	352,500
		累計	達成率(対R7)	39.6%	36.5%	33.1%	29.0%	48.8%		
指標2 ふるさと納税寄付額	千円	単年	実績値	138,000	116,490	121,110	112,680	194,840	300,000	1,500,000
		累計	達成率(対R7)	46.0%	38.8%	40.4%	37.6%	64.9%		
指標3 ふるさと納税寄附者数(人)	人	単年	実績値	8812	6833	7126	5,809	10,138	20,000	75,000
		累計	達成率(対R7)	44.1%	34.2%	35.6%	29.0%	50.7%		

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	78,886 千円	76,015 千円	74,982 千円	99,019 千円	千円
一般財源	千円	千円	2,537 千円	4,827 千円	千円
事業費	78,886 千円	76,015 千円	77,519 千円	103,846 千円	0 千円
対前年度比		96.36 %	101.98 %	133.96 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3332	ふるさと応援制度推進事業	103,846	○						ふるさと応援係
合計 1 事業		103,846							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	3	商工業の振興
	主要施策	3	地場産品のPR活動の展開

担当部・課	総務部 政策推進課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度寄附実績 寄附件数:10,138件(対前年比174.5%) 寄付額:194,848千円(対前年比172.9%) 地元事業者の販売収入額:45,880千円(対前年比168.2%) R5年10月に中間事業者の変更を含む体制の見直しを実施から1年6か月が経過し、PRに繋がる広告やポータルサイト内のページのブラッシュアップにより寄付額が増加したが、さらなる募集経費の圧縮が課題。 総務省の法改正に伴う、地場産品基準への対応が必要で、事業者への理解を得ることが必要。 R5年9月より地域おこし協力隊が着任し、SNSによる町の魅力発信など情報発信において強化が図られている。 	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
<ul style="list-style-type: none"> R5年10月より、中間事業者を含む体制の見直しを図り、寄付額が増加したが、総務省のルール変更による返礼品見直し、募集経費見直しが必要で、寄付額の増加につながるPRが停滞している。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">C</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> 中間事業者の変更により募集経費の適正化は図られたものの、5割以内とする総務省基準が厳格化され、依然として経費圧縮に向けた改善が必要な状況であり、効果的なPR事業の実施まで至っていない。 リピーター(町のファン)獲得に向けたPRに繋がる広告の手法。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	厳格化された総務省基準を遵守するため、中間事業者と連携・協議のうえ、事業者の協力を得て、更なる経費の削減を図るとともに、地域おこし協力隊も活用した返礼品PRにとどまらないタウンプロモーションを展開し、町の魅力発信、情報発信の強化を図っていくことが必要。 また、ふるさと納税制度が地元企業が成長するためのツールとしてしっかりと定着させるため、地元企業との連携強化及び、新たな返礼品の発掘や、体験型・現地決済型返礼品やガバメントクラウドファンディングなど、地域経済の活性化に向けた事業展開を図り、一体的な運用体制を構築していく。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	全国的に年々寄附市場が拡大する中、本町のR6決算は1億9400万円となり過去最大を記録、R7年度はさらに前年度を上回る金額で推移しており、地元中間事業者との連携のもと、頻繁な国のルール改正を遵守し、徐々にではあるが成果が表れているものとする。一方、寄附平均単価@2万円×寄附件数10,000件という寄附構造を伸ばす上で、より高額な商品の開発と人気返礼品の生産体制拡大には事業者側の経営計画と意欲によることも大きく、体験型・現地決済型の返礼品やガバメントクラウドファンディングなど新たな分野の取組みも必要である。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり		
	施策項目	3	商工業の振興		
	主要施策	3	地場産品のPR活動の展開		
その他関連計画等					
その他関連施策		3	産業の力みなぎるまちづくり	3	産業の力みなぎるまちづくり
		3	商工業の振興	4	観光の振興
		2	まちなか賑わいの創出	1	観光メニュー(コンテンツ)の充実
担当課					

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
町の地場産品を全国へ広く周知し販路拡大を図ることは、経済活性化のために重要な施策であることから、関係団体と連携を図りながら周知や販路拡大に向けた支援を行うとともに、ふるさと納税制度による返礼品贈呈等を通じた地場産品の周知や販売促進に努める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が自由な発想で開発する地場産品について、関係団体などと連携し周知活動や販路拡大を図る。 ふるさと納税制度の推進による返礼品贈呈を通じて、地場産品のPR活動を推進する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	530 千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	175 千円	175 千円	175 千円	175 千円	千円
事業費	175 千円	705 千円	175 千円	175 千円	0 千円
対前年度比		402.86 %	24.82 %	100.00 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
(3321)	(まちなか賑わい推進事業)	2,439	○						商工労働係
(3411)	(観光イベント補助事業)	175	○						観光振興係
合計 2 事業		2,614							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	3	商工業の振興
	主要施策	3	地場産品のPR活動の展開

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
<ul style="list-style-type: none"> 政策推進課と連携し、ふるさと納税返礼品を含めた特産品の周知に努めた。 じゃがいも伯爵祭りは、本町における体験観光イベントとして実施、天候にも恵まれ親子連れなど大盛況だった。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <ul style="list-style-type: none"> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない
---	---

2 課題

地場産品の販売促進や開発については、事業者にも温度差がある。ふるさと納税に繋がる産品の開発なのか事業者の判断に委ねる事となり、一概に町が希望するものと合致するとは限らない。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	地場産品については、民間の自由な発想のもとで開発・販売を進めるとともに、ふるさと納税返礼品への活用など、町と観光協会が連携しながらPR活動や販路拡大に努め、商工業の発展に寄与していく。商工会が開催する「まちなか賑わいイベント」の開催に対する支援を行い、引き続き地域特産品のPR事業に取り組んでいく。商工会青年部と農協青年部が実施する「じゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場イベント」の開催に対する支援を行い、引き続き地域特産品（農産物等）に対する理解を深め、販売促進に取り組んでいく。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	豊富で高品質な生乳や農作物を生かした地域の特産品は、一定の認知はされている。観光協会とも連携しながら引き続きイベントでの販売や出展によるPRを推進していく。「特産品イコール食べ物」ではなく、地元の温泉や観光資源、体験メニューなど、幅広い視点でさらにはふるさと納税の返礼品活用、企業の新商品開発支援など、他施策との連携が必要である。特産品開発において、生産者、加工業者、行政が主体となった協議会で議論し商品化していく傾向があることから、消費者、販売業者の意見も取り入れるなど、マーケティング主導の体制が必要である。「地域資源だから」といって、地元にある原材料から商品を考えるのではなく、「売れる最終的な商品像」から原材料を選択する視点も重要。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	4	観光の振興
	主要施策	1	観光メニュー（コンテンツ）の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>本町は、道東の空の玄関口である中標津空港を活かした観光施策を展開しているが、更なる観光振興に向けては通過型観光から滞在型観光への転換が求められている。今後は雄大な自然環境や酪農景観などの本町の地域資源を活用した体験型コンテンツなどの観光プログラムを創出する必要がある。また、本町の既存観光施設等の老朽化が著しいことから、あり方を検討し効果的な再整備等を進める必要がある。</p>	<p>通過型観光から滞在型観光へ転換を図るため、本町の食や自然、文化などの地域資源を活用した観光プログラムの創出し、観光メニュー（コンテンツ）を充実するとともに、観光施設等のあり方を再検討し、効果的な再整備の検討を行う。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 観光客入込客数	人／年	○ 単年 実績値	153,166	153,468	202,600	241,500	248,400			342,000	388,000
		○ 累計 達成率(対R7)	44.8%	44.9%	59.2%	70.6%	72.6%	0.0%			
指標2 宿泊客延数	人／年	○ 単年 実績値	47,608	60,409	50,400	51,900	68,200			70,000	77,000
		○ 累計 達成率(対R7)	68.0%	86.3%	72.0%	74.1%	97.4%	0.0%			
指標3		○ 単年 実績値									
		○ 累計 達成率(対R7)									

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	6,000 千円	千円	500 千円	千円	千円
地方債	千円	千円	3,400 千円	51,600 千円	千円
その他	千円	500 千円	500 千円	900 千円	千円
一般財源	4,756 千円	千円	12,009 千円	15,591 千円	千円
事業費	10,756 千円	500 千円	16,409 千円	68,091 千円	0 千円
対前年度比		4.65 %	3281.80 %	414.96 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3411	観光イベント補助事業	175	○						観光振興係
3411	観光諸行事推進事業	13,940	○						観光振興係
3411	観光施設整備改修事業	52,976				○			観光振興係
3411	旬の食材活用推進事業	1,000						○	観光振興係
合計		4 事業							68,091

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	4	観光の振興
	主要施策	1	観光メニュー（コンテンツ）の充実

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> 観光諸行事推進事業は、夏祭りや冬まつり、山開きなどの開催。冬まつりは50周年記念事業として芸能人を招聘し多くの来場者から好評であった。 標津岳・武佐岳登山道整備は町民有志（南知床山岳会）との協力により実施。標津岳108人、武佐岳150人に登山者。 観光施設整備改修事業は、老朽化した駐車場トイレの更新を実施。12月に共用開始、利用者からも好評である。 観光イベント補助事業は、商工会青年部と農協の青年部が実施する「じゃがいも伯爵まつり＆ふれあい広場イベント」に対する支援を実施。来場者1万人（主催者発表）の集客があった。 旬の食材活用推進事業について季節ごとの食材を予定通り実施し、事業者や客からも好評を得た。（R6で事業終了） 	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
観光入込客数の目標値に近づくようなイベント並びに施設整備を実施。	A
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

まつり実施に関して、物価高により事業費が圧迫、経費節減に努めているが限界。冬まつりは町民の寄附に頼っている状況と、祭り実行委員会並びに担当係も大きな負担となっている。夏・冬まつり開催では自家用車での来場が多く、会場近隣の駐車場確保が困難な状況となり、近隣事業者へ迷惑をかけている状況が続いている。まちなかの賑わいを創出する反面、会場が手狭となっている。 各観光施設、特に開陽台展望館施設は設置後30年が経過し、大小さまざまな改修が必要である。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A	・町の一大イベントである夏祭り・冬まつりは、当町の観光振興の柱の事業であり、町内外からの関心も高い。一方で実施に向け役場担当者及び実行側の負担が大きく、内容含め見直す時期に来ている。じゃがいも伯爵まつり＆ふれあい広場事業については、体験型イベントとして定着していることから、引き続き支援する。 ・観光施設の満足度向上のため、整備後全く手を入れられていない老朽化した開陽台展望台観光施設の再整備を町民意見を取り入れながら推進する。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由
A	各種イベントの開催及び支援について、引き続き取り組んでいく。 観光施設については、観光ニーズの変化及び経年劣化により改修の必要があることから再整備を計画的に進めていく必要がある。 観光コンテンツについては、未熟な部分が多く観光協会と連携して作り上げていきたい。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	4	観光の振興
	主要施策	2	観光客の誘致
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>本町には、根室管内の中心部に位置する立地や、道東の空の玄関口である中標津空港を有していることなどから、潜在的には道東の観光拠点としての優位性があります。しかしながら、観光繁忙期には宿泊施設が不足する状況もあり、観光施策の推進に向けては、民間団体との連携が不可欠であり、本町の観光のフロント組織である（一社）なかしべつ観光協会を中心に地域が一体となって観光推進を図る必要がある。</p>	<p>・観光客の誘致に向けた戦略的な情報発信によるPR活動の強化を図り、訪日外国人旅行も視野に入れた地域一体となったホスピタリティの向上。 ・（一社）なかしべつ観光協会の独立運営支援や観光ガイドなどの人材育成に取り組み、民間団体との連携による観光推進体制の確立を図る。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 観光客入込客数	人/年	単年	実績値	153,166	156,468	202,600	241,500	248,400		
		累計	達成率(対R7)	44.8%	45.8%	59.2%	70.6%	72.6%	0.0%	342,000
指標2 宿泊客延数	人/年	単年	実績値	47,608	60,409	50,400	51,900	68,200		
		累計	達成率(対R7)	68.0%	86.3%	72.0%	74.1%	97.4%	0.0%	70,000
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	250 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	24 千円	19 千円	19 千円	19 千円	千円
一般財源	20,164 千円	16,337 千円	16,875 千円	19,896 千円	千円
事業費	20,188 千円	16,356 千円	16,894 千円	20,165 千円	0 千円
対前年度比		81.02 %	103.29 %	119.36 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3422	観光協会補助事業	7,829	○						観光振興係
3422	地域おこし協力隊設置事業	12,067					○		観光振興係
合計 2 事業		19,896							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	4	観光の振興
	主要施策	2	観光客の誘致

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
観光協会は、常勤3名、パート1名、地域おこし協力隊2名の体制で各種事業展開している。一方で協力隊1名がR7年3月で退職となるなど、事務局体制の検討が必要。引き続き地域おこし協力隊を募集中。(R7より地域おこし協力隊募集関係は政策推進課に移管)	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載） 観光入込客数並びに宿泊客数は僅かながら伸びている。	施策の進行 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> ・本町の観光施策を推進するためには、観光協会との連携は必要不可欠であるため、引き続き観光協会の運営について助言を行う。事務局体制の立て直しが急務。 ・頻繁に職員が変わるため業務経験不足していることから、町としても相談対応などにより積極的に関与するとともに、観光協会の自主的な運営に向け協力する。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	理由 引き続き観光協会事務局体制について、人員の適正配置や運営の見直しなど継続した助言を行う。地域おこし協力隊募集関係は政策推進課と連携し採用に向け努力していく。
--	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	理由 観光振興を推進するためには、町と観光協会による推進目標の共有と事業を推進する観光協会の機能強化が欠かせない。職員はプロパー職員2名とANAからの派遣と地域おこし協力隊数名の体制であることから、将来的にはプロパー職員による組織運営を目指し、体制強化を図っていくことが求められる。当面の間は、地域おこし協力隊制度を活用せざるを得ない。
--	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	4	観光の振興
	主要施策	3	広域観光・交流の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>本町の地域交流拠点としての優位性を発揮し、根室管内における広域観光の推進を図り、それぞれの観光資源を活かした地域の魅力発信を推進するとともに、今後は、釧路管内・オホーツク管内などの道東地域を巻き込んだ協力体制を図ることで、本町を拠点とした広域観光をより一層推進することが求められています。</p>	<p>根室管内のみならず、釧路・オホーツク管内の地域間の協力体制を強化し、広域観光施策を展開する。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 観光客入込客数	人/年	○ 単年	実績値	153,166	153,468	202,600	241,500	248,400		
		累計	達成率(対R7)	44.8%	44.9%	59.2%	70.6%	72.6%	0.0%	342,000
指標2 宿泊客延数	人/年	○ 単年	実績値	47,608	60,409	50,400	51,900	68,200		
		累計	達成率(対R7)	68.0%	86.3%	72.0%	74.1%	97.4%	0.0%	70,000
指標3		○ 単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	180千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	90千円	200千円	250千円	250千円	千円
一般財源	3,053千円	2,815千円	3,015千円	3,966千円	千円
事業費	3,143千円	3,015千円	3,265千円	4,396千円	0千円
対前年度比		95.93%	108.29%	134.64%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3431	広域観光推進事業	3,746	○						観光振興係
3431	根室管内教育旅行誘致推進事業	500	○						観光振興係
3431	広域観光周遊促進事業負担金	150	○						観光振興係
合計 3 事業		4,396							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	4	観光の振興
	主要施策	3	広域観光・交流の推進

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・教育旅行の推進については、旅行会社を招聘し管内視察後意見交換を実施。年度末の総会においても旅行会社と管内自治体、管内観光協会と意見交換し、今後の誘致に向けた協議を実施。（管内への招聘事業は、教育機関と旅行会社を隔年で交互に実施）</p> <p>・知床ねむろ観光連盟はATWSパナマ大会に参加し、知床ねむろの豊かな自然とアクティビティを世界に向けて発信した。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>・教育旅行の誘致については、内閣府の助成金を活用しているが、誘致については1年以上先を見越して計画するため、確実に予算確保できるかが不明なため、学校等に説明がしづらい。（予算確保は北海道）</p> <p>・R5北海道で開催したATWSを契機に、中標津周辺の自然や文化を活かした体験型ツーリズムを国内外に向け発信したが、実際のメニューを含め誘客できる体制をどう整えるのが課題。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>教育旅行誘致推進については、協議会の推進に向け引き続き管内市町と連携していく。広域観光として、知床ねむろ観光連盟が中心となり、管内自治体並びに観光協会が連携し観光振興の取り組みを着実に推進する。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>地域の特色を生かしながら一定エリアで観光振興を図る広域観光を推進するため、引き続きなかしべつ観光協会をはじめ、知床ねむろ観光連盟、ひがし北海道自然美への道DMO、阿寒摩周国立公園観光協議会など、観光振興団体と連携のうえ進めていく必要がある。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済部農林課	担当課長氏名	熊谷 高弘	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	--------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	5	6次産業化の推進
	主要施策	1	6次産業化の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
乳製品及び食肉製品の研究開発、製造並びに食肉製品の販売を行い、地域農業の発展と住民生活の向上を図ることを目的とする。	乳製品及び食肉製品の研究開発により、地域農畜産物の高付加価値化やブランド化を推進するとともに、畜産食品に関する研修や技術指導・販売を通じて、地域農業の普及・発展に寄与する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 研修会参加人数(畜産食品加工研修センター)	○ 単年	実績値	918	981	1,198	1,076	1,321				
	○ 累計	達成率(対R7)	61.2%	65.4%	79.9%	71.7%	88.1%	0.0%	1,500	1,800	
指標2 ふるさと納税販売額(千円)	○ 単年	実績値	1,159	1,065	801	719	2,246				
	○ 累計	達成率(対R7)	77.3%	71.0%	53.4%	47.9%	149.7%	0.0%	1,500	1,700	
指標3 6次産業化に取り組んでいる農業者及び団体数(累計)	○ 単年	実績値	9	12	13	14	14				
	○ 累計	達成率(対R7)	81.8%	109.1%	118.2%	127.3%	127.3%	0.0%	11	13	

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	1,304 千円	2,157 千円	千円	1,140 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	14,759 千円	16,475 千円	13,860 千円	17,348 千円	千円
一般財源	2,408 千円	2,751 千円	3,351 千円	3,122 千円	千円
事業費	18,471 千円	21,383 千円	17,211 千円	21,610 千円	0 千円
対前年度比		115.77 %	80.49 %	125.56 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3513	畜産食品加工推進事業	21,610	○						製造係
合計 1 事業		21,610							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	5	6次産業化の推進
	主要施策	1	6次産業化の推進

担当部・課	経済部農林課
-------	--------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> 研修会は、公平性や参加者増の観点から申込方法や、3ヵ月毎のスケジュールをホームページで公開し、1研修会あたりの参加人数を増やす事により、前年度より250人増となった。 製造販売は、ふるさと納税返礼品について、R12目標値1,700千円を達成した。(R5: 719千円⇒R6: 2,246千円) ふるさと納税返礼品に商品開発を行った(生ハムとサラミ)を販売開始することができた。 <p>【令和6年度実績】○生産物売払収入: 11,782千円(前年 9,710千円) ○研修会開催: 155回、1,321人(前年 171回、1,076人)、収入 3,697千円(前年 3,830千円)</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要(第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載)</p> <p>目標の研修会参加人数を目指して、1研修会あたりの人数を引き上げての実施に切り替えたため、研修会参加人数は増加したが回数が減少した。 6次産業化は、令和4年度に令和12年度の目標13件を達成した。機運が高まっていることから引き続き推進を図る。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> ほぼ毎日行われる製品製造の業務と並行し、支援やPR業務、研究開発等の経済活動を行うには今の人員ではやや厳しい。(少なくとも日中にその他の事で動くことは現状ほぼ不可能なため、令和7年度は新商品(生ハムとサラミ)のふるさと納税販売PRに注力する。) 利用者や消費者のマナー化を防ぐため、新製品の開発・ブランド化に取り組む必要がある。 製造技術の研究や指導を進めるため、農業高校等外部機関などと連携を強化する必要がある。 施設・設備の老朽化が進んでいるため、計画的な機器の更新や施設の修繕を行う必要がある。

3 令和8年度の施策の進め方(課長評価)

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新商品(生ハムとサラミ)をふるさと納税返礼品での販売PRを進めブランド化を推進する。 地域農業の理解や畜産食品の普及のため、多くの方々を対象とした研修会を開催するとともに、専門技術者の育成や指導に努める。 施設や設備、製造機械が老朽化の状況がみられるため、計画的な機器の更新や施設の修繕を行い施設の長寿命化に努める。 将来に向けて研修センターの運営や再整備を検討する時期に来ていることから、次期の総合発展計画の中で計根別地域全体のまちづくりや、農業高校等外部の機関との連携など様々な観点から検討を進める。

4 令和8年度の施策の進め方(部長評価)

担当部長氏名	天野英典
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>設置後まもなく40年を迎える本センターは、①製品の研究開発、②製造技術の研修及び指導、③製品の製造及び販売という条例上の設置目的と照らし合わせたうえで、ニーズの高い現在の製造研修を続けつつ、ふるさと納税返礼品対応、施設設備、技術職員、民間需要の観点から、長期的視点で今後の在り方を検討しなければならない時期と考える。</p> <p>特に、ふるさと納税返礼品対応では、施設能力の限界(狭隘化)が課題となっている。加えて、センター単独の視点のみならず、計根別全体のまちづくりや農業高校の未来(食品化学、応用微生物、農産製造、畜産製造(乳加工、肉加工)実習との連携の在り方)を踏まえた幅広い議論が必要である。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>計根別地域振興のため、各部署が関連する施策を共有し、計根別地域住民との連携を進める。</p>

2 外部評価(自己評価に対する意見等)

<p style="text-align: center;">二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3 産業の力みなぎるまちづくり	
	施策項目	6 雇用対策の推進	
	主要施策	1 通年雇用化対策の推進	
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

本町には、300人を超える季節労働者がおり、これまでには季節労働者に対する冬期就労対策として、町道清掃などを実施してきたが、冬期就労対策はあくまで短期就労であるため、関係団体や管内自治体と連携し、通年雇用化に向けた対策を推進する必要がある。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

・根室管内4町で構成する通年雇用促進協議会が、資格取得支援事業や就労に向けたセミナーを開催し、季節労働者の通年雇用化を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 通年雇用化人数	人/年	実績値 達成率(対R7)	14 93.3%	12 80.0%	10 66.7%	16 106.7%	17 113.3%	0.0%	15	15
指標2 雇用対策に満足している割合	%	実績値 達成率(対R7)	40.7 90.4%	46.4 103.1%	34.4 76.4%	27.7 61.6%	27.9 62.0%	0.0%	45.0	50.0
指標3		実績値 達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	433 千円	421 千円	396 千円	390 千円	千円
事業費	433 千円	421 千円	396 千円	390 千円	0 千円
対前年度比		97.23 %	94.06 %	98.48 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3611	通年雇用促進事業	390	○						商工労働係
合計 1 事業		390							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	6	雇用対策の推進
	主要施策	1	通年雇用化対策の推進

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
根室管内4町で構成する通年雇用促進協議会において、季節労働者の通年雇用化に向けて各種事業を実施して、季節労働者の雇用改善を促進している。 ・通年雇用化支援セミナーの開催（7社11名が参加） ・情報誌の作成、各種パンフレットの配布（事業所向け、季節労働者向け） ・建設オペレーター人材育成事業（小型移動式クレーン等 9講習で28名が受講） ・労働者向けドローン講習（3日間開催、11社12名参加） ・人材育成事業（刈払機取扱等 8科目20名が受講） ・資格取得支援事業（大型特殊自動車等 3科目7名）など 【通年雇用化の状況】季節労働者231人、通年雇用への移行者数 17名	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載） 季節労働者の高齢化により対象となる通年雇用者数も減少傾向にある。	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

・事業費の大部分を国や道の委託費で支弁しているが、国の予算の圧縮などにより事業経費も少しずつ減額されている。 ・事業内容がマンネリ化しているが、各町や事業者などからの意見・要望等はない。 ・季節労働者が高齢化し年々減少していることから、通年雇用化の大幅増大は難しい。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	・本事業による通年雇用化の実績は、毎年一定の成果を挙げており、季節労働者が多い当地域では必要不可欠な事業である。引き続き、国や道と連携して事業の継続が必要である。 ・事業内容については、通年雇用化に向けたニーズを把握し、新たな事業メニューなどを取り入れるなど、検討する必要がある。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	労働力人口の減少により、季節労働者も減少傾向にあるが、寒冷積雪による建設業関連の季節労働者が依然多数を占めている。通年雇用化に向けては、企業の年間を通じた業務量の確保と有資格者をはじめとした人材の育成が必要であり、引き続き根室管内4町通年雇用促進協議会を通じて取り組む必要がある。 一方、季節労働者の構成は年々高齢化が進んでおり、通年雇用化を望んでいない層も増えている。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	6	雇用対策の推進
	主要施策	2	雇用の確保・働き手不足の解消
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
本町は、求人倍率に対して就職者数が伸び悩む課題を抱えていることから、求職者と求人者のマッチングの支援や、労働意欲の向上を図り、雇用確保と働き手不足の解消に向けた取組みを推進する必要がある。	関係機関と連携し、雇用情報の提供などを進めるとともに、雇用の創造や働き手不足の解消、働き手側の立場に立った労働福祉対策等に取組み、町内における雇用の確保と、働き手不足の解消を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 雇用対策(通年雇用、雇用創出・確保など)に満足している町民の割合	%	単年	実績値	40.7	46.1	34.4	27.3	27.9		
		累計	達成率(対R7)	90.4%	102.4%	76.4%	60.7%	62.0%	0.0%	45.0
指標2		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	3,464 千円	300 千円	300 千円	300 千円	千円
一般財源	4,710 千円	2,329 千円	2,369 千円	2,398 千円	千円
事業費	8,174 千円	2,629 千円	2,669 千円	2,698 千円	0 千円
対前年度比		32.16 %	101.52 %	101.09 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3621	労働福祉対策事業	2,698	○						商工労働係
3621	産業振興奨励事業	0		○					商工労働係
合計 2 事業		2,698							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	6	雇用対策の推進
	主要施策	2	雇用の確保・働き手不足の解消

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか		
<ul style="list-style-type: none"> ・労働福祉事業は、連合北海道中標津地区連合会への支援。職域を超えた労働福祉対策に貢献。 ・産業振興奨励金は、企業の事業規模拡大や新規創業、進出に対し固定資産税の25%相当額を最大3年間支援を行う。新たな雇用の場の拡大、地域産業の振興に貢献(対象0件) 		
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行	
雇用側は新卒者求めており、求職者とマッチングしていない傾向あり。	<table border="1"> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	B
B		

2 課題

産業振興奨励金については、従来の雇用対策に合わせ、企業誘致の呼び水となる効果の高い施策への見直しが求められている。一方で、経済振興課としては町内企業を守るということも求められ、調整が難しい。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由	
<table border="1"> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	A	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者福祉対策として連合北海道中標津地区連合会と連携していく。 ・町内事業者雇用創出のため企業誘致の推進含め制度の改正など検討する。
A		

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由	
<table border="1"> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	A	引き続き関係機関と連携し、雇用情報の提供を進めるとともに、雇用の創造や働き手不足の解消、働き手側の立場に立った労働福祉対策等に取り組む必要がある。 産業振興奨励金については、従来の雇用対策に合わせ、企業誘致の呼び水となる効果の高い施策への見直しを行う必要がある。
A		

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	6	雇用対策の推進
	主要施策	3	企業誘致の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
人口減少が課題としてある中で、新たな雇用機会の創出や地域経済の活性化に向けては、既存企業の活性化はもちろん新たな企業との関りとして企業誘致の取り組みが求められており、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機にテレワークやリモートワークなど、地方での居住・滞在への関心が高まっていることから、サテライトオフィスなどを含めた企業誘致を推進する必要がある。	本町の航空路線や周辺地域の産業拠点である町の優位性を活かした企業誘致を推進し、新たな雇用機会の創出や地域経済の活性化を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	98 千円	446 千円	1,116 千円	570 千円	千円
事業費	98 千円	446 千円	1,116 千円	570 千円	0 千円
対前年度比		455.10 %	250.22 %	51.08 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
3631	企業誘致推進事業	60				○			地域振興係
	テレワーク誘致事業	510	○						地域振興係
合計 2 事業		570							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	3	産業の力みなぎるまちづくり
	施策項目	6	雇用対策の推進
	主要施策	3	企業誘致の推進

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
・テレワーク誘致事業に4件の参加あった。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

複数回利用の事業者がおり、回数の制限はないが、多くの企業に利用してもらうため遠慮してもらっていることもあるなど、制度を継続するのであれば、見直しも必要。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	理由 本事業への問い合わせや利用実績も一定程度あり、首都圏から中標津空港を利用するなど、一定の効果が見られることから、関係人口・交流人口創出とあわせ事業の展開を検討。
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	理由 本町の航空路線や周辺地域の産業拠点である町の優位性を活かした企業誘致を推進していく。産業振興奨励金については、従来の雇用対策に合わせ、企業誘致の呼び水となる効果の高い施策への見直しを進めていく。テレワーク誘致事業については多少のブラッシュが必要。
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部都市住宅課	担当課長氏名	太田 淳也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	1 計画的な土地利用の推進
	主要施策	1 土地利用計画の推進
その他関連計画等	第2期中標津町都市計画マスタープラン	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）

本町は、近年までの人口増加に伴う経済成長によりに市街地が拡大し、多くの都市基盤整備の充実を図ってきたが、今後の少子高齢人口減少時代を見据えた社会インフラの維持、公共交通のありかた、空き家・空き地の問題など多岐に渡る都市の姿を予測しながら、減少が予測される町財源を鑑みて、都市経営コストのかからないコンパクトなまちづくりを目指す。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

少子高齢時代を見据え、限られた財源のなかで都市経営をするためには都市の拡大を抑制し、これまで投資した社会資本を有効活用することによって、将来都市経営コストを最小限に抑え財源の安定化を図り、住民の生活の向上と、子供たちへ未来への投資を充実させることよって、持続可能な町となる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 住んでいる地域が「良好なまちなみ(住環境)である」と感じる住民の割合	%	○ 単年	実績値	73.5	76.8	67.4	67.0	61.6	65.0	75.0	77.0
		○ 累計	達成率(対R7)	98.0%	102.4%	89.9%	89.3%	82.1%	86.7%		
指標2 都市計画マスタープラン進行管理	%	○ 単年	実績値		100	100	100	100		50	97
		○ 累計	達成率(対R7)	0.0%	200.0%	200.0%	200.0%	200.0%	0.0%		
指標3 まちのツボ活性化プロジェクトの活動事業	事業	○ 単年	実績値	0	0	0	0	0		7	7
		○ 累計	達成率(対R7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	52 千円	49 千円	40 千円	37 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	25 千円	30 千円	24 千円	14 千円	千円
一般財源	4,434 千円	4,702 千円	581 千円	637 千円	千円
事業費	4,511 千円	4,781 千円	645 千円	688 千円	0 千円
対前年度比		105.99 %	13.49 %	106.67 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4111・4112	都市総合計画推進事業	688	○						都市計画・景観係
合計 1 事業		688							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	1	計画的な土地利用の推進
	主要施策	1	土地利用計画の推進

担当部・課 建設水道部都市住宅課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>中標津都市計画区域の整備・開発及び保全の方針や第2期中標津町都市計画マスタープラン、農業振興地域整備計画、森林整備計画等の土地利用計画に則して、誰もが都市的なサービスを受けることができる機能的な市街地形成に向けて、適切な土地利用規制・誘導によりコンパクトで機能的・効率的な市街地の形成に向けて総合的な調整を図っている。</p> <p>①都市計画審議会開催 ②第2期中標津町都市計画マスタープラン進行管理(まちのツボ活動の推進、都市マス通信発行) ③各種届出等に関する受付・相談(都市計画法、国土利用計法等)</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>令和4年10月に都市計画(用途地域、特別用途地区、特定用途制限地域、緑地等)を変更し、土地利用の適正化に努めているところであるが、その後も宅地開発や新規出店、工場建設など新たな土地利用計画や開発行為等の実施や予定があり、将来的に都市経営コストの増大が懸念される。</p> <p>また、昨年度の外部評価委員会において、都市計画マスタープランの7つのツボプロジェクトについての現状整理や、バイパス沿いについて、コンパクトシティのインフラ整備と商業施設誘致についてバランスを取っていく必要があると指摘を受けている。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>少子高齢化、人口減少の見直しから、市街地の拡大を抑制し、既存の都市機能ストックの有効活用や空き家・空き地等の利活用を図り、誰もが安心して心豊かに住み続けられる持続可能でコンパクトなまちづくりを行う必要がある。都市計画マスタープランの実現・推進に向けてツボプロジェクトや街づくり協議会などの活動を支援するとともに、従来型の土地利用計画に加えて、居住や都市機能の立地、公共交通、空き家対策、防災など様々な関連施策との連携によるコンパクト・プラス・ネットワークの考え方にに基づき、立地適正化計画の策定に向けて検討を進めることとする。</p>
--	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 中野康志

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>第2期中標津町都市計画マスタープランにおける将来都市像の実現に向け、上位計画の第7期中標津町総合計画と連携し、町民参画、庁内連携で取組を連携しながら実行し、次のまちづくりを目指す。また、既存の社会資本の有効活用や空き家・空き地等の利活用を図るとともに、立地適正化計画の策定に向けた検討を行い、持続可能なまちづくりを進める。</p>
--	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部都市住宅課	担当課長氏名	太田 淳也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	1 計画的な土地利用の推進
	主要施策	1 土地利用計画の推進
その他関連計画等		第2期中標津町都市計画マスタープラン
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）
 中標津町の未来を見据えた持続可能なまちづくりのため、中標津町都市計画マスタープランにおける地域別まちづくり構想や“ツボ”プロジェクトの実現に向け、町民や企業、地域が取り組むまちづくり活動に対し、営利を目的としない団体、町内会等へ事業補助を行う。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）
 各街づくり協議会の活動と行政が連携することで、地域の活性化を図るとともに、地域のコミュニティ強化と新たなまちづくり活動につながる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 地域まちづくり協議会 団体	団体	○ 単年	実績値	3	3	3	3	3			
		累計	達成率(対R7)	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	0.0%	4	6
指標2 まちのツボ活性化プロジェクトの活動事業	事業	○ 単年	実績値	0	0	0	0	0			
		累計	達成率(対R7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7	7
指標3 地域まちづくり事業補助金活用事業	千円	○ 単年	実績値	79	97	194	175	128			
		累計	達成率(対R7)	23.9%	29.4%	58.8%	53.0%	38.8%	0.0%	330	200

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	97千円	194千円	175千円	128千円	千円
事業費	97千円	194千円	175千円	128千円	0千円
対前年度比		200.00 %	90.21 %	73.14 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係	
			A	B	C	D	E	F		
4111・4112	地域まちづくり補助事業	128		○						都市計画・景観係
合計 1 事業		128								

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	1	計画的な土地利用の推進
	主要施策	1	土地利用計画の推進

担当部・課 建設水道部都市住宅課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>都市計画マスタープランに基づき、地域特性を生かした街づくり構想の実現に向けて、地域が自発的に実行する事業を支援しており、中心部地域、西部地域、西町・川西地域では活動を通じて、人のつながりができ、まちづくりに対する関心の効果が現れている。</p> <p>①中心部地域：南3丁目花壇整備、タワラマップ親水広場にイルミネーションやキャンドルを設置しまちなかに賑わいを創出 ②西町・川西地域：桜の木の維持・管理作業を実施して、訪れる人々が癒されるまちづくりを推進</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>中心部地域、西部地域、西町・川西地域の地域街づくり活動は既に10年以上継続されており、町民が身近な地域の街づくりに自発的に関わることができる優れた取り組みとなっているが、事業の継続や運営資金の確保、担い手の育成、未実施地域への働きかけなどが課題となっている。</p> <p>西部地域では、10年間に渡り親子たこづくり・たこあげ大会を開催し子供たちと地域の皆さんが交流してきたが、運営上の理由により令和6年度をもって休止となった。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>これまで継続されてきた地域別街づくり構想による活動に対して継続的に支援を行うとともに、ツボプロジェクトと連携や新たな都市マスマちづくり活動に向けた研究を行うなど、地域の自主的な活動を促進していきたい。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 中野康志

<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>第2期中標津町マスタープランにおける地域別まちづくり構想や“ツボ”プロジェクトの実現に向け、各団体と協議しながら引き続き地域のコミュニティ強化と新たなまちづくり活動の拡大に取り組む。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部建設課	担当課長氏名	不藤浩二	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり	
	施策項目	1 計画的な土地利用の推進	
	主要施策	2 未利用地の有効活用	
その他関連計画等	中標津町未利用財産利活用基本方針 中標津町行財政健全化緊急対策方針		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 未利用町有地の効果的な利活用、維持管理費の削減及び町財源の確保。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 公共利用、貸付及び売払い等を行うことにより未利用町有地の有効活用を図る。
---	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	20,400 千円	0 千円	0 千円	17,000 千円	千円
その他	76,379 千円	87,602 千円	30,376 千円	千円	千円
一般財源	8,741 千円	9,331 千円	7,998 千円	10,669 千円	千円
事業費	105,520 千円	96,933 千円	38,374 千円	27,669 千円	0 千円
対前年度比		91.86 %	39.59 %	72.10 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4121	財産管理事務経費	7,396		○					管財係
4121	町有建物等解体撤去事業	20,273	○						管財係
合計 2 事業		27,669							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	1	計画的な土地利用の推進
	主要施策	2	未利用地の有効活用

担当部・課	建設水道部建設課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> ・4件の未利用町有地について、一般競争入札1件、随意契約3件で売払いをおこなった。 ・未利用町有地4件の売払いで4,093千円の収入を得た。 	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <ul style="list-style-type: none"> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> ・売払い等を実施するためには前段に入念な調査（残存物件、地下埋設物等）と他部局との調整等が必要であり、用途廃止による未利用町有地の増加に対し、事務作業が追いついていない状況である。 ・土地売払い実施に際し、建物の老朽化が著しく解体が必要となる物件が複数ある。 ・円滑に事業を進めるためには購入者の希望に沿ったタイミングで進める必要があるが、突発的なものが多く対応に時間がかかるのが現状となっている。 ・保有している町有地の将来利用構想（公共施設の配置）について考えておく必要がある。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	理由 <ul style="list-style-type: none"> ・町有地の売払いは町の計画によるものと民間からの要求による場合があるが、このタイミングにより業務量が大きく左右される。 ・計画的な土地利用を推進していくためには、計画的な利活用と並行し民間の情勢に合わせた対応も柔軟におこなう必要があり、民間からの突発的な要望にも対応できるよう、調査費等の予算の確保が必要と思われる。 ・保有している町有地や建物を適正に管理していくため台帳整備や実施体制を強化していく必要がある。 ・令和8年度は引き続き、市街地中心部の町有地の利活用について検討し方向性を決めなければならない。
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	中野康志
--------	------

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	理由 町有未利用財産の売り払い、貸付を計画的に行い有効活用を図っている。 令和2年度に作成した「未利用財産利活用基本方針」に基づき、今後も計画的な未利用財産の売り払い、貸付、利活用、保全（維持管理）を行っていくため、公有財産利活用検討委員会へ積極的に提案していく。 令和8年度については、市街地中心部の町有地の売り払いに向け、老朽化した建物の解体を進める。
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済部 農林課	担当課長氏名	有賀 勇治	調書作成日	令和7年 7 月 15 日
-------	---------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	2	景観形成の推進
	主要施策	1	景観形成の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 役場～24線～開陽台入り口までの道路を町内のシンボルロードとして位置づけし、ふるさと創生事業により、景観整備（並木植樹）を実施。牧歌景観と調和した、並木保全を行ってきている。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 景勝地開陽台へ続くシンボルロードとして、自然と調和した町のイメージアップにつながる。
--	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
一般財源	383 千円	383 千円	383 千円	440 千円	千円
事業費	383 千円	383 千円	383 千円	440 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	100.00 %	114.88 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4212	ふるさと創生並木保全事業	440							林務係
合計 1 事業		440							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	2	景観形成の推進
	主要施策	1	景観形成の推進

担当部・課	経済部 農林課
-------	---------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
 並木保全のための下刈作業(自動車学校前～ラ・レトリ間(約1.5km))を実施し、シンボルロードとしての景観イメージを維持できた。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>
---	---

2 課題

植樹から34年が経過し、樹木の生長と共に、電線に影響したり、隣接住宅敷地に枝葉が越境したりしている。特に市街地近くでは、今後その影響が更に出てくる可能性がある。また、今後は風倒木の心配も出てくる。樹木には伐採期(白樺:80年、アカエゾマツ:60年)があり、その時その木をどうするか、伐採後どうするかが課題となる。同様の事業導入に際しては、植樹後の将来的な影響も見据えた検討が必要である。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	今後も景観維持には同様の保全管理が必要であるが、樹木は大きく育ち保育期間は終了している。道や町が管理している道路の歩道部分についてはそれぞれ道路管理者が草刈りを行っているところであり、それぞれの管理者と連携し、町のゲートウェイとして景観維持を図っていく。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	本町は格子状防風林、河畔林、市街地を囲む林により独特の景観を生み出しており、これらの森林がもたらす景観は、視覚的な価値のみならず防風・防霧、河川環境や生態系の維持など、様々な役割を果たしている。引き続き並木保全等の保護活動を継続していく。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部都市住宅課	担当課長氏名	太田 淳也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり	
	施策項目	2 景観形成の推進	
	主要施策	1 景観形成の推進	
その他関連計画等		中標津町景観計画 中標津町都市計画マスタープラン	中標津町緑の基本計画 中標津町環境基本計画
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
景観法の基づく景観行政団体として、景観法に基づく独自の景観行政を推進することにより、景観に対する住民意識の醸成を図り、地域に愛着を持ち、地域コミュニティの活性化、交流人口の拡大、地域のイメージアップなど、地域活性化につなげ、中標津町の良好な景観を後世に引き継ぎ、持続可能な地域としていく。	町民が中標津町の景観を理解することで価値を共有し、景観まちづくりに参加していくことにより、中標津町の景観が内外に認知され魅力あるまちになり交流人口・関係人口が増え、移住・定住に繋がる。町の経済発展にも効果が現れるなど成果が期待される。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 日々の生活の中で景観を意識している町民の割合	%	単年	実績値		70.6	72.6	72.4	67.9	40.0	50.0
		累計	達成率(対R7)	0.0%	0.0%	176.5%	181.5%	181.0%		
指標2 景観形成団体数	団体	単年	実績値	5	5	5	5	5	6	8
		累計	達成率(対R7)	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%		
指標3 景観啓発事業の実施	事業	単年	実績値	1	0	2	4	4	3	5
		累計	達成率(対R7)	33.3%	0.0%	66.7%	133.3%	133.3%		

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	150 千円	152 千円	136 千円	千円
一般財源	319 千円	465 千円	389 千円	379 千円	千円
事業費	319 千円	615 千円	541 千円	515 千円	0 千円
対前年度比		192.79 %	87.97 %	95.19 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4211・4212	景観形成推進事業	515	○						都市計画・景観係
合計 1 事業		515							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	2	景観形成の推進
	主要施策	1	景観形成の推進

担当部・課 建設水道部都市住宅課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>中標津町景観条例及び中標津町景観計画に基づき、本町の風土に調和した良好な景観を守り、つくり、育てる景観まちづくりを推進している。また、町民等との協働の観点から「みんなの景観なかしべつプロジェクト」と共に景観形成活動を実践し、学校教育の場における「景観学習」や計根別地域の「かぼちゃランタンプロジェクト」などで成果をあげている。</p> <p>①景観審議会の開催（景観形成基準に基づく審査・指導・助言、景観法に基づく届出等） ②景観形成推進事業補助金による景観形成団体の支援（3団体） ③景観形成推進事業（景観学習、みんなの景観なかしべつプロジェクト活動他）</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>景観まちづくりを推進するためには、町民・活動団体・事業者・行政が連携し協働で進める必要があることから、景観に対する意識や関心を高めていく必要がある。また、一部の町民から町内に設置される太陽光発電施設（いわゆるメガソーラー発電所）に関して、将来的な使用済みパネルの放置・不法投棄や有害物質の流出・拡散による環境破壊、景観への悪影響について懸念の意見が寄せられている。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>本町の景観形成基準に基づく審査・指導・助言、景観法に基づく届出等を円滑に行いながら、本町の優れた景観を将来の世代に継承していくとともに、みんなの景観なかしべつプロジェクトや景観活動団体と連携した活動を通じて景観まちづくりを実践し、郷土愛や景観・自然環境の保全に対する意識を育てていく。</p> <p>また、太陽光発電施設に関しては、景観審議会において勉強会を開催し、国や道、先進自治体の取り組みなどについて研究・検討を進めながら、景観と自然環境を守りながら事業者等による太陽光発電などの土地利用開発、いわゆる「保全と開発」のバランスを念頭に適切な対応を図っていくこととする。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 中野康志

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>中標津町景観計画に基づき、町民・団体・企業・行政との協働による景観まちづくりを推進します。町民の景観意識の醸成は、本町を訪れる人に魅力を伝えるとともに町民が地域に愛着を持ち地域コミュニティの活性化につながることから継続してイベントや事業を実施していく。</p> <p>また、太陽光発電施設の設置について、今後国や道の法整備の状況を把握しながら庁内連携を図って行く。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部政策推進課	担当課長氏名	渡部 寛親	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	3	道路・交通網の充実
	主要施策	1	高規格道路などの整備促進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 要望活動により高規格道路並びに高規格幹線道路の整備促進を図り、地域経済の活性化及び地域振興・発展を目指す。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 高規格道路釧路中標津道路、根室中標津道路及び北海道横断自動車道釧路根室道路の整備促進を図るため、市町・議会・商工会・農協・漁協などの関係団体で構成する期成会等による各種活動を実施する。
--	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	216 千円	216 千円	216 千円	216 千円	千円
事業費	216 千円	216 千円	216 千円	216 千円	0 千円
対前年度比		100.00 %	100.00 %	100.00 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4311	高規格道路整備促進事業	216							企画調整係
合計 1 事業		216							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	3	道路・交通網の充実
	主要施策	1	高規格道路などの整備促進

担当部・課	総務部政策推進課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>実施主体である国、道に対して、整備促進への要望活動を各種機会を通じて実施。要望活動は釧路根室管内における4つの道路整備促進期成会合同で実施している。（釧路トライアングル整備構想連絡会議）</p> <p>要請活動がすべて整備実施につながるものではないが、継続した要望活動を実施することが重要。</p> <p>釧路中標津道路については、道東自動車道阿寒IC～釧路西ICの開通に合わせ、「ウェルカム道東道！オールくしろ魅力発信協議会」と連携のうえ、国道272号利用促進プロモーションを実施。合わせて行ったアンケートの分析のほか、知床ねむろ観光連盟の公式LINEの登録キャンペーンを実施し、登録者数の増加につながった。（194人の登録増）※釧路中標津道路の事務局が本町、根室中標津道路の事務局は根室市。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>・事業実施主体である国・道に対して要望活動を継続することが事業推進を図るうえで重要であるが、整備促進は国・道の状況によるため計画的な推進は難しい。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>広域にわたる事業であることから、今後においても沿線自治体及び関係団体と協力し、早期完成を要望していく。</p> <p>事務局を担っている釧路中標津道路の整備、調査区間が現時点で事業の進展が見込まれていないが、防雪対策事業として現在着手している上春別防雪の整備促進、完成を訴えていくほか、根室中標津道路の別海町中春別から本町の区間においては、通勤者も利用し交通量も多く、またカーブもきつく道路幅も狭いことから調査区間の指定を今後も要望していく。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>根室中標津道路、釧路中標津道路については、地域の医療・防災・物流・観光等の広域的な観点から、引き続き早期の事業進捗に向け、各種機会を通じ、地域で連携した要請・要望活動を展開する。合わせて、釧路西IC開通に伴い、別保ICから根室管内への誘客対策としたプロモーション活動を展開する。</p> <p>また、要請・要望活動の広がり、強化を目的に、民間主体による組織化の可能性について検討したい。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部管理課	担当課長氏名	徳永 博之	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	3 道路・交通網の充実
	主要施策	2 安全な道路環境づくり
その他関連計画等	中標津町橋梁長寿命化修繕計画	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
道路や橋は、町民の日常生活や社会経済活動を支える重要な役割を果たしていることから、適切な維持管理、除雪体制の充実を図ることにより、安全で快適な道路環境を確保する。	道路や橋の適切な維持管理、除雪体制の充実を図ることで、安全な道路環境が確保され、町民生活の利便性向上や社会経済活動の維持などが図られる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	96,301 千円	99,075 千円	159,604 千円	184,094 千円	千円
地方債	219,500 千円	278,300 千円	478,000 千円	257,000 千円	千円
その他	1,012 千円	253 千円	0 千円	0 千円	千円
一般財源	460,113 千円	478,220 千円	397,107 千円	535,792 千円	千円
事業費	776,926 千円	855,848 千円	1,034,711 千円	976,886 千円	0 千円
対前年度比		110.16 %	120.90 %	94.41 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4322	道路台帳整備事業	3,300							管理係
4321	道路維持補修事業	101,112							管理係
4322	除雪事業	205,161							管理係
4322	除雪機械整備事業	124,522					○		管理係
4322	排水施設整備事業	16,156							管理係
4322	「明日に架ける橋」プロジェクト事業	242							管理係
4322	橋梁長寿命化修繕事業	258,196							管理係
4321	街路維持補修事業	135,042							管理係
4322	道路照明灯LED化整備事業	75,427					○		管理係
4321	市街地道路簡易舗装事業	57,728							管理係
合計 10 事業		976,886							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	3	道路・交通網の充実
	主要施策	2	安全な道路環境づくり

担当部・課	建設水道部管理課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・道路や排水路など道路付属施設の修繕、舗装修繕、砂利道の路面整正、橋の修繕や点検、道路台帳整備調査、道路維持用機械の維持管理、除排雪及び雪道巡回業務、除雪トラック購入、防雪柵設置等を実施した。</p> <p>・道路や道路付属施設、橋などの修繕、適切な除排雪、雪による被害を防ぐための対策などの実施によって、町民生活の利便性が維持された。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>・道路の維持修繕には多額の費用が掛かるため、限られた予算の中で、全ての損傷箇所を一度に修繕することは難しく、優先順位をつけて部分的な修繕を行っているが、修繕後数年で再び損傷が発生する可能性がある。また、近年は交通量の増加、車両の大型化、気候変動の影響などにより道路の劣化の速度が早まり翌年度以降に持ち越される維持修繕箇所が累積的に増加していることから、町民生活や社会経済活動に支障をきたしている。</p> <p>・維持管理業務の高度化、業務量増加、職員減少、維持管理技術者の高齢化による担い手不足などが懸念される中で、維持管理に関する技術的ノウハウの蓄積や承継が困難な状況となっている。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>・安全で快適な道路環境の確保をスピード感をもって着実に進めるため、事業予算の拡充や施策を計画的に進める必要がある。</p> <p>・維持管理部門では、維持管理業務の高度化、業務量増加、担い手不足などが懸念される中で、緊急時にも維持管理業務を途切れず継続する必要があることから、人材の確保・育成、維持管理体制の検討を行う。</p>
--	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	中野康志
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>限られた予算、人員により町道及び道路付帯施設の維持管理、橋梁長寿命化事業防雪柵設置事業を実施している。</p> <p>砂利道路の維持管理について、現在グレーダーの運転技術者が1名と限られていることから、引き続き技術者の確保、育成、技術の継承に取り組み維持管理体制の確立を図る。</p>
--	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部建設課	担当課長氏名	不藤浩二	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	3	道路・交通網の充実
	主要施策	2	安全な道路環境のづくり
その他関連計画等	中標津町道路整備5箇年計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
社会経済活動を支える重要な社会資本である町道を整備し、安全な道路環境と町民生活の利便性向上を図る。	道路整備5箇年計画に基づいた整備により、町民要望に応じた効果的な整備が可能となる。 道路整備をこれまでよりも拡充することにより災害にも強く、安全で便利な道路環境を確保することができる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 町道の舗装率	単年 ○ 累計	実績値	60.30	60.58	60.74	60.88	61.11			61.30	62.30
		達成率(対R7)	98.4%	98.8%	99.1%	99.3%	99.7%	0.0%			
指標2	単年 累計	実績値									
		達成率(対R7)									
指標3	単年 累計	実績値									
		達成率(対R7)									

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	36,622 千円	44,228 千円	26,641 千円	33,227 千円	千円
地方債	217,900 千円	239,200 千円	255,900 千円	459,800 千円	千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
一般財源	46,127 千円	5,682 千円	6,548 千円	8,589 千円	千円
事業費	300,649 千円	289,110 千円	289,089 千円	501,616 千円	0 千円
対前年度比		96.16 %	99.99 %	173.52 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4321	俵橋南3号道路整備事業(交付金)	47,513		○					事業推進係
4321	豊岡35線道路整備事業(交付金)	190,223		○					事業推進係
4321	武佐南7線道路整備事業	59,770					○		事業推進係
4321	西竹38線道路整備事業	47,500					○		事業推進係
4321	俣落30線道路整備事業	0		○					事業推進係
4321	開陽26線道路整備事業	47,222		○					事業推進係
4321	西竹48線道路整備事業	51,660		○					事業推進係
4321	りんどう町北8号道路整備事業	0		○					事業推進係
4321	市街地道路簡易舗装事業	57,728		○					事業推進係
合計 9 事業		501,616							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	3	道路・交通網の充実
	主要施策	2	安全な道路環境のづくり

担当部・課	建設水道部建設課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか		
<ul style="list-style-type: none"> 町道整備事業(交付金) 2路線 改良L=296m 舗装L=271m 用地測量L=327m 町道整備事業(単独) 6路線 改良L=675m 舗装L=677m 内2路線→事業休止 市街地簡易舗装事業 2路線 L=278m 測量設計(1路線)L=354m 		
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行	
<ul style="list-style-type: none"> 中標津町全体の舗装率は61%程度と低い。 目標値は近年の道路予算の影響を踏まえて低めに設定しているところであるが、それ以上に状況が悪く、ここ数年は2路線が休止となっている。（目標5年で1%向上→6.4km/640km、1年で0.2%→1.3km/640km） 凍結融解による舗装道路の劣化が進み舗装補修事業にも取り組んでいるが、新規舗装ではないため舗装率向上には繋がらない。 町民アンケートにも道路整備に関する多くの意見が寄せられているところであるが、現状の予算ベースでは要望に応えていくことは難しい。 	<table border="1"> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	B
B		

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> 道路整備予算の国からの配当が大変厳しい状況となっている。 社会資本整備総合交付金事業においては配分率が要望額の2割となっており、町単独事業も予算の枠配当により事業費削減や事業休止を余儀なくされ、更に物価高騰の影響も受けており、中標津町道路整備5箇年計画が計画通り進んでいない状況である。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由	
<table border="1"> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	A	<ul style="list-style-type: none"> 道路の老朽化等による維持補修経費が増加傾向となっており、新設工事だけではなく改築工事の検討も必要となっている。 多くの住民要望及び道路の利便性向上のため、道路整備に関する予算確保に努める。
A		

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	中野康志
--------	------

施策の進め方	理由	
<table border="1"> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	A	国の社会資本整備総合交付金の配分率の低下、町の厳しい財政状況の中で、道路整備予算確保が出来ない状況にあるが、今後も道路整備5か年計画に基づいた道路整備を行っていくため、予算確保に努める。
A		

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部建設課	担当課長氏名	不藤浩二	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	3 道路・交通網の充実
	主要施策	2 安全な道路環境のづくり
その他関連計画等	中標津町公共土木施設維持管理基本方針	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために） 冬期間の交通安全確保	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 防雪柵の設置を進め、冬期間の視程障害、吹溜りによる交通障害を解消する。
---------------------------	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率 (対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	24,558 千円	35,835 千円	27,600 千円	27,600 千円	千円
地方債	17,400 千円	25,200 千円	45,400 千円	20,700 千円	千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
一般財源	573 千円	114 千円	88 千円	257 千円	千円
事業費	42,531 千円	61,149 千円	73,088 千円	48,557 千円	0 千円
対前年度比		143.78 %	119.52 %	66.44 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4322	上標津北14号道路防雪柵設置事業(交付金)	22,072		○					事業推進係
4322	武佐北11号道路防雪柵設置事業(交付金)	26,485		○					事業推進係
合計 2 事業		48,557							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	3	道路・交通網の充実
	主要施策	2	安全な道路環境のづくり

担当部・課	建設水道部建設課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> ・防雪柵設置2路線 L=126m ・防雪柵設置により冬期間の視程障害、吹溜りによる交通障害が解消された。 	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <ul style="list-style-type: none"> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備予算の国からの配当が大変厳しい状況となっている。 ・社会資本整備総合交付金事業においては配分額が要望額の3割となっており事業の進捗状況が悪い。 ・近年、輸送コストの上昇などから杭の製造メーカーによる最低受注量が設定され、工事が一定規模以上(10t以上)となるように発注しなければならない状況となっている。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	理由 ・冬期間の交通安全確保のため整備に関する予算確保に努める。
--	-------------------------------------

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	中野康志
--------	------

施策の進め方 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	理由 国の社会資本整備総合交付金の配分率の低下、町の厳しい財政状況の中で、道路整備予算確保が出来ない状況にある。今後も冬期間における交通障害を防ぎ、安全を確保するため予算確保に努める。
--	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	3	道路・交通網の充実
	主要施策	3	効率的な地域交通の推進
その他関連計画等	中標津町地域公共交通計画(令和5年度策定済)		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
住民の移動手段を確保するため。 法改正により、樹立した地域公共交通計画を基本に、それぞれの地域や実情に即した地域交通を確立する。	通院、通学や交通弱者の移動手段が確保され、地域住民の生活安全確保に寄与する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 町有バス利用者数	人/年	単年	実績値	6,814	7,537	6,873	5,804	7,188		7,500	8,000
		累計	達成率(対R7)	90.9%	100.5%	91.6%	77.4%	95.8%	0.0%		
指標2 市内循環線利用者数	人/年	単年	実績値	24,931	21,940	23,325	28,102	27,229		26,000	27,500
		累計	達成率(対R7)	95.9%	84.4%	89.7%	108.1%	104.7%	0.0%		
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	6,611 千円	3,589 千円	3,141 千円	2,251 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	44,916 千円	32,896 千円	39,491 千円	49,734 千円	千円
一般財源	31,870 千円	44,822 千円	45,319 千円	37,106 千円	千円
事業費	83,397 千円	81,307 千円	87,951 千円	89,091 千円	0 千円
対前年度比		97.49 %	108.17 %	101.30 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4331	町有バス運行経費	13,108	○						交通町民相談係
4331	生活交通路線維持対策補助事業	32,907	○						交通町民相談係
4331	根室中部広域生活交通協議会負担金	38,877	○						交通町民相談係
4331	代替バス運行費補助事業	422	○						交通町民相談係
4331	地域公共交通計画推進事業	3,777	○						交通町民相談係
合計 6 事業		89,091							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	3	道路・交通網の充実
	主要施策	3	効率的な地域交通の推進

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>町有バスの運行及び民間バスへの補助により町民の移動手段を確保した。また、令和4年12月に市内線のダイヤ見直しを行ったことにより、往路復路において利用可能な便の改善が見られ、令和5年度においては、利用者が増加。一方、町有バスにおいては、利用者の減少が見られた。少子化の影響や、利便性の問題、利用路線の変更などが考えられる。</p> <p>広域バス路線に関して、R4.12に1市4町の町長・議長による協議会でR5.10に向けた大幅な再編の方針が決定され、各関係機関と協議の上、住民周知を図り、予定どおり大幅な再編が実施された。さらに、R5.7に『中標津町地域公共交通計画』を策定。各課題や目標の達成に向けた、施策をまとめた。計画書に基づき、中標津町地域公共交通活性化協議会（法定協議会）で町内バス路線の再編に向けた具体の協議や調整に取り組むことが出来た。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>現在、町有バス並びに市内循環線は過渡期にあり、町民や各団体が構成する「中標津町地域公共交通活性化協議会」内において、公共交通計画の内容を元に、協議を進めている。このような状況やコロナの影響により、利用者数の増減理由の分析は困難な部分もある。成果指標達成や分析には、新たな再編後、数年程度、時間を要すると思われるが、持続可能で利便性の高い地域公共交通を一日でも早く実現できるよう取り組んでいる。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>町有バスは平成26年10月からの見直しにより、武佐線及び俣落線は市街地の一部も運行するようになり利用者は増加したが、当然ながら、公共交通の大半は慢性的な赤字運行であり、本町も例外ではなく、赤字運行の状態が続いている。</p> <p>市内循環線は、平成26年度の市街地の路線再編に伴い路線が延長したことから便数が減便となり、利用者減少の要因の一つとなっていたが、令和4年12月に一部減便とダイヤ見直しを実施。これにより往路復路で他路線との組み合わせに改善が見られ、利用者が増加しているものの、全体としては1便60分と長時間となるため、抜本的な見直しが必要である。</p> <p>このため、R5.10に実施した広域バスの再編に続き、町有バス並びに市内循環線の2路線の抜本的な再編が必要。令和7年10月の実証運行並びに再編に向け、公共交通計画に沿った検証・検討を進めており、運行事業者の理解と協力が重要となる。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>町有バス路線は、少子高齢化が進む中、今後も地域の生活路線や通学路線としての維持が必要である。</p> <p>市内循環線は、平成26年度に路線の延長要望により路線の見直しを行い東側の空白地帯の解消を行ったが、一部区間で利用者が減少となったことから地域事情を含めた調査を進め、今後の運行方法を研究中。</p> <p>また、各バス路線の利用促進のため、利用しやすい路線マップや乗り方についての継続した周知を図る。</p> <p>広域路線であるJR代替線は、R5.10に抜本的な見直しを実施し、持続可能な路線の縮小と効率化、ダイヤの見直し等により利便性の向上が図られた。</p> <p>また、課題にもあるように、町有バス並びに市内循環線の2路線の抜本的な見直しを行い、令和7年10月の実証運行を経て再編を実施する。交通弱者となる高齢者や学生の対応に加え、持続可能な公共交通となるよう継続的に見直しを行う。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>交通弱者の移動手段確保のため、公共交通機能を強化することは大変重要であるが、反面、利用者の減少に伴う収益の悪化、慢性的な赤字補填に伴い、財政負担を強いられている。このような状況の中、持続可能で利便性の高い交通システムの構築を目的に、令和5年度に中標津町地域公共交通計画を策定したところである。</p> <p>JR代替バス路線は、令和5年10月に一部路線の廃止など再編を実施し、持続可能な路線の維持と利便性が確保された。</p> <p>町有バス路線、市内循環線についても利用者の減少が続いていることから、抜本的な見直しを行い、令和7年10月から実証運行、令和8年度から本格運行による再編を実施する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済振興課	担当課長氏名	佐瀬 光史	調書作成日	令和7年 7 月 29 日
-------	-------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	3	道路・交通網の充実
	主要施策	4	安定した航空路線の維持・活用
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>中標津空港は、道東の空の玄関口として本町のみならず、地域の経済や住民生活を支える公共的役割の大きい空港であり、根室管内の重要な交流拠点となっている。近年は利用客数が20万人程度で推移しており、空港路線の維持のためには、関係団体との連携により、さらなる利用促進や利便性の向上に取り組む必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観光客やビジネス利用など航空需要の拡大による地域経済の活性化 利便性の高い航空路線による住民生活の向上、地域医療の確保、交流人口・関係人口の拡大 航空輸送による地域産業の発展

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
									R7	R12		
指標1 中標津空港搭乗者数	人/年	単年	実績値	59,414	82,446	144,362	191,930	217,669				
		累計	達成率(対R7)	29.7%	41.2%	72.2%	96.0%	108.8%	0.0%	200,000	210,000	
指標2		単年	実績値									
		累計	達成率(対R7)									
指標3		単年	実績値									
		累計	達成率(対R7)									

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	2,400 千円	3,800 千円	5,500 千円	4,500 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	5,660 千円	千円	千円	千円
一般財源	9,360 千円	11,001 千円	17,715 千円	15,999 千円	千円
事業費	11,760 千円	20,461 千円	23,215 千円	20,499 千円	0 千円
対前年度比		173.99 %	113.46 %	88.30 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4341	空港利用促進対策事業	20,499	○						空港対策係
合計 1 事業		20,499							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	3	道路・交通網の充実
	主要施策	4	安定した航空路線の維持・活用

担当部・課	経済振興課
-------	-------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
中標津空港エリアの知名度向上及び利用促進のため、エアラインと連携し、首都圏でのプロモーションやSNSを利用したキャンペーンの実施。新千歳線及び丘珠線利用向上のためのWEB及び動画広告。北海道の補助事業を活用した、札幌地下歩行空間におけるリアルイベントの開催など、多くの事業を実施。結果、定期便のみでは18年振りに利用者20万人を達成した。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
空港搭乗者数は18年ぶりに目標である20万人を超え、利用状況は好調である。	A
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

HAC就航により札幌圏からの利用者が増加し全体を押し上げているが、一部の便においては搭乗率が低く底上げが必要。中標津空港は道内空港の民営化の枠組みには入っていないことから、空港機能の維持や安全運航のため、国や道などと連携を図る必要がある。また、2次交通として空港線バスの負担が増加している。バス運営会社と沿線自治体と協議し今後のありかたについて検討。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A	総輸送量増加により、札幌圏域からの搭乗率を搭乗者数をもっと伸ばせる可能性があるため、さらなる利用促進に向け各エアライン並びに管内自治体、観光協会等と連携を図り推進する。空港連絡バス運行について引き続き検討する。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

施策の進め方	理由
A	札幌圏との航空ネットワークは、ビジネスや医療従事、通院など、社会生活にとって重要な路線であることから、地域住民をはじめ道民の利便性向上を目指し、地域一丸となって利用促進に取り組んでいきたい。東京便においては、複便化と国際線との乗り継ぎにも対応できる時間帯の設定を目指し、さらなる利用促進を図っていく。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部都市住宅課	担当課長氏名	太田 淳也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	4 住環境の充実
	主要施策	2 安全・安心な住まいの充実
その他関連計画等	中標津町住生活基本計画 中標津町公営住宅等長寿命化計画	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
公営住宅法及び特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律等に基づき、町民が健康で文化的な生活を営むことができるよう町営住宅を整備し、住宅に困窮する低額所得者等に対して低廉な家賃で賃貸し、町民生活の安定と社会福祉の増進を図ることを目的とする。	国の補助等を受けて町営住宅及び付帯施設等を整備し、中標津町公営住宅等長寿命化計画に基づき適正な施設の維持管理や更新等を行い、住宅に困窮する者に対して必要な住環境の提供を行う。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 住んでいる地域が「良好なまちなみ(住環境)である」と感じる町民の割合	%	単年 実績値 73.5	73.5	76.8	67.4	67.0	61.6	65.0	75.0	77.0
		累計 達成率(対R7)	98.0%	102.4%	89.9%	89.3%	82.1%	86.7%		
指標2		単年 実績値								
		累計 達成率(対R7)								
指標3		単年 実績値								
		累計 達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	87,935 千円	50,663 千円	97,595 千円	20,883 千円	千円
地方債	114,700 千円	43,700 千円	126,900 千円	25,500 千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	34,225 千円	34,107 千円	33,664 千円	32,108 千円	千円
事業費	236,860 千円	128,470 千円	258,159 千円	78,491 千円	0 千円
対前年度比		54.24 %	200.95 %	30.40 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4421・4422	公営住宅維持管理経費(経常)	29,400	○						住宅係
4421・4422	公営住宅維持管理経費(臨時)	2,132	○						住宅係
4421・4422	公営住宅建設事業(東中団地)	46,959	○						住宅係
合計 3 事業		78,491							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	4	住環境の充実
	主要施策	2	安全・安心な住まいの充実

担当部・課 建設水道部都市住宅課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>町営住宅の入居者が安心・安全に暮らせるように施設の維持管理や修繕等を実施。空室が発生した場合は、公募等により入居者を募集し公正な方法で入居者を選定。老朽化した東中団地については現地建替事業を実施し、古い住宅から新しい住宅へ入居替えを実施。</p> <p>①町営住宅運営委員会の開催（入居者の選考、町営住宅施策の協議等） ②町営住宅の維持管理、修繕等の実施（退去修繕、計画修繕、緊急・臨時修繕） ③町営住宅整備事業（東中団地） 実施設計・地質調査（2棟8戸）、旧住宅解体（3棟12戸）</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>本町の町営住宅（734戸）のうち耐用年数を経過している住宅が208戸あり、計画的な建替や長寿命化に向けた対策が必要となっている。また、定期的に施設のメンテナンスに取り組んでいるものの、経年劣化による施設・設備の故障や修繕等が増加しており、平日・休日を問わず対応に追われている。</p> <p>近年は、高齢者や障がい者などの入居が増えており、騒音問題や近隣トラブル、残置物の処理など住宅係での対応が難しい場面がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>町営住宅の計画的な整備・修繕等を行い、入居者が快適に生活できる環境づくりを実施する。また、空室が発生した場合には、真に住宅に困窮する者に対して町営住宅が提供できるよう、公募や選考を適切に行っていく。</p> <p>町営住宅整備事業（東中団地）については、計画に沿って整備事業を実施するとともに、新住宅にスムーズに入居替えができるよう入居者の意向の把握に努めていく。また、次期団地の整備等について検討を進める。</p> <p>高齢者や障がい者の入居について、福祉や介護などの関係部局などと連携を図っていく。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 中野康志

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>町営住宅の建設及び維持管理については、住生活基本計画、公営住宅等長寿命化計画に基づき行っているが、今後は人口減少やニーズの変化に応じた計画の見直しを視野に入れ事業を遂行する。また、次期団地の整備に向けたニーズ調査を進める。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部都市住宅課	担当課長氏名	太田 淳也	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	4	住環境の充実
	主要施策	2	安全・安心な住まいの充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
建築技術について、技術研究機関・建築団体と連携し最新の建築技術についての講習会を開催し、町内の建築工務店の技術力向上・人材育成を図る。また、本町の住宅着工数、近年の住宅の特徴や町内工務店・メーカー別受注率など、町内の住宅産業の推移を把握できるように情報の発信を行う。	建築主である町民が、地元工務店に安心して任せることができるように技術力の向上・人材確保・人材育成を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 住んでいる地域が「良好なまちなみ(住環境)である」と感じる町民の割合	% ○ 単年 ○ 累計	実績値	73.5	76.8	67.4	67.0	61.6	65.0	75	77
		達成率(対R7)	98.0%	102.4%	89.9%	89.3%	82.1%	86.7%		
指標2 技術講習会の開催	回 ○ 単年 ○ 累計	実績値	0	0	1	1	1		1	1
		達成率(対R7)	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
指標3 住宅情報の発行	回 ○ 単年 ○ 累計	実績値								
		達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	64 千円	10 千円	35 千円	千円
事業費	0 千円	64 千円	10 千円	35 千円	0 千円
対前年度比		%	15.63 %	350.00 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4422	建築技術普及推進事業	35	○						建築指導係
4422	住情報発信推進事業	0	○						建築指導係
合計 2 事業		35							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	4	住環境の充実
	主要施策	2	安全・安心な住まいの充実

担当部・課 建設水道部都市住宅課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
根室振興局と共催で「なかしべつ住宅セミナー」を開催し、北海道立総合研究機構の講師による耐震改修や住宅の省エネ設計などの技術研修を行い、町内の建築工務店の技術力向上・人材育成を図った。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div>
A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない	

2 課題

建築技術者の高齢化や人材不足が著しいことから、若手人材の確保、育成、技術力の向上を図る必要がある。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	理由 建築技術者の確保、育成、技術力の向上に取り組む必要があることから、北海道や建築業界などと連携して技術講習会を開催する。 本町の住宅産業に関する理解や関心を高めていくことが重要であることから、町民及び事業者の意識向上が図られるように住宅情報の発信に取り組む。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 中野康志

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	理由 建築技術者の若手人材の確保、育成、技術力の向上を図るため、セミナー等の開催や情報誌の発行などにより、引き続き町内工務店技術者への最新技術の情報を提供し連携を図っていく。また、本町の住宅情報の共有を図るため積極的な情報発信に努める。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調査（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部都市住宅課	担当課長氏名	太田 淳也	調査作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	4	住環境の充実
	主要施策	3	空き家・空き地対策の推進
その他関連計画等	中標津町住生活基本計画 中標津町空家等対策計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>人口減少時代に向け、空き家が増加しないよう住民意識の醸成を図り、町民・事業者・NPO・地域・行政が連携し、中標津町の特性を活かした空き家対策の検討、推進。</p> <p>中標津町空家等対策計画(5か年：R5～R9)の策定により、所有者不明や防災、景観などあらゆる観点から危険となる空き家の発生予防や利活用の推進を官民連携による取り組みを図る。</p>	<p>空家等対策計画の策定、確実な実行</p> <p>空家等対策啓発活動(町民ワークショップ、セミナー)を開催し、管理不完全な空き家、空き家自体を発生させない、町の空家対策の制度の周知を行い町民の意識を高める。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 住んでいる地域が「良好なまちなみ(住環境)である」と感じる町民の割合	%	○ 単年	実績値	73.5	76.8	67.4	67.0	61.6	65.0	75.0	77.0
		○ 累計	達成率(対R7)	98.0%	102.4%	89.9%	89.3%	82.1%	86.7%		
指標2 空家等対策計画の策定		○ 単年	実績値			1	1	1		1	1
		○ 累計	達成率(対R7)	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
指標3 空家等対策啓発活動の実施	回	○ 単年	実績値			1	1	1		1	1
		○ 累計	達成率(対R7)	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	123千円	千円
一般財源	千円	3,901千円	747千円	462千円	千円
事業費	0千円	3,901千円	747千円	585千円	0千円
対前年度比		%	19.15 %	78.31 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4431	空家等対策事業	585		○					都市計画・景観係
合計 1 事業		585							

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	4	住環境の充実
	主要施策	3	空き家・空き地対策の推進

担当部・課 建設水道部都市住宅課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき適正に管理がされない空家等に対する措置の利活用の促進など、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するために「中標津町空家等対策計画」を策定し、本町における空家等の現状や課題を分析し、空家問題の解決に資する取り組みを実践している。</p> <p>①空家等対策協議会の開催(特定空家等に対する措置、空家等の適正な管理・促進) ②空家化の予防に向けた意識啓発(空家通信の発行、住まい版エンディングノートの配付) ③空家等の流通・利活用の促進に向けた検討(空家等利活用促進事業補助金)</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要(第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載)</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; width: 50px; margin: 0 auto;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>人口減少や少子高齢化の進行によって全国的に空家問題が深刻化しており、本町においても空家等の件数は増加傾向である。空家等は、倒壊の危険性や害虫や悪臭の発生による環境の悪化、放火や不審者の侵入など社会問題につながる恐れがあり、空家等の所有者には適正な管理をしていただく必要があるが、空家等の管理や取壊しには多額の費用が掛かることや相続問題などにより、適切な管理が行われずに放置されたままの空家等が多数存在している。</p> <p>また、昨年度の外部評価委員会において、高齢単身者へのアプローチとして福祉課や介護保険課等との庁内横断的な連携について検討するよう指摘を受けている。</p>

3 令和8年度の施策の進め方(課長評価)

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; width: 50px; margin: 0 auto;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>空家等の所有者や近隣住民から空家等に関する相談や問い合わせ等については、都市住宅課が窓口となって庁内の各担当部署と連携を図りながら対応していく。 また、空家等の発生抑制のためパンフレットやセミナー等の開催による意識啓発を行うとともに、空家等の流通・利活用の促進に向けた施策の検討や補助金等による支援を実施していく。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方(部長評価)

担当部長氏名 中野康志

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; width: 50px; margin: 0 auto;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>中標津町空家等対策計画に基づき、適正管理がされない空き家等に対する措置や利活用の促進など空き家等に関する対策を総合的に実施するため、令和6年度創設の「空き家等利活用促進事業補助金」制度により支援していく。また、空き家化の予防と意識啓発のため作成したエンディングノートの活用を促す。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価(自己評価に対する意見等)

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部管理課	担当課長氏名	徳永 博之	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	4 住環境の充実
	主要施策	4 公園・緑地の充実
その他関連計画等	中標津町公園施設長寿命化計画	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
公園や緑地の定期的な点検・修繕を行うことで、施設の安全性を確保し、利用者の快適な利用環境を維持する。	公園や緑地の定期的な点検・修繕を行うことで、利用者の安全確保、施設の機能維持、健康増進、地域コミュニティの活性化、防災機能の向上など、多岐にわたる貢献が期待できる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
		達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
		達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
		達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	21,037 千円	37,622 千円	31,867 千円	0 千円	千円
地方債	18,900 千円	17,700 千円	15,400 千円	0 千円	千円
その他	90 千円	22,843 千円	20,797 千円	100 千円	千円
一般財源	52,286 千円	66,153 千円	75,443 千円	462,503 千円	千円
事業費	92,313 千円	144,318 千円	143,507 千円	462,603 千円	0 千円
対前年度比		156.34 %	99.44 %	322.36 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4441	都市公園運営管理経費	63,059							管理係
4441	都市公園安全・安心対策事業	23,951	○						管理係
4441	緑ヶ丘森林公園キャンプ場利用促進事業	375,593	○						管理係
合計 3 事業		462,603							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	4	住環境の充実
	主要施策	4	公園・緑地の充実

担当部・課	建設水道部管理課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> 公園維持管理(指定管理委託)、緑地草刈、丸山公園土砂除去、旭ヶ丘ふれあい公園遊具更新、緑ヶ丘森林公園キャンプ場敷地補修、緑ヶ丘森林公園キャンプ場測量調査委託・地質調査委託・実施設計委託などを実施した。 公園施設の更新等を実施したことで、利用者の安全性や利便性が向上した。 緑地草刈や丸山公園土砂除去など、公園・緑地の適切な維持管理を行うことでオープンスペースとしての安全性や利便性が維持できた。 	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <ul style="list-style-type: none"> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> 公園施設等の更新については、事業費の調整を行いながら公園施設長寿命化計画に基づき更新整備を進めているが、公園施設の老朽化の進行が著しく、適切な維持管理に支障をきたしている。 公園施設長寿命化計画の更新整備の対象外となる公園施設についても老朽化が進行しているため、適切かつ計画的な維持管理・更新を進めていくため公園台帳の修正、事業予算の確保が必要である。 公園施設長寿命化計画に基づき計画的に整備するための社会資本整備総合交付金や町の予算確保が難しく、公園施設の利用制限を行いながら計画的に更新整備を行わなければならない。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき社会資本整備総合交付金を活用し公園施設の更新等を行っているが、老朽化の進行が著しく、翌年度以降に持ち越される修繕等の箇所が累積的に増加しているため、事業予算を確保し計画的に施策を進める必要がある。 公園長寿命化計画の更新整備の対象外となる公園施設についても、老朽化の進行が著しく、事業予算を確保し計画的に施策を進める必要がある。 緑ヶ丘森林公園キャンプ場整備の基本コンセプトの実現を目指して、整備を着実に進めていく。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	中野康志
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき社会資本整備総合交付金を活用し、計画的に更新整備を行っている。引き続き、事業予算の確保に努め整備を進める。 また、緑ヶ丘森林公園キャンプ場のリニューアルについて、計画通り整備を進めていく。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	中標津消防署 警防課	担当課長氏名	金田 慶治	調書作成日	令和7年 7 月 24 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	5 消防・防災・減災の充実
	主要施策	1 消防・救急体制の充実
その他関連計画等		
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
災害に強く、安心で安全な住みやすいまちづくりのためには、迅速・確実な消防活動を行う必要があり、そのために消防水利は必要不可欠である。このことから、経年劣化による腐食等が著しい消火栓の本体を年次計画に基づき適正に整備する必要がある。	経年劣化や腐食により放水能力が低下した消火栓本体の取替工事を実施することで、消防力の基準を維持し、災害発生時には消防水利としての能力を最大限に発揮することで、被害の軽減が図れる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	2,900 千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	92 千円	1,456 千円	1,639 千円	1,903 千円	千円
事業費	2,992 千円	1,456 千円	1,639 千円	1,903 千円	0 千円
対前年度比		48.66 %	112.57 %	116.11 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4512	消火栓整備	1,903	○						警防係
合計 1 事業		1,903							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	1	消防・救急体制の充実

担当部・課 中標津消防署 警防課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>消防水利は災害発生時に支障なく使用できるよう、常に職員が保守点検や維持管理を行い、不具合が発生した場合でも必要な修繕を早急を実施している。また、町が計画し実施している水道配水管改修工事に併せて、老朽化した消火栓本体取替工事を実施することで、経費を節減した整備を行うことができた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>前年に引き続き、消防水利の適切な維持管理のため、職員による定期的な点検を実施し、不良箇所を確認した場合は、消防力の低下に繋がらないよう適切な修繕に努めている。また、老朽化している消火栓本体を継続的に更新することで、消防力の維持に繋がっていることから、本事業は順調に進んでおり、継続が必要である。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>中標津町に設置されている消火栓は現在232基あり、そのうち30年以上経過している物が半数以上を占め、経年劣化による漏水など、専門業者による工事が必要な破損が増加傾向にある。設置から60年以上経過した消火栓が老朽化による腐食が原因で漏水する事案が発生しており、今後さらに増加する可能性がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>中標津町が実施している水道配水管改修工事に併せて消火栓本体取替工事を実施し、消火栓の維持管理をすることとしているが、今後は町が計画し実施している水道配水管改修工事のほかに、老朽化による機能不良で消防力の低下を招くことのないよう、町の工事と並行して消火栓本体取替工事を計画し整備する必要がある。</p>
--	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 岩崎 猛

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>職員による適切な維持管理を徹底し、町の水道配水管改修工事に併せて消火栓本体取替工事を実施しているが、老朽化し不具合が発生する消火栓もあることから、消防力を低下させないために適切かつ計画的に整備する必要がある。</p>
--	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>二次評価対象外</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	中標津消防署 警防課	担当課長氏名	金田 慶治	調書作成日	令和7年 7 月 21 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	1	消防・救急体制の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
複雑多様化する各種災害等に対応するため、消防業務に必要な責務の認知及び資質の向上、学術技能習得を目的として消防職員及び消防団員に対して派遣教育を実施する。	多様化する災害へ迅速かつ的確に対応できるよう、消防職団員の定数確保に努め、多くの人材を消防教育機関や講習会などに参加させ、知識や技術を習得することで、総合的に消防力の充実が図られることを期待する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 条例定数の消防団員数	人	単年	実績値	115	114	117	106	109		123	130
		累計	達成率 (対R7)	93.5%	92.7%	95.1%	86.2%	88.6%	0.0%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率 (対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率 (対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	544 千円	1,095 千円	2,012 千円	1,130 千円	千円
事業費	544 千円	1,095 千円	2,012 千円	1,130 千円	0 千円
対前年度比		201.29 %	183.74 %	56.16 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4511	北海道消防学校派遣教育事業	1,130							訓練係
合計 1 事業		1,130							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	1	消防・救急体制の充実

担当部・課 中標津消防署 警防課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
消防教育機関への入校及び派遣計画で予定していた講習会、研修会への参加は概ね実施することができ、消防職団員及び救急救命士の専門的知識や高度な技術のさらなる向上が図られることで、消防力の維持に繋げることができた。 消防団員の定数確保に向けた取り組みとして、消防団員が町内で実施されるイベントに参加し、消防団のPR活動を実施した。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div>
消防団員の条例定数確保に向け、消防団が主体となり入団促進に努めたことにより、消防団員数の増加が図れた。	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

消防職団員の退職に伴い、知識や経験、消防活動に必要な資格の保有者が減少していくことから、消防力の低下を招かないよう人材確保に努め、更には最新消防技術の習得による消防力の底上げを図るため、派遣事業等を推進していく必要がある。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div>	理由
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	複雑多様化する災害に対応するためには、消防職団員を計画的に消防教育機関へ派遣し、より多くの知識や手技を習得することで、消防力の維持が図られることから教育的施策をこのまま進めていくが、消防団員の定数確保については、さらに入団促進の手段を調査研究して実行していく必要がある。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 岩崎 猛

施策の進め方 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div>	理由
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	近年の複雑多様化する災害に対応するためには、消防教育機関での教育が必要不可欠であり、消防職団員を計画的に派遣し、より多くの知識や手技を習得することで、消防力の更なる強化が図られることから教育的施策をこのまま進めていく。 消防団員の定数確保については、各種イベントや町の防災訓練にて消防団をPRする等の活動を継続しながら入団促進の手段を調査研究していく必要がある。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	中標津消防署 警防課	担当課長氏名	金田 慶治	調書作成日	令和7年 7 月 21 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	5 消防・防災・減災の充実
	主要施策	1 消防・救急体制の充実
その他関連計画等		
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
平成28年3月に導入した高機能消防指令装置は、消防業務を遂行するうえで重要な施設であり、災害受付の要となる機器であるため、常に正常に作動するよう管理されなければならない。メーカーは導入から5年で指令装置のシステムパソコン関係機材の更新を推奨しており、経年劣化等による指令装置の不具合や機能停止を防止するため、令和12年度に高機能消防通信指令装置を整備する予定を考慮した導入8年目に機材の一部更新を行う。	指令装置のシステムパソコン関係機材を更新することで、経年劣化等による装置の不具合や機能停止の懸念が払拭され、正常に災害受付業務を遂行することができる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 通信指令装置機材更新	1式	単年	実績値							
		累計	達成率 (対R7)							
指標2		単年	実績値							
		累計	達成率 (対R7)							
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率 (対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	31,600 千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	10,640 千円	千円
事業費	0 千円	0 千円	0 千円	42,240 千円	0 千円
対前年度比		%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4512	通信指令装置機材更新	42,240							通信施設係
合計 1 事業		42,240							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	1	消防・救急体制の充実

担当部・課 中標津消防署 警防課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
指令装置のシステムパソコン関係機材を更新することで、経年劣化等による装置の不具合や機能停止の懸念が払拭され、正常に災害受付業務を遂行することができる。また、データの高速処理が可能になり、頻繁に発生していた原因不明の不具合も解消された。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載） 高機能消防指令装置の機能及び通信業務を停止することなく更新できたことで、住民サービスが停滞することなく行えた。また、指令システムを制御するハードウェアの更新を行った結果、機械的な不具合の改善だけでなく、ソフトウェアの問題も改善できたため、費用対効果は大きいと考えられる。	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	高機能消防指令装置は、消防業務を遂行するうえで最も重要な消防施設の1つであり、常日頃から適切な維持管理が求められることから、適当な時期に最適な更新を実施するべきである。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 岩崎 猛

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">A</div> <ul style="list-style-type: none"> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要 	高機能消防指令装置は、消防業務を遂行するうえで最も重要な消防施設であり、火災・救急・救助等をはじめとする各種災害の受付から災害終了までの通信連絡体制を確実にい活動の効果的運用を図ることから、適当な時期に最適な更新を実施するべきである。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	中標津消防署 予防課	担当課長氏名	鳥飼 仁	調書作成日	令和7年 7 月 13 日
-------	------------	--------	------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	1	消防・救急体制の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

町民が利用する防火対象物の立入検査等を実施し、必要に応じて法令違反を是正するとともに、火災発生要因や避難障害等の発生要因を早期に排除して、防火対象物の関係者へ直接防火指導することで防火管理業務に対する理解を深めてもらい、安全安心な住みやすいまちづくりを推進する。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

予防業務が年々高度化・専門化するなか、関係法令に基づいて適切な指導を行うため、専門分野の講習及び研修を受け、より高度な法的知識と指導技術を習得して、防火対象物への立入検査等を実施し、必要に応じて適切な違反処理を行う。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 立入検査等の実施件数	件	○単年	実績値	59	63	81	238	179		300	300
		○累計	達成率(対R7)	19.7%	21.0%	27.0%	79.3%	59.7%	0.0%		
指標2 火災発生件数	件	○単年	実績値	17	8	12	10	10			
		○累計	達成率(対R7)								
指標3 火災による死者数	人	○単年	実績値	3	0	1	0	0			
		○累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	60千円	40千円	78千円	千円
事業費	0千円	60千円	40千円	78千円	0千円
対前年度比		%	66.67%	195.00%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4513	消防法令違反対策推進事業	78							予防指導係
合計 1 事業		78							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	1	消防・救急体制の充実

担当部・課 中標津消防署 予防課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
研修等に参加することで、法的知識及び指導技術を習得することができ、立入検査等で適切な防火指導を行い、違反是正につなげることができた。	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 <small>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</small></p> <p>立入検査等の実施件数は目標値を達成することはできなかったものの、優先度の高い防火対象物を効果的に検査することで、消防法令違反の是正に取り組むことができた。 また、火災に関しては、消防署だよりの複数回発行と火災予防運動期間中の広報活動や街頭啓発による町民への直接的な広報活動等により、発生件数は前年と同数、さらには火災による死者数ゼロを達成することができた。</p>	<p>施策の進行</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>消防法令及び違反是正に関する研修や会議に参加することで、より専門的で高度な知識及び技術を習得し、立入検査等の実施により適切な違反対策を推進する。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 岩崎 猛

<p>施策の進め方</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>消防法令及び違反是正に関する研修や会議に参加することで、より高度な法的知識と指導技術を習得ができること及び各地域の事例を参考にすることができることから、防火対象物の立入検査等で適切な違反対策を推進することとなりこのまま進めていく。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	中標津消防署 管理課	担当課長氏名	佐々木 富宏	調書作成日	令和7年 7 月 14 日
-------	------------	--------	--------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	1	消防・救急体制の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>中標津消防庁舎の非常用発電設備は、昭和58年庁舎建設時に設置し36年以上が経過している。平成26年から機器に不備が生じはじめ、部品等の交換及び修理で対応していたが、現在、消防法第17条の3の3で定められた設備点検において、点検業者から点検項目内の負荷運転試験を実施することにより故障する恐れがあるとの理由から点検を実施できない状態であります。</p> <p>消防庁舎は、災害発生時には住民の安全安心を守る拠点となる施設であることから、災害に備え更新する。</p>	<p>設置から36年以上経過した非常用発電設備を更新することで、災害発生時においても庁舎内の主要機器へ電力を安定的に供給できることから消防力を維持することができる。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 消防庁舎非常用発電設備更新事業	1式	単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							
指標2		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	33,200千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	20千円	千円
事業費	0千円	0千円	0千円	33,220千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4512	消防庁舎非常用発電設備更新事業	33,220							庶務係
合計 1 事業		33,220							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	1	消防・救急体制の充実

担当部・課 中標津消防署 管理課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
設置から36年以上経過した非常用発電設備を更新したことで、発災時の重要拠点施設として安定した電力が確保され最大電力量の増強を図ることができた。また潤滑油等の消費量が軽減し燃費が向上した。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載） 設置した昭和58年と比較し、現在の使用電力量は消防業務における主要機器更新や車両更新等に伴い、大きく増大しています。 発災時には、さらに使用電力増大が予想されることから非常用発電設備を更新することで最大電力量が増大し、災害への柔軟な対応が可能となりました。また、施工業者と綿密な打ち合わせを行い、工期日程の短縮及び既存資機材の使用など合理化を図ることができた。さらに最新型の非常用発電設備を選定したことで小型化で低騒音になり、燃費が向上したことから、費用対効果は大きいと考えられる。	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

--	--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	理由 複雑多様化する災害に対応するため、発災時には庁舎内機器及び緊急車両への電力供給は消防署として必要不可欠であることから、非常用発電設備を更新したことで、主要機器等への安定した電力供給により通常稼働が可能となり、消防力を維持することができる。
--	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 岩崎 猛

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	理由 各種災害発生時には庁舎内機器及び緊急車両への電力供給は消防署として必要不可欠である。また、緊急消防援助隊を要請した場合、消防庁舎は指揮本部となり、非常用発電設備を更新したことで、安定した電力供給により、主要機器等への通常稼働が可能となり、消防力を維持することができる。
--	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

二次評価対象外

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	2	防災・減災体制の強化

担当部・課	総務部総務課
-------	--------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
 広報紙やFMはなによる情報発信により、町民意識の向上を図った。
 備蓄品の更新については、概ね計画通りに進んでいる。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない
---	--

2 課題

各種計画、マニュアルの改訂が進んでいない。
 情報弱者への防災情報の発信。
 職員への防災訓練の不足。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	中標津町地域防災計画を基盤として、関連する各種計画やマニュアルの改訂・検証・整備を進め、災害に強い地域を構築するための取り組みを総合的に展開する。また、職員が実践的な防災スキルを身につけるための訓練の機会を増やし、非常配備体制や災害発生時の初動対応について点検を行う。さらに、これらの活動を通じて防災・減災体制の強化を図り、地域全体の災害対応能力を向上させることを目標とする。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	大雨や台風をはじめ、近年の激甚化する災害の増加や、千島海溝型大地震に備え、引き続き、地域防災計画に沿って、自助・共助・公助それぞれにおける災害への備えを進めるとともに、職員の災害対応訓練等、危機管理体制の確認と日常化を進める。 防災資機材は引き続き計画的に備蓄を進める。 災害時の情報発信は、R7年度に整備する屋外拡声装置の運用がR8年度からスタートし、伝達手段の多様化が図られる予定であり、引き続き緊急情報メール「キキボウ」をはじめ各種SNS、FMなかしべつ放送での発信をベースに、広報なかしべつ等、日頃からの防災情報等啓発に努める。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部総務課	担当課長氏名	天神 匡勝	調書作成日	令和7年 8 月 7 日
-------	--------	--------	-------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	3	地域防災力の向上
その他関連計画等	中標津町地域防災計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
「自助」、「共助」、「公助」がそれぞれの役割を果たしながら、互いに連携・協力し一体となって防災活動に取り組むことで、地域防災力の向上を目指す。	・防災・減災まちづくりのための広報啓発活動、防災訓練等の取組を実施する。 ・町民や事業所に対し、最低でも3日分、できれば1週間分の食料や飲料水、生活必需品を備蓄するよう推奨する。 ・住宅や建築物の耐震化を促進させるための取組を実施する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 日頃から家庭で災害への備えをしている町民の割合		単年	実績値	57.4	50.6	55.2	53.1	54.5	56.6	70	80
		累計	達成率 (対R7)	82.0%	72.3%	78.9%	75.9%	77.9%	80.9%		
指標2 自主防災組織の結成率(組織化率)		単年	実績値	51.2	51.2	51.2	51.2	53.5		57	62
		累計	達成率 (対R7)	89.8%	89.8%	89.8%	89.8%	93.9%	0.0%		
指標3 住宅の耐震化率		単年	実績値	81.6	81.6	81.6	81.6	81.6		95	95
		累計	達成率 (対R7)	85.9%	85.9%	85.9%	85.9%	85.9%	0.0%		

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	3,327 千円	千円	2,660 千円	830 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	119 千円	108 千円	千円
一般財源	3,143 千円	50 千円	4,250 千円	1,688 千円	千円
事業費	6,470 千円	50 千円	7,029 千円	2,626 千円	0 千円
対前年度比		0.77 %	14058.00 %	37.36 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4532	地域防災力向上事業	2,626							
合計 1 事業		2,626							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	3	地域防災力の向上

担当部・課	総務部総務課
-------	--------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
 広報、啓発、防災訓練の実施により、着実に町民の防災意識の向上が図られている。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載） 町民アンケートにおいて日頃から家庭で災害への備えをしている町民の割合の増加が確認された。近年、全国的に頻発する自然災害により防災意識が高まっているものとする。 自主防災組織の結成率については、引き続き啓発活動に努める必要がある。	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>
--	---

2 課題

出前講座等の啓発活動では、相手方のニーズを取り入れた啓発にするなど形骸化を防ぎ、関心を高めてもらう取り組みが必要である。
 近年の自然災害の増加による防災意識の高まりにより、防災学習、出前講座、防災訓練の申し込みが増えているが、限られた人員の中で行う必要があることから、時期や内容を含め効率的に取り組む必要がある。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	町内会と協力し、住民が自ら考え行動できる防災知識を身につけることを目的とした啓発活動を実施する。 学校との連携による防災教育を通じて、災害時に学校を迅速に活用できる体制を強化する。 広報、FM・SMSを通じた啓発活動に取り組む。 防災リーダーの意見を活かしながら連携して防災活動を推進し、リーダー自身が主体的に活動できるような環境づくりを進める。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	防災に関する備えや意識については町民の間に浸透しつつあり、学校の防災学習や町内会等に対する出前講座への対応が増加している。10月4日の「中標津町防災の日」と連動した訓練の実施等、引き続き、町民の防災意識が高まる取組を継続する。 防災リーダーの養成は地域防災力の向上に重要な役割を果たすものと考え、引き続き研修会等を通じ連携と知識・技術の向上支援を図る。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部管理課	担当課長氏名	徳永 博之	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	4	治水対策の促進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
適切な河川の維持管理により、激甚・頻発化する豪雨災害などによる被害から町民の生命や財産を守る。	治水対策を実施することで、地域の安全・安心が図られる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	890 千円	917 千円	960 千円	0 千円	千円
地方債	0 千円	12,000 千円	15,000 千円	19,700 千円	千円
その他	239 千円	242 千円	237 千円	234 千円	千円
一般財源	11,720 千円	6,510 千円	5,657 千円	7,848 千円	千円
事業費	12,849 千円	19,669 千円	21,854 千円	27,782 千円	0 千円
対前年度比		153.08 %	111.11 %	127.13 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4541	ポントワラ川護岸改修事業	6,666							管理係
4541	タワラマップ川補修経費	1,265							管理係
4541	河川維持事業	19,851							管理係
合計 3 事業		27,782							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	5	消防・防災・減災の充実
	主要施策	4	治水対策の促進

担当部・課	建設水道部管理課
-------	----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> 河川改修工事、河川清掃、危険木処理、河床均し、樋門・樋管維持管理などを実施した。 改修工事や維持管理の実施によって、地域の安全・安心が維持された。 	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div>
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> 激甚・頻発化する豪雨による河川の増水などにより、河岸洗掘被害などが増加し住民生活に影響を与えるおそれがあることから、治水対策が必要となっている。 大雨や融雪などで河川が増水した際に、樹木の倒木が流木となり、洪水時に水位上昇などを引き起こす可能性があるため、計画的な河川整備の実施が必要とされていることから、事業予算を確保し計画的に施策を進める必要がある。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	自然災害による河川の氾濫などから町民の生命や財産を保護するため、事業予算を確保し計画的に河川の維持管理を進める必要がある。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	中野康志
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	引き続き河川管理経費の予算確保に努め、近年の気象の変化による豪雨災害等から町民の生命や財産を守り、地域の安全・安心を図っていく。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	1	防犯対策の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

安全で安心して暮らせる生活環境を構築するため、地域ぐるみで町民を犯罪から守るための防犯活動の充実を図る。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

防犯活動が促進され防犯意識の高揚が図られる。暴力のない明るく平穏な郷土を実現する。犯罪や青少年の非行から町民の安全を確保する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	1,716 千円	2,231 千円	2,439 千円	3,143 千円	千円
事業費	1,716 千円	2,231 千円	2,439 千円	3,143 千円	0 千円
対前年度比		130.01 %	109.32 %	128.86 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4611	防犯協会補助事業	185							交通町民相談係
4611	暴力追放運動推進協議会補助事業	57							交通町民相談係
4611	安全で住みよいまちづくり推進協議会運営経費	2,901							交通町民相談係
合計 3 事業		3,143							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	1	防犯対策の充実

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>防犯活動は、さまざまな関係機関・団体との連携により進められており、防犯協会については、本町から活動経費の一部支援をすることにより、パトロールや防犯旗の掲示などを実施し、防犯意識の高揚が図られた。</p> <p>暴力追放運動推進協議会についても、本町から活動経費の一部支援をすることにより、啓発運動や飲食店に対してポスターや啓発資材を配布するなど暴力追放意識の高揚が図られた。</p> <p>安全で住みよいまちづくり推進協議会については、犯罪や青少年の非行を無くし、安全安心な地域づくりのため、警察も含めた関係機関との情報共有を行う予定であったが、あり方の協議中のため実施に至らなかった。（次年度は実施予定）</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>防犯活動は、関係機関・団体と連携し防犯意識の向上、地域住民による自主的な防犯活動を促進していかなければならないが、依然として車上狙いや子どもたちに対する不審者からの声かけなどが後を絶たず、また特殊詐欺なども手口がますます巧妙化している。消費生活センターとも連携し、安全で住みやすい地域づくりを目指し、継続した注力が必要である。</p> <p>一方、20年以上前に連続して、青少年による殺人事件が生じた事を契機に、「安全で住みよいまちづくり推進協議会」が発足し、今日に至っているが、長年の活動の成果もあり、大きな事件も発生していない。しかし、長期間に渡り情報交換がメインの協議会運営となっており、会員からも協議会存続の意義やあり方について意見もある。引き続き、今後の協議会の活動について慎重な議論が必要である。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>防犯活動は、安全・安心なまちづくりのため、今後とも関係機関・団体と連携し、防犯に関する情報の提供を継続して進めていく。</p> <p>また、町民一人ひとりの防犯意識を高め、身近でできる防犯対策に取り組むことを促がしていく。</p> <p>さまざまな取り組みについて、関係者と連携を図り進めていくことは当然であるが、課題にあるように「安全で住みよいまちづくり協議会」のあり方について、関係者と議論を進める。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>防犯活動は、地域の安全・安心を進めていくために必要な活動であり、今後とも関係機関や団体と連携し、防犯意識の高揚を図る。</p> <p>また、「安全で住みよいまちづくり協議会」の今後のあり方について、関係者と議論を進める。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	1	防犯対策の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
町民が安心して暮らすことのできる安全で住みよい地域社会の実現に寄与する。	夜間の犯罪発生や交通事故等について未然防止が図られる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	78,500 千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	14,451 千円	16,412 千円	14,918 千円	15,264 千円	千円
事業費	14,451 千円	16,412 千円	14,918 千円	93,764 千円	0 千円
対前年度比		113.57 %	90.90 %	628.53 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4612	防犯灯維持経費	15,180							交通町民相談係
4612	照明灯LED化整備事業	78,584	○						交通町民相談係
合計 2 事業		93,764							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	1	防犯対策の充実

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
防犯灯の新規設置は少ないが、住宅街を中心に約2,000灯の防犯灯について維持管理(電球交換、電気料金の支払い等)を適切に実施している。また、令和6年度から従前のエバーライト灯から、LED灯への変換を進めている。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div>
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

以前と比較し、宅地造成や市街地拡大の事例が少なくなっており、現在は、新規設置よりも球切れ交換が主となっている。一方で、水銀灯やエバーライトの生産が終了しており、球切れの対応が出来ない状況である。解決策としてはLEDへの転換となるが、灯具含めLED化には多額の費用を要するが、負担の少ない起債事業の目途が立ったため、令和6年度より道路照明灯のLED化を進めている。LED化は基数が多く、単年では難しく複数年となる想定。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div>	理由 対象の防犯灯数が非常に多く、予算化の目途が立たなかったが、国の支援制度を活用し、R6から年次計画で防犯灯のLED化を進めている。令和7年度は2年目の実施。 防犯灯の設置及び維持補修は、地域の安全安心を確保し、犯罪抑止力の向上含め、非常に重要な施設であるため、今後も適切な維持管理を進めて行く。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div>	理由 国の支援制度を活用し、令和6年度から年次計画により防犯灯のLED化を進めるとともに、設置要望や修繕については適切に対応していく。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	2	交通安全対策の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
主に、児童・生徒の交通事故防止のため、町内の小学校周辺道路に、「スクールゾーン(オレンジ塗装)」の道路塗装を行う。	ドライバー等へスピードダウンや、飛び出し等への注意喚起が図られ、安全で安心して暮らせる生活環境が構築される。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	0 千円	506 千円	0 千円	605 千円	千円
事業費	0 千円	506 千円	0 千円	605 千円	0 千円
対前年度比		%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4621	交通安全施設設置事業	605							交通町民相談係
合計 1 事業		605							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	2	交通安全対策の充実

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>スクールゾーンの交通道路標示工事(オレンジ塗装)は、隔年実施をしている。(令和元年度に実施)その後、当初予定どおり、令和3年度に実施する予定であったが、道路塗装がそれほど薄くなっておらず、1年見送ったため、令和3年度の実績はない。(中小3、東小4、丸小3、計学2=計12か所) 令和4年度は予定通り、道路塗装を実施したが、隔年実施のため、令和5年度の実績はない。令和6年度は2年前と同様に全12か所の実施</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要(第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載)</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>スクールゾーンの道路舗装に関しては、2年に1度の塗装が適切と判断しており、今後も継続的に交通安全施設の設置を行う。一方、信号機・横断歩道・一時停止標識・速度制限標識などは、北海道公安委員会が設置を行う交通安全施設となっている。毎年、町内会や地域、学校などから要望を取りまとめ、公安委員会へ一括要望しているが、全道規模で対象の施設が非常に多いため、現場調査などを実施しながら優先順位を定め対応していることや、要望箇所も多い事などから、なかなか実現(設置や改修、再塗装など)されていない状況にある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方(課長評価)

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>スクールゾーンの道路舗装(オレンジ塗装)は、学校の周辺12か所を対象としているが、今後も継続して2年に1度(隔年)の実施を行う。(次回R8実施予定) また、それ以外の交通安全施設については、毎年公安委員会へ要望しても、数も多く実現には至っていない状況もあるが、引き続き、学校周辺、事故多発エリア、等を優先して要請継続し、交通安全に寄与できるよう、環境整備を求めていく。</p>

4 令和8年度の施策の進め方(部長評価)

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>交通安全施設は、地域や教育関係者からの要望を全て北海道公安委員会に要請しているが、公安委員会から設置場所の意見を求められた場合には、学校周辺や通学路を優先とする。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価(自己評価に対する意見等)

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	2	交通安全対策の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
地域ぐるみで交通事故から守るための交通安全運動の充実を図る。	安全で安心して暮らせる生活環境が構築される。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 交通事故発生件数	件/年	○ 単年 累計	実績値 達成率(対R7)	15	13	11	23	21		0	0
指標2		単年 累計	実績値 達成率(対R7)								
指標3		単年 累計	実績値 達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	3,335 千円	3,934 千円	4,144 千円	3,928 千円	千円
事業費	3,335 千円	3,934 千円	4,144 千円	3,928 千円	0 千円
対前年度比		117.96 %	105.34 %	94.79 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4621	交通安全推進事業	3,928							交通町民相談係
合計 1 事業		3,928							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	2	交通安全対策の充実

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
交通安全運動は、年齢層に応じた交通安全意識高揚のため啓発活動を実施し、主に子どもを対象とした交通安全指導員による交通安全教室を行った。さらに、4期40日運動に係る指導員の早朝出勤(街頭指導)を行い、通勤・通学時の交通安全の向上に寄与出来ている。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
成果指標としては、事故件数を「0」を目指しており、年々減少傾向にあったが、令和5年度に倍増しており、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、交流人口や観光客の増加、交通量の増加が背景にあるものと推察。（警察署も同意見） 一方、どんなに注意していても、様々な理由から、交通事故は突如として起こってしまうものであり、件数の増減に一喜一憂せず、引き続き交通安全運動を、関係機関と連携し、進めていく必要がある。	B
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

本町の生活スタイルは自家用車を利用する車社会となっており、交通事故は身近な問題となっている。安全安心なまちづくりを推進する上で、子どもたちへの交通安全思想の普及や高齢者への交通安全思想の再確認など、継続して実施することが必要である。 また、交通安全指導員の高齢化が進んでおり、不足した場合には、なり手がいない状況である。 さらに、お祭りや花火大会など、イベントの交通整理を各団体から依頼されるケースも多く、広くは「交通安全運動」の範疇とも言えるが、負担になってきている。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A	交通安全については、年齢層に応じた交通安全意識高揚のため啓発活動を実施し、主に子どもたちを対象とした交通安全指導員による交通安全教室を実施していく。 また、高齢者が関わる交通事故が増えてきていることから、高齢ドライバーに対しての安全運転の啓発や夜間の歩行に対しての注意喚起を講習会として取り組んでいく。 今後とも関係機関との連携により交通事故防止のための活動を継続していく。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
A	交通安全について、関係機関と連携しながら、交通事故防止のための活動を継続して推進する。 高齢者の交通事故が注目されている中、高齢者の免許返納に対する支援について問い合わせが散見されるが、免許を持っていない高齢者との公平性を考慮する必要がある。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	3	消費者対策の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
消費生活に関する情報提供を行い、特殊詐欺や、住民トラブルなど消費者被害防止を図る。 また、消費者救済の窓口として、釧路弁護士会と連携し、無料法律相談を実施する。	町の消費者行政の推進に寄与する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 消費生活相談件数	件/年	単年	実績値	102	81	64	84	79		100	100
		累計	達成率(対R7)	102.0%	81.0%	64.0%	84.0%	79.0%	0.0%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	1,310 千円	72 千円	千円	58 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	36 千円	千円	千円	千円
一般財源	3,827 千円	2,499 千円	2,718 千円	3,556 千円	千円
事業費	5,137 千円	2,607 千円	2,718 千円	3,614 千円	0 千円
対前年度比		50.75 %	104.26 %	132.97 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4632	無料法律相談開設事業	123							交通町民相談係
4632	消費生活相談業務	3,491							交通町民相談係
合計 3 事業		3,614							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	3	消費者対策の推進

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>近年複雑多様化する相談内容に適切なアドバイスを実施した。 また、広報誌において、特殊詐欺などを未然に防止する注意喚起や啓発を実施した。さらに、年3回計21名枠の無料法律相談を実施し、町民の法的トラブル解決の一助となっている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>成果指標については、100件を目標としているが、設定値自体が難しい状況がある。例年100件程度の相談であったことから、業務としては、概ね100件としている。 件数が減ることは、相談案件自体が減っているとも取れる一方、センターの存在や意義を知ってもらい、一定程度相談件数を伸ばし、町民の様々な消費トラブルに対応したい部分もある。 （トラブル件数が多いことを推奨するものではない） 特殊詐欺や、消費トラブルが皆無となることは、考えにくいので、引き続きセンター機能の充実と、町民相談の対応を行っていくことが重要。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>消費取引の多様化に伴い、悪質商法の被害を受けるケースは後を絶たず、またそれに伴う多重債務の発生など、高齢者などの弱者への強引な商取引による被害なども相変わらず発生している。このことから消費生活相談員に求められるスキルも高度となっている。今後、少子高齢化社会を前に、本町の消費生活センターに求められる役割は益々高まると思われる。 一方、国家資格である、「消費生活相談員」（同時に、消費生活専門相談員も付与）を取得した有資格者は、全道で約100名弱、全国でも約2,500名程度となっており、非常に少ない状況となっている。 本町の相談員の体制は、2名体制（有資格者1、無資格者1）であったが、現在は、1名体制（有資格者）となっており、体制の充実が急務である。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>今後ますます多様化、複雑化する事例に対応するため、専門スタッフを養成し、相談体制を充実させていく必要がある。特に、有資格者が令和3年度いっぱい自己都合退職し、令和4、5年度と1名体制で対応してきたが、令和5年度に既存の1名が国家資格に合格し、資格取得に至った。 資格取得後も、研修や研鑽を積み重ね、最近の新たな被害ケースの情報の取得に取り組み、多様な相談に対応していく。なお、今後の充実したセンターの体制を維持していくためにも、現在の1名体制から2名体制が望ましいと考えており、更なる有資格者の雇用を進めて行く。 新入の悪質商法などが発生している状況で、消費センターの存在をPRし、町民相談の充実を図り、被害抑制に取り組む。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>令和5年度に、国家資格を取得したことにより、相談体制の充実が図られたが、多様な相談に対応する必要があり、負担が増加していることから、有資格者の雇用を進めていく。 相談により被害を防ぐことが出来たものが多々あることから、今後とも消費生活センターのPR活動を推進し、相談員の資質向上を目的とした研修等にも積極的に参加していく。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	3	消費者対策の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
中標津町消費者協会の各種活動への支援を行い、協会が実施する地域住民に対する消費者情報や、被害防止の啓蒙普及や、省エネルギー促進活動の充実を図る。	町の消費者行政との連携が図られ、一層の推進に寄与する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	340千円	340千円	340千円	340千円	千円
事業費	340千円	340千円	340千円	340千円	0千円
対前年度比		100.00%	100.00%	100.00%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4631	消費者協会補助事業	340							交通町民相談係
合計 1 事業		340							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	6	安全な生活環境の確保
	主要施策	3	消費者対策の推進

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか 中標津町消費生活センターと町消費者協会が連携し、各種消費生活運動を行い消費者の意識向上を図った。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

平成23年度から事務局を福祉センターに移し、独自の活動をしている。 消費者大会や街頭啓発などの実施により広く住民に消費者意識の向上を訴えているが、通常の情報発信は会員への情報誌のみであり不足している。 また、協会員の減少(退会)や、役員の高齢化など、組織の維持存続の課題について報告もある。他地域をみると消費者協会の解散もあるようで、組織の維持存続についても、協会に寄り添い、連携しながら検討を進めていく必要がある。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	理由 消費者相談は、役場生活課に置いている「中標津町消費生活センター」で行っているが、町消費者協会でも独自に相談員を養成し、連携を図りながら進めていく必要がある。 一定程度のすみわけや、それぞれの活動範囲もあるが、センターと協会の連携の在り方についても、検討を進め、より町民にわかりやすく、円滑な相談業務となるよう体制の構築を進める。
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	理由 消費者協会の活動は、消費者への情報提供により消費者の意識向上を図るものであり、消費生活センターとの連携を視野に進めていく。消費者協会でも活動の在り方について検討が必要。
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課 町民生活部 生活課 担当課長氏名 田中 道行 調書作成日 令和7年 7 月 25 日

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	7 環境保全の推進
	主要施策	1 環境保全推進体制の確立
その他関連計画等	中標津町環境基本計画	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために） 中標津町環境基本条例、中標津町環境基本計画に基づき、各種環境保全施策を展開し、現在及び将来の町民が健康で文化的な生活を営む上で必要な環境を確保する。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 具体的な対策及び指針等を策定。
---	---

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	48千円	0千円	15千円	13千円	千円
事業費	48千円	0千円	15千円	13千円	0千円
対前年度比		%	%	86.67%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4711	環境保全活動推進事業	13							環境衛生係
合計 1 事業		13							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	7	環境保全の推進
	主要施策	1	環境保全推進体制の確立

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>中標津町環境基本計画に基づき、町の美化活動を推進し、ごみの減量化やリサイクルを進め、廃棄物の適正処理を促進した。また、R3には予定していた「第2期 中標津町環境基本計画」を策定。R4には環境審議会の開催はなかったが、脱炭素社会への取り組みを検討しゼロカーボンシティ宣言（R5.3.17）を行うに至る。R5には庁内における各種取り組みの把握調査を実施。また、根室振興局1市4町で「ゼロカーボンねむろ」として連携した取り組みを展開。街頭啓発やパンフレット作成と周知を実施。R6には3R（リサイクル、リユース、リデュース）パネル展示を実施。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>「第2期中標津町環境基本計画」に基づき、環境保全の重要性をさらに周知し、町民一人ひとりの意識高揚へ繋げ、推進体制を確立する必要がある。</p> <p>さらに、国・道の動きを注視し、地球温暖化防止対策や、脱炭素社会の実現へ様々な施策展開が必要。職員ひとりひとりの意識改革が重要。</p> <p>R5.3.17にゼロカーボンシティ宣言を行ったが、これにより全庁的に様々な施策を展開し、脱炭素社会の実現に、取り組みを加速化させることとなり、職員の発想と工夫、事業・施策の予算化と、実行など、次のフェーズに入っていくことが必要となる。</p> <p>今後も、脱炭素社会の実現、さらに、二酸化炭素排出ゼロに向け、全庁的な取り組みの推進が重要となる。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>環境保全施策を展開する中で、現在の状況を踏まえ、さらに将来の環境を確保するための教育や情報発信をしていかなければならない。</p> <p>また、省エネを推進していくためには市町村単位ではなく、北海道全域における省エネ対策への取組が効果的である。SDGSの理念を念頭に、今後も、定期的に環境審議会を開催し、中標津町環境基本計画に基づく各種環境保全施策を検証していく必要がある。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>ゼロカーボンシティ宣言を行い、これによる全庁的な施策を展開し、脱炭素社会の実現について取り組みを加速化させる。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	7	環境保全の推進
	主要施策	2	水と緑の保全
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
雨水排水・工場排水・家庭排水・家畜糞尿等様々な物質が河川に流出することによる河川環境の悪化を防ぐため、調査把握を行う。 また、下水道未整備区域住民のし尿処理（浄化槽等）の負担軽減を図る。	水質基準値を基準範囲内に収め、調査結果等については、関係機関への報告、ホームページでの公表を通じて、適切な水質となるよう注視出来る。 また、下水道未整備区域住民へのし尿処理手数料の一部補助。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	7,757 千円	7,333 千円	7,024 千円	7,723 千円	千円
事業費	7,757 千円	7,333 千円	7,024 千円	7,723 千円	0 千円
対前年度比		94.53 %	95.79 %	109.95 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4721	し尿処理手数料補助事業	6,944							環境衛生係
4721	河川水質調査事業	779							環境衛生係
合計 2 事業		7,723							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	7	環境保全の推進
	主要施策	2	水と緑の保全

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>標津川・当幌川の水質検査を行い環境保全に係る監視を行う。 標津川は市街地上流の最終処分場データを使用し、俵橋の共成橋に監視地点を設けた。 当幌川は国道272号線の豊岡橋と西9線当幌大橋に監視地点を設定し、年4回の検査を実施した。 12項目の分析項目を、標津川(上流部・下流部)、当幌川(上流部・下流部)の4地点で年4回検査を実施している。通報などあれば、関係機関と連携し、現地確認や指導を行っている。 また、下水道未整備区域住民並びに、生活保護世帯に対して、し尿処理手数料の一部を補助することが出来た。</p>	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div>
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

<p>河川への汚濁水は、市街地においては下水道の普及により抑止された状況。 しかし第1次産業において発生する産業排水は、様々な手法により、現在その対策が検討されている。 過去には、大雨災害等の影響もあったとは言え、重油や家畜糞尿が、標津川へ流出する事件も発生した経過もある。 一度汚染されれば、水質改善までには時間、費用、労力の負担が非常に大きい。風評被害や地域経済に与える多大な損害が懸念され、事業者や農業者のみならず、関係者など地域全体で、河川や自然環境を守る事が非常に重要と考える。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	理由 下水道の普及率の向上と、第1次産業において発生する産業排水の河川への流入抑止に向けた対策の確立が重要となっている。このためには、関係機関との密な連携の元、情報共有、平常時における適正管理及び災害時を想定した対策や検討を深め、河川流入を抑制し、自然環境の保全に努める事が重要であるため。 し尿処理に関しては、下水道未整備地域住民の負担を考慮し、し尿処理手数料の一部補助を継続していく必要があるため。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	理由 今後とも水質検査結果については、農協、漁協等関係機関に通知し、ホームページで公開していく。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

二次評価のとおり

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	7	環境保全の推進
	主要施策	2	水と緑の保全
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>標津町にある、し尿浄化センターの老朽化による建替えについて下水道広域化推進総合事業（下水道共同処理方式）による手法が最有力とのことから、事業内容を検証し早急な検討が必要である。</p> <p>当地域（中標津、標津、羅臼）のし尿処理について、費用対効果を含めた持続可能な処理方法を採用し、適正な処理を行う。</p>	<p>財源、現施設の寿命等を考慮し最適な施設を建設し、負担金の抑制に努める。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	64,034 千円	68,122 千円	70,593 千円	65,733 千円	千円
事業費	64,034 千円	68,122 千円	70,593 千円	65,733 千円	0 千円
対前年度比		106.38 %	103.63 %	93.12 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4721	根室北部衛生組合負担金	65,733		○					環境衛生係
合計 1 事業		65,733							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	7	環境保全の推進
	主要施策	2	水と緑の保全

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>平成23年度から広域し尿処理方法について構成町（中標津町・標津町・羅臼町）と協議した結果、中標津町の下水道終末処理場による下水道広域化推進総合事業（下水道共同処理方式）が有力であるという方向性で一致したが、構成町による協議の中で、技術的な検討や、費用面、住民合意など、様々な協議に時間を要した。</p> <p>諸条件整理のため、3町担当者間及び、理事者協議を踏まえ、令和5年度に「し尿受入施設基本計画」を策定。中標津町の下水道終末処理場で3町のし尿を受入れ、処理する方式が最も安価で、維持管理費の圧縮となる結果となった。衛生組合と連携し住民説明会を実施。あくまで受入れる本町の下水道終末処理場が建設事業主体となるため、令和12年度稼働に向けて、国・道との協議を進めている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>平成29年10月衛生組合事務局から下水道広域化推進総合事業の提案を受け、以前からMICS事業（汚水処理施設共同整備事業）による共同処理が有力ということで協議されてきたが、具体的な検討や判断材料が不足しており方針決定には至っていなかった。当初では平成30年度までに住民合意、令和元年度方針決定、令和5年度基本設計、令和6年度実施設計、令和7年度工事着工、令和9年度稼働開始としていたが、衛生組合事務局（標津町）と構成町（羅臼町・中標津町）の協議状況からかなり難しい状況となり、3年～4年の遅れが生じた。一方、R5に策定した基本計画の結果を踏まえ、早急に課題解決に向けて3町間で協議が順調に進められ、住民説明会や国・道との協議も実施。し尿受入れは最短で令和12年度と想定。建設事業主体は、本町となるため、今後様々な協議を横断的に進めて行く必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>下水道広域化推進総合事業（旧MICS後継事業）の妥当性及び、中標津町が受入可能か判断できる資料を作成するため、令和元年度末に基本構想を策定。その結果中標津町下水道処理施設が費用面で最も安価であり検討を進めたものの、事務局体制、搬入路、費用対効果など協議項目も多く、コロナ禍において、円滑な協議が進んでいなかった。これを踏まえ、令和5年度に実施した基本計画によって、最新の状況を確認。各種諸条件の整理も3町担当者間で進んでおり、本町下水道処理施設で受入れを行う事となり、令和12年度の受入れに向け、引き続き協議を進める必要があるため。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>平成23年度から広域し尿処理方法について、構成町（中標津町・標津町・羅臼町）と協議した結果、中標津町の下水道終末処理場による、下水道広域化推進総合事業（下水道共同処理方式）が有力であるという方向性が示された。</p> <p>令和6年度に3町の協議が整ったことから、今後は受入れに向け、施設整備を推進する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	7	環境保全の推進
	主要施策	3	野生動植物の保全
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
狂犬病予防法に基づく畜犬登録業務を行う。 また、エキノコックス症予防のため、宿主となる野ギツネ対策のため、時期を設定し、検体捕獲している。	畜犬の適正登録と予防注射率の向上。公衆衛生の確保から適正な個体数管理を図り、安全安心で住みやすい生活環境を推進する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 狂犬病予防注射率	%	単年	実績値	62.4	56.5	67.0	61.9	60.6		100	100
		累計	達成率(対R7)	62.4%	56.5%	67.0%	61.9%	60.6%	0.0%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	760 千円	781 千円	671 千円	715 千円	千円
一般財源	-267 千円	-267 千円	-196 千円	-258 千円	千円
事業費	493 千円	514 千円	475 千円	457 千円	0 千円
対前年度比		104.26 %	92.41 %	96.21 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4731	畜犬登録等対策経費	457							環境衛生係
合計 1 事業		457							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	7	環境保全の推進
	主要施策	3	野生動植物の保全

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>狂犬病予防注射(集合注射)については、コロナ禍においても実施した前年度に対して、令和3年度は国の緊急事態宣言の影響から、獣医師会と十分協議の上、中止となったが、令和4年度からは、感染対策を行いながら、集合注射を実施した。未接種者に対しては、接種を促す周知を実施し、狂犬病予防注射の接種率向上に努めている。</p> <p>また、エキノコックス症予防のため、野ギツネの検体捕獲も実施し、北海道(保健所)へ検体提供することが出来た。農林課との業務内容の棲み分けも行われ、円滑な業務体制となっている。</p> <p>また、実際には死亡犬が未届けでデータ上残っている場合があるため、台帳整理を実施。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>注射率について、獣医師が推奨し一定の予防効果が発揮されると言われる、「注射率7割以上」に近い率を目指しているが、ここ2カ年において、注射率が低調（60%台前半）となっており、原因の分析が必要。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>集合注射が中止となった場合、接種率がどうしても下落傾向にある。引き続き、周知等を実施するが、狂犬病予防法において接種が義務付けられているものであり、接種の徹底に取り組む必要がある。</p> <p>狂犬病予防注射の実施率は、約7割弱であり、一定の予防効果が発揮されると言われる、「注射率7割以上」へ改善が必要である。さらに高みを目指し、100%の接種率としたい。</p> <p>また、死亡届の無い、超高齢犬のデータ整理も引き続き整理する必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>狂犬病予防注射(集合注射)の広報、周知啓発の実施。獣医師との連携したPRに引き続き取り組み、接種率の向上を図る必要があるため。</p> <p>また、北海道と連携し、エキノコックス病予防のための野ギツネ検体捕獲に取り組み、疫学調査への協力を行う必要があるため。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>今後も狂犬病予防注射実施率の向上に向けた対応策を検討していく。また、エキノコックス病予防のための野ギツネ検体捕獲に取り組んでいく。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	経済部 農林課	担当課長氏名	有賀 勇治	調書作成日	令和7年 7 月 15 日
-------	---------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	7 環境保全の推進
	主要施策	3 野生動植物の保全
その他関連計画等		
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<ul style="list-style-type: none"> ・カラス～乳牛へのいたずらで、高価な牛をダメにするケースもあり、酪農家からのカラス駆除の要望は強い。 ・キツネ～市街地への出没が増える傾向にある。キツネの餌やりや、家庭菜園ブームで餌になりそうなものを畑の肥料に使用していることも寄り付きの要因と思われる。深刻な被害はないまでも、エキノコックスの心配もあり、住民からの駆除要望は多い。 ・エゾシカ～春先の牧草の若芽の食害や、デントコーン、畑作苗等の食害は相変わらずあり、駆除を休むと年2割で増殖する動物であり、継続した駆除は必要。 	カラス、エゾシカは農業被害を低減させる目的で取組んでいるが、エゾシカの食害についての算定根拠が明確でないため、金額ベースでの被害額が減らない（実際には減っていると思われる）。キツネについては、市街地での駆除は檻に頼るしかなく、一定程度捕獲しても、郊外からまた、新たなキツネが入り込むという状況が続いている。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 エゾシカ有害駆除頭数	頭	単年	実績値	909	887	939	947	880			
		累計	達成率(対R7)	106.9%	104.4%	110.5%	111.4%	103.5%	0.0%	850	800
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	1,139 千円	1,156 千円	1,123 千円	926 千円	千円
地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	千円
一般財源	4,930 千円	4,281 千円	4,359 千円	4,367 千円	千円
事業費	6,069 千円	5,437 千円	5,482 千円	5,293 千円	0 千円
対前年度比		89.59 %	100.83 %	96.55 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4732	有害鳥獣駆除対策事業	615							自然環境係
4732	エゾシカ農業被害等対策事業	4,678		○					自然環境係
合計 2 事業		5,293							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	7	環境保全の推進
	主要施策	3	野生動植物の保全

担当部・課	経済部 農林課
-------	---------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>キツネの檻による捕獲と同時に、町内会と連携した野生鳥獣及び、野良犬、野良猫等への餌やり禁止の周知で、効果の上がつている地域もある。エゾシカについては、有害鳥獣駆除として期間（5月7日～10月18日）を定めて駆除を実施し、農作物の被害被害の縮小に努めたが、被害が拡大した。また、ヒグマの目撃情報も増えていることから、檻わなを設置し1頭駆除した。</p> <p>※中標津町エゾシカ被害被害農作物等被害状況 ・馬鈴しよ(16.3ha 13,726千円) ・てん菜(6.3ha 6,930千円) ・デントコーン(78.9ha 21,319千円) ・牧草(423.6ha 54,910千円) ・野菜(8.2ha 18,355千円) ・小麦(5.0ha 936千円) ・牧草ロール(10個 8千円) 計 116,184千円 【R4実績計 89,303千円】</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>エゾシカ有害駆除頭数の成果指標は、令和7年度で850頭となっているが、年間駆除頭数900頭前後の実績で、年度毎にバラツキはあるものの目標値達成に向け一定程度の成果が図られているものの、農作物の被害状況は拡大していることから、後期計画では目標頭数を増やし管理する必要がある。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>野良猫や野良犬に限らず、キツネや鴨等、野生鳥獣への餌やりはなくなり、目撃者からの苦情も寄せられるが、隣近所の人間関係にも影響することから、個別指導にも気をを使う。町内会の協力を得ながら地道に対応している。近年では、鳩の巣駆除など自然環境係に連絡が入る状況であり、業務が増えている。町内会への加入率の低下に見るように、隣近所との付き合いが希薄になっているのも要因と思われ、根は深いものがある。エゾシカ駆除の対応については、駆除頭数を増やさなければ農業被害の減少につながらないため後期計画から駆除頭数を増やす必要がある。ヒグマについては、目撃件数が急増しており、個体数は増えているものと推測する。ヒグマ春期管理捕獲を実施しているが、従事者のスキルアップを図らなければ、今後人的被害の可能性もありうる。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>エゾシカの有害駆除については、繁殖率の高い動物であり、今後も継続した取組が必要。野犬は、一部の放し飼いなど犬猫の飼育のモラルの徹底が求められ、JAや町内会など団体を通じた粘り強い啓発を今後も続ける必要がある。人的に被害を及ぼさないような野生動物（ヘビ等）及び外来動物（アライグマ等）の対応も行っているが、方針を検討する必要がある。外来植物については、その扱いが明確になっておらず、横断的に協議し考え方をまとめる必要がある。</p> <p>近年、クマの目撃情報が多くなっているため被害がでる前に、関係機関と情報共有を行い体制整備の検証を行い必要に応じ見直しを行う。また、従事者のスキルアップを図るとともに、クマ駆除の実施も視野に対応する必要がある。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	天野 英典
--------	-------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>エゾシカによる農作物の被害は年間約8,930万円にも及び、有害駆除と利活用に取り組んでいるところ。農林業行政としては、引き続き農業振興と森林保全の観点と共存する野生動植物の保全を念頭にバランス良く施策を進める必要がある。</p> <p>また、熊の目撃情報が増加傾向にあることから、春クマ駆除を継続的に実施し、熊の生息状況を見守る必要がある。</p> <p>また、令和7年9月より町長の権限により緊急銃猟の実施が可能となるが、実行に当たっては困難を極めるものと思慮。体制整備の構築が急がれる。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	総務部総務課	担当課長氏名	吉田 憲史	調書作成日	令和7年 8 月 7 日
-------	--------	--------	-------	-------	--------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	7 環境保全の推進
	主要施策	4 地球温暖化防止対策の推進
その他関連計画等	中標津町環境基本計画	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)の改正に伴い、特定事業者として省エネルギー対策に向けた取組を図る。	各施設における単年度のエネルギー原単位平均1%削減を達成する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	660 千円	528 千円	572 千円	792 千円	250 千円
事業費	660 千円	528 千円	572 千円	792 千円	250 千円
対前年度比		80.00 %	108.33 %	138.46 %	31.57 %

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和7年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
1516	省エネ・節電対策事業	792		○					総務係
合計 1 事業		792							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	7	環境保全の推進
	主要施策	4	地球温暖化防止対策の推進

担当部・課	総務部総務課
-------	--------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>照明設備のLED化を進めるため、庁舎2階経済部側農委部分・町長室・1階生活課の交換を実施。 また、職員に対しても節電の意識づけを行うため、定期的に通知文等による周知を行い、取り組み可能な省エネ・節電対策により消費電力の抑制を図った。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>近年は、地球温暖化の影響により気温の高くなる日数が増加しており、庁舎内の温度と湿度の上昇による職員の業務効率を低下させないための対策の検討も必要となっている。 冷房設備や送風機等の設置により、職員の体力的な負担軽減にもなり、効果的・効率的な行政運営につながると思料するが、それにより大幅な消費電力の増加となるため、イニシャルコストも含めた費用対効果を検証していく必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>近年、災害級の猛暑による庁舎内温度の上昇への対応が課題である。省エネの観点から冷房や送風機器の稼働を制限したいところだが、それ以上に職員の負担軽減のための取組が重要。 また、一部進んでいる庁舎内のLED化について、次年度で完了できるよう各種協議を進めたい。</p>
--	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	板橋 豊
--------	------

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>R5年3月のゼロ・カーボン宣言を踏まえ、一事業者である中標津町役場として、ハード・ソフトの両面から、より計画的・効果的に省エネルギー対策を進める必要がある。 特に、ハードにおいては蛍光灯の廃止（2027（R9）年度末）等を見据えたLED化を計画的に進める必要がある一方、近年続く猛暑への対策は、職員の執務環境と能率向上の観点から、もう少し強化したいところである。</p>
--	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 ; 住みやすいまちづくり
	施策項目	7 ; 環境保全の推進
	主要施策	4 ; 地球温暖化防止対策の推進
その他関連計画等	中標津町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく温室効果ガスの排出抑制。	実行計画を策定し、温室効果ガスの排出量と目標年次を設定し、達成に向け推進する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 公共施設温室効果ガス排出量	kg-CO2	単年 実績値	-	9,829	-	-	-			9,368.8	8,491.4
		累計 達成率(対R7)		104.9%				0.0%			
指標2		単年 実績値									
		累計 達成率(対R7)									
指標3		単年 実績値									
		累計 達成率(対R7)									

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
対前年度比		%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4742	地球温暖化対策実行計画推進事業	0	○						環境衛生係
合計 1 事業		0							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	7	環境保全の推進
	主要施策	4	地球温暖化防止対策の推進

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>前計画は平成24年度で終了しており、取り組みや理念こそ、継続していたものの、計画未策定の状態であったが、令和3年度に中標津町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定することが出来た。令和4年度は、脱炭素社会の実現に向け、ゼロカーボンの検討を進め、年度末にゼロカーボンシティ宣言を行った。また、主なものでは街路灯のLED化に取り組むなど、電気使用量やCO2排出抑制に寄与している。</p> <p>今後は、引き続き、温室効果ガスと言われる、CO2の排出抑制等に取り組む、厳しい目標値ではあるが、平成25年度と比較し、令和12年度までに26%の削減に取り組む。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>平成25年度と比較し、令和12年度に26%の削減目標を掲げ、職員の意識改革含め、着実にCO2排出抑制に取り組む、街路灯や防犯灯のLED化など実績を上げているが、排出削減量を都度数値化することが難しい状況。さらに、国の目標が20%引き上げられた事により、本町の間見直しの令和8年度には目標数値をさらに高め、46%とする必要があり、達成は高いハードルと言わざるを得ない状況。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>役場庁舎の事務事業から排出される温室効果ガス及びエネルギー使用料の把握はしているが、大幅な削減とはなっていない。また、平成28年度に地球温暖化対策の推進に関する法律の一部改正がされたが、我が国は平成27年7月に温室ガスを2030年度に2013年度比で26%削減するとの目標を柱とする草案を国連に提出。</p> <p>一方で、令和3年4月政府において、現在の目標を20%引き上げ、2013年度比で、46%削減することを目指すと表明。さらに、「2050年カーボンニュートラル」を宣言しており、わずか9年という短期間で目標達成することは容易ではなく、これまでの対策の延長では達成は難しく、新たな抜本的な取り組みや実行が重要となる。本町においても令和8年度に見直しを予定している。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>市町村に策定が義務付けされていた、実行計画を令和3年度に策定することが出来、今後、具体的な数値目標に向かって地球温暖化防止対策を推進すると共に、行政職員ひとりひとりが意識向上を図り、地域や家庭、町全体に活動が普及するような地道な取り組みが必要なため。</p> <p>令和4年度末にゼロカーボンシティ宣言を行ったことを踏まえ、今後、全庁的に、脱炭素社会の実現に向け、それぞれの施策検討を取りまとめ実行に移していく必要がある。</p> <p>さらに、地域企業や、環境対策に熱心な団体等との連携により、バイオガス・熱交換・再生エネルギーにも着目し、CO2排出抑制の取り組み、研究を進める必要があるため。</p> <p>引き続き、街路灯及び防犯灯のLED化を進める。（基数が多く複数年必要）</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>中標津町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定、ゼロカーボンシティ宣言により、脱炭素社会の実現に向け、引き続き温室効果ガスであるCO2の排出抑制に取り組んでいく。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	8	衛生環境の充実
	主要施策	1	循環型社会の形成
その他関連計画等		中標津町ごみ処理基本計画	
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
廃棄物処理には多額の費用を要するが、ごみの減量化や、適切処理及び資源物の分別徹底を行い、リサイクルを推進し、持続可能な社会を構築する。	ごみ減量化に伴う収集・運搬路線の縮小により、収集運搬費用のコスト削減。 また、適切な廃棄物処理施設の運転により、施設の修繕費を圧縮し、延命化を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 一般廃棄物処理量	t/年	単年	実績値	8,325	8,389	8,140	7,921	7,912	7,368	7,160
		累計	達成率(対R7)	113.0%	113.9%	110.5%	107.5%	107.4%		
指標2 資源物処理量	t/年	単年	実績値	1,132	1,126	1,071	1,006	993	1,087	1,144
		累計	達成率(対R7)	104.1%	103.6%	98.5%	92.5%	91.4%		
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	114,006 千円	112,351 千円	108,435 千円	104,802 千円	千円
一般財源	492,333 千円	494,406 千円	483,966 千円	593,269 千円	千円
事業費	606,339 千円	606,757 千円	592,401 千円	698,071 千円	0 千円
対前年度比		100.07 %	97.63 %	117.84 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4811	根室北部廃棄物処理広域連合負担金	492,488	○						環境衛生係
4811	最終処分場延命化措置対策事業	58,982							環境衛生係
4811	一般廃棄物収集運搬事業	146,601							環境衛生係
合計 3 事業		698,071							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	8	衛生環境の充実
	主要施策	1	循環型社会の形成

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>分別の徹底と、4町（標津・羅臼・別海・中標津）による広域ごみ処理を行い、適切な廃棄物処理が行われた。</p> <p>また、町の廃棄物処理施設（一般廃棄物最終処分場）の運転管理、広域可燃ごみ運搬、浸出水適正処理の実施により、各延命化が図られ、管理型最終処分場の残容量測定も十分な結果が得られている。</p> <p>さらに、3町（標津・羅臼・中標津）による、リサイクルセンターくるつとにおいては、資源ごみの分別梱包処理を実施し、廃棄物の減量と資源化に取り組んでいる。一定程度、不適合物の混入も見受けられるがフル回転で資源物処理を実施しリサイクルの推進が図られている。一方、根室北部廃棄物処理広域連合の焼却施設について、広域連合として施設整備検討委託を実施。建て替えか延命かなど更新方法の検討を実施し、各町議会へ報告相談し、延命改修する方針に至った。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>コロナ禍の影響で、廃棄物処理量は増加するものと考えられていたが、前年度と比較して資源物も含め、減少している。</p> <p>具体的評価については難しいが、引き続き推移を注視し、廃棄物処理量は減らし、資源化量を増やして行けるよう、取組強化を進めたい。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>ごみの排出量については大幅な減量にはつながっておらず、何らかの方策を研究していかなければならない。</p> <p>広域連合への負担金について、別海に建設されている焼却施設の老朽化等による修繕費用の増大により負担金が年々増加傾向にある。</p> <p>また、本町の処理施設・車両・機械など、廃棄物処理に関するあらゆる分野で、老朽化の問題が顕著となってきている。（最終処分場は平成14年稼働）このことから、修繕や更新に多額の費用を要しており、適切な運転と延命化の努力を行っているが、限界を迎える分野が多い。</p> <p>壊れてからの対応では、廃棄物処理に極めて大きな影響が生じてしまうことから、計画的な修繕や更新が必要。</p> <p>また、一部を除き路線収集方式を採用してごみ収集を実施しているが、それぞれメリット・デメリットはあるものの、今後の持続可能な収集体制に課題がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>廃棄物の問題は、行政だけでは解決することは難しい。廃棄物の減量や分別の徹底、適切な収集と処分が重要である。一方、分別が多様化しており、町民にとってわかりにくく、また、分別すれば資源ごみとして無料になるものの、分別作業やごみ処理料が、排出側の負担になっている状況がある。</p> <p>しかしながら、廃棄物の徹底した分別、減量化は必須であり、持続可能な社会形成のためにも、引き続き、周知徹底を図り、ごみの減量化に取り組む必要がある。特に可燃ごみの徹底した減量を実施し、広域連合負担金（ごみ量割）の圧縮に努める必要があるため。</p> <p>また、持続可能な収集方式の検討を継続し、部分的にでも収集方式の効率化をはかるためステーション化も調査研究していく。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>根室北部廃棄物処理広域連合の負担額は、建設時の公債費償還が終了し減額となっているが、一時的なものであり、施設の老朽化から基幹改修工事等の実施により負担が増額することとなっており、早期に長寿命化若しくは建て替えについて結論を急ぐ必要がある。</p> <p>また、ごみの減量化については、引き続き広く住民に呼びかけ、取り組みを強化する必要がある。</p> <p>また、持続可能な収集方式やステーション化について、調査研究を進める。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	町民生活部 生活課	担当課長氏名	田中 道行	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4 住みやすいまちづくり
	施策項目	8 衛生環境の充実
	主要施策	1 循環型社会の形成
その他関連計画等	中標津町ごみ処理基本計画	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>ごみ減量リサイクル促進のため、各町内会に設置している資源保管庫を活用したごみ減量リサイクル促進事業を推進し、一般収集では難しい古紙類の回収を実施し資源化を図る。</p> <p>また、不法投棄の防止・抑制を徹底し、中標津町きれいな街にする条例を推進する。</p> <p>ごみのボランティア清掃活動も活発なので、町内の各種団体と連携し、環境整備を図る。</p>	<p>ごみのポイ捨てや不法投棄を行わないきれいで住みよい街を目指す。</p> <p>環境保全、不法投棄防止の意識を高め、環境美化、ゴミの減量につなげる。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	6,315 千円	6,726 千円	6,927 千円	7,414 千円	千円
事業費	6,315 千円	6,726 千円	6,927 千円	7,414 千円	0 千円
対前年度比		106.51 %	102.99 %	107.03 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4811	ごみ減量・リサイクル促進事業	7,403	○						環境衛生係
4812	ねむろ自然の番人宣言推進事業	11							環境衛生係
合計 2 事業		7,414							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	8	衛生環境の充実
	主要施策	1	循環型社会の形成

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>不法投棄対策を事業所による、ねむろ自然の番人宣言による監視活動や、住民や事業者のごみ回収などのボランティア活動によって進めている。また監視カメラを導入し、不法投棄が頻繁に行われる箇所に設置検討。 自然の番人宣言に基づき町内会、事業所と協力連携し、町内一斉清掃活動を実施した。また各種団体のボランティア清掃活動を支援した。また家庭内では、省エネやごみの分別など環境に配慮した生活スタイルが定着してきている。 町内会と連携したごみ減量リサイクル事業は、資源保管庫の利活用も長年の活動もあり、定着化しており、資源化に大きく寄与している。リネットジャパンと連携し、パソコン及び小型家電の無償リサイクルについて、根室管内初の取り組みを進め、町民への周知を行っている。</p>	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>不法投棄は住民や事業者の努力に関わらず発生しており、その対策を「ねむろ自然の番人宣言」による事業所等の監視活動や住民、事業者のごみ回収などのボランティア活動によって進めている。 不法投棄などによる環境を悪化させないためには、町民の意識の向上を推進しなければならない。そのためには子供たちへの環境教育の充実や、家庭での環境問題への取組、事業者による事業活動における環境対策の実施などが必要となってくる。 R2～R4の3年間、ごみゼロの日清掃奉仕活動については、コロナ禍や悪天候により中止となっており、不法投棄量の増加が推測される。一方、R5から再開したが、実施場所の違いもあり回収量は少なかった。回収しきれないごみもあり、今後も清掃活動の継続が必要。また、各町内会に設置している資源保管庫が老朽化しており、今後更新が必要。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>監視カメラの設置を広く広報するなど有効活用して、不法投棄を抑止する。最近では警察との連携が円滑であり、悪質な事例は警察や関係機関と協議し、不法投棄を摘発していく。 環境保全思想の普及及び住民参加による取組の推進を継続していく事が必要。 新型コロナウイルス感染症がR5、5に5類移行されたことに伴い、ごみゼロの日清掃奉仕活動を再開。今後も継続していく。古紙類（新聞、雑誌、段ボール）が、可燃ごみに排出されてしまうと、ごみ量がかさみ、本町が広域連合に負担するごみ処理費用（ごみ量割）が増額してしまうので、リサイクル可能であり、有価物である古紙類の分別は徹底して実施する必要がある。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>ねむろ自然の番人宣言ごみゼロの日清掃活動など、今後も引き続きボランティア活動への参加を呼びかけることにより、環境保全意識の高揚を図っていく。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	8	衛生環境の充実
	主要施策	2	斎場運営と墓地管理

担当部・課	町民生活部 生活課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>白樺斎場建設後アンケート調査をした結果、殆どの利用者が満足している結果となった。斎場管理人の対応も親切丁寧と評価を受けており、引き続き現状の運営管理を推進する。残骨灰の対応が全国的に問題化しており、その処理方法や扱いについて適切な検討を実施し、関係機関と調整の上、透明性・公平性を持ち処分を行っている。また、近年の墓じまいが進む傾向の中、町民ニーズの高い合葬墓建設に向けて検討を進め、中標津墓地内に約2000体を収蔵可能な合葬墓を建設。R6. 4から運用開始している。初年度は103体を収蔵。また、両斎場の料金改定と、墓じまいを受けて焼骨の再火葬を可能とするよう規約改正も実施。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>白樺斎場3炉、別海斎場2炉の火葬炉は、火葬件数に比例し損傷が著しく、火葬炉修繕に多額の費用を要する。今後も、火葬件数が増加する傾向にあるため、炉の延命化や維持管理に留意し、適切な火葬実施に加え、修繕料の圧縮に努める必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>今後も広域的な運用、利用者の気持ちに配慮した施設運営を継続し、効果的な利用の促進を図り負担金の抑制に努める。 合葬墓については、中標津墓地内に建設・運営しており、引き続き適正な維持管理を進める。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	石垣 敏
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>斎場の運営については、負担金の抑制に努める必要があることから、効果的な利用の促進を図るとともに、料金改定等を検討する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部上下水道課	担当課長氏名	表 健一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	9	上・下水道の充実
	主要施策	1	安全・安心な水道水の供給
その他関連計画等	中標津町水道ビジョン 中標津町環境基本計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
安全、安心で安定した水道水の供給のため、水道施設の耐震化を図り、適正な維持管理及び計画的な施設の更新・再整備を図る。 また、整備した水道管については、継続的に管路施設台帳（電子データ）の修正等を行い、緊急時に備える。	有収率や有効率の向上、維持管理費の低減と水道水の安定供給を図る。 また、管路施設台帳（電子データ）の修正等により、災害時など緊急時に迅速な修繕対応や町民への情報提供を行う際のデータ構築を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 上水道管路耐震化延長(率)	%	単年	実績値	8	8	8	8	9		
		○ 累計	達成率(対R7)	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	100.0%	0.0%	9
指標2 配水池耐震化率	%	単年	実績値	40	40	86	86	86		
		○ 累計	達成率(対R7)	46.5%	46.5%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	86
指標3		単年	実績値							
		○ 累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	1,191 千円	千円
地方債	435,000 千円	278,600 千円	336,500 千円	312,500 千円	千円
その他	7,613 千円	千円	12,345 千円	59 千円	千円
一般財源	346,677 千円	363,596 千円	331,301 千円	33,005 千円	千円
事業費	789,290 千円	642,196 千円	680,146 千円	346,755 千円	0 千円
対前年度比		81.36 %	105.91 %	50.98 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4912	水道管路情報修補正業務(簡易水道事業会計)	2,350							水道係
4912	水道管路情報修補正業務(水道事業会計)	2,402							水道係
4912	簡易水道地区漏水調査委託事業(簡易水道事業会計)	3,520	○						水道係
4913	重要給水施設 配水管更新事業(水道事業会計)	8,250		○					水道係
4913	中標津町水道ビジョン更新・策定事業(水道事業会計)	6,050	○						水道係
4913	上水道低区配水池更新事業(水道事業会計)	0	○						水道係
4913	配水管整備事業(簡易水道事業会計)	36,205							水道係
4913	配水管整備事業(水道事業会計)	171,171							水道係
4913	道宮畑地帯総合整備事業(担い手支援型)西竹地区(簡易水道事業会計)	101,033							水道係
4913	簡易水道浄水施設更新事業	8,745				○			浄水係
4913	上水道浄水施設更新事業	7,029				○			浄水係
合計 11 事業		346,755							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	9	上・下水道の充実
	主要施策	1	安全・安心な水道水の供給

担当部・課	建設水道部上下水道課
-------	------------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>浄水施設の維持管理について、令和4年度に5か年の複数年包括契約を締結（更新）したことにより、適正かつ合理的に安定的な維持管理が図られている。</p> <p>老朽化した管路・浄水施設について、順次更新、再整備を行っていることで、安定した水の供給が図られ、いつ飲んでも安全で信頼される水道水の供給が継続されている。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>上水道管路耐震化延長（率）は、令和6年度末で管路延長195.03kmのうち耐震管延長17.33kmの整備が完了し、9%と計画どおり進んでいる。</p> <p>また、配水池耐震化率は、令和5年度末で86%と計画通り進んでいる。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>町職員の技術系職員の後継者育成と確保、また浄水施設の維持管理を5か年の複数年包括契約で締結しているが、受託業者においても技術者不足により若い世代への技術継承が課題となっている。</p> <p>中標津上水道は昭和25年創設以来、これまで4回の拡張を行ってきた。現在の浄水施設等は昭和55年供用開始の第三次拡張事業にて整備した施設が大半を占めており、これまで延命化に努めてきたが、耐用年数を大幅に超え老朽化が進んでいる状況にある。</p> <p>また、中標津簡易水道においても昭和27年計根別簡易水道創設を始めとし、これまで計根別、西竹、開陽、養老牛温泉地区の水道を一つの簡易水道として統合を図ってきたが、施設設備の状況は中標津上水道と同様である。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>令和6年度策定した中標津町水道ビジョン(令和7年度～令和16年度)に基づき、引き続き老朽化した浄水施設等の機能を適正かつ合理的に更新・再整備を進め、併せて耐震化及び長寿命化整備を進め、安全、安心で安定した水道水の供給を行う。</p> <p>浄水施設の維持管理は、引き続き包括委託方式での検証等を実施し、新たにWPPP(ウォーターPPP)の導入の検討も行ったうえで、よりよい形での管理運営とする。</p> <p>水道管路施設台帳(電子データ)は、水道資産を管理するもので、災害時など緊急時により迅速な修繕対応や町民等への情報提供を行うために必要なため、引き続き修正等を行い整備する。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	中野康志
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>上水道、簡易水道の管路施設や浄水場施設については、水道ビジョンに基づき計画的に更新を行い、管路の漏水調査を定期的実施しながら有収率の向上を図っていく。</p> <p>また、災害時を想定した迅速な緊急対応や修繕対応における訓練を実施する。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部上下水道課	担当課長氏名	表 健一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	9	上・下水道の充実
	主要施策	2	下水の集合処理の推進
その他関連計画等	中標津町下水道中期ビジョン 中標津町環境基本計画		中標津町公共下水道ストックマネジメント計画 中標津町地域防災計画
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>生活環境の向上及び河川などの水質保全のため、下水道施設の適正な維持管理及び耐震化を図りつつ計画的な施設の更新・再整備を図る。</p> <p>また、整備した下水道施設について、継続的に下水道台帳（電子データ）の修正等を行い、緊急時等に備える。</p>	<p>有収率の向上及び維持管理費の縮減を図る。</p> <p>また、下水道台帳（電子データ）の修正等により、災害時など緊急時に迅速な修繕対応や町民への情報提供を行う際のデータ構築を図る。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 終末処理場電力消費率	%	単年	実績値	100	100	102	90	91		
		累計	達成率(対R7)	103.1%	103.1%	105.2%	92.8%	93.8%	0.0%	97
指標2		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率(対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	194,962 千円	179,160 千円	185,032 千円	117,405 千円	千円
地方債	167,100 千円	161,900 千円	142,800 千円	121,400 千円	千円
その他	1,512 千円	1,214 千円	1,808 千円	1,022 千円	千円
一般財源	249,499 千円	261,167 千円	269,714 千円	267,994 千円	千円
事業費	613,073 千円	603,441 千円	599,354 千円	507,821 千円	0 千円
対前年度比		98.43 %	99.32 %	84.73 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4921	公共下水道事業(社会資本整備総合交付金)	221,798	○						下水道係
4921	公共下水道事業(終末処理場施設更新・再整備)	197,829	○						下水道係
4923	公共下水道事業(管路施設更新・再整備)		○						下水道係
4923	公共下水道事業(下水道ストックマネジメント計画)	5,489	○						下水道係
4923	公共下水道事業(浸水対策)	13,860	○						下水道係
4923	公共下水道事業(下水道事業計画変更)	4,620	○						下水道係
4921	農業集落排水事業(計根別地区)	5,610	○						下水道係
4922	終末処理場施設修繕事業	18,623							下水道係
4922	下水道管路施設修繕事業	5,060							下水道係
4922	下水道管渠清掃委託業務	1,119							下水道係
4922	終末処理場等維持管理委託業務	223,438							下水道係
合計 11 事業		475,648							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	9	上・下水道の充実
	主要施策	2	下水の集合処理の推進

担当部・課	建設水道部上下水道課
-------	------------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>社会資本整備総合交付金を活用し、下水道終末処理場の最初沈殿池機械・電気設備の更新工事、道補助金を活用し、計根別浄化センターの電気設備更新の2カ年工事に着手した。</p> <p>下水道ストックマネジメント計画に基づく管路カメラ調査は、1.6km実施し、管路の破損はなく安定した管路状況の確認が取れた。交付金事業対象外の施設設備修繕、管路修繕を行い、処理機能の確保や不明水対策につながっている。</p> <p>終末処理場等の維持管理は包括委託方式により管理され、企業提案によるコスト削減、経費抑制を図っている。また、近年続いている国際情勢の影響で物価変動、経費増大に伴い委託料の増加があったが、企業努力により安定した維持管理が図られた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>終末処理場電力消費率は、令和6年度の電力量が1,048,926kwhで基準年度と比較して91%であった。（基準（令和2）年度：1,163,620kwh）</p> <p>施設設備更新時に効率の良い機器を整備し、電力量を含めた維持管理費の低減を目指す。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>中標津下水終末処理場は、昭和60年の供用開始から既に39年が経過しており、機械等の設備の耐用年数を大幅に超え汚水処理設備の老朽化が進んでいる。また、計根別浄化センターについても平成11年に供用開始し、26年が経過しており、同じく汚水処理設備の老朽化が進んでいる状況にある。</p> <p>このことから、計画的な施設設備の更新が必要であるが、事業費高騰などにより健全な財政運営に影響を与えている。</p> <p>下水道汚水管渠は、昭和49年より建設を開始し、50年経過しており、今後とも定期的、継続的な管路調査が必要である。また、社会資本整備総合交付金事業を活用し管路調査をするが、交付金が満額配分されないことから、交付金の範囲内で実施することになるため時間を要し計画通り進んでいない。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>汚水処理施設設備について、ストックマネジメント計画(令和6年度～令和10年度)に基づき、できる限り社会資本整備総合交付金等を活用し整備を進める。</p> <p>また、その更新にあたり効率の良い機器を整備することにより維持管理費の低減を図る。</p> <p>計根別浄化センターは、設備更新実施設計を基に、汚水処理設備の再整備を進める。</p> <p>終末処理場等の維持管理は、引き続き包括委託方式もしくは、WPPP(ウォーターPPP)の導入も含め、検討し安定した管理運営を図る。</p> <p>下水道台帳(電子データ)は、下水道資産を管理するもので、災害時など緊急時により迅速な修繕対応や町民等への情報提供を行うために必要なため、引き続き修正等を行い整備する。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	中野康志
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>汚水処理施設整備については、ストックマネジメント計画に基づき社会資本整備総合交付金を活用しながら計画的に更新及び改修を進める。</p> <p>また、災害時における緊急対応を想定し、情報(電子データ)の修正を定期的に行っていく。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	9	上・下水道の充実
	主要施策	2	下水の集合処理の推進
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4922	水質測定器具更新事業	609							下水道係
4922	下水道台帳整備事業	4,576							下水道係
4923	公共下水道事業(処理場・管渠工事)単独事業	26,988	○						下水道係
4923	公共下水道事業(下水道広域化推進総合事業)		○						下水道係
合計 4 事業		32,173							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	9	上・下水道の充実
	主要施策	2	下水の集合処理の推進

担当部・課 建設水道部上下水道課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; margin-bottom: 5px;"></div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; margin-bottom: 5px;"></div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; margin-bottom: 5px;"></div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

--

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

--

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課 建設水道部上下水道課 担当課長氏名 表 健一 調書作成日 令和7年 7 月 25 日

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	9	上・下水道の充実
	主要施策	3	サービスの向上
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
利用者のニーズや費用対効果を考慮しつつ、多様な支払方法の整備や諸手続きの改善を行い、使用者の利便性向上を図る。	水道料金支払いの際、クレジットカード決済やスマートフォンの普及に伴うスマホ決済の導入により、利用者の利便性を向上させるとともに、未納額減少を期待する。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 多様な料金等支払い方法 【総合計画にない独自設定】	件	単年	実績値	4	4	4	5	5		
		累計	達成率 (対R7)	80.0%	80.0%	80.0%	100.0%	100.0%	0.0%	5
指標2		単年	実績値							
		累計	達成率 (対R7)							
指標3		単年	実績値							
		累計	達成率 (対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	90 千円	千円	1,153 千円	132 千円	千円
事業費	90 千円	0 千円	1,153 千円	132 千円	0 千円
対前年度比		%	%	11.45 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4931	キャッシュレス決済導入事業(代行事業者変更に伴う初期費用)	132	○						業務係
合計 1 事業		132							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	9	上・下水道の充実
	主要施策	3	サービスの向上

担当部・課 建設水道部上下水道課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
支払いにおける口座振替の占める割合が多いことから、納入通知書発送作業に対する作業時間や経費が抑制された。スマホ決済の導入による、収納率の向上や未収金の抑制効果が期待できる。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

スマホ決済の導入に伴い、納付書払いの利用者がスマホ決済を選択しているが、口座振替からスマホ決済への移行は少ないため、納付書発送に係る時間や経費が増加していないが、スマホ決済の手数料等を考えると導入後の検証が必要となる。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	理由 スマホ決済の導入による収納率や経費の実績、効果など検証し、クレジットカード決済の導入について、引き続き利用者のニーズも含め検証を進めていく。
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 中野康志

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	理由 納入方法の多様化によるサービスの向上により、収納率の向上を図る。クレジットカード決済の導入について、引き続き利用者のニーズや費用対効果の検証を行う。
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

キャッシュレス決済の導入により、町民の利便性が向上したと思います。未納額が減少したことからも、成果が出ていると感じます。 また、年金支給日や給与支給日等を勘案し、口座からの引き落とし日について再度検討することで、未納額のさらなる減少が期待できると考えます。

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	建設水道部上下水道課	担当課長氏名	表 健一	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	9	上・下水道の充実
	主要施策	4	経営基盤の強化と効率的な事業経営
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

自主性を高め、効率的・効果的に健全な経営を行うため、自主財源の安定的確保及び将来世代に過度の負担を残さない健全な財政運営を行う。
 自主財源である料金・使用料確保により柔軟に対応できる経営体制づくりを図る。
 下水道事業・簡易水道事業の公営企業会計適用により、経営の透明性、適正な料金の設定など、会計の健全財政の推進を図る。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

応益の原則に基づいた受益者負担の公平性の観点から、使用料などの徴収率の向上と負担額の見直しを行い、自主財源の安定的確保を図る。
 経済性・企業性を発揮し、使用料などの改正を含めた収入の確保に努め、独立採算の原則に基づき、公営企業の健全経営を図る。
 下水道事業、簡易水道事業の公営企業会計適用により、経営状況の見える化を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 多様な料金等支払い方法 【総合計画にない独自設定】	件	単年	実績値	4	4	4	5	5		
		○ 累計	達成率 (対R7)	80.0%	80.0%	80.0%	100.0%	100.0%	0.0%	5
指標2 収納率(水道(現年・滞線)) 【総合計画にない独自設定】	%	単年	実績値	85.1	85.9	86.1	85.8	86.6		
		○ 累計	達成率 (対R7)	97.8%	98.7%	99.0%	98.6%	99.5%	0.0%	87.0
指標3		単年	実績値							
		○ 累計	達成率 (対R7)							

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	4,000 千円	10,000 千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	16,302 千円	17,247 千円	17,266 千円	17,617 千円	千円
事業費	20,302 千円	27,247 千円	17,266 千円	17,617 千円	0 千円
対前年度比		134.21 %	63.37 %	102.03 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
4941	水道料金等収納業務委託 (水道事業会計・簡易水道事業会計・下水道事業会計)	17,617	○						業務係長
合計 1 事業		17,617							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	4	住みやすいまちづくり
	施策項目	9	上・下水道の充実
	主要施策	4	経営基盤の強化と効率的な事業経営

担当部・課 建設水道部上下水道課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>メーター検針業務、水道契約の受付業務、料金などの集金業務、水栓の開閉栓業務、滞納整理業務、電算入力業務、漏水等調査業務まで多岐にわたり専門性を有する業務を包括委託ができていない点においては不十分だが、単体で委託契約している検針業務及び集金業務では、確実な検針業務と100%に近い収納率により成果を上げている。 また職員による外勤業務、滞納整理業務は係内で情報共有を行う仕組みを作るなど効率化は図られた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>人口減少や水需要の低下による減収が見込まれることから、安定した収支バランスを図る必要がある。 事業運営については、企業会計（複式簿記）は専門的知識を必要とすることから職員のスキルアップを図るとともに、今後の職員体制についても、引き続き検証していく必要がある。 さらに、現在の検針業務については、委託先職員の高齢化、集金業務についても、集金人の高齢化や人材確保などの課題があることから、運営状況を検証し、スマートメーター導入も含めた見直し・検証を図る必要がある。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>公営企業会計として安定した事業経営を図るために、引き続き経営状況について検証する。 職員は公営企業の知識や業務のノウハウを身につけるなど、引き続き職員体制も含め検証する。 検針業務及び集金業務についても、委託先職員の高齢化が進んでいる状況などから、運営状況を踏まえ検証すると同時に、スマートメーターの導入についても情報収集を図り、導入効果等も併せて導入に向け検討する。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 中野康志

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>効率的、効果的な経営を行うため、自主財源の安定的確保を図り、健全な財政を運営を行っていく。 応益の原則に基づいた受益者負担の公平性の観点から、引き続き使用料などの徴収率の向上と負担額が適正であるか検証し、適正な自主財源の確保に努める。</p>
---	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>二次評価のとおり</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会学校教育課	担当課長氏名	下村 浩次	調書作成日	令和7年 7 月 24 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	1	幼児教育の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
幼児期における教育は、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人格形成の基礎を培うために大切なものである。小学校就学前に生活や学びの基礎を育むよう、学校教育法第23条に規定する幼稚園教育の目標の達成に努める。	公立幼稚園である計根別幼稚園の運営により、地域の幼児教育・保育の充実に努める。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	952 千円	862 千円	672 千円	610 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	19 千円	28 千円	38 千円	28 千円	千円
一般財源	11,409 千円	12,584 千円	14,798 千円	10,483 千円	千円
事業費	12,380 千円	13,474 千円	15,508 千円	11,121 千円	0 千円
対前年度比		108.84 %	115.10 %	71.71 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
5111	計根別幼稚園管理運営経費	11,121							学務係
合計 1 事業		11,121							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	1	幼児教育の充実

担当部・課 教育委員会学校教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>満3歳児を含め、計根別地区で入園を希望する幼児のすべてを受け入れるとともに、預かり保育の延長にも対応するなど、多様化する保護者ニーズに応えることで、地域の幼児教育・保育の充実が図られている。</p> <p>また、計根別学園（義務教育学校）との連携により、幼稚園から小学校へのスムーズな移行が図られるよう、指導計画の共有に取り組んでいる。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 <small>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</small></p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>安定した園経営を実現するためには、組織体制が重要な要素であり、教員などの適正な配置を維持していく必要がある。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>本施策は、概ね地域のニーズに合致しており、さらなる充実を図るために継続していく必要がある。計根別地区には、公立幼稚園である計根別幼稚園、義務教育学校の計根別学園、中標津農業高校があり、幼・小・中・高と一貫性のある教育環境が整備されており、地域ぐるみの教育が推進されている。</p> <p>計根別幼稚園と計根別学園の連携により、研修や交流を通じて「架け橋期」の教育の充実を図り、幼稚園から小学校へのスムーズな移行を目指す。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮克彦

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>地域のニーズに対応することで計根別地区の幼児教育・保育に寄与するとともに、計根別学園（義務教育学校）との連携により学校へのスムーズな接続を図ることができる。また、農業高校や地域の方々と共に活動することで、「地域ぐるみの教育」の充実も図られることから、「A このまま進める」ものとする。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>計根別地域振興のため、各部署が関連する施策を共有し、計根別地域住民との連携を進める。</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	2	学力向上・健全育成の推進

担当部・課	教育委員会・管理課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>学校現場の責任者によって組織された校長会や教頭会の活動を通じ、教育委員会との密接な連携が築かれ、学校教育活動を円滑に推進することが可能となった。また、時代が求める課題をテーマに設定し、資料討議方式で研修を実施することで、課題に対する理解を深めた。この成果を学校経営に取り入れることにより、学校運営の改善を図ることができた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>学校現場を取り巻く課題は、複雑かつ多様化の傾向にあることから、引き続き支援が必要である。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>支援している2団体は、教育委員会の諮問機関としての位置づけも兼ね備えており、本町における教育推進の柱となっていることから、引き続き支援が必要である。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	山宮克彦
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>町の教育の振興発展や教育力向上に寄与し、教育施策の推進に欠かせない団体への助成であることから、次年度も「A このまま進める」ものとする。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会学校教育課	担当課長氏名	下村 浩次	調書作成日	令和7年 7 月 24 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	5 郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1 学校教育の充実
	主要施策	2 学力向上・健全育成の推進
その他関連計画等		
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
次世代を担う子どもたちが、確かな学力、豊かな心及び健やかな身体を育み、社会の中で生きる力を身に付け成長していけるよう、小中一貫教育を通じて連続性・系統性のある教育を推進する。	子どもたちの学ぶ意欲を高め、望ましい学習環境の定着を通じ、基礎的・基本的な学力の向上を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	646 千円	811 千円	745 千円	855 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	608 千円	722 千円	872 千円	924 千円	千円
一般財源	63,510 千円	53,303 千円	58,355 千円	75,219 千円	千円
事業費	64,764 千円	54,836 千円	59,972 千円	76,998 千円	0 千円
対前年度比		84.67 %	109.37 %	128.39 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
5122	学力向上推進事業	1,170	○						学校教育係
5123	特別支援教育推進事業	48,065		○					学校教育係
5126	校務用コンピューター整備事業	5,979	○						学務係
5126	校務支援システム導入事業	0		○					学務係
5121	小中一貫教育推進事業	0							学校教育係
5122	退職教員等外部人材活用事業	0							学校教育係
5122	教育活動奨励事業	150							学校教育係
5124	外国語教育推進事業	12,343							学校教育係
5125	スクールソーシャルワーカー活用事業	738							学校教育係
5125	スクールカウンセラー活用事業	555							学校教育係
5125	食育推進事業	382							学校教育係
5125	青少年健全育成推進事業	107							学校教育係
5125	教育相談センター運営事業	7,257							学校教育係
5125	少年の主張大会開催事業	27							学校教育係
5126	中学校体育活動補助事業	35							学校教育係
5125	フッ化物洗口推進事業	190							学務係
合計 16 事業		76,998							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	2	学力向上・健全育成の推進

担当部・課 教育委員会学校教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>全国学力・学習状況調査および標準学力調査の結果を分析・考察し、「学校改善支援プラン」などを提示することで、教育課程や授業の改善が進められている。</p> <p>小中一貫教育の推進にあたっては、児童・生徒の交流や教職員による「一貫校として目指す子ども像」の共有に向けた話し合いを通じて、教職員間の相互理解が深まった。</p> <p>校務用コンピューターの更新により、教職員の業務改善が進み、校務運営の安定化が図られた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>全国学力・学習状況調査および標準学力調査の結果、小学校・中学校ともに学習の定着に課題が見られる。</p> <p>小中一貫教育において、3校で構成する「中標津学園」では、教職員や児童・生徒間の交流などにおいて、移動手段や移動時間といった物理的負担が課題の一つとなっている。</p> <p>校務用コンピューターの更新に合わせ校務支援システムを導入し、ICTの活用による教職員の業務改善が進む一方、教育データを適正に管理し有効に活用するためには、「教育情報セキュリティポリシー」の策定が必要である。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>子どもたちの学力向上と心身の健全な育成に資する施策として、継続していく必要がある。</p> <p>学力向上に向け、全国学力・学習状況調査などの分析・考察を基に授業改善を進めるとともに、体験活動とICTの活用により、子ども主体の授業づくりを進めていく。</p> <p>情報活用能力の育成やICTを効果的に活用した教育活動を展開することで、個別最適な学びや協働的な学びを推進していく。</p> <p>校務支援システムを活用し、教職員の事務負担軽減や指導力の向上を図るため、運用ルールや教育情報セキュリティポリシーを策定する。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>児童生徒の確かな学力及び豊かな心と健やかな身体を育み、社会の中で生きる力を身に付け成長していけるよう、連続性・系統性のある教育を推進し、様々かつ必要不可欠な事業を実施していることから、この施策は「A このまま進める」という方針で取り組む。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	3	地域との連携強化

担当部・課	教育委員会・管理課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
北海道中標津支援学校後援会への補助については、北海道中標津支援学校の教育振興のほかに、生徒の社会参加の支援にも活用されており、ノーマライゼーションの浸透にも役立っている。
※ノーマライゼーション＝障害をもつ者ともたないものが平等に生活する社会を実現させる考え方。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない
---	---

2 課題

平成31年度4月から小中学部が開設され、令和4年度からは中学部で新たに普通科を設置され、行事や課外活動を行うための支援がこれまで以上に必要になる。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	児童生徒の社会参加と自立を目指す教育展開を側面から支援しており、引き続き支援が必要である。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	山宮克彦
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	道立支援学校は、特別支援教育の拠点として、児童生徒が社会参加や自立を目指すための教育を提供する重要な役割を担っており、地域の福祉や教育環境改善に直結するものであることから、この施策は「A:このまま進める」ものとする。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

--

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会学校教育課	担当課長氏名	下村 浩次	調書作成日	令和7年 7 月 24 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	3	地域との連携強化
その他関連計画等	中標津生涯学習推進計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
複雑化・深刻化する様々な教育課題に対応するため、学校、家庭、地域が連携を図り、それぞれの役割と責任を明確にししながら、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支援する体制を構築する。	学校、家庭、地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進め、地域コミュニティの活性化を図る。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じている町民の割合	%	単年 実績値 達成率(対R7)	0.0%	0.0%	34.6	33.6	33.1	32.7	40.0	50.0
指標2		単年 実績値 達成率(対R7)								
指標3		単年 実績値 達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	1,491千円	千円	千円	千円
一般財源	241千円	294千円	357千円	359千円	千円
事業費	241千円	1,785千円	357千円	359千円	0千円
対前年度比		740.66%	20.00%	100.56%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
5131	コミュニティ・スクール運営事業	312	○						学校教育係
5132	キャリア教育推進事業	47							学校教育係
合計 2 事業		359							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	3	地域との連携強化

担当部・課 教育委員会学校教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）では、学校評価などを通して、学校と地域が目指す子どもの姿や各校が抱える課題を共有し、学校運営について話し合う場が設けられている。
 地域企業などの協力を得て実施されるキャリア教育や、学校運営協議会を中心とした交流活動・体験活動を通じて、地域の連携により学校教育の更なる充実が図られた。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載） 令和7年度の目標値40%に対し32.7%で、達成率は81.8%となっている。 「そう感じる」の割合は年々減少しており、昨年に引き続き「そう感じない」の割合が上回る結果となっている。 年代別の結果を見ると、50代以降の子育てをある程度終えた世代では、例年と同程度、またはそれを上回る結果となっているが、子育て世代が多い20代から40代では、「そう感じる」と答えた割合が30%程度に留まり、学校との一体感を感じる割合は低下傾向にある。 コミュニティ・スクールの取り組みは定着し始めているが、地域住民の関わりをさらに増やしていくことが引き続き課題である。	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない
--	---

2 課題

学校運営協議会委員が学校運営に参画することで、地域の人材や資源の活用が進み、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」の実現に寄与しているが、学校と地域のより円滑な連携や教育内容の充実を図るためには、活動の成果や課題を共有し、学校運営に地域が関わることの意義をさらに深めていく必要がある。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	理由 「地域とともにある学校づくり」のさらなる充実を図るためにも継続していく必要がある。 持続可能な活動へと発展させるためには、これまで実施してきた活動を活かしつつ、学校ごとに地域の状況を踏まえた現実的な目標やビジョンを共有し、無理なく取り組める内容を選択する意識を持ち、教員や地域住民が負担感を感じることをしないような取り組みを実践していく。
--	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮克彦

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	理由 学校を取り巻く問題が複雑化・困難化する一方で、少子高齢化や人口減少などの社会的課題により地域の教育力が低下する状況にある中、「地域とともにある学校づくり」は必要不可欠な施策であることから、「A このまま進める」という方向性で取り組む。
--	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会社会教育課	担当課長氏名	七條 隆志	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	3	地域との連携強化
その他関連計画等	中標津町生涯学習推進計画		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と、地域学校協働活動を一体的に実施し、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核にした地域づくり」を目指す。

2 求める成果（どのような成果を期待するか）

地域コーディネーターの配置により、学校の支援ニーズの把握と学校サポーターの確保、地域への情報提供など、学校と地域のパイプ役を担っていただき、学校と地域の連携・協働が促進されること。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じている町民の割合	%	単年 実績値 達成率(対R7)	-	-	34.6 86.5%	33.6 84.0%	33.1 82.8%	32.7 81.8%	40.0	50.0
指標2		単年 実績値 達成率(対R7)								
指標3		単年 実績値 達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	32 千円	19 千円	22 千円	23 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	17 千円	10 千円	12 千円	43 千円	千円
事業費	49 千円	29 千円	34 千円	66 千円	0 千円
対前年度比		59.18 %	117.24 %	194.12 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
5131	地域学校協働本部事業	66	○						社会教育係
合計 1 事業		66							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	3	地域との連携強化

担当部・課 教育委員会社会教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>令和3年度から、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）委員の中より地域コーディネーターを選任いただき、「地域学校協働本部」を組織したところであり、これまで空席となっていた「統括コーディネーター」に、令和6年度から新たに着任した教育指導監を充て体制を強化することができ、計4回の地域コーディネーター会議を開催するなど、地域コーディネーターの横の連携強化と、各校での取り組み状況を共有できる仕組みづくりなどについて意見交換を行い、レベルアップが図られたと考える。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 <small>※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</small></p> <p>学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と、地域学校協働活動の取り組みが浸透するまでには時間を要するものと思われ、継続した取り組みを展開し地域全体に認識されることにより、「学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じている町民の割合」も増加するものと考えているが、現状は目標を下回る水準で推移しており、中々向上する結果となっていないことから、引き続き取り組みを推進する必要があるものと考えている。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; line-height: 40px; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>地域における事業の周知、理解の促進が不足しているほか、地域コーディネーター会議や研修会などの企画が満足にできておらず、依然として学校と地域が連携・協働する方向性を定めるに至っていない。 学校と地域をつなぐ地域コーディネーターや学校教育を支援できる学校サポーターなど、学校及び地域のニーズに即した「人材」の確保に向け、地域コーディネーターの育成や学校サポーターのスキルアップを図り活用を推進する必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; line-height: 40px; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>町内の各小中義務教育学校の学校運営協議会と、地域学校協働本部の一体的な実施を目指すため、令和3年度以降、各学校から推薦いただいている地域コーディネーターの会議により、横のつながりを強化するとともに各校の情報共有を進めてきた。令和6年度から不在であった統括コーディネーターへ学校現場に精通している教育指導監を充てたところであり、さらに令和7年度からは、義務教育ではないが町内の農業高校に学校運営協議会が組織されたことに伴い、地域コーディネーターも選出いただくなど町全体で取り組む体制が強化されつつあることから、引き続き、より深く、かつ具体的な動きとなるよう、指導室、学校教育課と引き続き連携の上、学校と地域の連携・協働を促進するため、「A このまま進める」ものとする。</p>
--	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; line-height: 40px; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>2年間不在であった統括コーディネーターを令和6年度から再配置したことにより、各小中義務教育学校の学校運営協議会から選出された「地域コーディネーター」会議の内容が深まるとともに、横のつながり強化と情報共有が進められた。さらに7年度からは協働本部独自の事業がスタートしたところである。 また、同年には農業高校にも学校運営協議会が組織され、その中から選出された地域コーディネーターが協働本部に加わったことから、今後、町内の学校と地域との連携・協働の促進が期待されることである。以上のことから、この事業は「A このまま進める」ものとする。</p>
--	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	4	教育環境の充実

担当部・課	教育委員会・管理課
-------	-----------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
育英資金制度の活用については、町内の各種助成金をまとめたパンフレットを作成し、中学校・高等学校へ配付し、対象者全員に周知されたことで、利用者の増加につながった。また、教職員の働き方改革の一環として、ストレスチェックの実施をはじめ、部活動の地域移行を推進するため、情報収集を行っている。	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
	A
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

部活動改革については、教職員の長時間労働による社会問題に端を発したものであったが、急激に進む少子化の中で、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保することに目的が変遷し、「地域移行」から「地域展開」に名称が変更された。令和8年度から10年度の「改革実行期間(前期)」において、確実に休日の地域展開に着手することとされている。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A	部活動の地域展開について、令和7年度中に協議会を設置し、段階的に進めていく。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	山宮克彦
--------	------

施策の進め方	理由
A	当施策は、地域と連携した教育環境の充実、及び教職員の働きやすい職場環境の整備、並びに向学意欲のある生徒の学びを支えていくために必要不可欠なことから、「A:このまま進める」ものとする。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

育英資金については、利用者が増加していることから、今後も就学機会確保のため、引き続き進めていく。
--

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会・管理課	担当課長氏名	高橋 大樹	調書作成日	令和7年 7 月 11 日
-------	-----------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	5 郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1 学校教育の充実
	主要施策	4 教育環境の充実
その他関連計画等	中標津町学校施設長寿命化計画	
その他関連施策		
担当課		

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
子どもたちの学ぶ意欲を高め、確かな成長を促すため。	安全安心な教育環境の確保及び良好な学校生活環境。 ・老朽化した施設の機能及び環境性能向上。 ・学習環境、学校生活水準の向上。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	単年	累計								R7	R12
指標1 照明改修率	個	単年	実績値	0	0	0	0	59		448	4,495
		○ 累計	達成率(対R7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.2%	0.0%		
指標2 冷房整備率	室	単年	実績値	0	0	0	0	12		12	169
		○ 累計	達成率(対R7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
指標3		単年	実績値								
		○ 累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	20,200 千円	108,013 千円	217,372 千円	0 千円	千円
地方債	239,600 千円	562,400 千円	835,300 千円	247,400 千円	千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円	4,000 千円	千円
一般財源	61,191 千円	423,759 千円	583,030 千円	128,302 千円	千円
事業費	320,991 千円	1,094,172 千円	1,635,702 千円	379,702 千円	0 千円
対前年度比		340.87 %	149.49 %	23.21 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
5141	広陵中学校長寿命化改良事業	278,535						○	学校施設係
5141	学校施設等LED化事業	55,726	○						学校施設係
5141	学校施設等冷房設備整備事業	45,441	○						学校施設係
合計 3 事業		379,702							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	4	教育環境の充実

担当部・課 教育委員会・管理課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> 全面改修を終えた広陵中学校の外構整備を実施、児童及び学校関係者の安全性・利便性が向上した。 維持管理が困難で性能劣化が著しい学校外灯、中標津小学校及び丸山小学校の屋体メイン照明をLED化。安全性、防犯性、学習環境及び利便性が向上。校舎棟等のLED化に必要な設計を実施、学校照明のLED化を進める準備を整えた。 子どもたちの健康管理上重要な室（保育室、各学校保健室）へ緊急的にエアコンを設置。幼稚園の夏期室内環境が向上。各学校は保健環境が向上。各学校主要室へのエアコン設置に必要な設計を実施、設置方法、工事期間、費用等が明らかになった。 	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> 工事実施に際して、円滑な工事と児童生徒への負担を少なくするため、工事方法や学校運営の工夫、調整が重要。 社会全体の人手不足は学校職員や工事事業者にも顕著で、働き方改革を推進しながら工事を実施できるよう、より効率的な工事計画、工夫が必要。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	理由
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	<ul style="list-style-type: none"> 主に教育環境の性能向上を目的とした、エアコン設置及び照明のLED化整備を進める。 特にエアコン設置は、各学校ごとに技術的な検討が必要になり、工事内容と費用の大きさから短期間での設置は困難であることが判明したが、暑さ対策という特性から可能な限り夏季前の整備稼働を求められるものであることから、複数年度継続工事、必要な場合は臨時的な財政措置を検討する。また、特殊な工事が多く学校運営への影響も大きいものであることから、現在実施中の工事経験を活かし効率的に進めたい。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮克彦

施策の進め方 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	理由
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	児童生徒が良好な環境で学校生活を送ることができるよう、町立学校施設のエアコンの設置及びLED化の整備を引き続き進めていく必要があることから、「A このまま進める」ものとする。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会学校教育課	担当課長氏名	下村 浩次	調書作成日	令和7年 7 月 24 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	4	教育環境の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく教育を受ける環境を整え、子どもたちの主体的・協働的な学習の充実を図る。	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう、学習環境を整えるとともに、必要な援助により教育の機会均等を図る。
--	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
									R7	R12
指標1	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標2	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								
指標3	単年	実績値								
	累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	3,424 千円	2,586 千円	25,874 千円	3,447 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	142,677 千円	129,560 千円	165,080 千円	152,222 千円	千円
事業費	146,101 千円	132,146 千円	190,954 千円	155,669 千円	0 千円
対前年度比		90.45 %	144.50 %	81.52 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
5141	スクールバス等運行事業	118,558	○						学校教育係
5141	GIGAスクール構想推進事業	7,704				○			学務係
5141	教育振興車両運行事業	10,373							学校教育係
5141	スクールガード推進事業	29							学校教育係
5143	義務教育支援事業	19,005							学務係
合計 5 事業		155,669							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	4	教育環境の充実

担当部・課 教育委員会学校教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>スクールバス及び教育振興車両の運行により、通学手段の確保と学校行事等、教育機会の均衡が図られた。 GIGAスクール運営支援センターによるヘルプデスクの運用や、応急対応の体制整備を図るとともに、授業支援ソフトやAI型ドリルの活用により、教員の業務負担軽減や個別最適な学びの実現を目指した授業改善など、ICT機器の効果的な活用が図られた。 校内ネットワークのメンテナンスを実施し、通信環境の課題や原因箇所を特定した上で、通信機器の一部更新などの改善を行った。 GIGAスクール構想第2期となる端末更新に際して、北海道による共同調達に参加し、導入に係る事務負担軽減やスケールメリットを活かした費用軽減を図るとともに、教育現場での使いやすさや管理の効率性を考慮し、端末のOSをWindowsからChromeに変更した。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>学校現場でのICT機器の活用が進む中、同時一斉接続の状況において速度遅延等の不具合が発生している。 ICTを有効に活用していくため、教職員のITリテラシーの向上や端末管理体制の適正化が求められるが、それらの取り組みは専門的な知見を要するため、恒久的な財源措置やサポート体制の維持が課題である。</p> <p>※ITリテラシー＝IT機器を適切に使いこなし、情報やサービスを理解・活用する能力。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>今後も子どもたちの教育機会の確保に資する施策として継続していく必要がある。 ICTを活用した個別最適な学びや協働的な学びを充実させるためには、適切なネットワーク整備が不可欠であり、通信環境の不具合によって子どもたちの学びが阻害されることのないよう、インターネット・サービス・プロバイダ契約の見直しなど、必要な改善策を講じていく。 GIGAスクール構想第2期において、1人1台端末の更新を着実に進めるとともに、全ての学校でICTを活用した授業や指導のさらなる進展を図るため、教職員への研修実施をはじめとする安定的な支援体制を維持し、学校間及び教員間の利用格差の解消に努める。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>義務教育における児童生徒の教育機会と安全の確保、及び学習環境を整えるために必要不可欠な事業を含む施策であることから、「A このまま進める」ものとし、特にICT教育を効果的に実施できるようハード・ソフトの両面から整備を進める。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課 教育委員会・学校給食センター 担当課長氏名 加藤 崇 調書作成日 令和7年 7 月 9 日

I 施策の概要

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	4	教育環境の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために） 安全・安心な学校給食提供のため	2 求める成果（どのような成果を期待するか） 心身の発育時期にある児童・生徒等に栄養バランスの取れた給食を提供し健康の推進を図る。
--------------------------------	--

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	単年	累計								R7	R12
指標1 給食費の収納率(現・滞合計)	%	単年	実績値	95.12	94.54	93.00	91.45	86.00		95.50	
		累計	達成率(対R7)	99.6%	99.0%	97.4%	95.8%	90.1%	0.0%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	428 千円	7,391 千円	13,633 千円	55,260 千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	128,553 千円	121,120 千円	118,407 千円	66,854 千円	千円
一般財源	28,864 千円	37,715 千円	42,155 千円	64,362 千円	千円
事業費	157,845 千円	166,226 千円	174,195 千円	186,476 千円	0 千円
対前年度比		105.31 %	104.79 %	107.05 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
5142	学校給食センター設備等改修事業(運営体制の検討)	0	○						給食係
5142	学校給食充実事業	186,476							給食係
合計 2 事業		186,476							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	4	教育環境の充実

担当部・課	教育委員会・学校給食センター
-------	----------------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>・限られた予算の中で老朽化した施設及び設備・機器等を計画的に修繕し延命化を図った。</p> <p>・文科省の学校給食の栄養所要量に基づくカロリー計算を行い年齢に応じた栄養摂取を行うとともに、各学校へのアンケート結果による改善を実施し安全・安心な給食を提供できた。</p> <p>・給食費の未納対策としては、平成27年度から生活保護費の代理納付や、就学援助制度の周知、さらには児童手当からの充当を行うことにより、徴収率の向上に努めた。</p> <p>・調理員不足となっていたが令和5年度当初から新規に採用したことにより、定員の12名を確保することができた。令和6年度中に3名退職者が出たが、年度末までに3名採用できたことから令和7年4月以降も12名体制を維持出来ることになった。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析</p> <p>※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 10px auto;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>・施設設置後40年以上経過（耐用年数45年）し老朽化による突発的な修繕等が多い。また、現在の学校給食衛生管理基準に適合していない点もあることから、建替えを含めた改修の検討が必要である。なお、建替え時には、基準に適合した施設とするため、必要な調理員数が現在より増加することも想定されるので、運営体制の抜本的な見直しの検討も併せて行う必要がある。</p> <p>・給食費の滞納対策については、一部の保護者の滞納が慢性化しており、督促文書発送や戸別訪問による徴収を行っているが、法的措置の検討を行うなど更なる対応策が必要である。また、国による給食費無償化とすることになった場合には滞納繰越分については、徴収強化する必要がある。</p> <p>・調理員は確保できたものの、新規採用調理員の早急な業務習得や離職することの無い様にする取組が必要である。給食センターの調理は、献立の組み合わせにより作業内容が日々変わるものの、衛生上の観点からメモや筆記用具の持ち込みができないため習得が難しいところである。今後も直営で運営を継続する場合には60歳代の調理員が複数名在籍していることから調理員の採用を計画的に行う必要がある。また、全国的な人材不足であり、町内では民間事業者の新規出店等もあり人材確保が更に困難になることが想定されるため、調理部門の業者委託を視野に入れておくことも必要と考える。しかしながら現施設が衛生管理基準に適合していない状況のため委託の可否についての調査・研究も必要である。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 10px auto;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>・調理員の確保が出来たところであるが、令和5年以降に採用した調理員の業務習得には更に年単位での経験が必要と思われる。令和6年度に退職者補充で採用した人の退職理由は業務を覚える事が出来ないという事であったので、基本的な作業マニュアル作成について検討が必要である。</p> <p>調理員の離職防止のための待遇改善として、夏季間の暑さ対策や調理器具の経年劣化した消耗品等部品交換を行い身体的負担を軽減するなど働きやすい職場環境を整えていくことを進める。</p> <p>・施設・設備に関しては、建物本体の耐用年数が迫っていることや、学校給食衛生管理基準に適合出来ていないため、近い時期に施設建替えの検討が必要である。ただし、現在の所在地はハザードマップの浸水区域にあるため移転が必要となることから、設置手法や規模及び運営体制について調査・研究を進める。</p> <p>・食材が高騰している状況であるが、可能な範囲で地域の物を使用し給食提供を進める。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	山宮克彦
--------	------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 10px auto;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>安定した給食提供と、近い将来に訪れる施設建替えに向け、ハード・ソフト両面の調査研究を引き続き行うとともに、給食作りの要となる調理員やパートが働きやすく、また、長期間従事できる環境づくりを整えることが重要であることから、常に創意工夫の上を進める。</p> <p>また、コロナ禍により下がったと考えられる収納率及び累積する滞納繰越分の徴収強化のため、課題を整理し取り組みを進めていく。</p> <p>なお、町独自の取組みとして、義務教育以外の町立幼稚園や高等学校にも給食を提供しているため、北海道教育委員会の栄養教諭定数基準値よりも給食数が多いため、栄養教諭の業務量が他市町よりも多いという実情がある。栄養教諭が本来行わなければならない学校の授業に差し支えないよう、また、給食の安定供給のため、毎年変化する児童生徒数の状況に鑑み、給食センターの体制整備に細心の注意を払いながら進めていく。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会・中標津農業高等学校	担当課長氏名	葛西 利光	調書作成日	令和7年 7 月 日
-------	-----------------	--------	-------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	5	町立中標津農業高校の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
<p>本町の基幹産業である農業に関わる教育を通じ、人材育成と高校教育の充実を図ること。 海外研修を行い、社会の国際化に対応できる知識を身につける。 将来、社会に出たときに活用できる資格を取得し、進路決定を有利にする。 地元において、農産物の加工・販売の知識と技術を学びながら、地域との交流を深め農業高校の活動をPRする。</p>	<p>高校または大学を卒業した後の進路として、自身が身につけた技術や知識を活かして地元の企業に就職し、町の活性化の一翼を担うこと。 生徒の高校生活がクラブ活動などにより充実したものとなる。 減少している中学卒業生の進学先として選択され、一定数の新入生を確保する。</p>

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	R7	R12									
指標1 卒業後の進路内定率 (進学・就職率)	%	単年	実績値	100	94.8	100	97.7	97.4			
		累計	達成率 (対R7)	100.0%	94.8%	100.0%	97.7%	97.4%	0.0%	100	100
指標2 資格取得達成率 (資格取得数/卒業生)	件/人	単年	実績値	226/25	317/41	267/39	376/43	318/38			
		累計	達成率 (対R7)	150.7%	128.9%	114.1%	145.7%	139.4%		240/40	240/40
指標3 中標津農業高校の生徒数	人	単年	実績値	113	133	118	108	95			
		累計	達成率 (対R7)	94.2%	110.8%	98.3%	90.0%	79.2%	0.0%	120	120

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	18,186 千円	19,908 千円	15,053 千円	15,804 千円	千円
事業費	18,186 千円	19,908 千円	15,053 千円	15,804 千円	0 千円
対前年度比		109.47 %	75.61 %	104.99 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費 (千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
5152	就学環境支援対策事業(通学費補助)	12,154	○						事務係
5152	就学環境支援対策事業(実習服購入費助成・資格検定料助成)	2,384	○						事務係
5152	農業高校クラブ遠征支援経費	1,266	○						事務係
合計 3 事業		15,804							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	5	町立中標津農業高校の充実

担当部・課	教育委員会・中標津農業高等学校
-------	-----------------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
H29から就学環境支援対策として通学費の全額補助・実習服等の購入扶助が予算化された。R3新入生53名（総数133名）、R4新入生41名（総数128名）、R5新入生35名（総数118名）、R6新入生35名（総数105名）と鈍化傾向にある。 進路決定率は、令和6年度97.4%（卒業38名（進学13名、就職24名、未定1名）であった。 部活動や農業クラブ活動は、新型コロナウイルス感染症の位置づけ変更で、コロナ前に戻っている。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行
	B
	A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

<ul style="list-style-type: none"> ・登校時にかかるバスの確保。 ・毎年、一定数の退学者、転学者が出ていること(家庭環境の問題、就学意志[小中学校時代から不登校]等)。 ・就学環境支援対策の結果として、生徒総数が令和元年度以降100名以上を維持してしたが、今後は中学卒業生数の減少が続くため、これに対応した生徒の確保。 ・学校の老朽化した施設・設備の計画的な更新やICT環境の整備。
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
A	就学環境支援対策や学校給食提供は、入学者の確保に大きく貢献していると考えられる。 (進学先として隣の高校と比較されていると考えられる) 近年、農業クラブの活動は、全道・全国大会へ連続出場するなど、生徒自身の努力の積み重ねが実を結んできている。こうした活動とICT環境の充実など、農業高校の特色ある教育を町内外の児童生徒にPRしていきたい。 また、毎年一定数の退・転学者がいるため、心身のサポート及び一層の学校・学力レベルの向上が必要と考える。 今後は、農業高校としての特色を活かした更なる魅力ある学校づくりを進めるために、新たな事業展開を検討していきたい。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	山宮克彦
--------	------

施策の進め方	理由
A	現在実施している就学環境支援対策事業(通学費補助、実習服購入助成、資格検定助成)は入学者の確保に貢献していると考えられることから、「A このまま進める」ものとする。 なお、少子化による生徒数の減少傾向を見据え、農業高校の魅力や特色の分析を行的確なPRの実施や、必要な事業や施設整備を精査、検討し、教員と共有の上で進めていく必要がある。
A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

計根別地域振興のため、各部署が関連する施策を共有し、計根別地域住民との連携を進める。
--

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会・中標津農業高等学校	担当課長氏名	葛西 利光	調書作成日	令和7年 7 月 日
-------	-----------------	--------	-------	-------	------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	5	町立中標津農業高校の充実
その他関連計画等			
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 実習生産物売払収入額	円	単年	実績値	3,913	6,174	4,817	4,362	4,940		6,000	6,000
		累計	達成率(対R7)	65.2%	102.9%	80.3%	72.7%	82.3%	0.0%		
指標2		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								
指標3		単年	実績値								
		累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	千円	千円	千円	0千円	0千円
対前年度比		%	%	%	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
合計 事業		0							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	1	学校教育の充実
	主要施策	5	町立中標津農業高校の充実

担当部・課	教育委員会・中標津農業高等学校
-------	-----------------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; margin-bottom: 5px;"></div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない

2 課題

--	--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; margin-bottom: 5px;"></div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	
--------	--

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; margin-bottom: 5px;"></div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

--	--

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

--	--

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	2	生涯学習の推進
	主要施策	1	生涯学習活動の普及促進

担当部・課 教育委員会社会教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響等により開催できていなかった生涯学習研修講座を3年ぶりに開催したほか、例年どおり生涯学習情報「らいふまっぶ」を毎月発行し、生涯学習情報の提供に努めた。</p> <p>また、文化スポーツ振興、幼稚園家庭教育学級活動に対する支援、さらには少年団や部活動の全道、全国大会出場に係る遠征費補助については、現状可能な範囲で宿泊費補助基準上限額を見直し実施したほか、郷土館友の会の活動も実施するなど、生涯学習活動の促進が図られた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標①…アンケート結果によると、半数以上の方が「わからない」と回答しており、このことからそもそも閲覧したことが無い方が多数いるものと推察される。「らいふまっぶ・社会教育施設ホームページ」の閲覧者を増加させる取り組みを強化する必要があると考える。</p> <p>指標②…現時点で中間目標値に達しているが、引き続き町民の皆さんが「生涯学習活動を通して生きがいを感じる」ことができるよう取り組んでいく。</p> <p>指標③…コロナ禍の影響も減少し、利用者数は回復基調にあり、目標値を超える実績となったことから、後期基本計画では目標値を上方修正し、さらなる利用者の増加を目指し取り組んでいく。</p>	<p>施策の進行</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>生涯学習情報「らいふまっぶ」においては、限られた紙面の中、お知らせ等の記事が大半を占めていることから内容の見直しを図るなどし、幅広い領域の生涯学習情報の提供について、他の媒体も含めさらに充実させ、いかに閲覧していただくかを念頭に情報発信していかなければならないと考える。</p> <p>また、社会教育活動及び家庭教育活動推進のために関係団体を行う支援及び児童生徒の遠征に係る支援については、逼迫する財政状況の中ではあるが、一部制度の見直しを行い支援の拡大を図ったものの、物価高騰の影響による費用負担がさらに増加傾向にあることから、支援制度のさらなる拡充が課題となっている。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>引き続き町民が生涯にわたって学習するための情報提供、各種支援を行い、生涯学習活動の普及促進を図っていくこととする。</p> <p>スポーツ文化遠征費補助事業については、令和6年度から宿泊費補助基準上限額の見直しを図ったところであるが、課題にもあるように物価高騰の影響による費用負担が増加の一途をたどっていることから、今後も社会情勢等の状況も見極め、財源の確保など課題もあるが、さらに効果的な支援を行えるよう努めていく。</p>
---	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

<p>施策の進め方</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>これまで取り組んできた情報提供、講座開催、各種支援は、町民の生涯学習を推進する上で欠かせないものであるため、今後も時代の変化に応じた改善を行う。特に情報提供のあり方については、紙面の内容見直しや周知方法を創意工夫により取り組み、多くの方に知っていただく必要があることから、「A このまま進める」という方針で継続していく。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

担当部・課	教育委員会社会教育課	担当課長氏名	七條 隆志	調書作成日	令和7年 7 月 25 日
-------	------------	--------	-------	-------	---------------

I 施策の概要

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	2	生涯学習の推進
	主要施策	2	生涯学習環境の充実
その他関連計画等	中標津町生涯学習推進計画 中標津町文化財保存活用地域計画(※R5完成、R6～)		
その他関連施策			
担当課			

1 目的（何のために）	2 求める成果（どのような成果を期待するか）
総合文化会館などの生涯学習関連施設の運営充実を図るとともに、老朽化の見られる施設の修繕・改修を計画的に行い、利用の促進と拡大を図る。 また、郷土館の関連施設を含めた整備方針を検討し、今後の文化財の利活用を図る。	町民が生涯にわたって学習するための環境を充実させることにより、生涯学習活動の普及促進が図られる。

II 施策の実施結果

1 成果指標達成状況

指標名	指標単位(単年・累計)	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値		
									R7	R12	
指標1 生涯学習活動を通して生きがいを感じる町民の割合	%	○ 単年	実績値	-	-	35.1	31.4	34.3	32.1	30.0	40.0
		○ 累計	達成率(対R7)			111.6%	127.1%	137.3%	107.0%		
指標2 中標津町総合文化会館・中標津町図書館の利用者数	人/年	○ 単年	実績値	109,501	160,465	223,120	254,137	274,578		200,000	300,000
		○ 累計	達成率(対R7)	54.8%	80.2%	111.6%	127.1%	137.3%	0.0%		
指標3		○ 単年	実績値								
		○ 累計	達成率(対R7)								

2 施策に係る事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国・道	36,700 千円	41,000 千円	15,953 千円	千円	千円
地方債	20,500 千円	21,000 千円	42,600 千円	7,500 千円	千円
その他	283 千円	430 千円	430 千円	425 千円	千円
一般財源	235,971 千円	268,954 千円	273,788 千円	277,328 千円	千円
事業費	293,454 千円	331,384 千円	332,771 千円	285,253 千円	0 千円
対前年度比		112.93 %	100.42 %	85.72 %	%

3 施策に係る事務事業一覧

事務事業コード	事務事業名	事業費(千円)	令和8年度の方向性						担当係
			A	B	C	D	E	F	
5221	緑のふるさと研修舎運営管理経費	661							社会教育係
5221	社会教育施設運営管理経費[指定管理委託]	264,416							社会教育係
5221	総合文化会館設備改修事業	7,590		○					社会教育係
5221	社会教育施設等LED照明整備事業(総合文化会館他)	7,352							社会教育係
5221	エゾリンドウ保護増殖事業	48							学芸係
5222	郷土館等運営事業	5,186							学芸係
合計 6 事業		285,253							

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	2	生涯学習の推進
	主要施策	2	生涯学習環境の充実

担当部・課 教育委員会社会教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>生涯学習施設の利用については、新型コロナウイルス感染症の影響も減少し回復基調にあり、総合文化会館、図書館、交流センターについては、指定管理者による管理により、サービスの向上、経費削減をはじめ、町民が安心・安全に利用できる環境づくりが図られた。</p> <p>老朽化の進む施設の修繕・改修については、交流センターの暖房機が春先から燃料ポンプの不具合により不完全燃焼が起きやすく、運転の際は建物内に臭いが立ちこめる状況が続いたことから、冬のシーズン前に補正予算により更新を行った。</p> <p>郷土館の運営については、老朽化により施設の維持管理が困難な状況が続いているが、友の会の活動や館内の展示替えなどに努めるなど、例年どおりの運営を行ったところである。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>【再掲】 指標①…現時点で中間目標値に達しているが、引き続き町民の皆さんが「生涯学習活動を通して生きがいを感じる」ことができるよう取り組んでいく。 指標②…コロナ禍の影響も減少し、利用者数は回復基調にあり、目標値を超える実績となったことから、後期基本計画では目標値を上方修正し、さらなる利用者の増加を目指し取り組んでいく。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>生涯学習関連施設及び郷土館関連施設の老朽化が進み、早急な修繕・改修を要する箇所が増加する一方である。</p> <p>修繕・改修には高額な費用を要することから、長寿命化改修や予防改修には至らず、応急処置的な修繕にとどまっているため、財源の確保、各施設の長寿命化計画を策定するなど、整備方針を定める必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>総合文化会館などの生涯学習関連施設の運営充実については、令和8年度からの第6次指定管理期間より、現在の指定管理者である（一財）中標津町文化スポーツ振興財団を「指名」による候補者として選定するよう準備を進め、「指名」により長期にわたる指定管理が担保されることで、指定管理者において長期的な事業展開やさらなるサービスの向上、経費削減をはじめ、町民が安心・安全に利用できる環境づくりを図ることが可能となると考える。</p> <p>老朽化の進む施設の修繕・改修については、優先順位の高いものから順次行えるよう整備方針を定めるとともに、財源の確保などに努め、環境を充実させ利用の促進と拡大を図る。</p> <p>特に老朽化が著しい郷土館本館及び文化財を保管している既存の収蔵施設については、令和5年度に完成した「中標津町文化財保存活用地域計画」と連携しながら、令和6年度から4年間の予定で郷土資料収蔵施設整備を優先し進めているところである。</p>
--	--

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>指定管理施設については、今後も制度を活用することで、町民にソフト・ハード両面で質の高いサービスを提供するとともに、利用の促進と拡大を図る。</p> <p>直営施設である「緑のふるさと研修舎」及び「郷土館関連施設」については、老朽化が進行している現状を踏まえ、利用者が安心・安全に利用できる環境を整備し、特に老朽化が著しい郷土館関連施設については、貴重な文化財を保護するため、収蔵施設の整備を最優先に取り組む。</p> <p>この施策は、町民の生涯学習活動の普及促進と環境維持のために不可欠であることから、「A このまま進める」方針とする。</p>
--	--

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	3	スポーツの振興
	主要施策	1	スポーツ活動の普及促進

担当部・課 教育委員会社会教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>■ 指定管理者である（一財）中標津町文化スポーツ振興財団により実施した主な事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会事業（なかしべつチャレンジマラソン2024、クロカン・ナカシベツ2024、バレーボール、ソフトテニス大会など） ・スポーツ普及振興事業（ちびっこスポーツスクール、水泳教室、スケート教室など） ・支援・育成事業（スポーツ加盟団体活動助成、スポーツ少年団活動助成など） <p>新型コロナウイルス感染症の影響も減少し、活動の制限が解消されたことにより、各種実施事業についてもコロナ禍以前の状況に戻りつつあるなど、概ね満足いく内容であったことから、参加者のスポーツ活動の普及促進に資することができた。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標①…過去10年のアンケート結果によると横這い状態であり、調査対象が毎年変わる中変動が少ないということは、町民全体の約4割程度しか運動やスポーツに取り組んでいないものと推察される。高齢化社会を迎える中、体力増進・健康増進に関する広報・啓発活動を推進し、町民のスポーツ・健康づくりの意識高揚に努める必要があると考える。</p> <p>指標②…コロナ禍の影響も減少し、利用者数は回復基調にあり、中間目標値を超える実績となっていることから、引き続き事業を展開し、さらなる利用者の増加を目指し取り組んでいく。</p> <p>指標③…スポーツ指導者登録数は減少傾向にあり、少子化の影響もあるが少年団、部活動に加入する児童生徒も減少し、団体競技においてはチーム編成に苦慮することが想定され、今後指導者の増加は見込めないため、後期基本計画では目標値を下方修正する。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>新規スポーツ行事、大会、スポーツ教室の実施及び参加者数の増加を目指すため、魅力的な機会の提供と社会情勢の変化へ対応するための調査研究を進める必要がある。</p> <p>また、各種団体と学校や地域との連携強化、より多くの町民にスポーツ活動に親んでもらえるような様々な手法、工夫が必要と考える。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>生涯学習施設同様、令和8年度からの第6次指定管理期間より、現在の指定管理者である（一財）中標津町文化スポーツ振興財団を「指名」による候補者として選定するよう準備を進め、「指名」により長期にわたる指定管理が担保されることで、指定管理者において長期的な事業展開やさらなるサービスの向上、経費削減をはじめ、町民が安心・安全に利用できる環境づくりの推進、スポーツ活動の普及促進が図られると考える。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>スポーツ振興に関する事業は、指定管理者による多彩なプログラムの展開により、利用者数が中間目標値を上回る成果を上げている。</p> <p>今後も、町民のライフステージに応じた事業を展開することで、町民のスポーツ振興や健康増進に貢献できることから、「A このまま進める」という方針で継続して取り組む。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	3	スポーツの振興
	主要施策	2	スポーツ環境の充実

担当部・課 教育委員会社会教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>スポーツ施設の利用については、新型コロナウイルス感染症の影響も減少し回復基調にあり、総合体育館、温水プール、武道館、テニスコート、野球場、運動公園及び森林公園、正美公園パークゴルフ場については、指定管理者による管理により、サービスの向上、経費削減をはじめ、町民が安心・安全に利用できる環境づくりが図られた。</p> <p>老朽化の進む施設の修繕・改修については、予算の範囲内で小破修繕を実施しているが、老朽化に伴い修繕・改修箇所は増加する一方である中、温水プールの部分改修を行い、最低限の対応はできたものの、全ての改修には至っていないことから、引き続き優先順位を見極め、維持管理に努めていきたいと考える。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>【再掲】 指標①…過去10年のアンケート結果によると横這い状態であり、調査対象が毎年変わる中変動が少ないということは、町民全体の約4割程度しか運動やスポーツに取り組んでいないものと推察される。高齢化社会を迎える中、体力増進・健康増進に関する広報・啓発活動を推進し、町民のスポーツ・健康づくりの意識高揚に努める必要があると考える。 指標②…コロナ禍の影響も減少し、利用者数は回復基調にあり、中間目標値を超える実績となっていることから、引き続き事業を展開し、さらなる利用者の増加を目指し取り組んでいく。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>各種スポーツ施設の老朽化が進み、早急な修繕・改修を要する箇所が増加する一方である。修繕・改修には高額な費用を要することから、長寿命化改修や予防改修には至らず、応急処置的な修繕にとどまっているため、財源の確保、各施設の長寿命化計画を策定するなど、整備方針を定める必要がある。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>スポーツ施設の運営充実についても、令和8年度からの第6次指定管理期間より、現在の指定管理者である（一財）中標津町文化スポーツ振興財団を「指名」による候補者として選定するよう準備を進め、「指名」により長期にわたる指定管理が担保されることで、指定管理者において長期的な事業展開やさらなるサービスの向上、経費削減をはじめ、町民が安心・安全に利用できる環境づくりが図られると考える。</p> <p>老朽化の進む施設の修繕・改修については、優先順位の高いものから順次行えるよう整備方針を定めるとともに、財源の確保などに努め、環境を充実させ利用の促進と拡大を図る。</p>
---	---

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

<p>施策の進め方</p> <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>理由</p> <p>スポーツ施設の運営管理については、指定管理者による柔軟かつ確実な対応により、円滑に実施されている。</p> <p>今後も指定管理制度を活用し、そのメリットを最大限に生かすことで、町民に対して質の高いサービスの提供を目指すとともに、老朽化に伴い年々増加する修繕・改修については、優先順位と整備方針を明確にすることで、施設の良好な環境を目指す必要がある。これらのことから、この施策は「A このまま進める」という方針で取り組むこととする。</p>
---	---

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	3	スポーツの振興
	主要施策	3	スポーツによる交流促進

担当部・課	教育委員会社会教育課
-------	------------

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>日本体育大学ラグビー一部合宿は大学側の都合もあり6年連続の中止となったが、連携協定事業として、ラグビー一部監督及びコーチ3名を講師として迎え、3年連続となる「ラグビーフェスタ2024inなかしべつ 中標津ラグビークリニック」を開催し、地元の小中高校生が指導を受け技術を高めることができた。さらには、隔年で実施している同大学訪問時に、野球部監督とお会いすることができ、その際に少年団向けの野球教室の開催について打診し快諾いただいたことから、初開催となった「なかしべつ野球教室2024」にコーチ1名、学生コーチ2名を講師として迎え、管内野球少年団の児童が指導を受け技術の向上を図るなど、有意義な体験を行うことができた。</p> <p>また、東海大付属札幌高等学校サッカー部の1年生40名が初めて5日間の合宿を運動公園球技場で行い、合わせてコンサドーレ釧路U-15の16名も一部合同で実施したところであり、これを機会に継続的に合宿に訪れていただけることを期待している。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>合宿や大会誘致については、地道に町のPRと誘致活動を継続して行わなければならないため、ある程度の投資的経常経費と人脈を持つ協力者を増やしていくことが重要である。</p> <p>また、実際に受け入れる際の宿泊場所や施設の老朽化などにより合宿地、大会開催地として選ばれない可能性が生じることから、関係機関とも協力し、町の考え方、取り組み体制などについて整理する必要があると考える。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>スポーツ合宿の誘致については、日本体育大学との連携協定事業を中心に推進し、「ラグビーフェスタ」や「なかしべつ野球教室」については令和7年度も開催することで予定しており、今後も合宿誘致や教室の開催などに向けて同大学との関係性を保っていくこととする。さらに、本町で開催可能な様々な種目の合宿が切れ目なく実施されるよう、社会人、大学、高等学校等に対して誘致活動を継続的に展開する。</p> <p>また、令和6年度に新規の合宿を行った東海大付属札幌高等学校（1年生）のサッカー一部が、令和7年度も合宿に訪れるとの情報もあり、継続的に実施していただけるよう期待する。</p> <p>さらには、令和8年8月から秋春制に移行することとなったプロサッカーJリーグのオフシーズン（6月～7月）キャンプ地として、本町も現在の設備等で希望があれば受け入れる意思を表明しており、実際に関係者の視察等もあるなど、数年後になると思うがキャンプ地として選ばれるかどうか期待を寄せているところである。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名	山宮 克彦
--------	-------

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>スポーツ合宿の誘致に関しては、連携協定を締結している日本体育大学との関係を維持しつつ、継続的に誘致活動を展開するとともに、新たな団体や学校等に対しても誘致活動や支援を継続して行っていく。</p> <p>スポーツ合宿や教室の開催は、地域スポーツの振興や競技力の向上及び施設の利用促進に非常に効果的であり、さらに町の経済活性化にも大きく寄与する重要な取り組みであることから、「A このまま進める」という方針とする。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	4	地域文化の振興
	主要施策	1	文化・芸術活動の普及促進

担当部・課 教育委員会社会教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>■ 指定管理者である（一財）中標津町文化スポーツ振興財団により実施した主な事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術鑑賞事業（コンサート、演劇、NHK公開収録などのほか、㈱東映エージェンシー主催の映画上映会を2日間日程で開催） ・文化普及振興事業（書道公募展、美術展など） ・学習・研修事業（文化講演会、ナカシベツ大学、中標津しらかば学園など） ・創造・参加事業（総合展覧会、芸能発表会、合同華展など） <p>実施事業については概ね満足いく内容であったことから、参加者の文化・芸術活動の普及促進に資することができたところであり、特に、北海道警察音楽隊、陸上自衛隊第5旅団第5音楽隊のコンサートは、多くの集客があり大変盛況であった。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標①…アンケート結果を見ると目標値に到達するまでの上昇は難しいと思われることから、これまでとは違った観点で対策を講じる必要があると考える。まずは魅力的な機会の提供と社会情勢の変化へ対応するための調査研究を進め、状況を見ながら柔軟に対応していくこととする。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>新規加盟団体及び登録者数の増加を目指すため、魅力的な機会の提供と社会情勢の変化へ対応するための調査研究を進める必要がある。</p> <p>また、各種団体と学校や地域との連携強化、より多くの町民に文化・芸術を親しんでもらえるような様々な手法、工夫が必要と考える。</p>

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>令和8年度からの第6次指定管理期間より、現在の指定管理者である（一財）中標津町文化スポーツ振興財団を「指名」による候補者として選定するよう準備を進め、「指名」により長期にわたる指定管理が担保されることで、指定管理者において長期的な事業展開やさらなるサービスの向上、経費削減をはじめ、町民が安心・安全に利用できる環境づくりの推進により、町民が「文化・芸術活動」に取り組む環境整備の強化が図られるものと考え。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; margin: 0 auto; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>文化・芸術の振興事業においては、指定管理者の創意工夫により多彩な取り組みが展開されている。今後も、町の文化・芸術活動のさらなる活性化に向け、調査研究や次世代の担い手の育成、利用促進を進める必要があることから、「A このまま進める」という方針で取り組みを続ける。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	4	地域文化の振興
	主要施策	2	文化・芸術環境の充実

担当部・課 教育委員会社会教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
 令和6年度は、交流センターの暖房機が春先から燃料ポンプの不具合により不完全燃焼が起きやすく、運転の際は建物内に異臭が立ちこめる状況が続いたことから、冬のシーズン前に補正予算により更新を行った。
 改修更新箇所についての不安は解消され使用不可となることの未然防止に努めることができたが、老朽化に伴い修繕・改修箇所は増加する一方である。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載） 【再掲】 指標①…アンケート結果を見ると目標値に到達するまでの上昇は難しいと思われることから、これまでとは違った観点で対策を講じる必要があると考える。まずは魅力的な機会の提供と社会情勢の変化へ対応するための調査研究を進め、状況を見ながら柔軟に対応していくこととする。	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">B</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>
---	---

2 課題

総合文化会館を含め施設の長寿命化計画を策定できていない。
 修繕・改修箇所が多数あり、修繕費も高額となるものが多いため、長寿命化改修や予防改修には至らず、応急処置的な修繕にとどまっている。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	令和8年度は、令和7年度から2か年で実施する「総合文化会館コミュニティホール舞台照明設備改修事業」の完成を予定しているが、老朽化に伴い修繕・改修箇所は増加する一方であり、以前にも増して突発的な施設・設備の故障、破損が増加している状況であるが、優先順位を定め計画的に対応できるよう、財源確保を含め将来的な更新計画を立て、安定的に施設の利用ができるよう努め、利用の促進と拡大、有効活用を図っていくことが必要と考える。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	文化施設の運営管理については、指定管理者によって柔軟かつ確実に実施されている。 今後も、指定管理制度を活用し、その利点を最大限に活かしながら町民へ質の高いサービスを提供を目指すとともに、老朽化に伴い増加し続ける修繕・改修については、優優先順位と整備方針を明確にすることで、施設の良い環境を目指す必要がある。これらのことから、この施策は「A このまま進める」という方針で取り組むこととする。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	4	地域文化の振興
	主要施策	3	文化・芸術による交流促進

担当部・課 教育委員会社会教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか
 指定管理者である（一財）中標津町文化スポーツ振興財団により、町内外からの集客があったコンサートや、演劇、NHK公開収録などが実施され、多くの方々が交流する機会を得ることができた。
 令和6年度は、北海道警察音楽隊、陸上自衛隊第5旅団第5音楽隊のコンサートなど、知名度が高く多くの方に鑑賞いただける事業が実施されたことにより、コロナ禍前の水準を超える利用者数の増加に寄与したところである。

第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当ない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載） 【再掲】 指標①…アンケート結果を見ると目標値に到達するまでの上昇は難しいと思われることから、これまでとは違った観点で対策を講じる必要があると考える。まずは魅力的な機会の提供と社会情勢の変化へ対応するための調査研究を進め、状況を見ながら柔軟に対応していくこととする。	施策の進行 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない
---	---

2 課題

今後も多くの方が楽しめ、交流を深められるような事業の企画、実施に向け、継続して取り組む体制を維持していくことが重要である。

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	令和8年度からの第6次指定管理期間より、現在の指定管理者である（一財）中標津町文化スポーツ振興財団を「指名」による候補者として選定するよう準備を進め、「指名」により長期にわたる指定管理が担保されることで、指定管理者において長期的な事業展開やさらなるサービスの向上、経費削減をはじめ、町民が安心・安全に利用できる環境づくりの推進により、集客につながる様々な事業の企画・実施が図られるものとする。

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要	文化・芸術の振興に関する事業は、指定管理者による創意工夫により多彩な事業が展開されたこともあり、コロナ禍前の水準を超える利用者数となっている。今後も魅力的な事業展開により、交流人口・関係人口増を目指すとともに、施設の利用促進・拡大を図る必要があることから、「A このまま進める」という方針で取り組みを継続する。

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

部長・課長評価のとおり

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

外部評価対象外

令和7年度 中標津町総合計画施策評価調書（令和6年度事業実施分）

施策体系	基本目標	5	郷土愛あふれるまちづくり
	施策項目	4	地域文化の振興
	主要施策	4	文化財の保護と活用

担当部・課 教育委員会社会教育課

Ⅲ 一次評価

1 令和6年度の施策の達成状況

何を実施し、どのような成果があったか	
<p>文化財保護法及び中標津町文化財保護条例に基づき、文化財保護審議会を開催し各種文化財または文化財候補に関するものの調査研究、保存と活用についての検討を行ったほか、中標津町郷土館緑ヶ丘分館オータムフェスタを開催し、多くの方に来場いただき楽しんでいただくことができたことなど、各種事業を通じて町民の郷土愛を育み、文化財保護意識の啓蒙を図った。</p> <p>また、令和6年3月に町内5つのまちづくり団体により発足した「中標津するべつなぎ会」において、計画を活用した取り組みを進める検討を重ね、令和6年度は文化財フォーラムの開催及び文化財保存活用冊子の編集を行ったところである。</p>	
<p>第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標の進捗状況に係る分析 ※該当しない場合記載不要（第7期総合計画 前期基本計画で掲げる成果指標についてのみ記載）</p> <p>指標①…令和5年度に完成した「文化財保存活用地域計画」のアンケート調査においても、「歴史や文化を活かしたまちづくりや、歴史的資産を次世代に残していく取組は重要だと思うか？」という問いに対し、約8割以上の方が「重要」と答えるなど、歴史や自然・文化を残し後世に伝えることは大切な事柄であることは明白であるため、引き続き町民に対し文化財保護推進と啓発を行うとともに、適切な保存・活用を行っていくことにより、町民の意識も高まるものと考え。</p>	<p>施策の進行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A 目標に向かって順調に進んでいる B 目標に向かって概ね順調に進んでいる C 目標に向かってあまり進んでいない D 目標に向かって進んでいない</p>

2 課題

<p>文化財の保護について、郷土館関連施設の老朽化が進み、早急な修繕・改修を要する箇所が増加する一方である中、郷土館本館の事務室が雨漏りのため使用不可となったことから、敷地内にプレハブを設置し仮設の事務所を構えるなど苦肉の策を講じてはいるが、収蔵文化財の保管にも影響が出るほか、来館者の安全確保も困難となるのは時間の問題と考える。</p> <p>修繕・改修には高額な費用を要することから、長寿命化改修や予防改修には至らず、応急処置的な修繕にとどまっているため、財源の確保、各施設の長寿命化計画を策定するなど、整備方針を定める必要がある。</p>
--

3 令和8年度の施策の進め方（課長評価）

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>老朽化が著しい郷土館本館及び文化財を保管している既存の収蔵施設について、新たな収蔵庫の建設に着手することができたところであるが、建築費の高騰などにより事業費の圧縮を図る必要が生じており、令和7年において進めている実施設計を経て、令和9年度の完成を目指していることから順次準備を進めていく。</p> <p>また、令和6年3月に発足した町内5つのまちづくり団体による「中標津するべつなぎ会」とともに、「中標津町文化財保存活用地域計画」に基づく取り組みの推進について、引き続き官民協働で計画を活用した取り組みを進めていくこととする。</p> <p>歴史的建造物の保存・改修などについては、旧北海道農事試験場根室支場庁舎保存管理事業のほか、酪農試験場が所有する付属施設である国登録有形文化財、種苗倉庫、農具庫の町への譲与が決定したことから、保存改修の実施に向けた調整を進めていくこととする。</p>

4 令和8年度の施策の進め方（部長評価）

担当部長氏名 山宮 克彦

施策の進め方	理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <p>A このまま進める B 若干の見直し・修正が必要 C 大幅な見直し・修正が必要</p>	<p>老朽化した郷土資料収蔵庫の新設、旧北海道農事試験場根室支場庁舎（伝成館）の保存管理をはじめ、北海道から譲与が決定した国登録有形文化財の種苗倉庫、農具庫の保存改修に向けた調整を行うとともに、令和6年度に文化庁の認定を受けた、「中標津町文化財保存活用地域計画」に基づく官民協働の事業を実施することで、貴重な文化財を守り、積極的に活用することで「文化遺産を活かしたまちづくり」を推進し、次世代へ伝えていくことをめざす。以上のことから、この施策は「A このまま進める」ものとする。</p>

Ⅳ 二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

<p>部長・課長評価のとおり</p>

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

<p>外部評価対象外</p>
